

平成25年度
滋賀県男女共同参画に関する意識調査
報告書

平成26年（2014年）2月

滋賀県

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の概要	2
3 調査項目	2
4 標本構成	3
5 報告書の見方	3
II 調査結果の概要	5
III 調査結果	9
1 回答者の属性	10
(1) 性別	10
(2) 年齢	10
(3) 居住地域	10
(4) 職業	11
(5) 仕事内容	11
(6) 結婚の状況	11
(7) 子どもの人数	12
(8) 子どもの年齢	12
(9) 同居家族	13
(10) 滋賀県の居住歴	14
(11) 配偶者の年齢	15
(12) 配偶者の職業	15
(13) 配偶者の仕事内容	15
2 生活時間について	16
(1) 各活動に費やす時間	16
(2) 理想の時間より短いと思う活動	26
(3) 配偶者との会話の状況	27
(4) 配偶者との会話はどちらから話しかけるか	29
(5) 家計の管理者	30
(6) 家事をする理由（男性）	32
(7) 家事をしない理由（男性）	33
(8) 配偶者（夫）が家事をするために気をつけていること（女性）	34
3 「子育て」について	35
(1) 男性の子育ての状況	35
(2) 子育てをする理由（男性）	37
(3) 子育てをしない理由（男性）	38
(4) 育児休業の取得の有無（男性）	39
(5) 育児休業取得の理由（男性）	40
(6) 育児休業を取得しなかった理由（男性）	41
(7) 配偶者（夫）が子育てをするために気をつけていること（女性）	42

4	「介護」について	43
	(1) 家族の介護が必要な場合にどうするか (男性)	43
	(2) 自宅介護の場合の主な介護者 (男性)	44
	(3) 介護を必要とする家族の有無 (男性)	45
	(4) 介護休業の取得の有無 (男性)	46
	(5) 介護休業を取得しなかった理由 (男性)	47
	(6) 誰に介護をされたいか	48
5	「仕事」について	49
	(1) 現在の仕事や働き方の満足度 (男性)	49
	(2) 仕事や働き方に満足している理由 (男性)	50
	(3) 仕事や働き方に不満がある理由 (男性)	51
6	「地域活動」について	52
	(1) 参加している地域活動 (男性)	52
	(2) 地域活動に参加するきっかけ (男性)	55
	(3) 地域活動による自身への影響 (男性)	56
	(4) 地域活動に参加しない理由 (男性)	57
7	「不安や悩みごと」について	59
	(1) 悩みや困りごとの有無	59
	(2) 悩みや困りごとの内容	61
	(3) 最も大きな悩みや困りごとの内容	63
	(4) 悩みや困りごとの相談相手 (男性)	64
	(5) 最近の自身の状況 (男性)	66
	(6) 希望する相談方法や体制 (男性)	73
8	「現在の考え方や感じ方」について	78
	(1) 自身の考え方や感じ方	78
	(2) 男女に関する考え方	94
	(3) 男女に関する考え方についての世間の考え方	99
	(4) 子どもの生き方に対する期待	105
	(5) 現在の生き方や生活についての満足度	108
	(6) 「男もつらい」と感じるか (男性)	110
	(7) 「男もつらい」と感じる内容 (男性)	111
	(8) 「男女共同参画社会」のイメージ	113
	(9) 男女共同参画に関する学習経験	114
IV	調査票	117
	1. 男性票	119
	2. 女性票	139
V	調査結果 (数表)	別冊

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

滋賀県における男女共同参画の諸課題に関する県民の意識と実態を把握し、男女共同参画社会の実現に向けた施策に役立てるための基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域：県内全域（全市町から対象者抽出）
- (2) 調査対象：県内在住の20歳以上の男女3,000人
- (3) 抽出方法：選挙人名簿を元に層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：質問紙による郵送調査
- (5) 調査期間：平成25年10月4日～10月28日
- (6) 有効回収率：全体 45.0%（1,349件）

3. 調査項目

<主な調査内容>

男性票

- (1) 回答者の属性
年齢・居住地域・職業・仕事内容・結婚の状況・子どもの人数や年齢・同居家族・滋賀県での居住歴・配偶者の年齢・配偶者の職業や仕事内容
- (2) 生活時間について
各活動に費やす時間・理想の時間より短い活動・配偶者との会話の状況・家計の管理者・家事を行う理由や行わない理由
- (3) 子育てについて
子育ての実践状況・子育てをする理由やしない理由・育児休業の取得の有無・育児休業取得の理由や取得しなかった理由
- (4) 介護について
家族の介護が必要な場合にどうするか・自宅介護の場合の主な介護者・介護を必要とする家族の有無・介護休業の取得の有無・介護休業を取得しなかった理由・誰に介護されたいか
- (5) 仕事について
現在の仕事や働き方の満足度・満足している理由や不満がある理由
- (6) 地域活動について
参加している地域活動・参加するきっかけ・地域活動による自身への影響・地域活動に参加しない理由
- (7) 不安や悩みごとについて
悩みや困りごとの有無・悩みや困りごとの内容・相談相手・最近の自身の状況・希望する相談方法や体制
- (8) 自身の現在の考え方や感じ方について
自身の考え方や感じ方・男女に関する考え方・男女に関する考え方についての世間の

考え方・子どもの生き方に対する期待・現在の生き方や生活についての満足度・「男もつらい」と感じるか・「男もつらい」と感じる内容・「男女共同参画社会」のイメージ・男女共同参画に関する学習経験

女性票

(1) 回答者の属性

年齢・居住地域・職業・仕事内容・結婚の状況・子どもの人数や年齢・同居家族・滋賀県での居住歴・配偶者の年齢・配偶者の職業や仕事内容

(2) 配偶者の生活時間について

各活動に費やす時間・理想の時間より短い活動・配偶者との会話の状況・家計の管理者・配偶者が家事をするために気をつけていること

(3) 子育てや介護について

配偶者が子育てするために気をつけていること・誰に介護されたいか

(4) 配偶者の不安や悩みごとについて

配偶者の不安や悩みごとの有無・配偶者の不安や悩みごとの内容

(5) 自身の現在の考え方や感じ方について

自身の考え方や感じ方・男女に関する考え方・男女に関する考え方についての世間の考え方・子どもの生き方に対する期待・現在の生き方や生活についての満足度・「男女共同参画社会」のイメージ・男女共同参画に関する学習経験

4. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を次のように層化した。

- 大津地域（大津市）
- 湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）
- 甲賀地域（湖南市、甲賀市）
- 東近江地域（近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）
- 湖東地域（彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）
- 湖北地域（長浜市、米原市）
- 湖西地域（高島市）

(2) 標本数の配分

各地域の層における20歳以上の人口構成比を基に、3,000人の標本数を比例配分した。その際、各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、湖西地域の抽出ウエイトを2倍にして標本数を設定している。

地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウエイトを加重し補正した。調査結果は、この「補正後集計母数」を基数として集計を行なった。

	人 口	抽 出 ウエイト	標本数	有効回収数	有効回収率	集 計 ウエイト	補正後 集計母数
大津地域	270,985	1 / 2	702	319	45.4%	2	638
湖南地域	248,844	1 / 2	645	306	47.4%	2	612
甲賀地域	115,532	1 / 2	300	123	41.0%	2	246
東近江地域	184,393	1 / 2	478	193	40.4%	2	386
湖東地域	122,434	1 / 2	318	137	43.1%	2	274
湖北地域	128,879	1 / 2	334	150	44.9%	2	300
湖西地域	43,017	1	223	115	51.6%	1	115
不明	—	—	—	6	—	—	—
合 計	1,114,084		3,000	1,349	45.0%		2,571

5. 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100%にならないこともある。
- (2) 複数回答が可能な質問では、構成比の母数は回答者数とし、その項目を選択した人が全体の何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。
- (3) 本報告書の表の見出しおよび文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。
- (4) 報告書中のグラフにおいて、値の小さい項目は表記が省略されている場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅱ 調査結果の概要

集計結果に基づき、滋賀県における男性の意識や行動の実態、男性の意識や行動に影響を及ぼすと考えられる女性の意識等についての特徴を以下に整理する。

1. 家事について

- 男性は平日で29.1%、休日で21.1%が、家事時間について「全くない」と回答している。
- 男性が家事をする理由については、「配偶者の負担を減らしたい」が47.4%、「協力し合っ
て家事をするのが当然だから」が39.1%と多くなっている。
- 男性が家事をしていない理由は、「家族が家事をするから」(50.6%)、「仕事が忙しいから」
(30.2%)が多くなっている。
- 配偶者(夫)が積極的に家事をするために女性が気をつけていることは、「配偶者に感謝の
気持ちを伝える」が32.5%で最も多くなっている。
- 男性は「自分が家事(や育児)をすることは、格好悪いし恥ずかしいと思う」かどうかに
ついて、67.5%が「そう思わない」(「そう思わない」+「あまりそう思わない」と回答し、
女性は「配偶者(夫)が家事(や育児)をすることは、格好悪いし恥ずかしいと思う」か
どうかについて、88.3%が「そう思わない」と回答している。

2. 子育てについて

- 子どもを持つ男性のうち、子育てを「している(していた)」と回答した男性の割合は、
20歳代が63.6%、30歳代が48.7%、40歳代が28.8%となっており、「ある程度している
(していた)」を合わせると、20歳代から40歳代の年齢層では8割を超えている。
- 男性が子育てをする理由は、「親として子育てをするのが当然だから」(79.7%)、「子ども
が好きだから」(47.2%)、「配偶者の負担を減らしたいから」(44.3%)の順に多くなっ
ている。
- 男性が子育てをしない理由は、「仕事が忙しいから」(74.3%)、「配偶者や配偶者以外の家
族が子育てをするから」(33.6%)、「子育てに関する知識や経験が足りないから」(14.6%)
の順に多く、中でも「仕事が忙しいから」は7割を超えている。
- 配偶者(夫)が積極的に子育てをするために女性が気をつけていることは、「配偶者(夫)
とよく話し合う」(28.8%)が最も多くなっている。

3. 介護について

- 家族の介護が必要な場合、主に自宅で介護をすることを希望する男性は56.9%となっ
ており、その場合の介護者についての男性の回答は、「主に、自分の配偶者(妻)」(44.2%)、
次いで、「主に、自分」(34.1%)となっている。
- 自分が介護される場合、誰に介護されたいかという質問に対し、男性は配偶者(妻)と回
答した人が57.8%で最も多くなっている。女性は、配偶者(夫)23.9%、次いで、娘17.4%
の順となっている。

4. 仕事について

- 男性が仕事に満足している理由は、「仕事の内容・やりがい」(72.3%)が最も多く、不満
がある理由は、「収入・賃金」(65.7%)が最も多い。
- 男性が「仕事で業績を評価されたいと思う」(「とてもそう思わない」+「ややそう思う」)
割合は67.0%、女性が「配偶者(夫)には、仕事で業績を評価されてほしいと思う」割合
は64.6%となっている。
- 「男性は仕事における成功が重要である」という考え方について、「とてもそう思う」「や
やそう思う」と回答した割合の合計は、男性52.9%、女性51.5%となっている。

5. 地域活動について

- 男性の地域活動について、「伝統ある地縁的な団体の活動」に参加している男性が 52.4%と最も多く、参加するきっかけとして特に影響を受けたライフイベントは、結婚 17.5%、退職 14.6%が多く、「特になし」が 32.9%となっている。
- 地域活動に参加していない男性は 32.4%で、20 歳代 (52.9%)、30 歳代 (52.8%) が多くなっている。
- 参加しない理由は、「参加するきっかけがないから」(34.2%)、「仕事が忙しいから」(32.1%)の順に多く、県外から転入してきた場合は、「参加するきっかけがない」(44.1%) が最も多くなっている。
- 地域活動が自身（男性）にもたらした影響について、「地域の様々な人とのつながりができた」が 74.7%と最も多くなっている。

6. 不安や悩みについて

- 悩みや困りごとの有無について、「ある」と回答した男性は 63.2%で、60 歳代・70 歳以上よりも 20 歳代から 50 歳代までの年齢層で多くなっている。
- 男性の悩みや困りごとの内容は、「仕事・転職・再就職」(28.0%)、「健康・病気・障害」(17.7%)、「家計・借金・相続」(9.0%)が多くなっている。
- 「男もつらい」と感じるかどうかについて、「ある」と回答した男性は 62.5%で、60 歳代・70 歳以上よりも 20 歳代から 50 歳代までの年齢層で多くなっている。
- 「男もつらい」と感じる内容は、「仕事の責任が大きい、仕事ができ当たり前と言われる」(34.1%)「配偶者や子を養うのは男の責任だと言われること」(32.0%)が多くなっている。
- 男性が悩みや困りごとを相談する相手は、「配偶者」が 42.5%で、「相談しなかった」は 28.0%となっている。
- 男性が希望する相談方法や体制については、「生き方、暮らし方などの相談」では「面談での相談」と回答した割合が 19.6%で最も多くなっているが、その他の相談では「専門家による相談」が最も多くなっている。また、男性相談員による相談と回答した割合は、最も多いもので「自身のメンタルヘルス、ストレスなどの相談」で 1.3%となっている。

7. 男女共同参画意識について

- 固定的な性別役割分担意識に関する質問について、男女の回答に差がみられる項目は、「デートの費用は男性が払うのが当然だと思う」、「配偶者（妻）にはできるだけ稼いでもらいたい／自分（女性）もできるだけ稼ぎたい」、「配偶者や恋人には、できれば自分（男性）の意見に従ってもらいたい／自分（女性）は従うほうがよい」、「男性は弱音を吐くべきではない」などとなっている。
- 固定的な性別役割分担意識に関する質問について、自身は「そう思わない」と回答した場合でも、世間は「そう思っている」と回答する割合は 5 割を超える。
- 「男女共同参画社会」のイメージについては、「性別にとらわれず、能力を発揮でき、評価される社会にあること」と回答した割合が男性 55.9%、女性 60.0%と最も多く、次いで、「男女がお互いをパートナーとして理解し、協力していること」(男性 49.0%、女性 56.3%)、「男女平等意識が社会に浸透していること」(男性 37.0%、女性 34.9%)となっている。
- 男女共同参画に関する学習経験について、男性は「マスコミが取り上げるニュースや特集で知った」(38.5%)が最も多く、次いで、「特になし」(29.6%)、「職場で研修を受けた」(25.0%)となっている。女性は「特になし」が 34.0%で最も多く、次いで、「マスコミが取り上げるニュースや特集で知った」(32.3%)、「地域の講座や研修で学んだ」(16.4%)となっている。男女共同参画に関して「学校で学習した」割合は、20 歳代では男性 55.2%、女性 54.0%となっている。

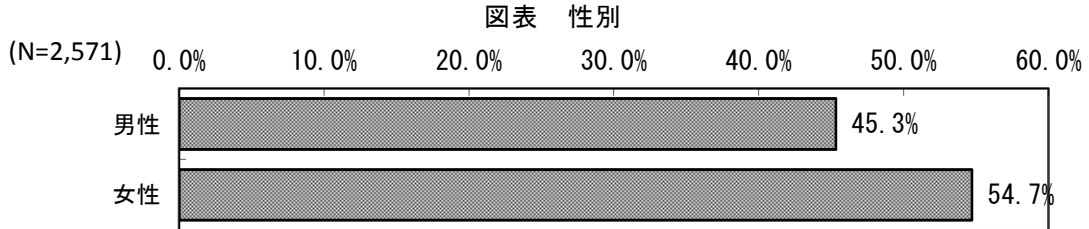
III 調查結果

Ⅲ 調査結果

1. 回答者の属性

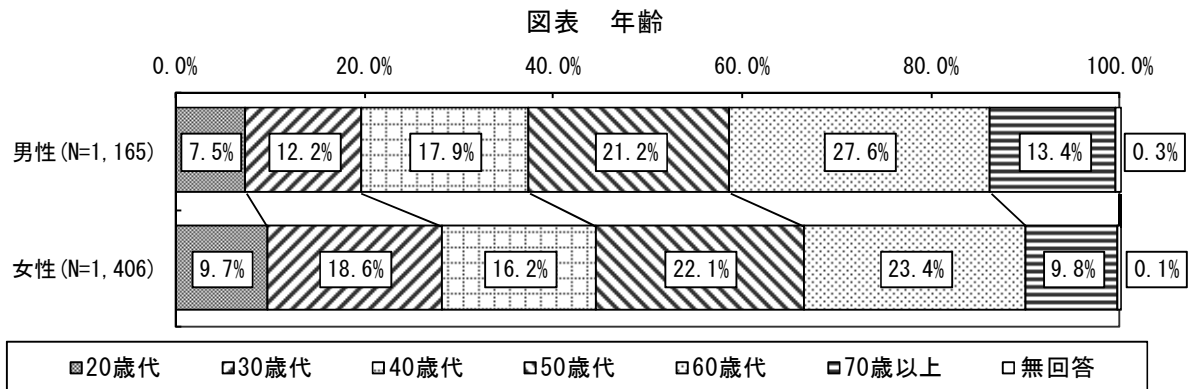
(1) 性別

男女別にみると、「男性」が45.3%、「女性」が54.7%で、やや女性の方が多い。



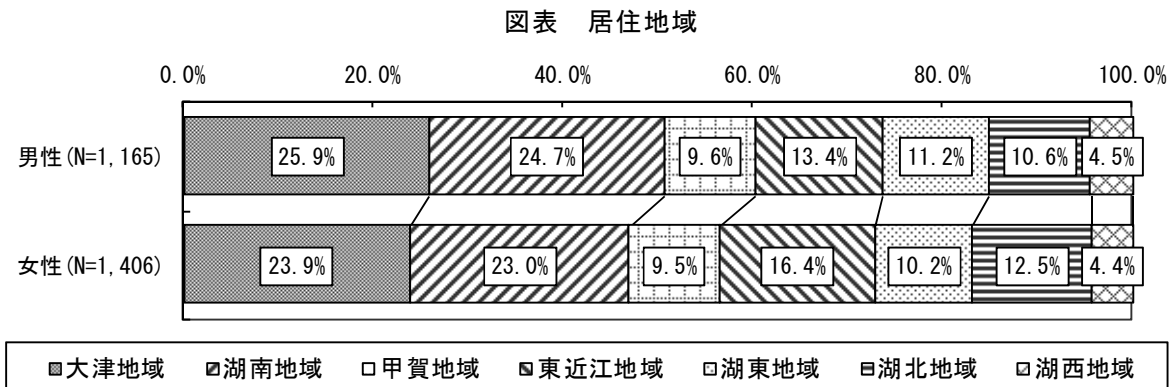
(2) 年齢

男女ともに「60歳代」(男性27.6%、女性23.4%)が最も多く、次いで、男女ともに「50歳代」(男性21.2%、女性22.1%)となっている。



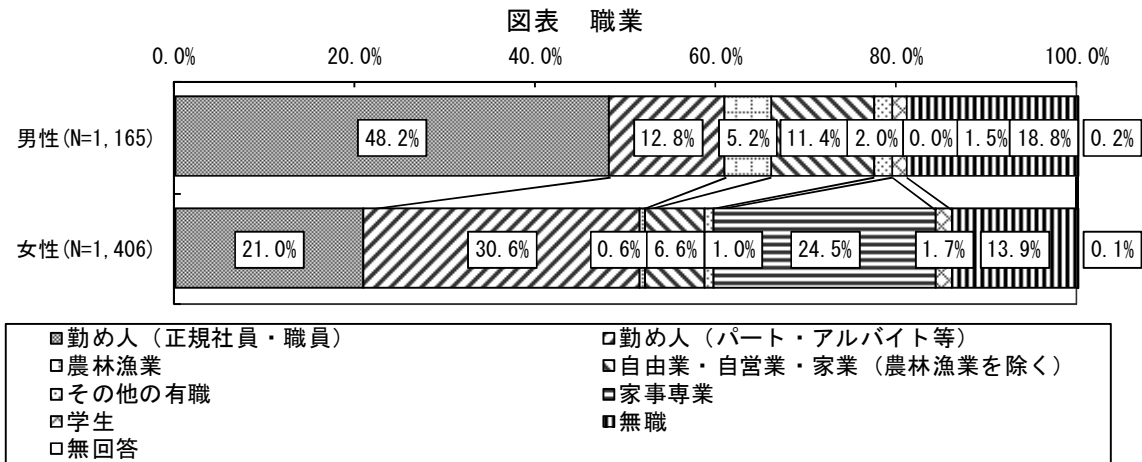
(3) 居住地域

男女ともに「大津地域」(男性25.9%、女性23.9%)が最も多く、次いで「湖南地域」(男性24.7%、女性23.0%)、「東近江地域」(男性13.4%、女性16.4%)となっている。



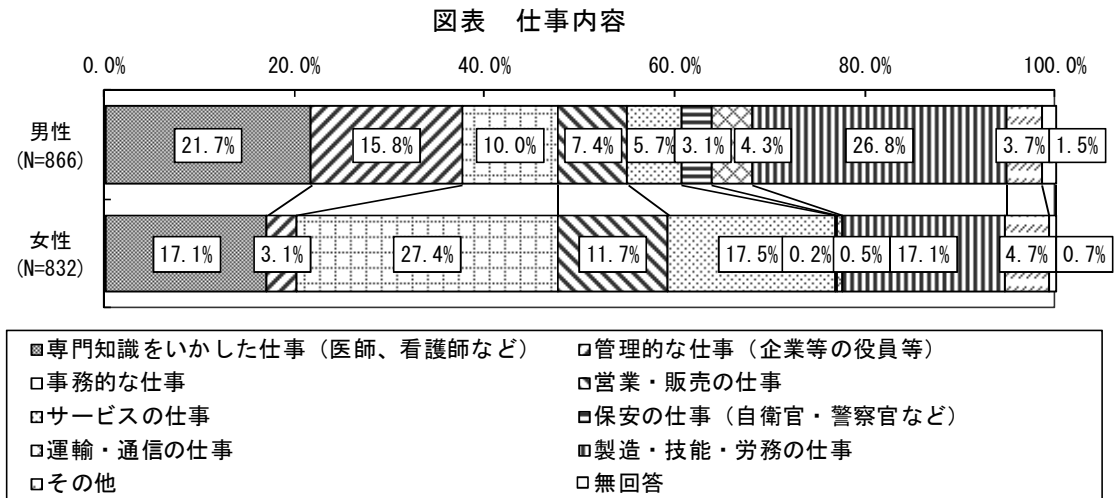
(4) 職業

男性では「勤め人（正規社員・職員）」（48.2%）が最も多く、次いで「無職」（18.8%）となっている。女性では「勤め人（パート・アルバイト等）」（30.6%）が最も多く、次いで「家事専業」（24.5%）となっている。



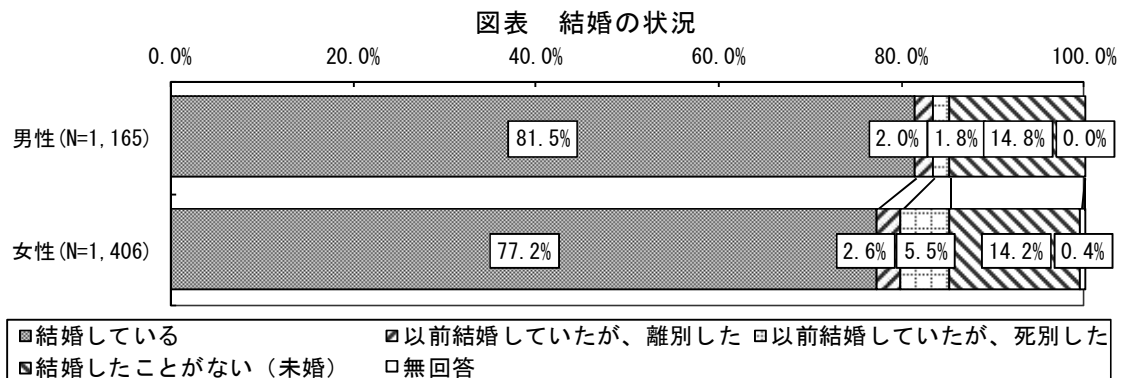
(5) 仕事内容

男性では「製造・技能・労務の仕事」（26.8%）が最も多く、次いで「専門知識をいかした仕事」（21.7%）となっている。女性では「事務的な仕事」（27.4%）が最も多く、次いで「サービスの仕事」（17.5%）となっている。



(6) 結婚の状況

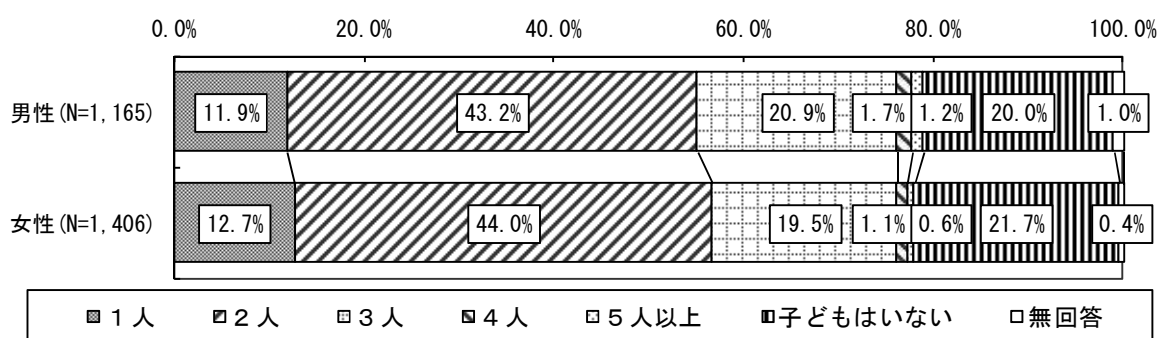
男女ともに「結婚している」（男性81.5%、女性77.2%）が最も多くなっている。



(7) 子どもの人数

子どもの人数別にみると、男女ともに「2人」(男性43.2%、女性44.0%)が最も多くなっている。

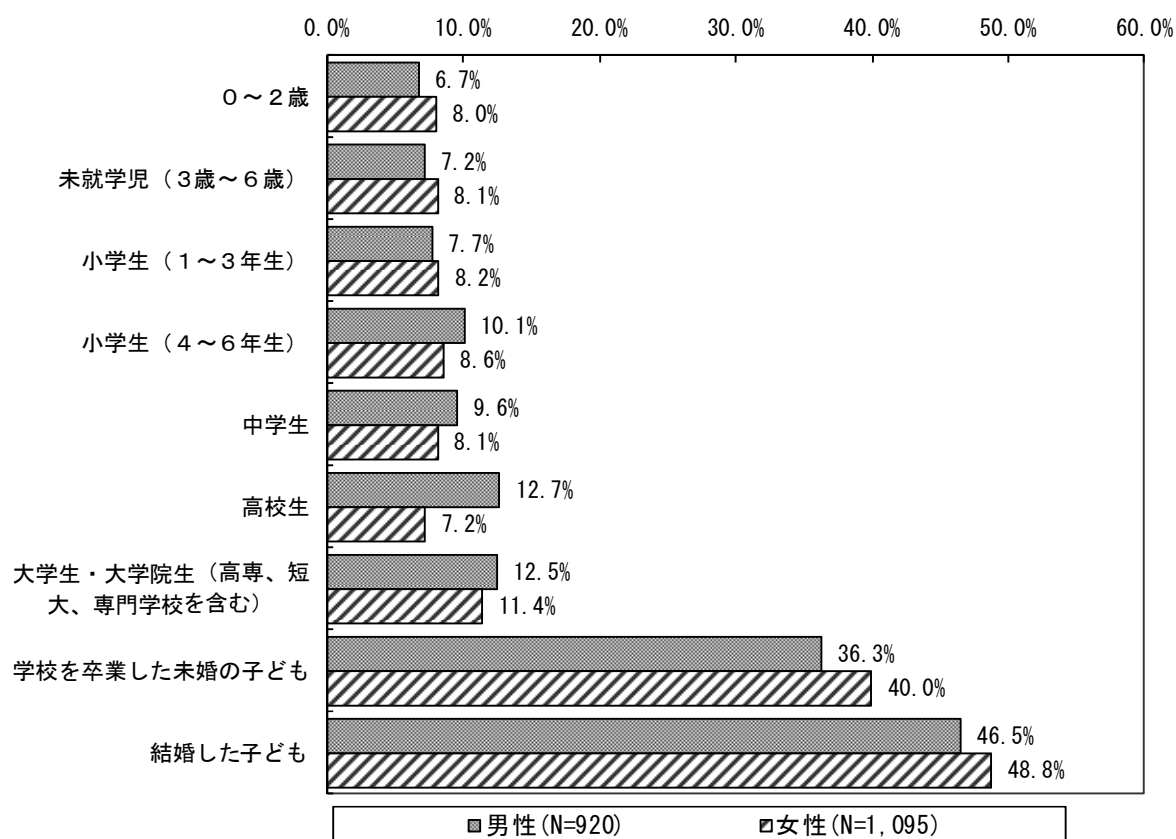
図表 子どもの人数



(8) 子どもの年齢

子どもの年齢別にみると、男女ともに「結婚した子ども」(男性46.5%、女性48.8%)が最も多く、次いで「学校を卒業した未婚の子ども」(男性36.3%、女性40.0%)となっている。

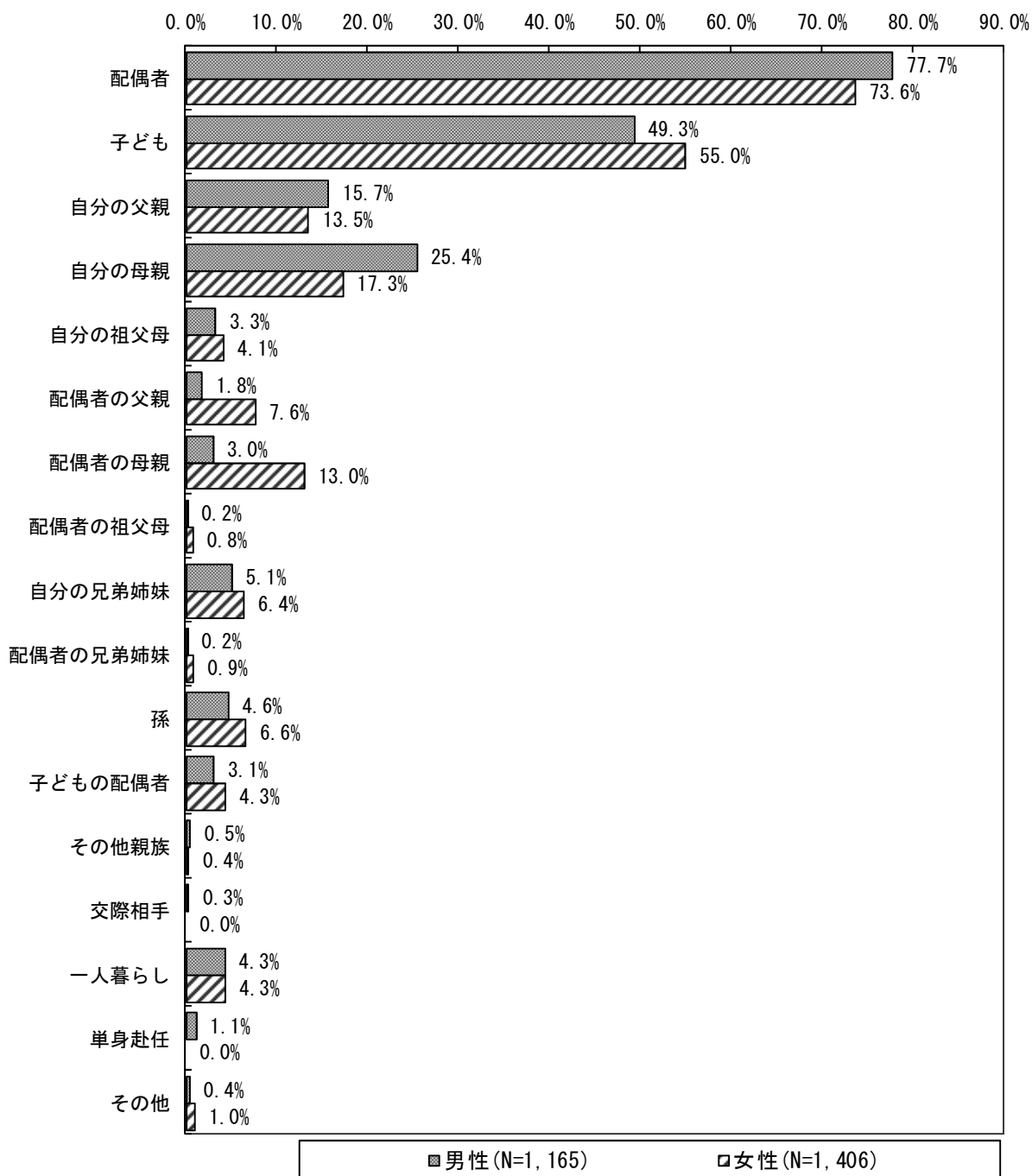
図表 子どもの年齢



(9) 同居家族

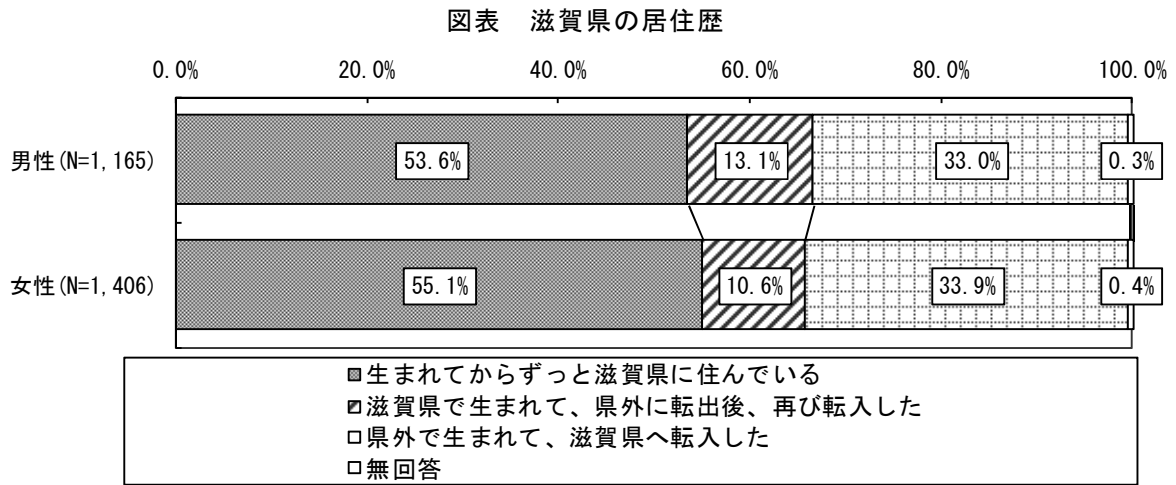
同居家族別にみると、男女ともに「配偶者」(男性77.7%、女性73.6%)が最も多く、次いで「子ども」(男性49.3%、女性55.0%)となっている。

図表 同居家族

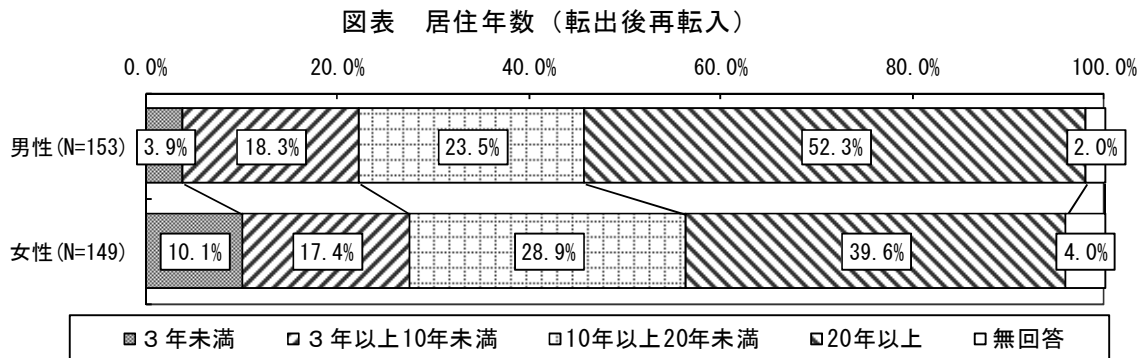


(10) 滋賀県の居住歴

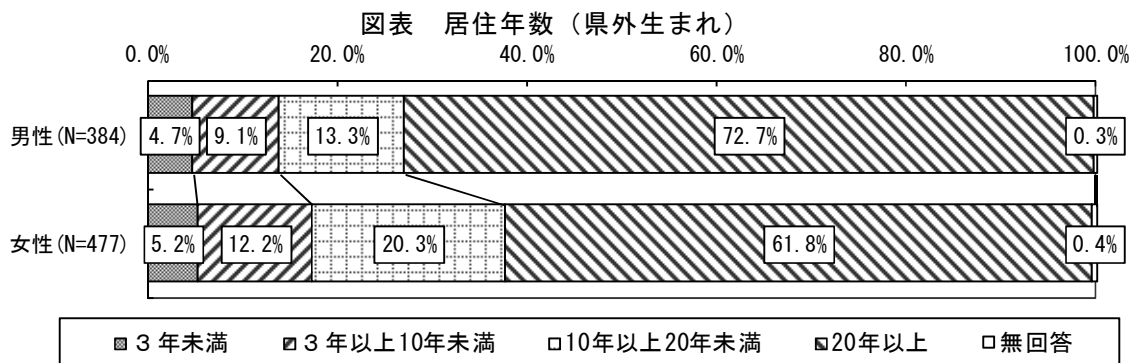
滋賀県の居住歴別にみると、男女ともに「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」（男性 53.6%、女性 55.1%）が約 5 割を超えている。次いで、「県外で生まれて、滋賀県へ転入した」（男性 33.0%、女性 33.9%）となっている。



「滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した」と回答した人の居住年数をみると、男女ともに「20 年以上」（男性 52.3%、女性 39.6%）が最も多くなっている。次いで「10 年以上 20 年未満」（男性 23.5%、女性 28.9%）となっている。

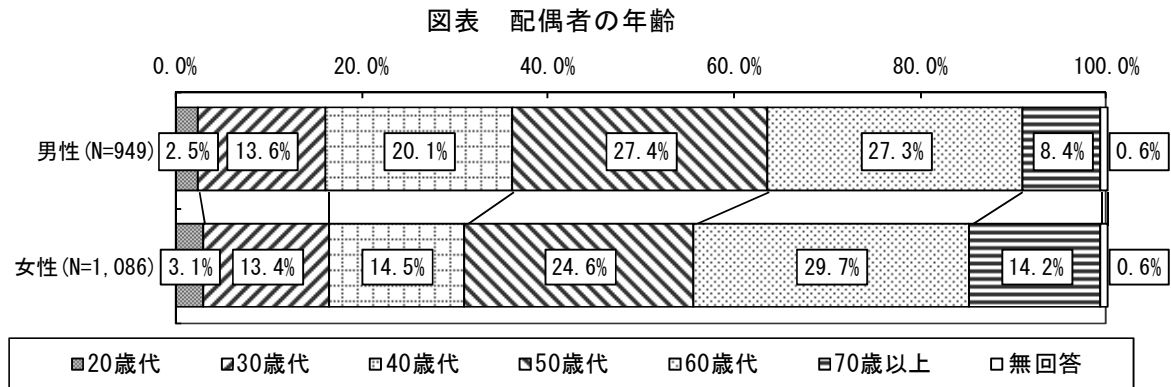


「県外で生まれて、滋賀県に転入した」と回答した人の居住年数をみると、男女ともに「20 年以上」（男性 72.7%、女性 61.8%）が最も多くなっている。次いで、「10 年以上 20 年未満」（男性 13.3%、女性 20.3%）となっている。



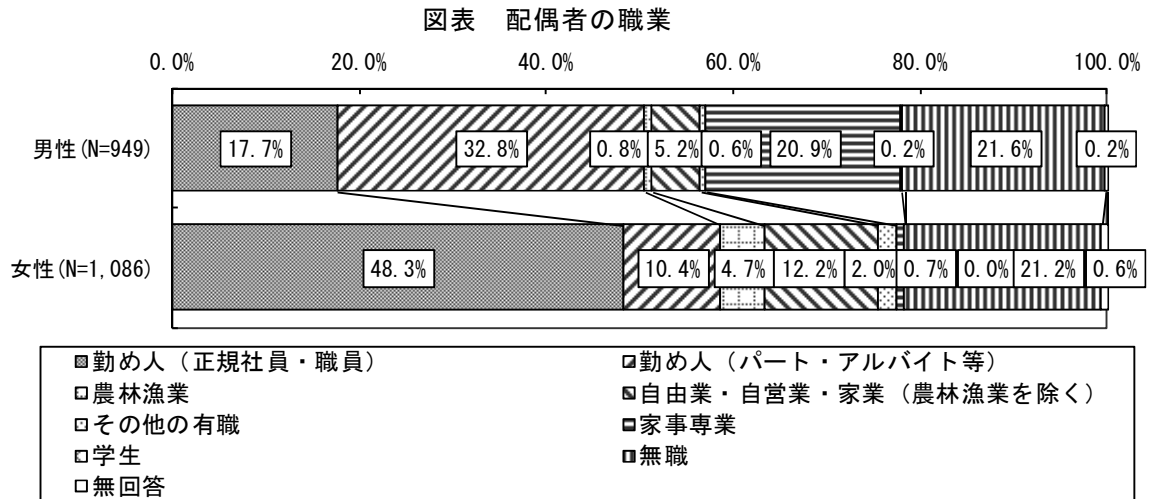
(11) 配偶者の年齢

配偶者の年齢別にみると、男性は「50歳代」(27.4%)が最も多く、女性は「60歳代」(29.7%)が最も多くなっている。



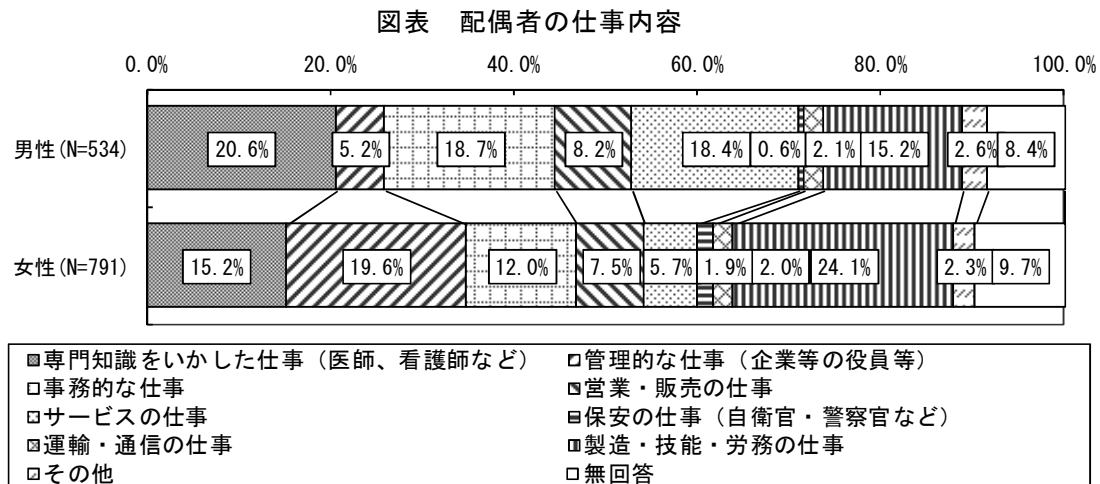
(12) 配偶者の職業

配偶者の職業別にみると、男性は「勤め人(パート・アルバイト等)」(32.8%)が最も多く、女性は「勤め人(正規社員・職員)」(48.3%)となっている。



(13) 配偶者の仕事内容

配偶者の仕事内容別にみると、男性は「専門知識をいかした仕事」(20.6%)が最も多く、女性は「製造・技能・労務の仕事」(24.1%)が最も多くなっている。



2. 生活時間について

(1) 各活動に費やす時間

【男性票の設問】

問13 あなたのふだん(平日と休日)の生活時間についてうかがいます。以下の活動について、1日に費やす時間はどのくらいですか。(それぞれについて該当する数字に○を1つ)

【女性票の設問】

問13 あなたの配偶者のふだん(平日と休日)の生活時間についてうかがいます。以下の活動について、1日に費やす時間はどのくらいですか。(それぞれについて該当する数字に○を1つ)

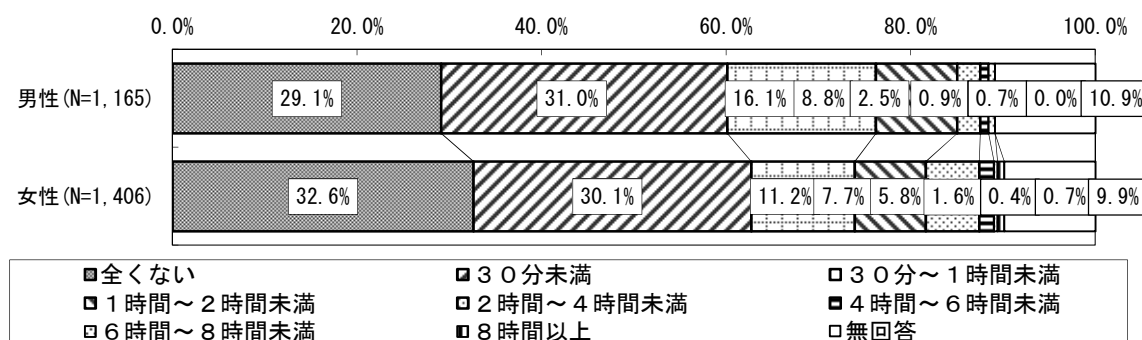
※女性の回答は配偶者の生活時間

ア. 家事

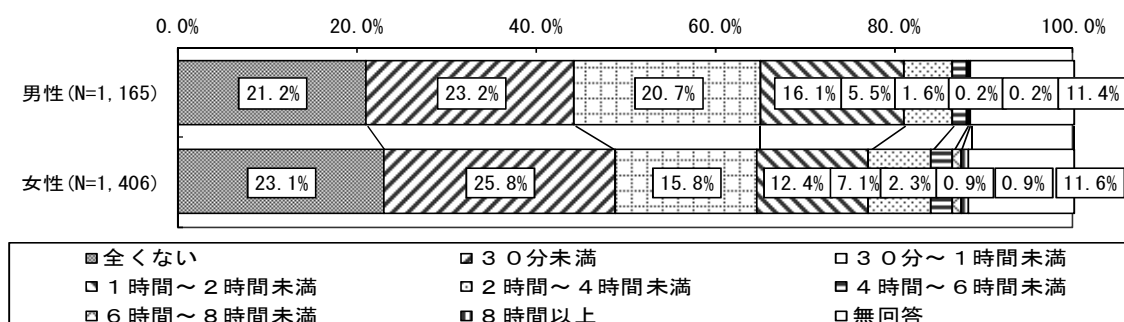
男性が家事に費やす時間について、平日の場合は、男性では「30分未満」と回答した割合が31.0%と最も多く、次いで、「全くない」(29.1%)、「30分～1時間未満」(16.1%)となっている。休日の場合は、男性は「30分未満」(23.2%)と回答した割合が最も多く、次いで「全くない」(21.2%)となっている。

女性からみた場合、配偶者(夫)が家事に費やす時間は、平日では「全くない」と回答した割合が32.6%と最も多く、休日では「30分未満」が25.8%で最も多くなっている。

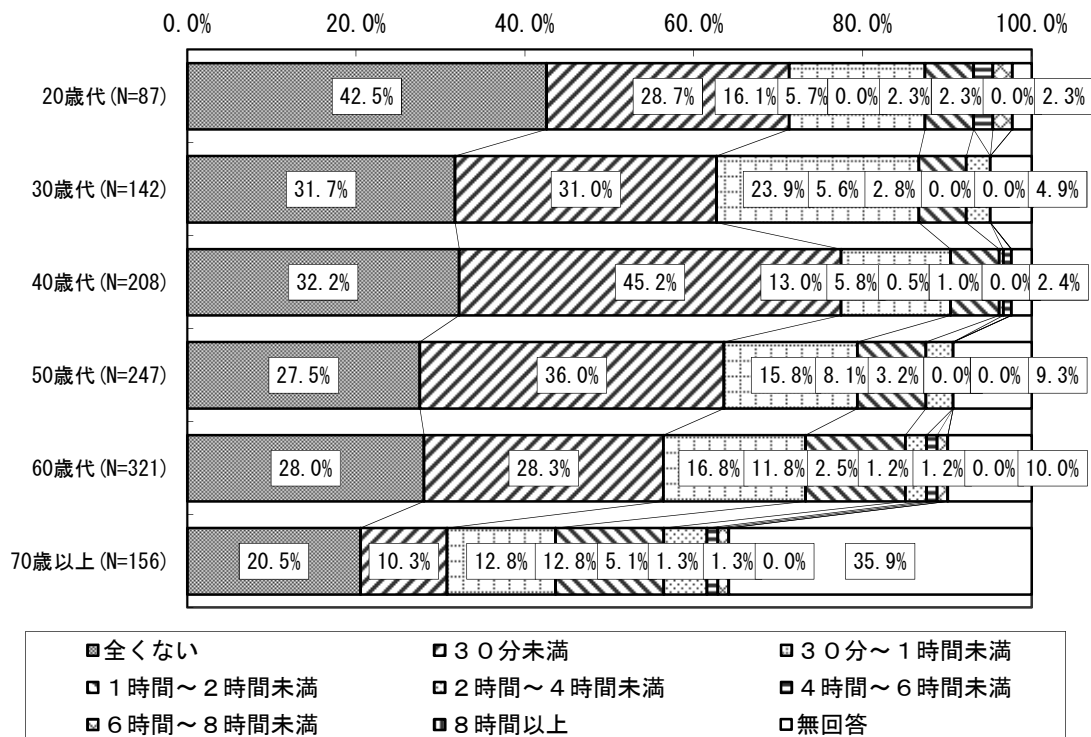
図表 1日に費やす時間「男性の平日の家事」



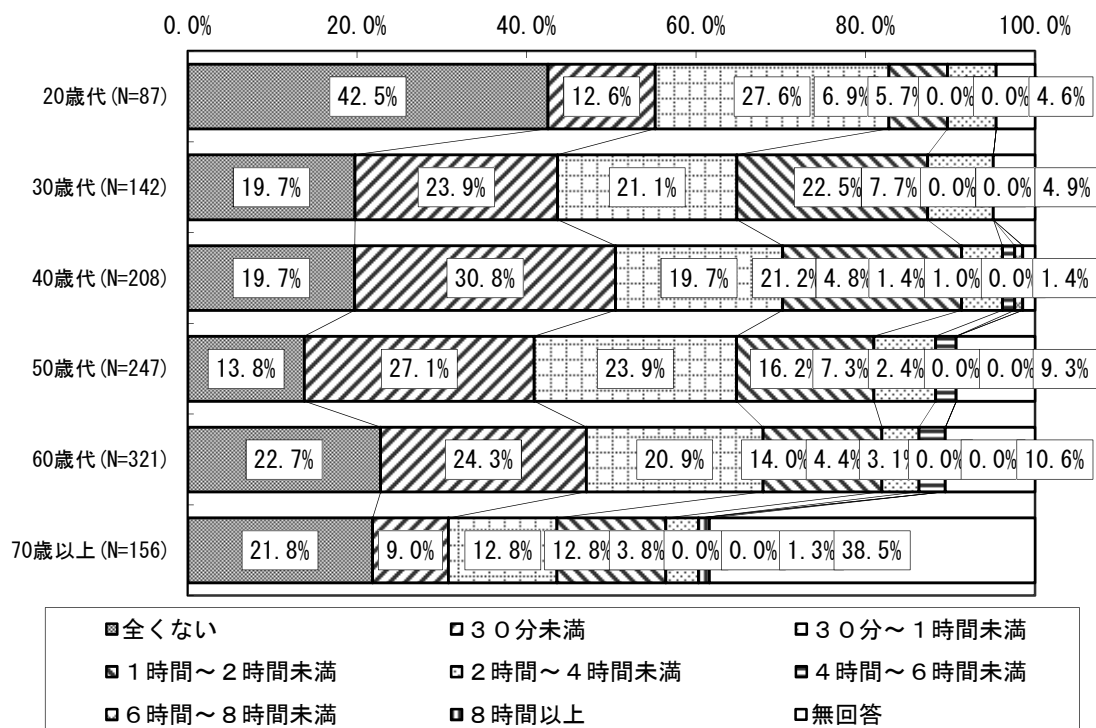
図表 1日に費やす時間「男性の休日の家事」



図表 1日に費やす時間「男性の平日の家事」／年齢別



図表 1日に費やす時間「男性の休日の家事」／年齢別



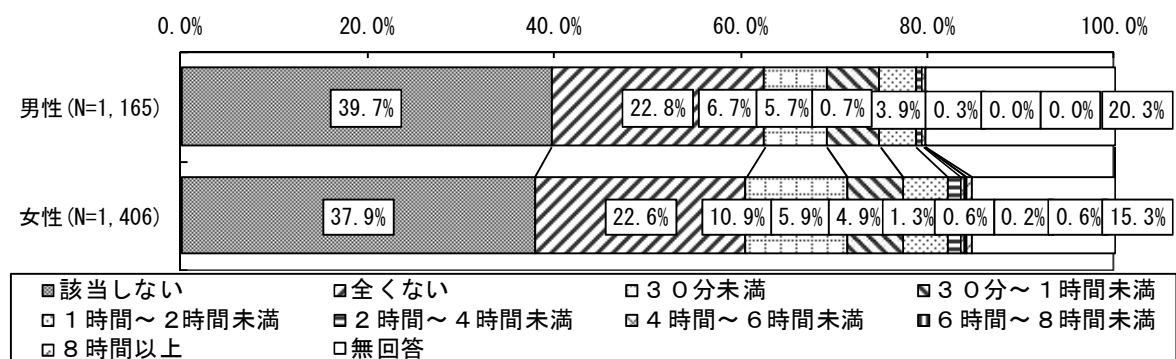
イ. 育児・子育て

対象となる子どもがいる男性が育児・子育てに費やす時間について、男性が「全くない」と回答した割合は、平日で22.8%、休日で17.9%と最も多くなっている。女性から見た場合も、配偶者（夫）が育児・子育てに費やす時間は、「全くない」と回答した割合が、平日で22.6%、休日で19.6%と最も多くなっている。

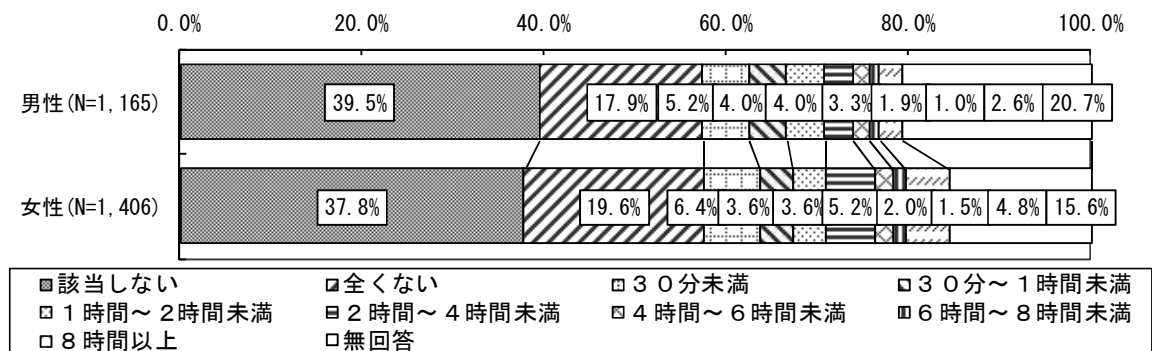
男性の年齢別にみると、30歳代や40歳代では、平日よりも休日において、「全くない」が少なくなっている。

なお、「該当しない」と回答した人の割合は、男女ともに約4割となっている。

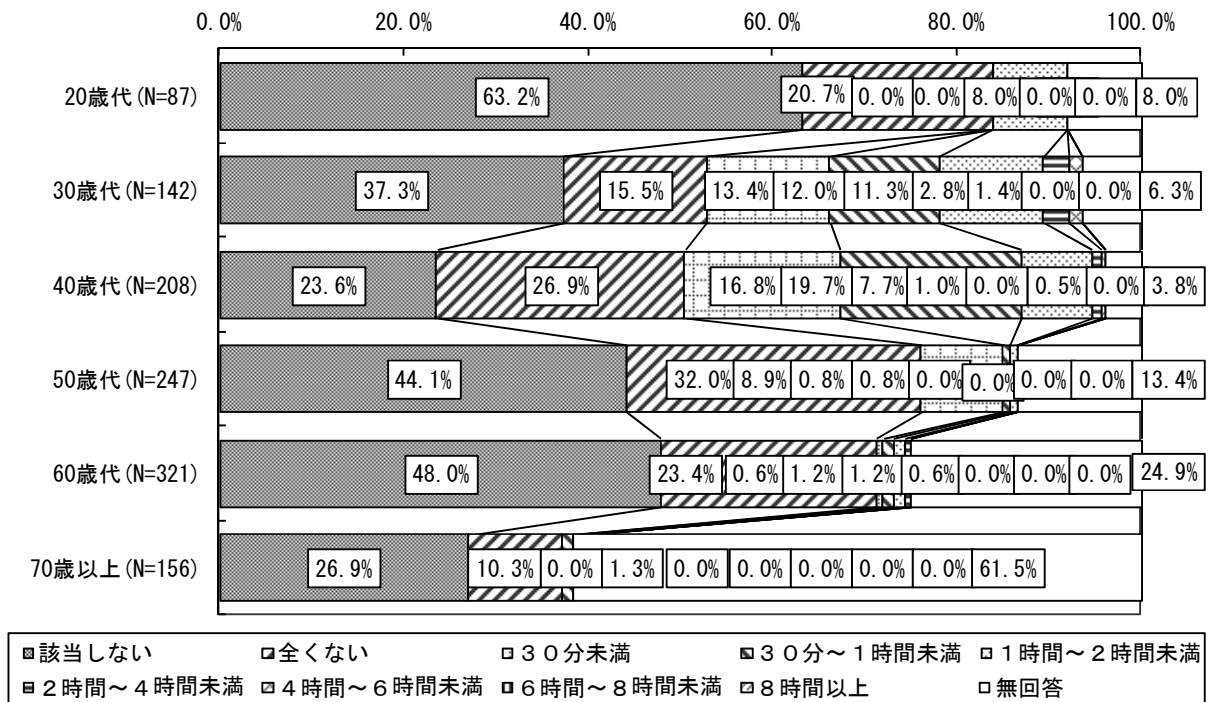
図表 1日に費やす時間「男性の平日の育児・子育て」



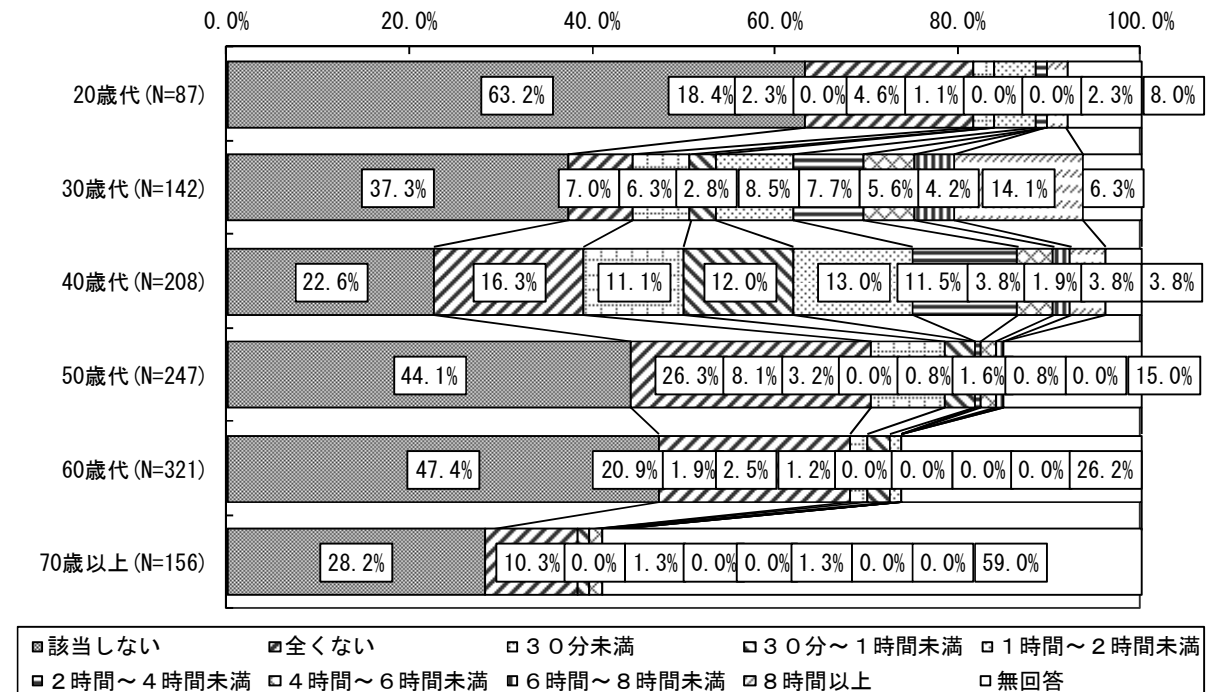
図表 1日に費やす時間「男性の休日の育児・子育て時間」



図表 1日に費やす時間「男性の平日の育児・子育て」／男性・年齢別



図表 1日に費やす時間「男性の休日の育児・子育て」／男性・年齢別

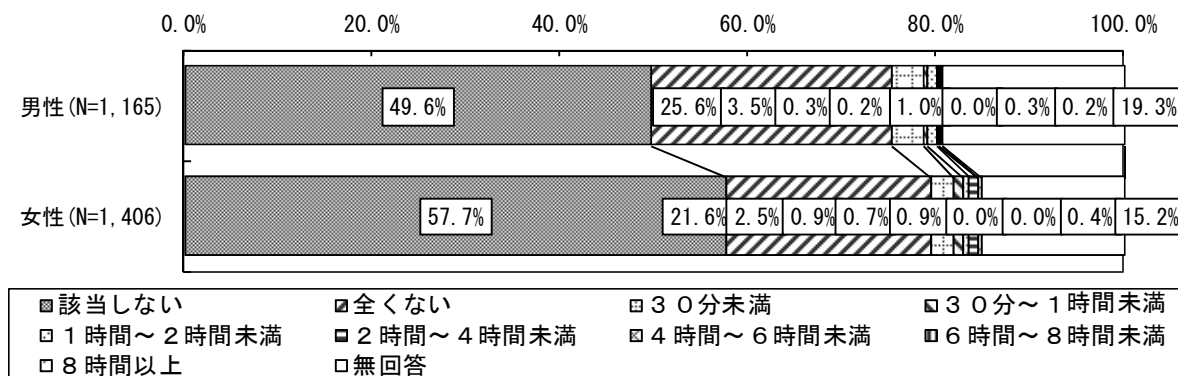


ウ. 介護

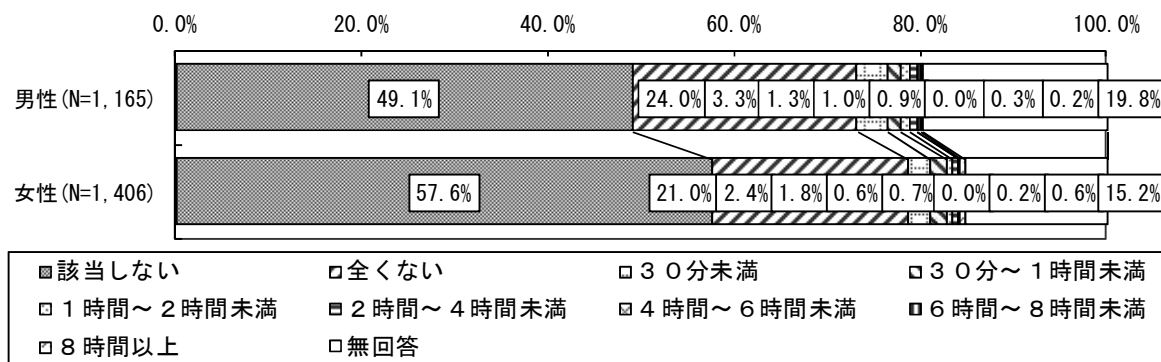
対象となる家族等がいる男性が介護に費やす時間をみると、「全くない」と回答した割合は、平日で25.6%、休日で24.0%と最も多くなっている。女性からみた場合も、配偶者(夫)が介護に費やす時間は、「全くない」と回答した割合が、平日で21.6%、休日で21.0%と最も多くなっている。

なお、現在、介護家庭に「該当しない」と回答した人の割合は、男性で約5割、女性で約6割となっている。

図表 1日に費やす時間「男性の平日の男性の介護」



図表 1日に費やす時間「男性の休日の介護」

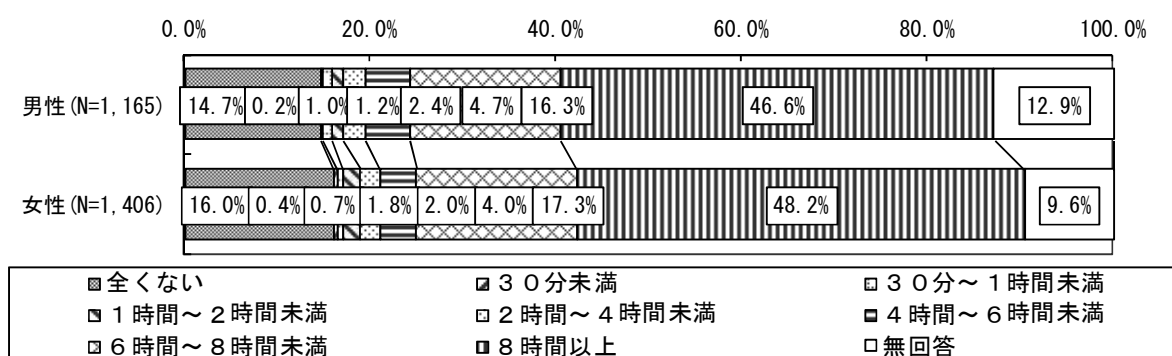


エ. 収入を得る仕事

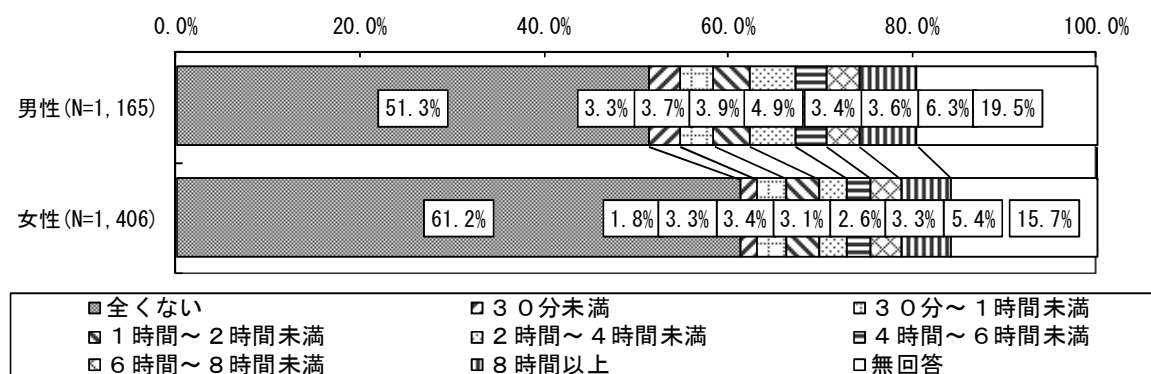
男性が収入を得る仕事に費やす時間について、平日の場合、男性が「8時間以上」と回答した割合は46.6%で最も多く、次いで「6時間～8時間未満」が16.3%となっている。休日の場合は、「全くない」が51.3%で最も多くなっている。

女性からみた場合も、配偶者（夫）が収入を得る仕事に費やす時間は、平日は「8時間以上」と回答した割合が48.2%で最も多く、休日では「全くない」が61.2%と最も多くなっている。

図表 1日に費やす時間「男性の平日の仕事時間」



図表 1日に費やす時間「男性の休日の仕事時間」



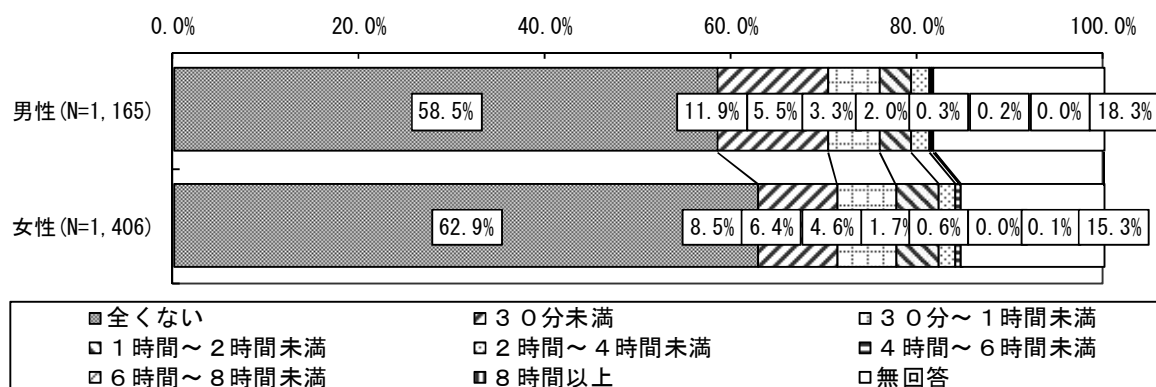
オ. 地域活動

男性が地域活動に費やす時間について、平日の場合、男性は「全くない」と回答した割合が58.5%で最も多く、次いで「30分未満」が11.9%となっている。休日の場合も「全くない」が43.5%で最も多く、次いで「30分未満」が12.5%となっている。

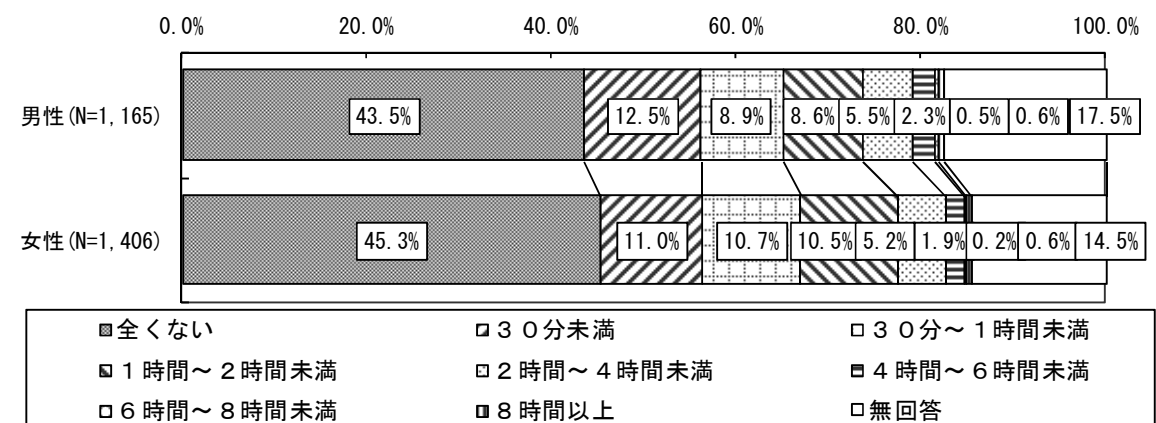
男性の地域別にみると、平日の地域活動の時間は、大津地域や湖東地域、湖西地域で、「全くない」が多くなっている。休日では、「全くない」と回答した割合が平日に比べて少ない傾向にあるが、中でも、東近江地域は平日47.4%に対して、休日では20.5%と大幅に少なくなっている。

女性からみた場合、配偶者（夫）が地域活動に費やす時間は、平日は「全くない」と回答した割合が62.9%で最も多く、次いで「30分未満」が8.5%となっている。休日も「全くない」が45.3%と最も多く、次いで「30分未満」が11.0%となっている。

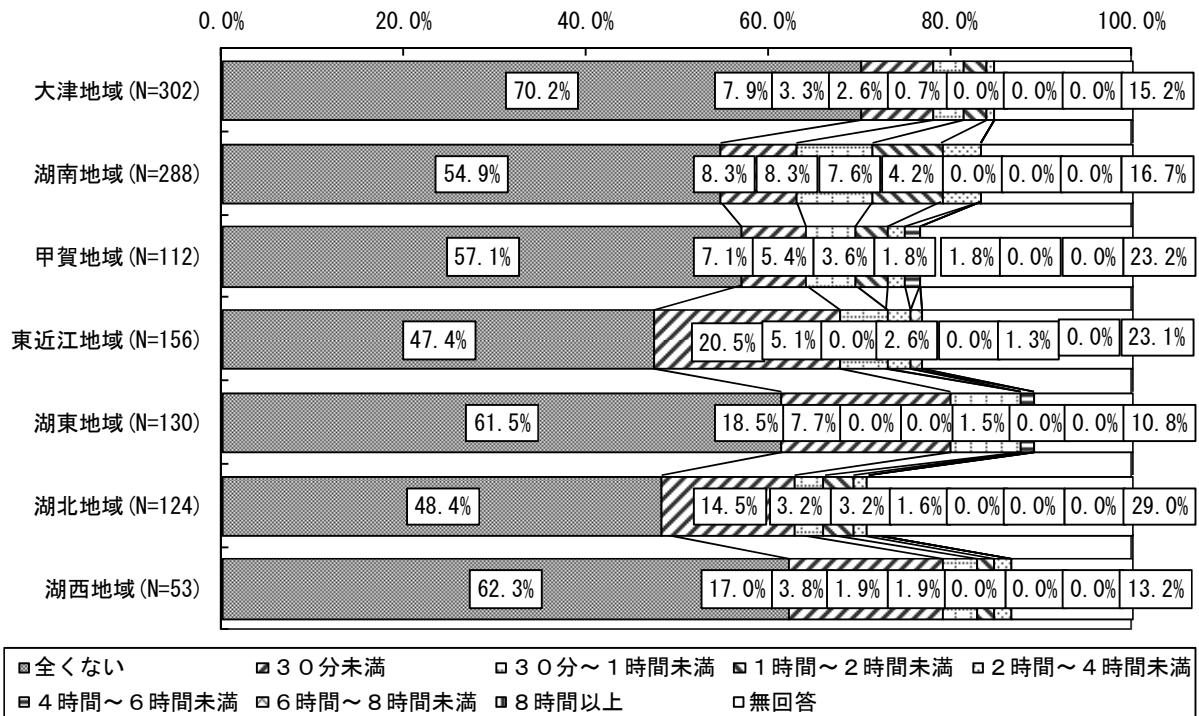
図表 1日に費やす時間「男性の平日の地域活動」



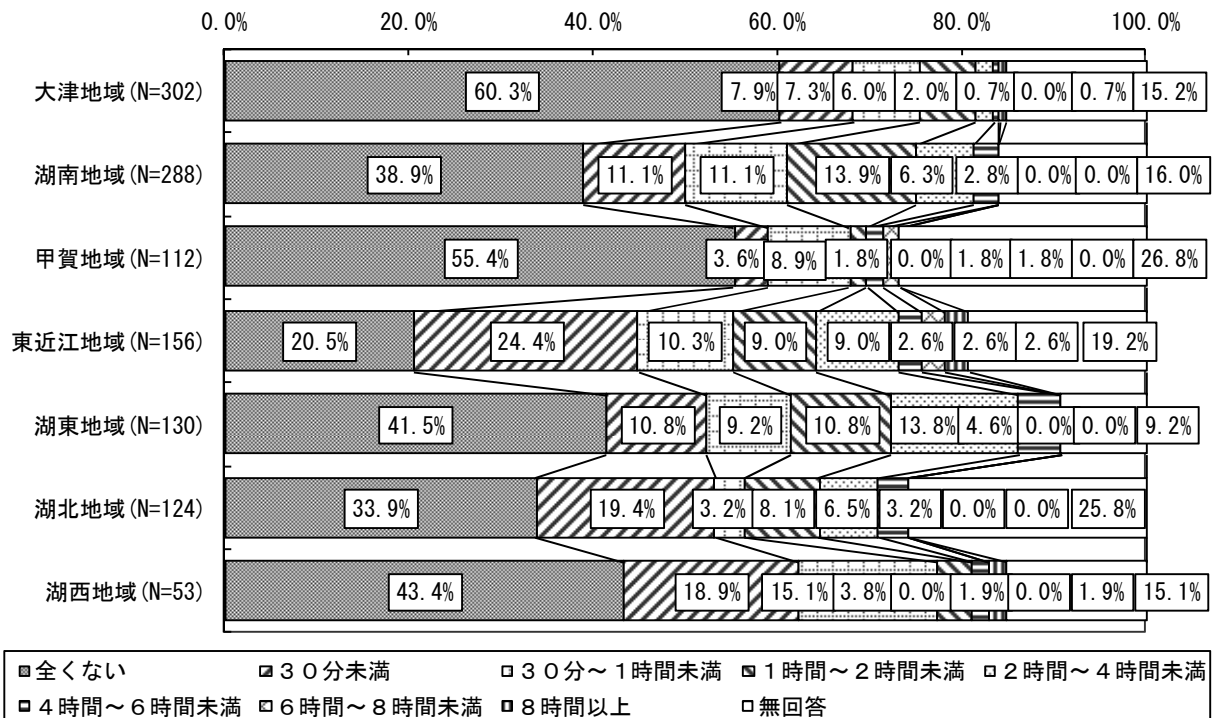
図表 1日に費やす時間「男性の休日の地域活動」



図表 1日に費やす時間「男性の平日の地域活動」／男性・地域別



図表 1日に費やす時間「男性の休日の地域活動」／男性・地域別



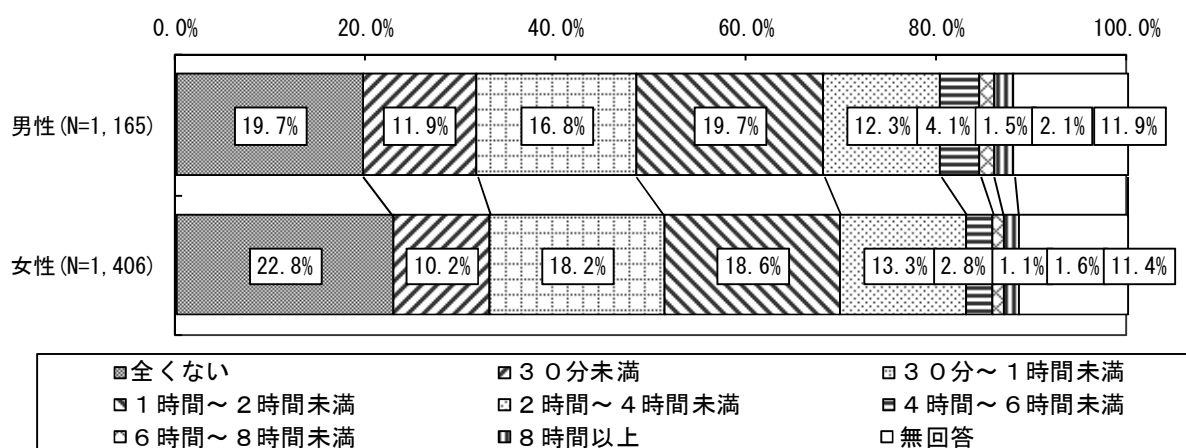
カ. 余暇や娯楽・趣味

男性が余暇や娯楽・趣味に費やす時間について、平日の場合、男性は「全くない」または「1時間～2時間未満」と回答した割合がいずれも19.7%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」(16.8%)となっている。休日の場合は、「2時間～4時間未満」が22.6%で最も多く、次いで「1時間～2時間未満」(16.1%)、「4時間～6時間未満」(12.7%)となっている。

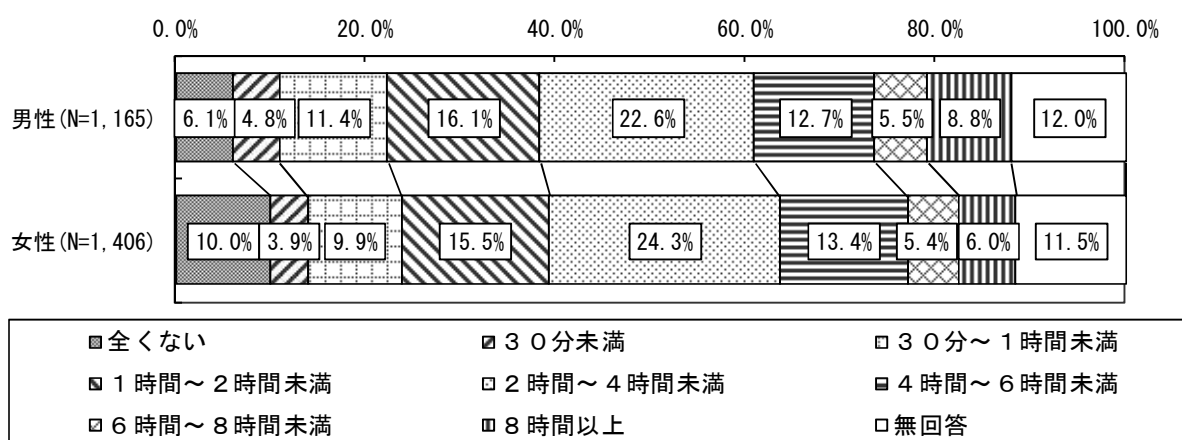
男性の年齢別にみると、平日の場合は、40歳代で「全くない」(31.3%)が他の年齢層よりも多くなっている。休日の場合は、平日に比べて、「全くない」がどの年齢層においても少なくなっている。

女性からみた場合、配偶者(夫)が余暇や娯楽・趣味に費やす時間について、平日は「全くない」が22.8%で最も多く、次いで「1時間～2時間未満」が18.6%、「30分～1時間未満」18.2%となっている。休日は「2時間～4時間未満」が24.3%で最も多く、次いで「1時間～2時間未満」が15.5%、「4時間～6時間未満」が13.4%となっている。

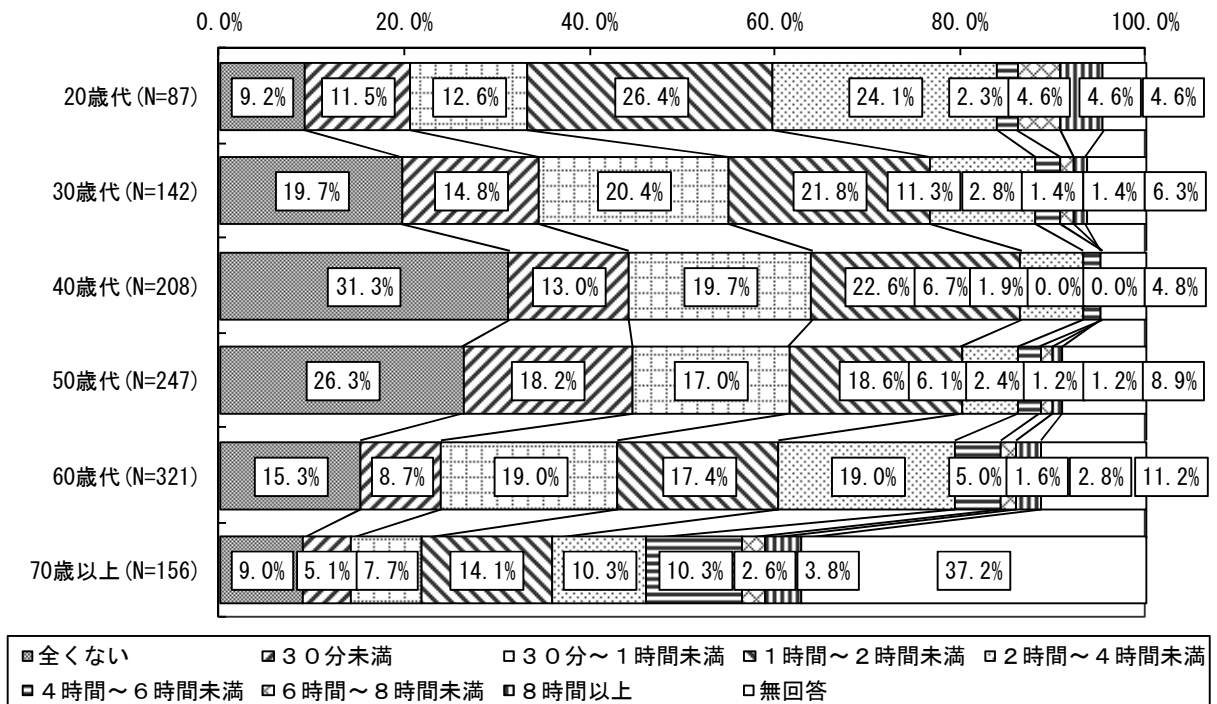
図表 1日に費やす時間「男性の平日の余暇や娯楽・趣味」



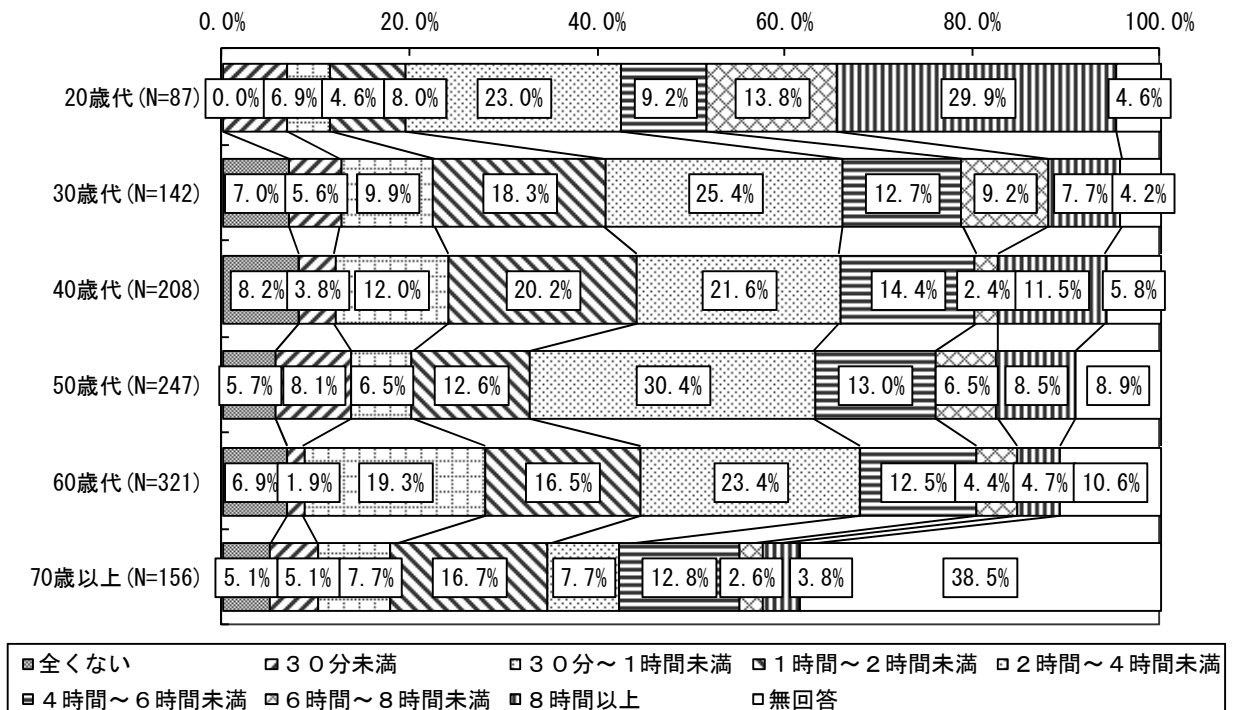
1日に費やす時間「男性の休日の余暇や娯楽・趣味」



図表 1日に費やす時間「男性の平日の余暇や娯楽・趣味」／男性・年齢別



図表 1日に費やす時間「男性の休日の余暇や娯楽・趣味」／男性・年齢別



(2) 理想の時間より短いと思う活動

【男性票の設問】

問14 問13で回答された生活時間について、理想の時間より短いと思うのは次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

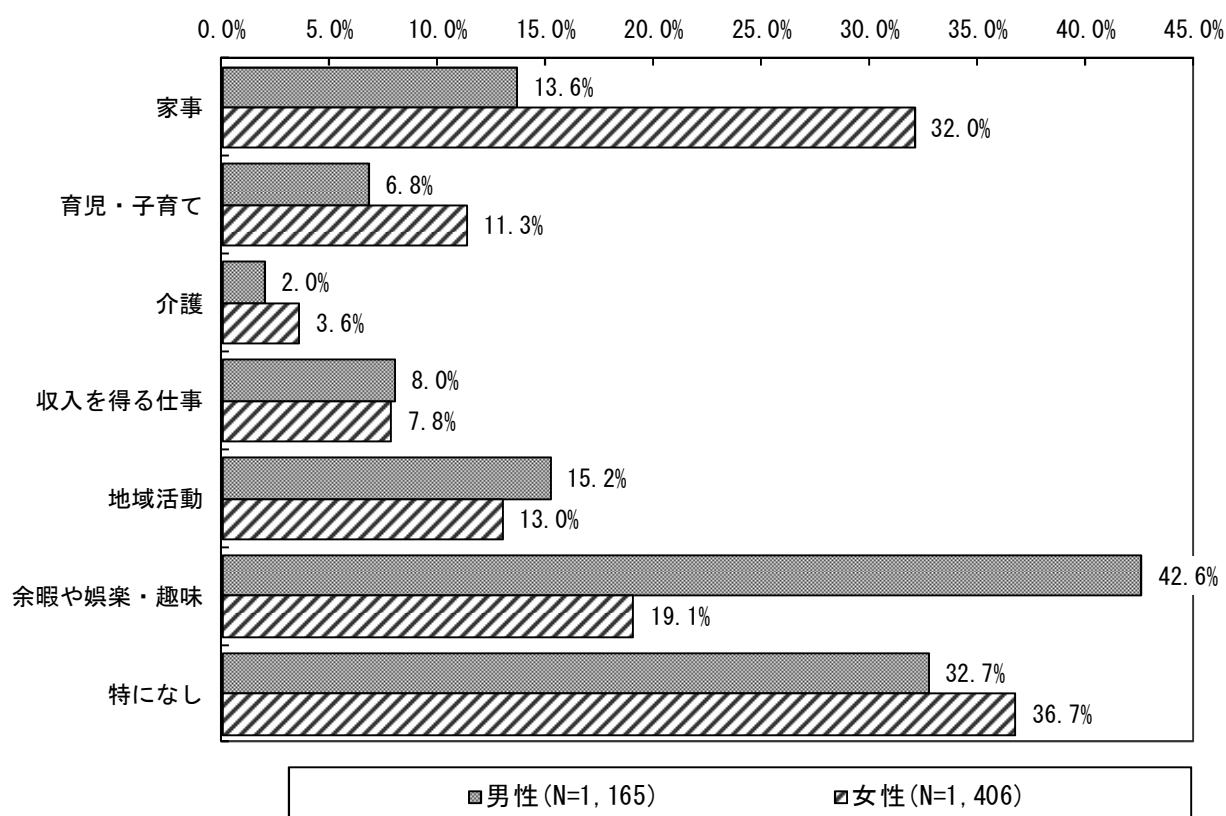
【女性票の設問】

問14 問13で回答されたあなたの配偶者の生活時間について、理想の時間より短いと思うのは次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

※女性の回答は配偶者の生活時間

男性が各活動に費やす時間について、理想の時間より短いと思う活動をみると、男性は「余暇や娯楽・趣味」と回答した割合が42.6%と最も多くなっている。一方、女性からみた配偶者(夫)について、理想の時間より短いと思う活動は、「家事」と回答した割合が32.0%と最も多くなっており、理想の時間より短いと思う活動について、「余暇や娯楽・趣味」「家事」に関する男女の差が大きい。

図表 理想の時間より短いと思う活動



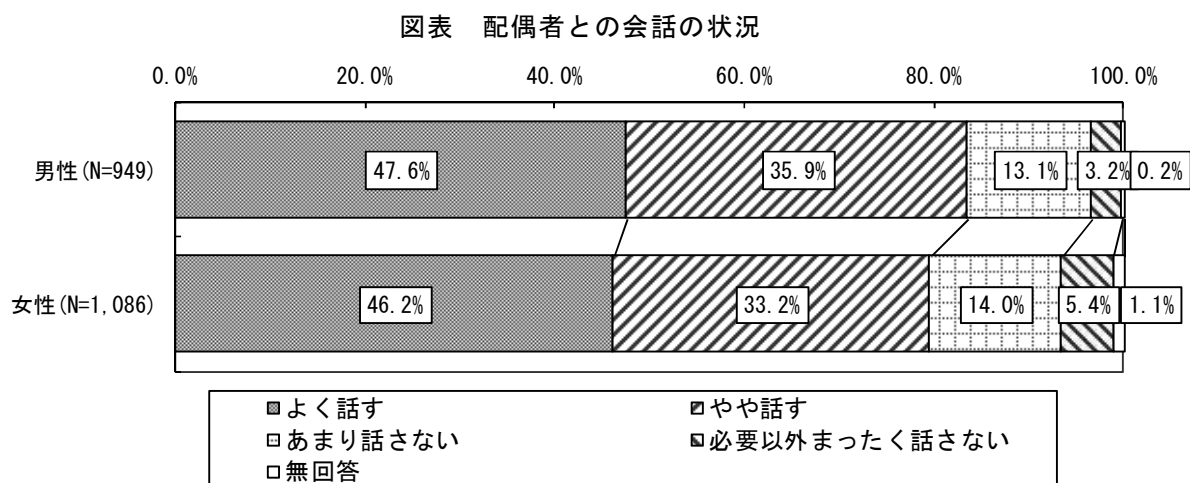
(3) 配偶者との会話の状況

【男女共通設問】

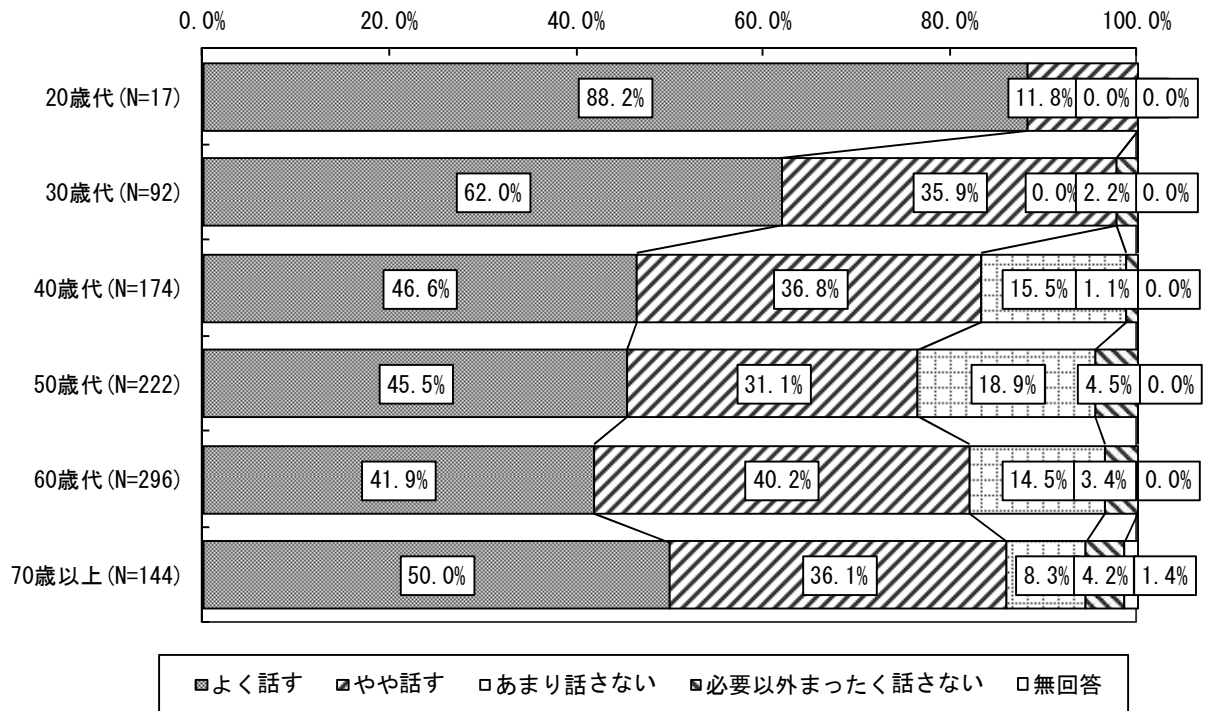
問15 問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお伺いします。
 配偶者とは、よく話をしますか。(〇は1つだけ)

配偶者との会話の状況について、「よく話す」と回答した割合が男性 47.6%、女性 46.2%で、男女ともに最も多くなっている。

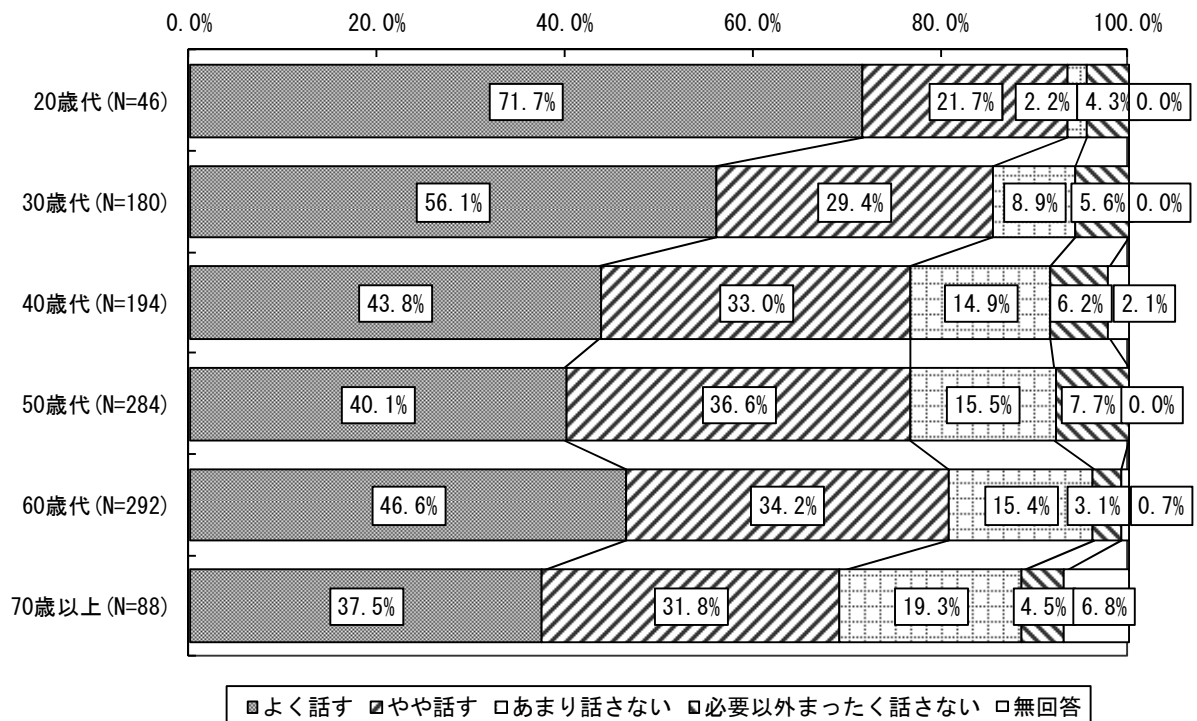
年齢別にみると、「あまり話さない」と「必要以外まったく話さない」を合わせた割合は、男性では50歳代の23.4%が最も多く、女性では70歳以上23.8%、50歳代23.2%の順に多くなっている。



図表 配偶者との会話の状況／男性・年齢別



図表 配偶者との会話の状況／女性・年齢別



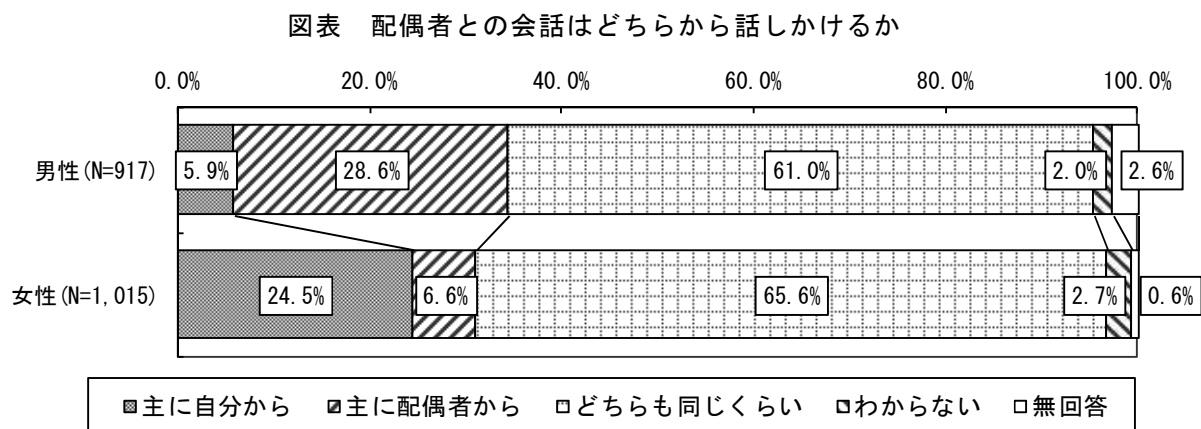
(4) 配偶者との会話はどちらから話しかけるか

【男女共通設問】

問16 問15で選択肢「1」～「3」のいずれか（配偶者と話をする）とお答えの方にお伺いします。

配偶者との会話は、どちらから話しかけますか。（○は1つだけ）

配偶者との会話はどちらから話しかけるかについて、「どちらも同じくらい」と回答した割合が、男性61.0%、女性65.6%と最も多くなっている。「主に配偶者から」と回答した割合は男性28.6%、女性6.6%となっている。



(5) 家計の管理者

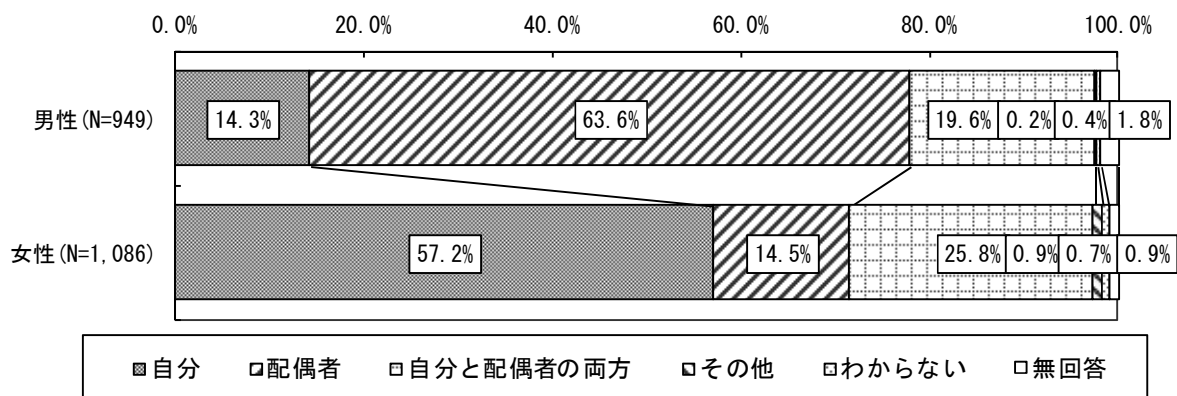
【男女共通設問】

問17 問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお伺いします。
家計の管理は誰がしていますか。(〇は1つだけ)

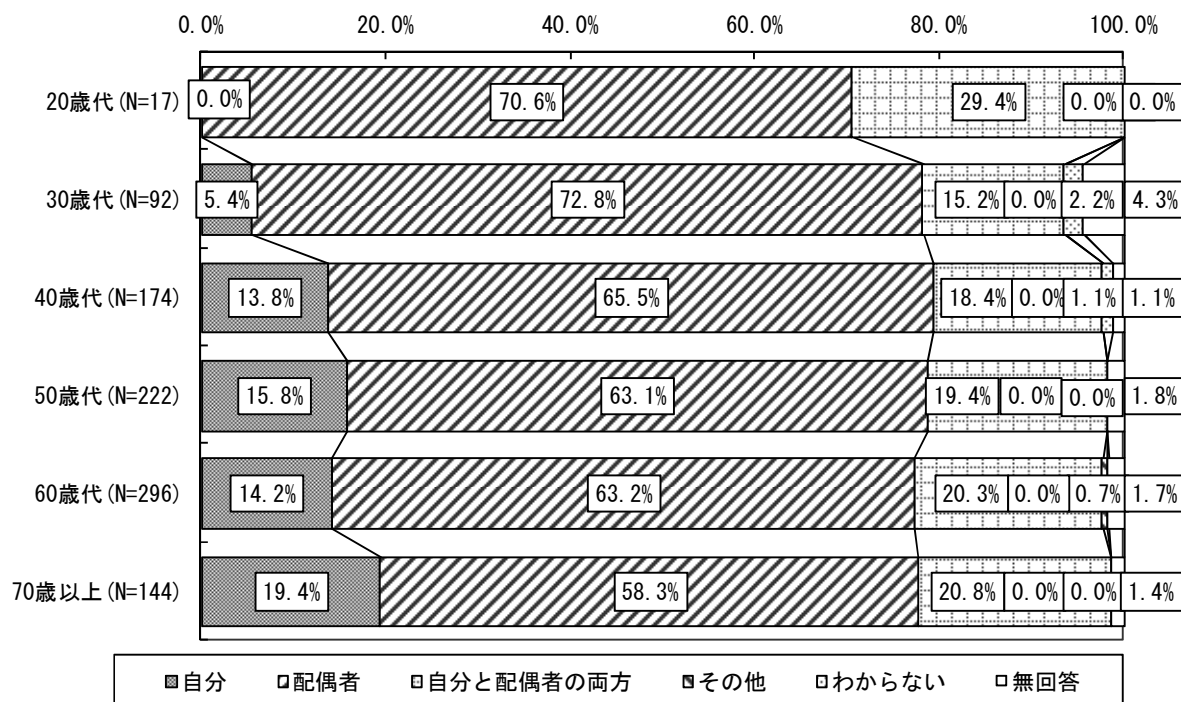
男性では「配偶者」と回答した割合が63.6%と最も多く、女性では「自分」と回答した割合が57.2%と最も多くなっている。

年齢別にみると、20歳代は、男女ともに「自分と配偶者の両方」と回答した割合が他の年齢層に比べて多くなっている。男性はどの世代でも「配偶者」が最も多く、女性は30歳代より高い年齢層では「自分」が最も多くなっている。

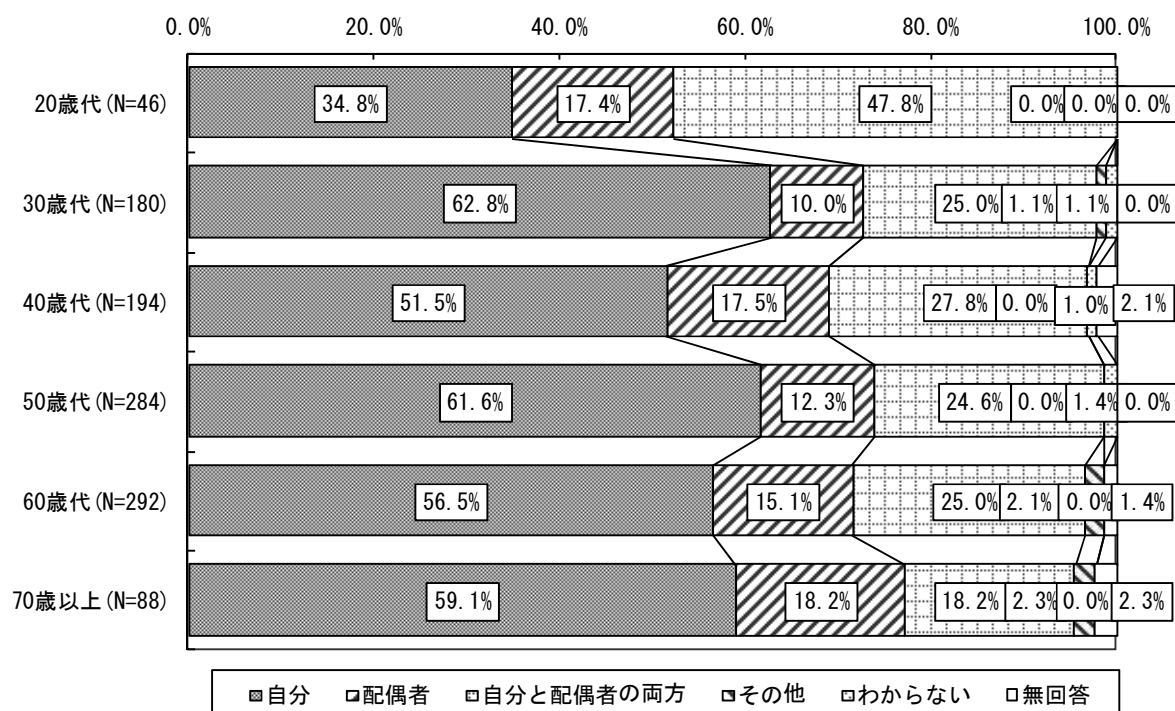
図表 家計の管理者



図表 家計の管理者／男性・年齢別



図表 家計の管理者／女性・年齢別



(6) 家事をする理由 (男性)

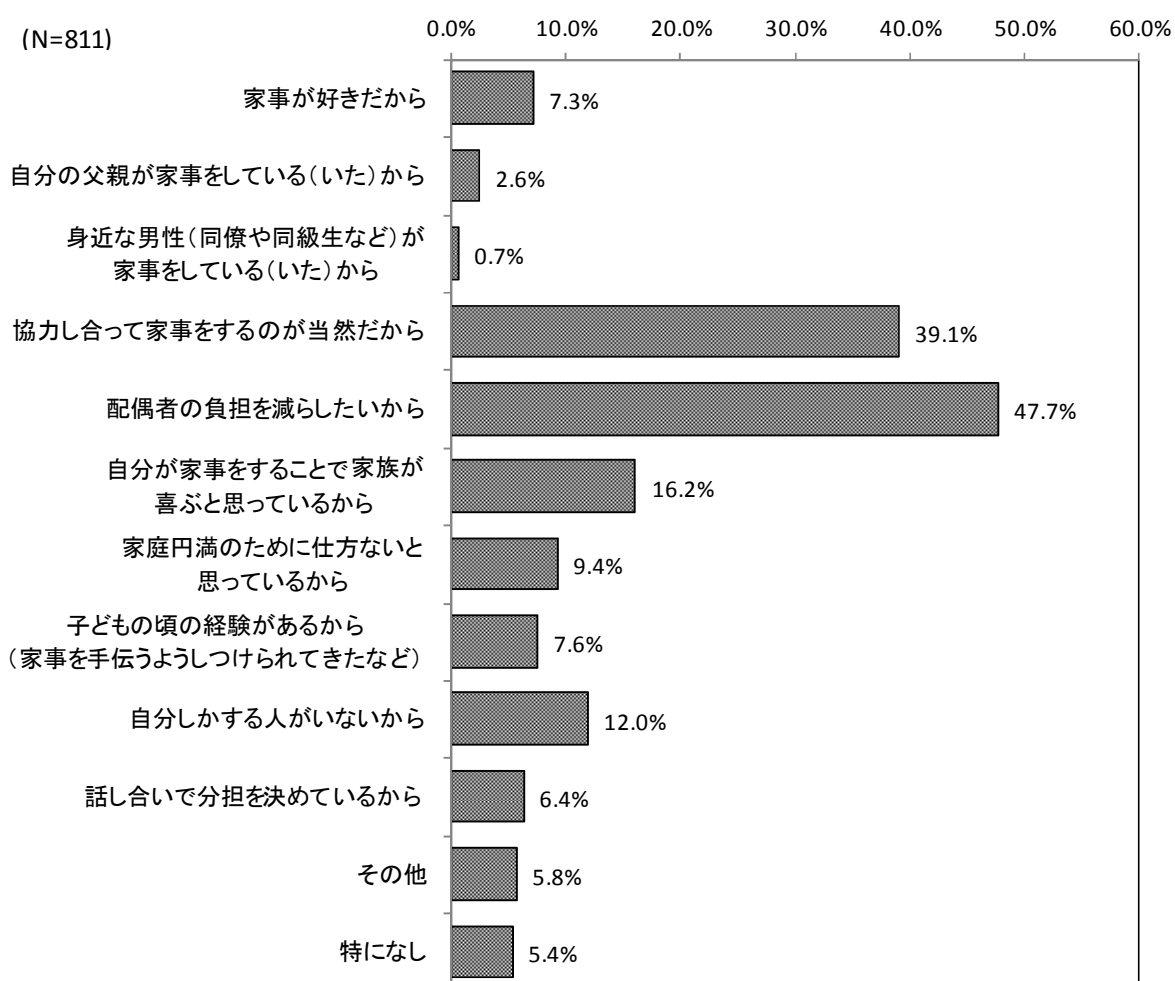
【男性票独自設問】

問18 問13「ア. 家事」に費やす時間について、選択肢「3」～「9」のいずれか（家事を行う）とお答えの方にお聞きします。

あなたが家事をする理由は、次のどれにあたりますか。（○は3つまで）

男性が家事をする理由について、「配偶者の負担を減らしたいから」と回答した割合が47.7%と最も多く、次いで「協力し合って家事をするのが当然だから」(39.1%)、「自分が家事をすることで家族が喜ぶと思っているから」(16.2%)となっている。「自分の父親が家事をしている(いた)から」は2.6%、「身近な男性(同僚や同級生など)が家事をしている(いた)から」は0.7%と低い割合になっている。

図表 家事をする理由／男性



(7) 家事をしない理由（男性）

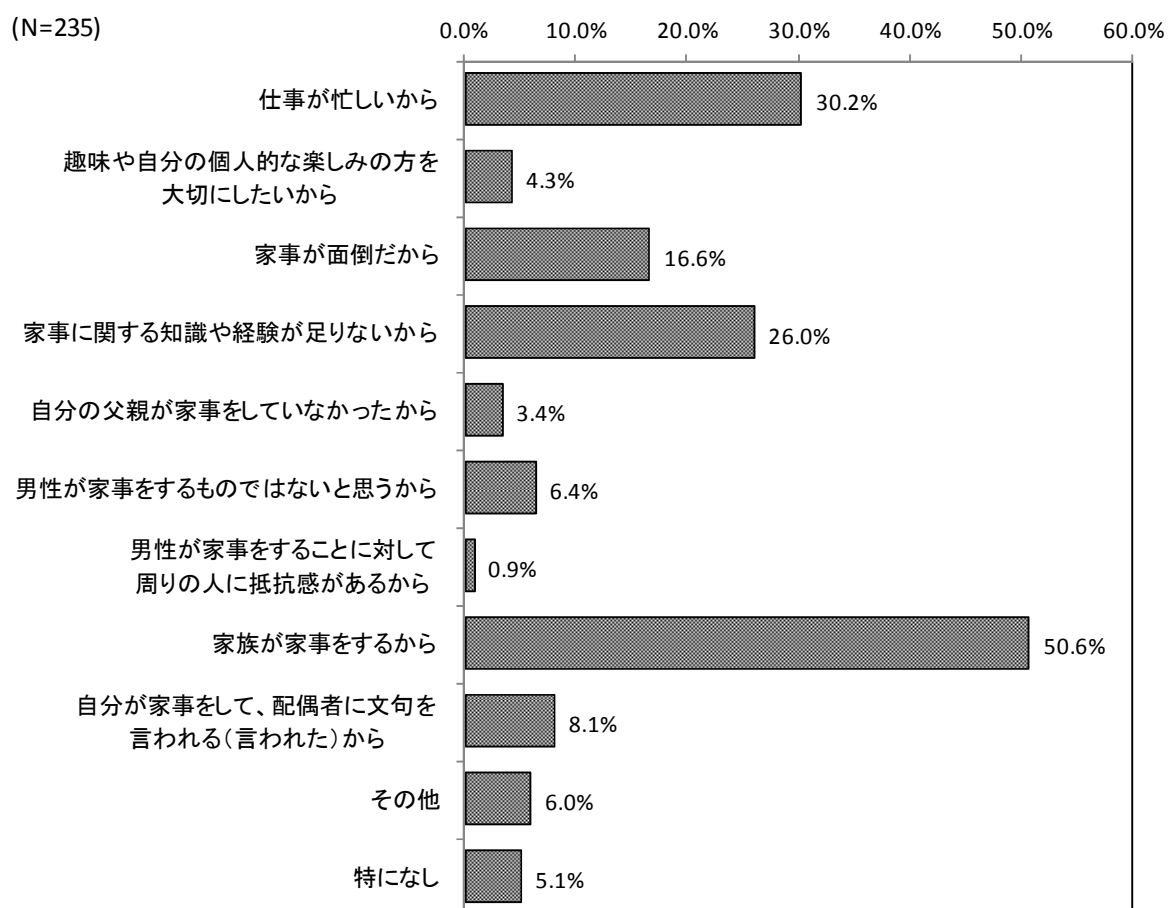
【男性票独自設問】

問19 問13「ア. 家事」に費やす時間について、選択肢「2 全くない」とお答えの方にお聞きします。

あなたが家事をしていない理由は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

男性が家事をしない理由について、「家族が家事をするから」と回答した割合が50.6%と最も多く、次いで「仕事が忙しいから」（32.0%）、「家事に関する知識や経験が足りないから」（26.0%）となっている。

図表 家事をしない理由／男性



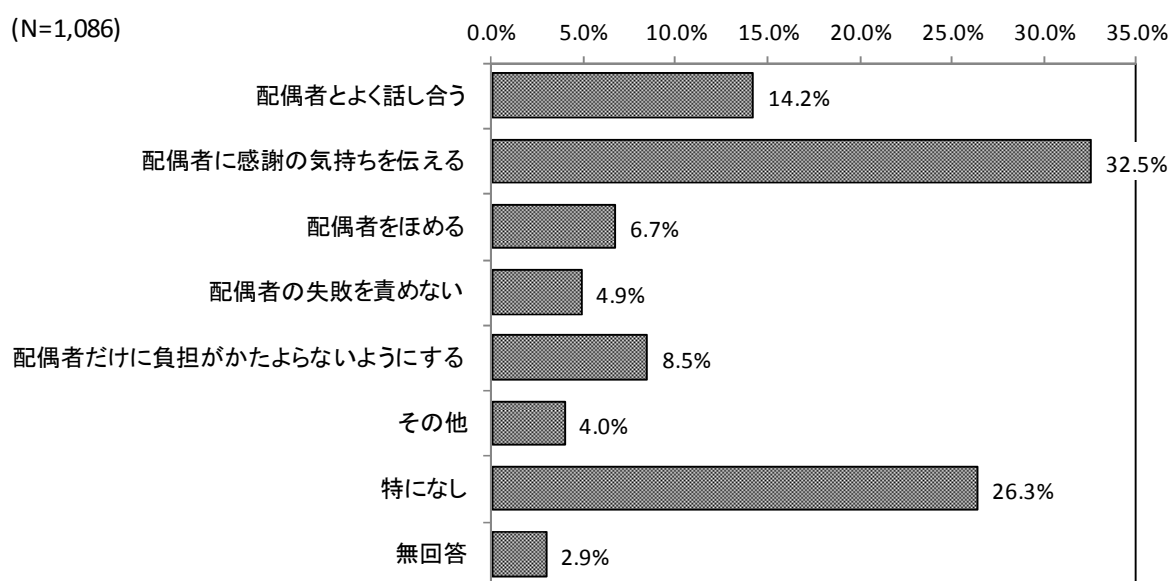
(8) 配偶者（夫）が家事をするために気をつけていること（女性）

【女性票独自設問】

問18 配偶者が積極的に家事をするために、あなたが最も気をつけていることは、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

配偶者（夫）が積極的に家事をするために気をつけていることについて、「配偶者に感謝の気持ちを伝える」が32.5%と最も多く、次いで「特になし」（26.3%）、「配偶者とよく話し合う」（14.2%）となっている。

図表 配偶者（夫）が家事をするために気をつけていること／女性



3 「子育て」について

(1) 男性の子育ての状況

【男性票の設問】

問20 問6で選択肢「1」～「5」のいずれか（子どもがいる）とお答えの方にお聞きします。あなたは、子育てをしていますか（していましたか）。（○は1つだけ）

【女性票の設問】

問19 あなたの配偶者は、子育てをしていますか（していましたか）。（○は1つだけ）

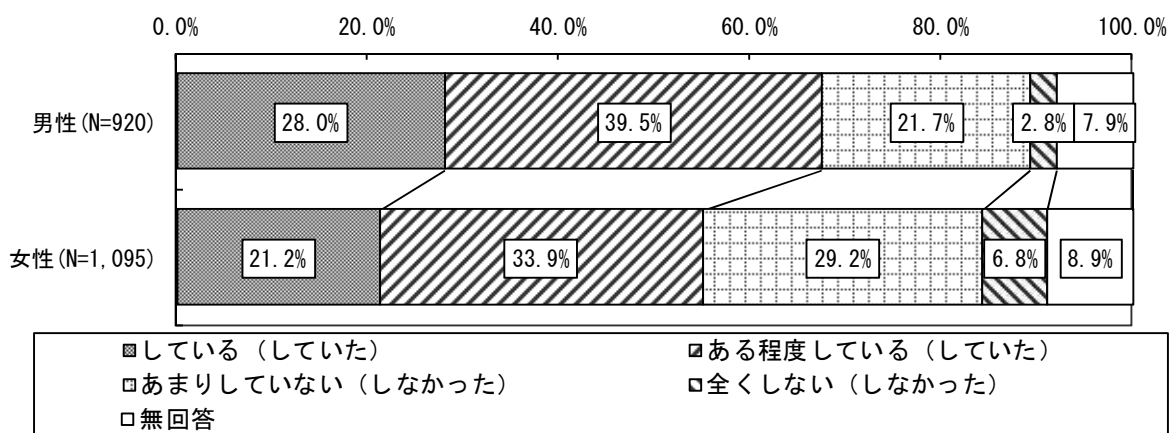
※女性の回答は配偶者の子育ての状況

男性の子育ての状況について、男性は「ある程度している（していた）」と回答した割合が39.5%と最も多く、次いで、「している（していた）」が28.0%となっている。

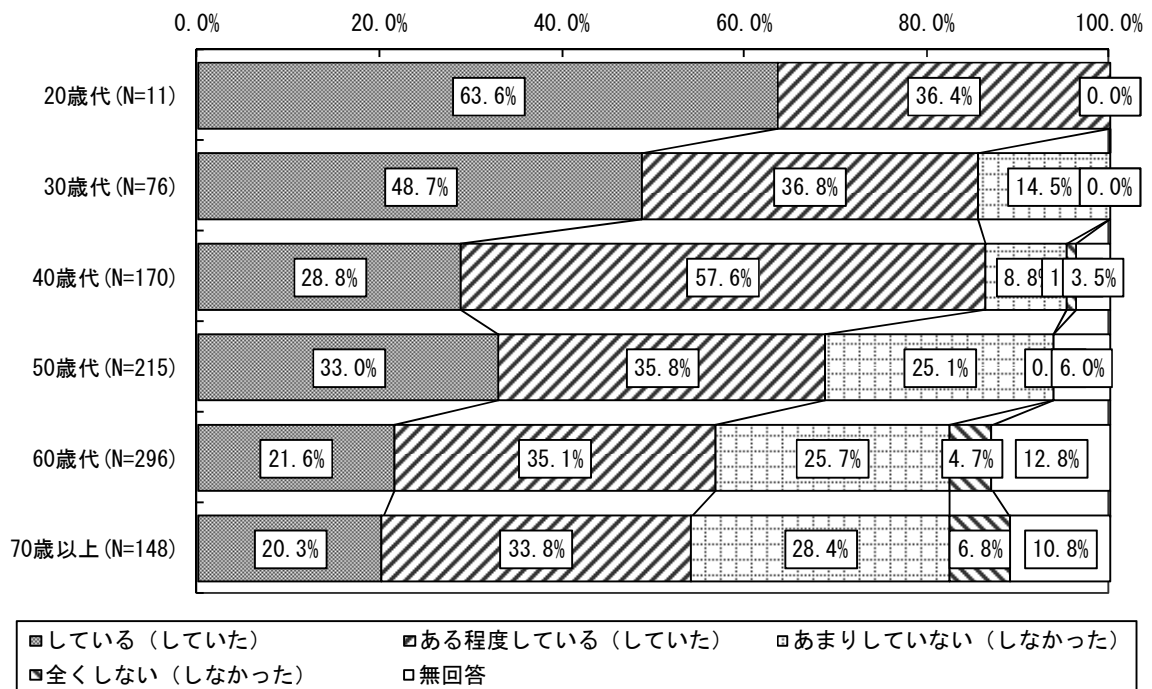
年齢別にみると、若い年齢層ほど「している（していた）」が多くなっている。

女性から見た場合、配偶者（夫）の子育ての状況は、「ある程度している（していた）」が33.9%と最も多く、次いで「あまりしていない（しなかった）」が29.2%となっており、男性と同様に若い年齢層ほど「している（していた）」が多くなっている。

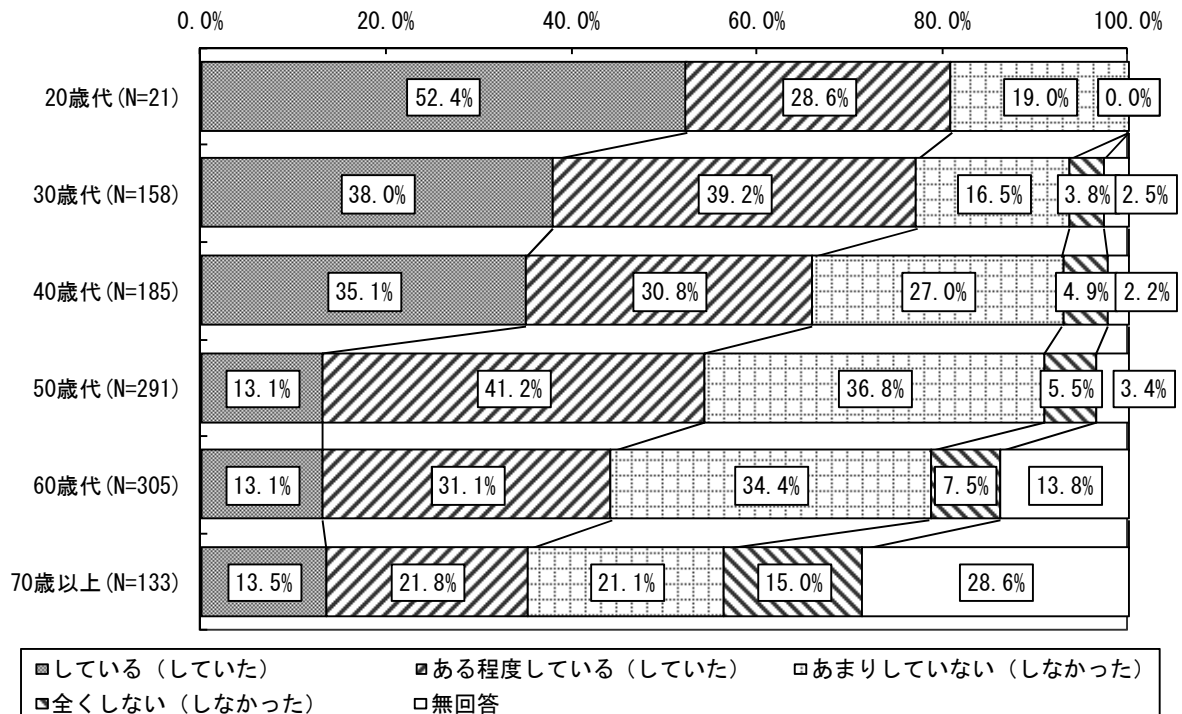
図表 男性の子育ての状況



図表 男性の子育ての状況／男性・年齢別



図表 男性の子育ての状況／女性・年齢別



(2) 子育てをする理由（男性）

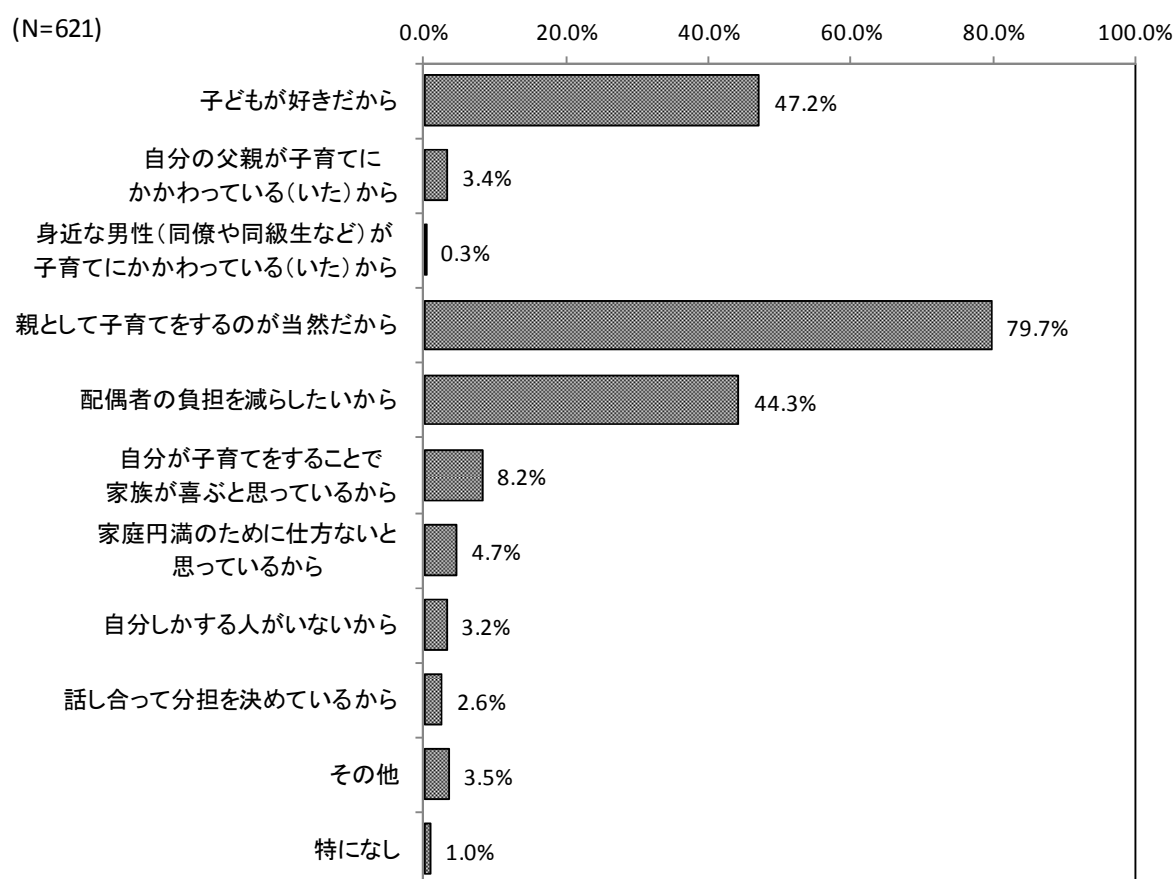
【男性票独自設問】

問21 問20で選択肢「1」または「2」とお答えの方にお聞きします。

あなたが子育てをする理由やきっかけは、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

男性が子育てをする理由について、「親として子育てをするのが当然だから」と回答した割合が79.7%と最も多く、次いで「子どもが好きだから」（47.2%）、「配偶者の負担を減らしたいから」（44.3%）となっている。

図表 子育てをする理由／男性



(3) 子育てをしない理由（男性）

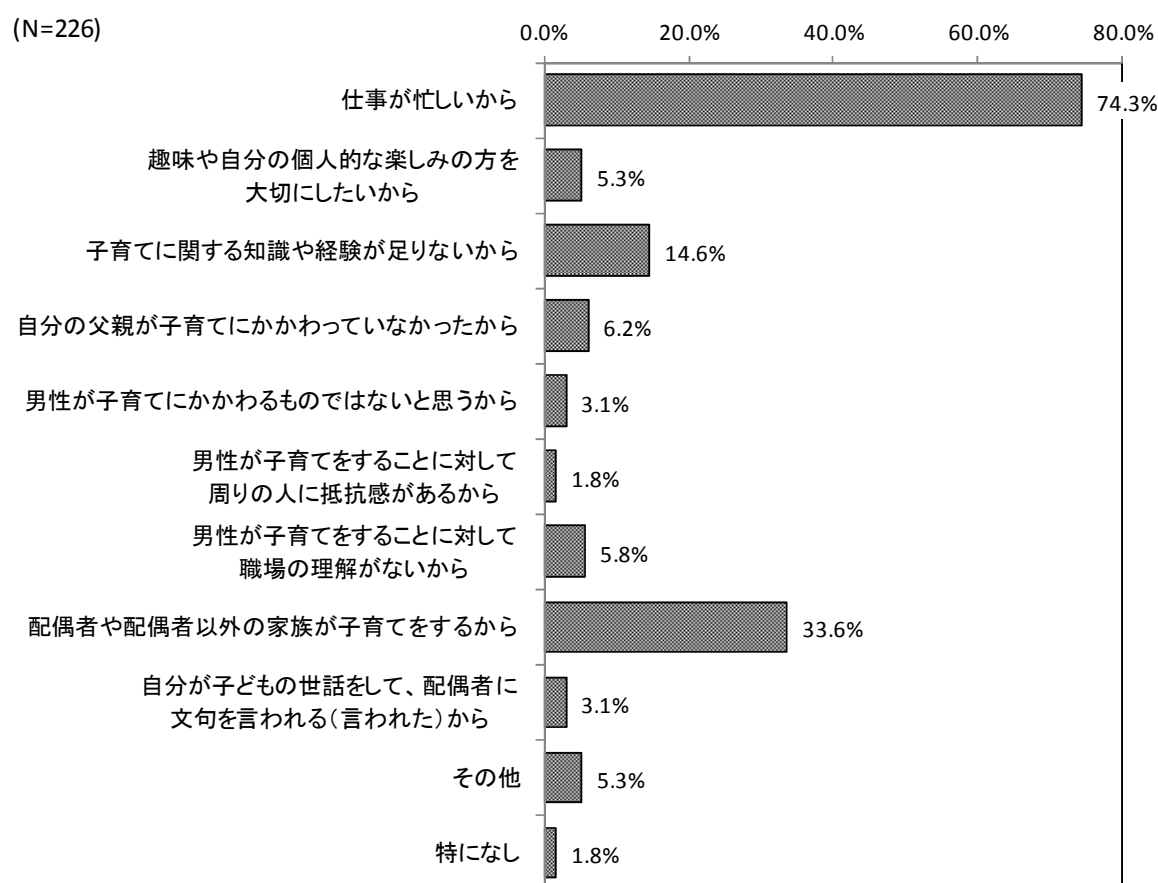
【男性票独自設問】

問22 問20で選択肢「3」または「4」とお答えの方にお聞きします。

あなたが、子育てをしていない（しなかった）理由は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

男性が子育てをしない理由について、「仕事が忙しいから」と回答した割合が74.3%と最も多く、次いで「配偶者や配偶者以外の家族が子育てをするから」（33.6%）、「子育てに関する知識や経験が足りないから」（14.6%）となっている。

図表 子育てをしない理由／男性



(4) 育児休業の取得の有無（男性）

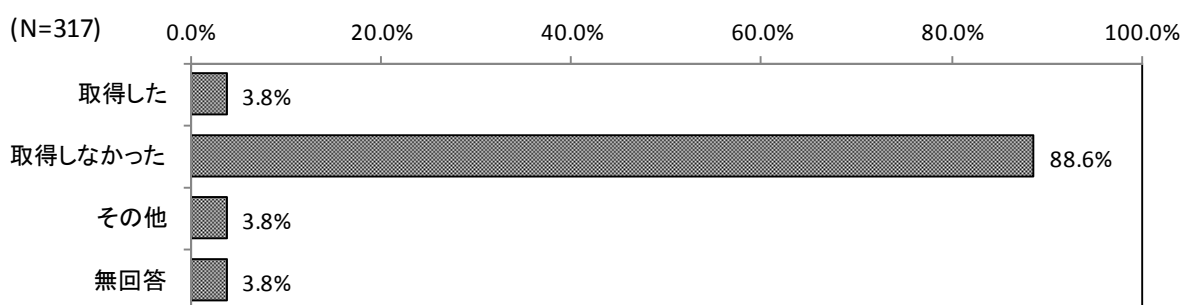
【男性票独自設問】

問23 問7で選択肢「1」～「6」のいずれか（子どもが高校生以下の年齢）とお答えの方にお聞きします。

あなたは、子どもが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。（○は1つだけ）

男性の育児休業の取得の有無について、「取得しなかった」は88.6%、「取得した」は3.8%となっている。

図表 育児休業の取得の有無／男性



(5) 育児休業取得の理由（男性）

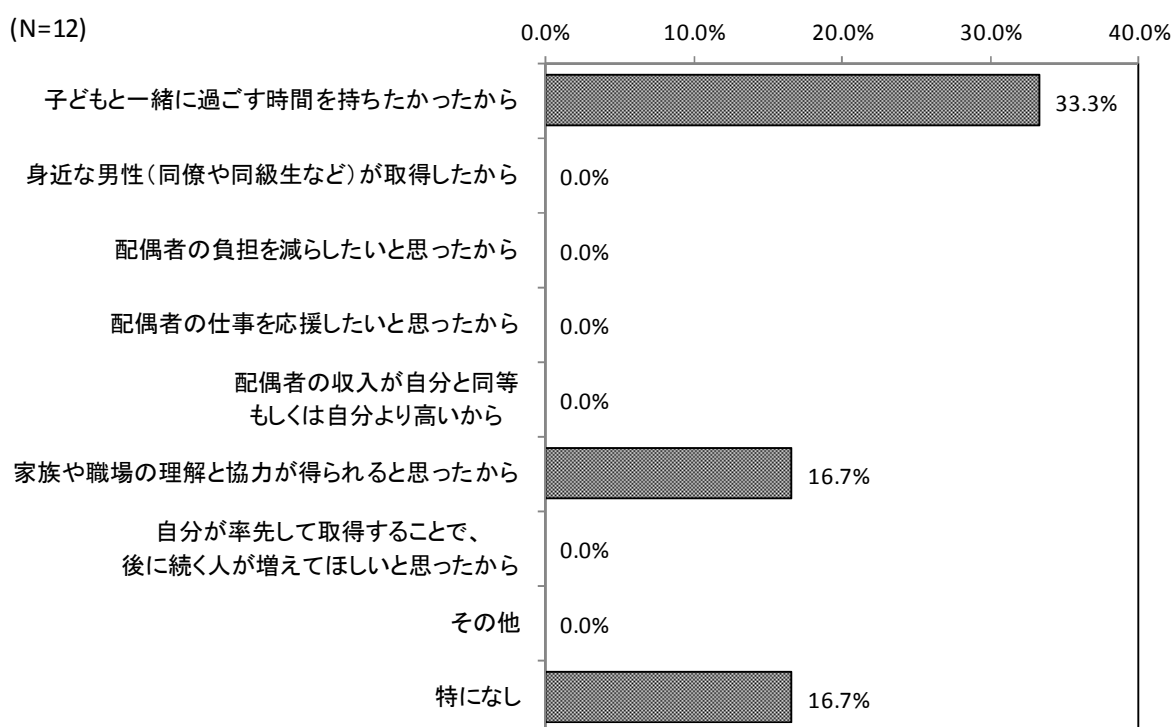
【男性票独自設問】

問24 問23で選択肢「1 取得した」とお答えの方にお聞きします。

あなたが育児休業を取得した理由は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

男性が育児休業を取得した理由について、「子どもと一緒に過ごす時間を持ちたかったから」が33.3%と最も多く、次いで「家族や職場の理解と協力が得られると思ったから」（16.7%）、「特になし」（16.7%）となっている。

図表 育児休業取得の理由／男性



(6) 育児休業を取得しなかった理由（男性）

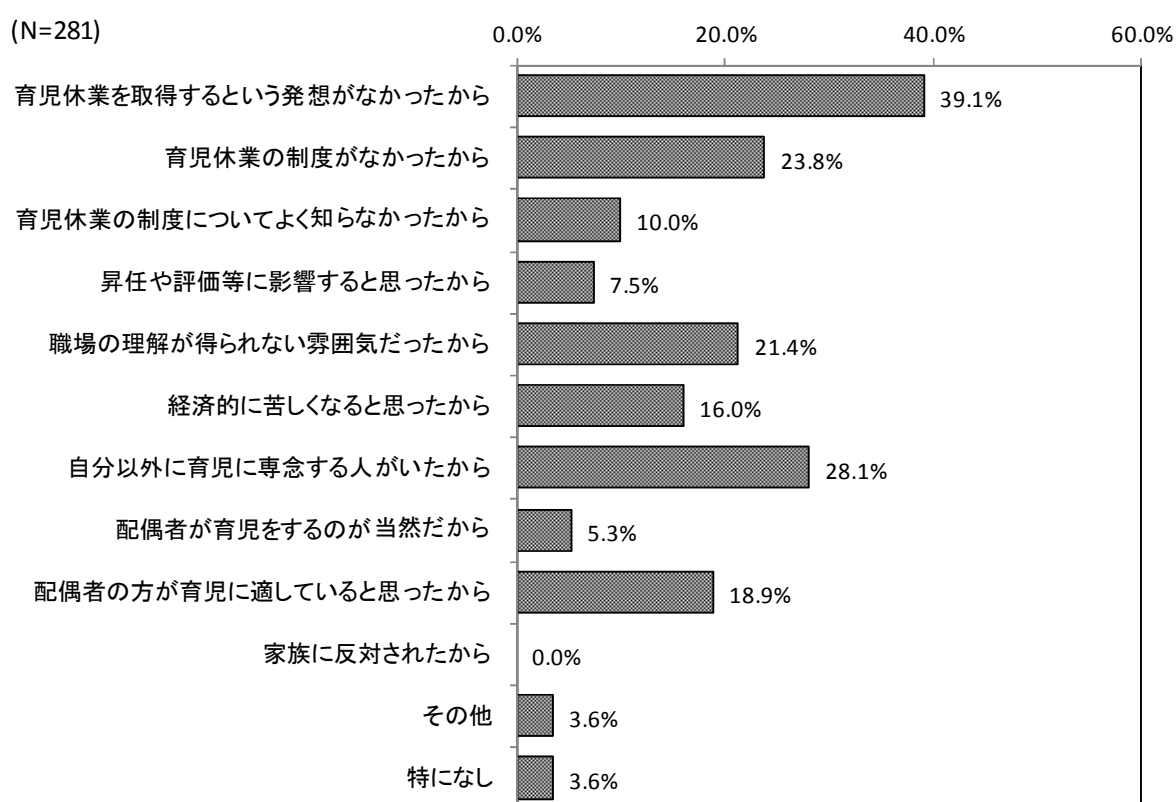
【男性票独自設問】

問25 問23で選択肢「2 取得しなかった」とお答えの方にお聞きします。

あなたが育児休業を取得しなかった理由は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

男性が育児休業を取得しなかった理由について、「育児休業を取得するという発想がなかったから」と回答した割合が39.1%と最も多く、次いで「自分以外に育児に専念する人がいたから」（28.1%）、「育児休業の制度がなかったから」（23.8%）となっている。

図表 育児休業を取得しなかった理由／男性



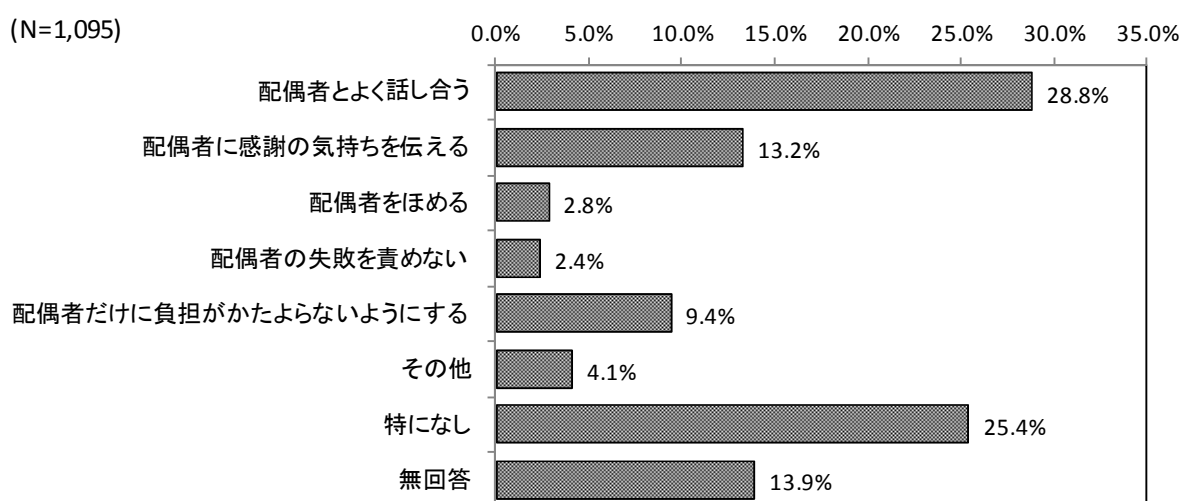
(7) 配偶者（夫）が子育てをするために気をつけていること（女性）

【女性票独自設問】

問20 配偶者が積極的に子育てをするために、あなたが最も気をつけていることは、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

配偶者（夫）が積極的に子育てをするために気をつけていることについて、「配偶者とよく話し合う」と回答した割合が28.8%と最も多く、次いで、「特になし」（25.4%）、「配偶者に感謝の気持ちを伝える」（13.2%）となっている。

図表 配偶者（夫）が子育てをするために気をつけていること／女性



4 「介護」について

(1) 家族の介護が必要な場合にするか（男性）

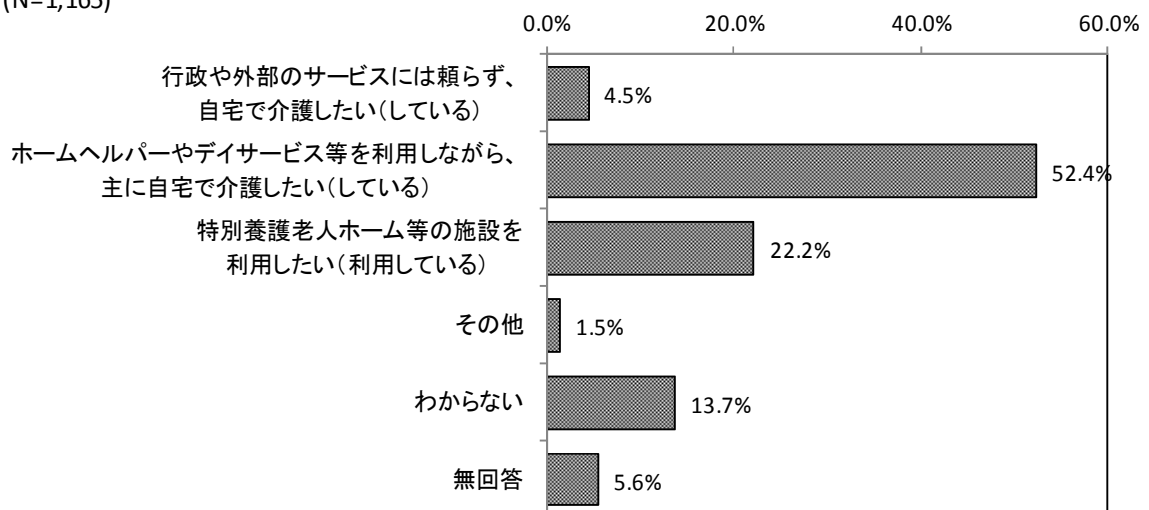
【男性票独自設問】

問26 あなたは、自分の家族の中に介護を必要とする人がいる場合、または、もし家族が介護を必要とする状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。
(〇は1つだけ)

家族に介護を必要とする人がいる場合にするかについて、「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら、主に自宅で介護したい(している)」が52.4%と最も多くなっている。次いで「特別養護老人ホーム等の施設を利用したい(利用している)」(22.2%)、「わからない」(13.7%)となっている。

図表 家族の介護が必要な場合にするか／男性

(N=1,165)



(2) 自宅介護の場合の主な介護者（男性）

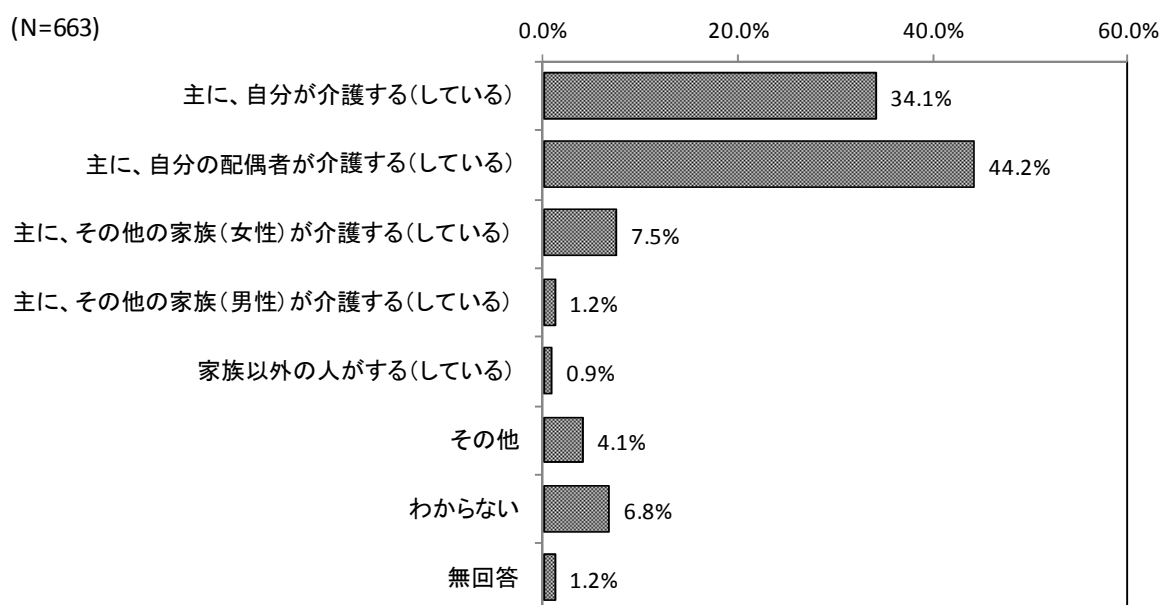
【男性票独自設問】

問27 問26で選択肢「1」または「2」とお答えの方にお聞きします。

自宅で介護をする場合、主に誰が介護することになるとお考えですか。（○は1つだけ）

自宅で介護をする場合の主な介護者について、「主に、自分の配偶者が介護する（している）」が44.2%と最も多くなっている。次いで「主に、自分が介護する（している）」(34.1%)、「主に、その他の家族（女性）が介護する（している）」(7.5%)となっている。

図表 自宅介護の場合の主な介護者／男性



(3) 介護を必要とする家族の有無（男性）

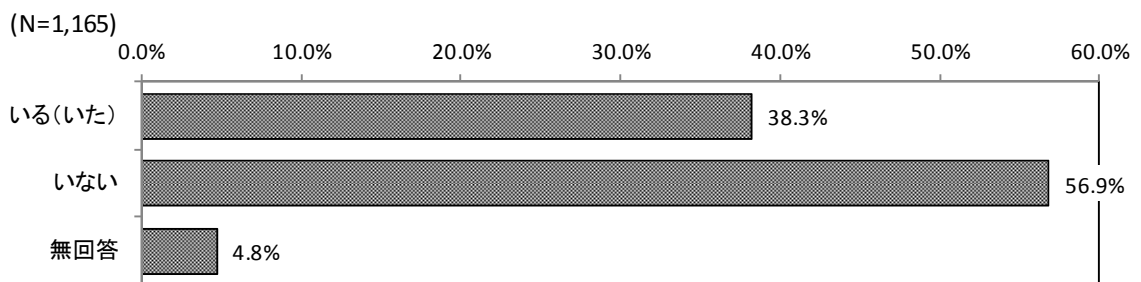
【男性票独自設問】

問28 あなたは、介護を必要とする家族（同居していない場合も含む）がいますか（いましたか）。（○は1つだけ）

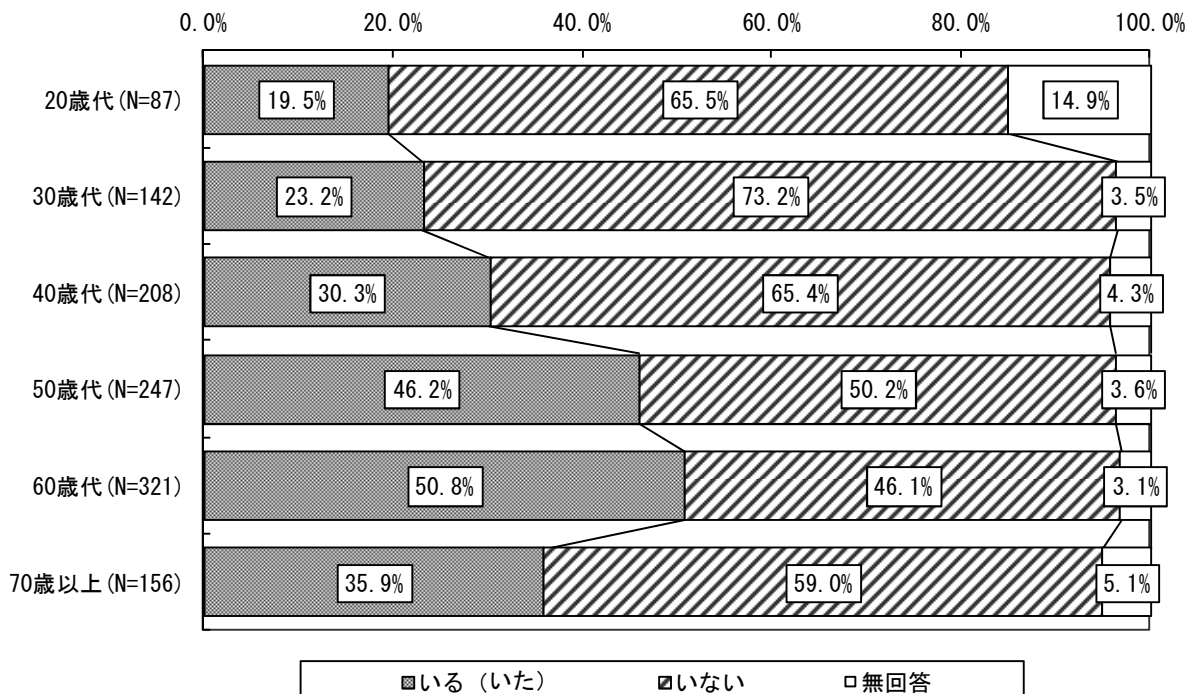
介護を必要とする家族の有無について、「いる（いた）」と回答した割合が 38.3%、「いない」と回答した割合が 56.9%となっている。

年齢別にみると、50歳代や60歳代で「いる（いた）」と回答した割合が多くなっている。

図表 介護を必要とする家族の有無／男性



図表 介護を必要とする家族の有無／男性・年齢別



(4) 介護休業の取得の有無（男性）

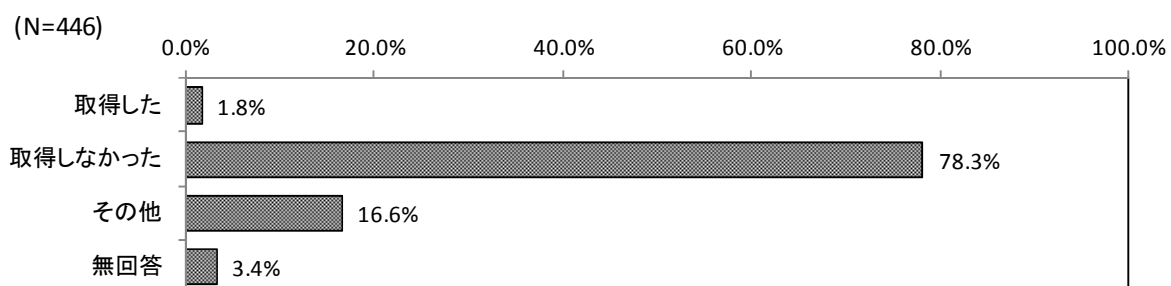
【男性票独自設問】

問29 問28で選択肢「1 いる（いた）」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、介護を必要とする家族のために、介護休業を取得しましたか。（○は1つだけ）

男性の介護休業の取得の有無について、「取得した」と回答した割合が1.8%、「取得しなかった」と回答した割合が78.3%となっている。

図表 介護休業の取得の有無／男性



(5) 介護休業を取得しなかった理由（男性）

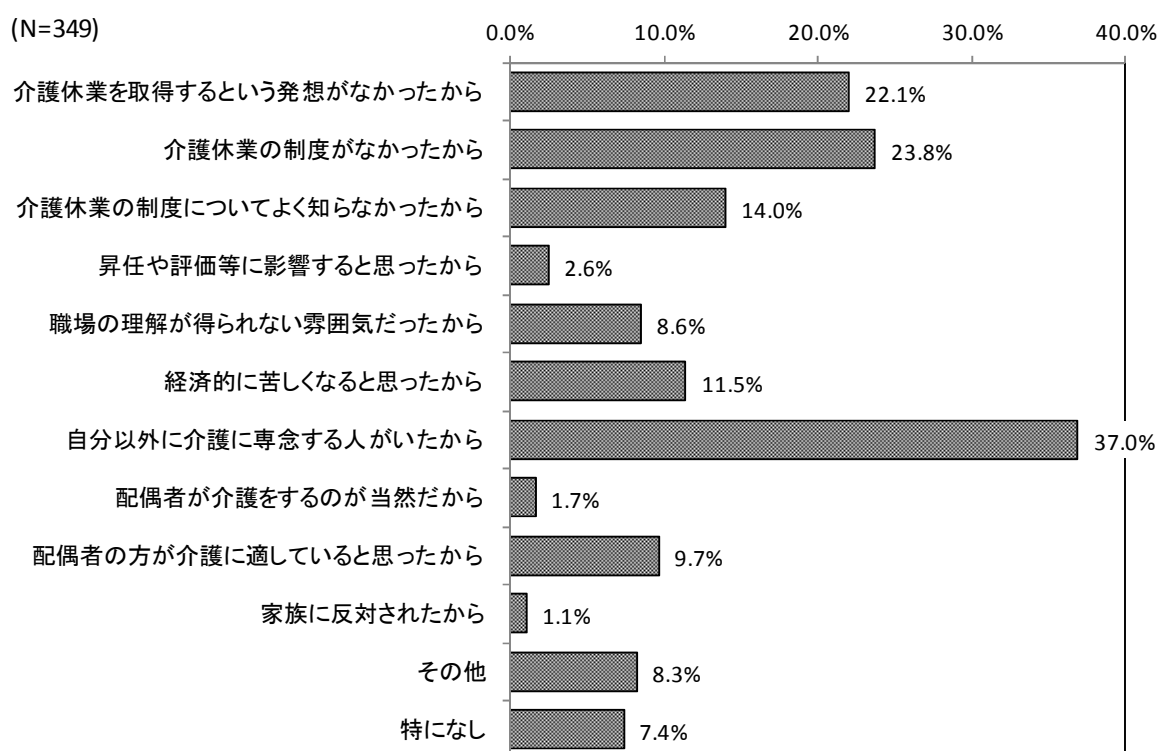
【男性票独自設問】

問30 問29で選択肢「2 取得しなかった」とお答えの方にお聞きます。

あなたが介護休業を取得しなかった理由は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

男性が介護休業を取得しなかった理由について、「自分以外に介護に専念する人がいたから」と回答した割合が37.0%と最も多くなっている。次いで「介護休業の制度がなかったから」（23.8%）、「介護休業を取得するという発想がなかったから」（22.1%）となっている。

図表 介護休業を取得しなかった理由／男性

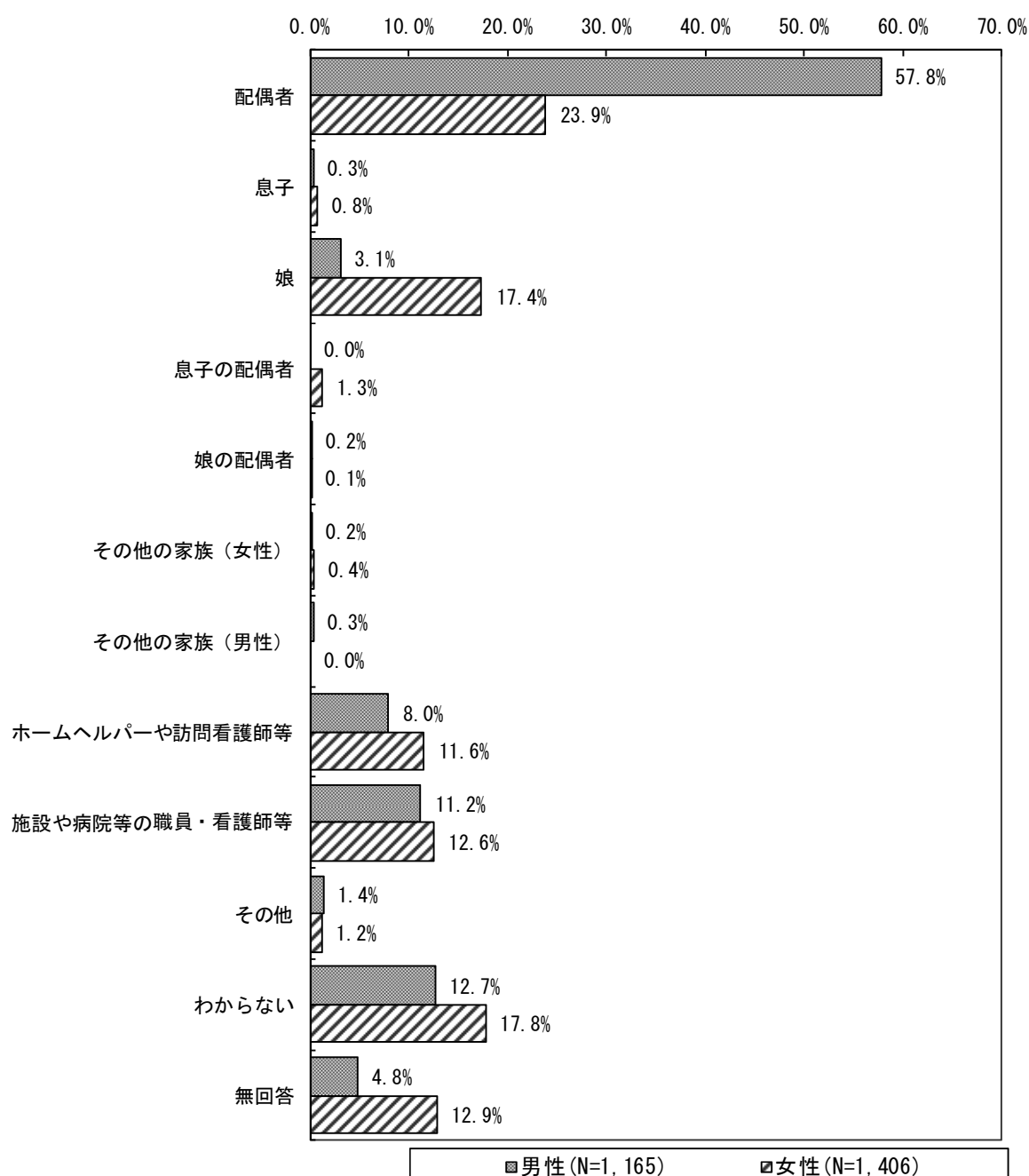


(6) 誰に介護をされたいか

【男女共通設問：男性問 31・女性問 21】
 あなたが介護されるときは、主に誰に介護されたいですか。(〇は1つだけ)

誰に介護されたいかについて、「配偶者」と回答した割合が、男性 57.8%、女性 23.9% で男女ともに最も多くなっている。主な介護者として「配偶者」を希望する割合は、男女間で 33.9 ポイントの差があり、男性の方が多い。一方、「娘」と回答した割合は、男性 3.1%、女性 17.4% で、女性の方が 14.3 ポイント多くなっている。

図表 誰に介護をされたいか



5 「仕事」について

(1) 現在の仕事や働き方の満足度（男性）

【男性票独自設問】

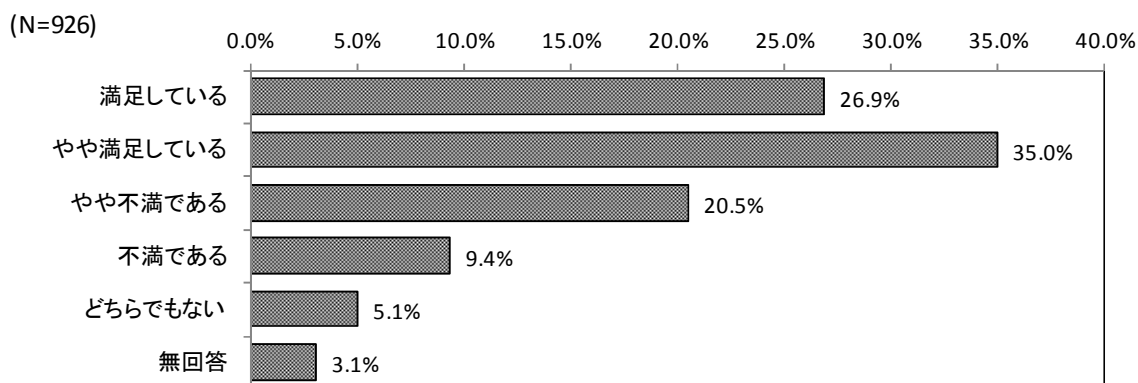
問3 2 問3で選択肢「1」～「5」のいずれか（現在の仕事が、勤め人、農林漁業、自由業・自営業・家業、その他の有職）とお答えの方にお聞きします。

あなたは、現在の仕事や働き方に満足していますか。（○は1つだけ）

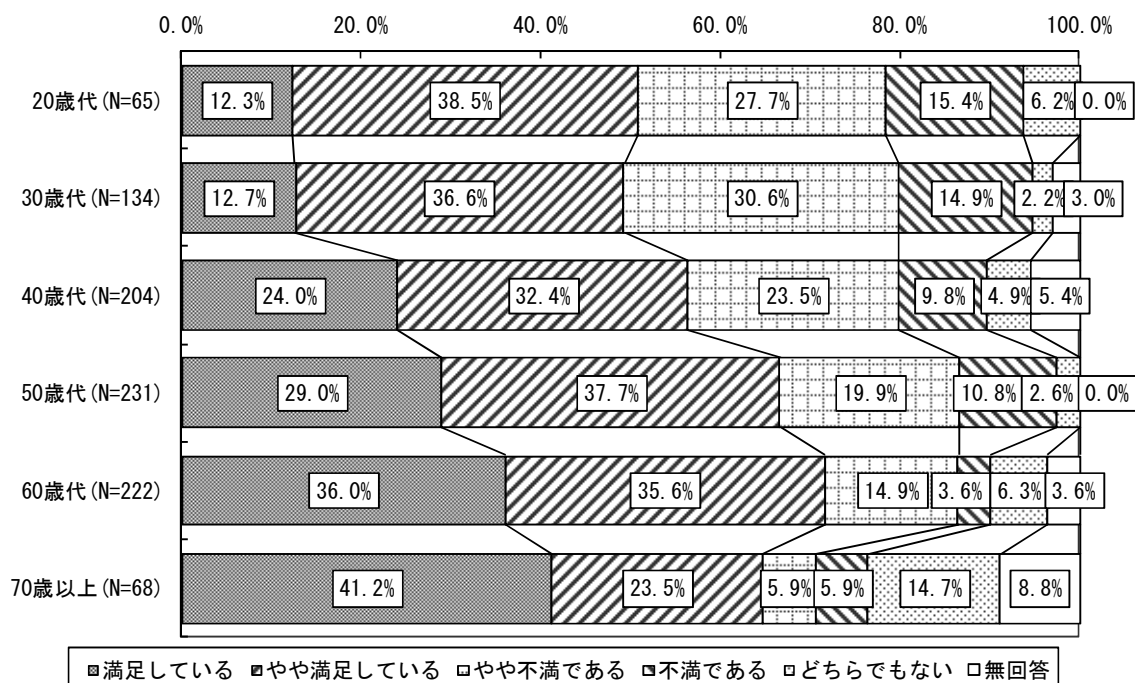
現在の仕事や働き方の満足度について、「やや満足している」と回答した割合が 35.0%と最も多く、次いで、「満足している」(26.9%)、「やや不満である」(20.5%)となっている。

年齢別にみると、「満足している」は年齢が上がるほど多くなっている。一方、「やや不満である」や「不満である」は若い年齢層ほど多くなっている。

図表 仕事や働き方の満足度／男性



図表 仕事や働き方の満足度／男性・年齢別



(2) 仕事や働き方に満足している理由（男性）

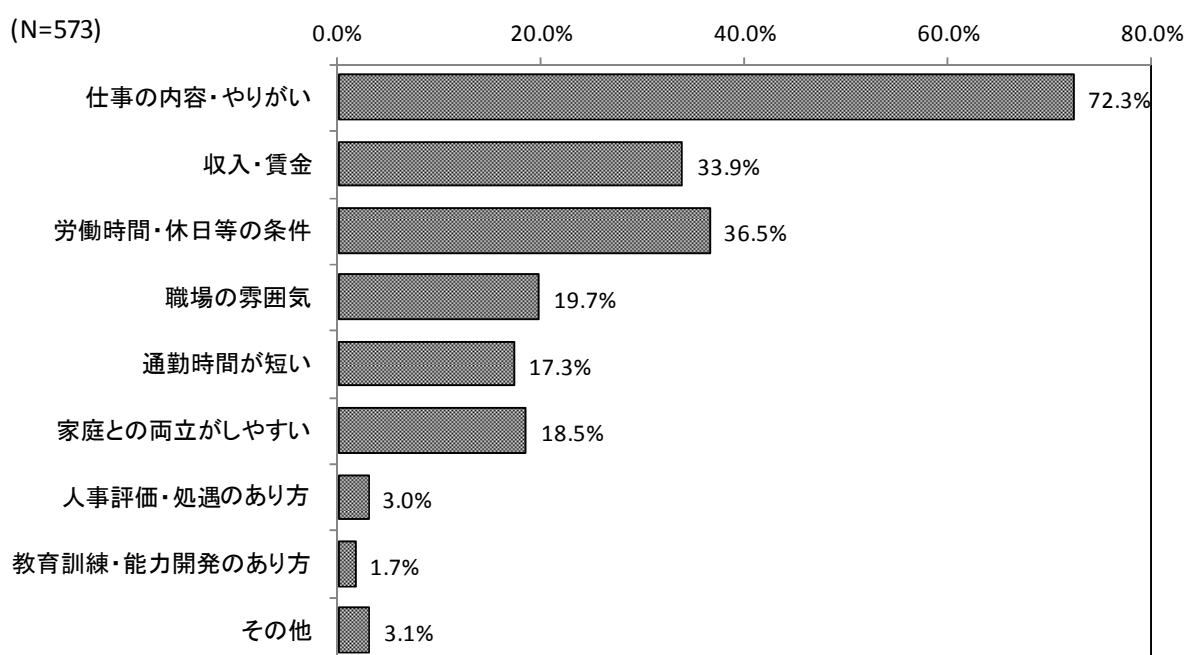
【男性票独自設問】

問33 問32で選択肢「1 満足している」または「2 やや満足している」とお答えの方にお聞きします。

満足している理由は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

仕事に満足している理由について、「仕事の内容・やりがい」と回答した割合が72.3%と最も多く、次いで、「労働時間・休日等の条件」(36.5%)、「収入・賃金」(33.9%)となっている。

図表 仕事や働き方に満足している理由／男性



(3) 仕事や働き方に不満がある理由（男性）

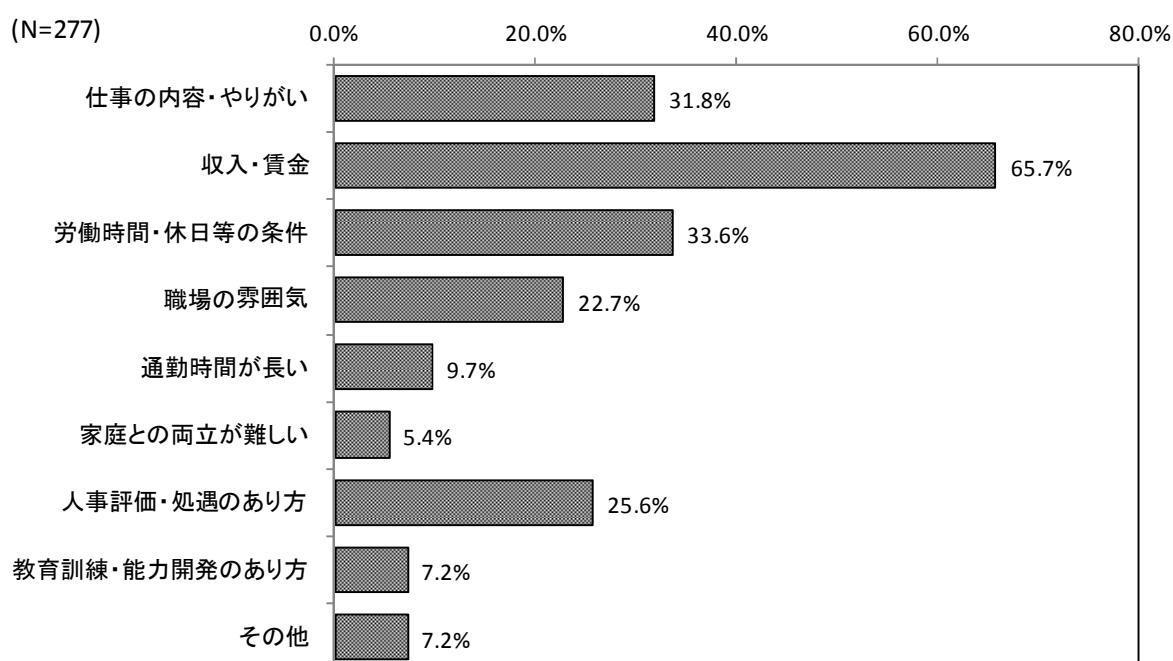
【男性票独自設問】

問34 問32で選択肢「3 やや不満である」または「4 不満である」とお答えの方にお聞きします。

不満がある理由は、次のどれにあたりますか。（○は3つまで）

仕事に不満がある理由について、「収入・賃金」と回答した割合が65.7%と最も多く、次いで、「労働時間・休日等の条件」(33.6%)、「仕事の内容・やりがい」(31.8%)となっている。

図表 仕事や働き方に不満がある理由／男性



6 「地域活動」について

(1) 参加している地域活動（男性）

【男性票独自設問】

問35 あなたは、どんな地域活動に参加されていますか。（あてはまるものすべてに○）

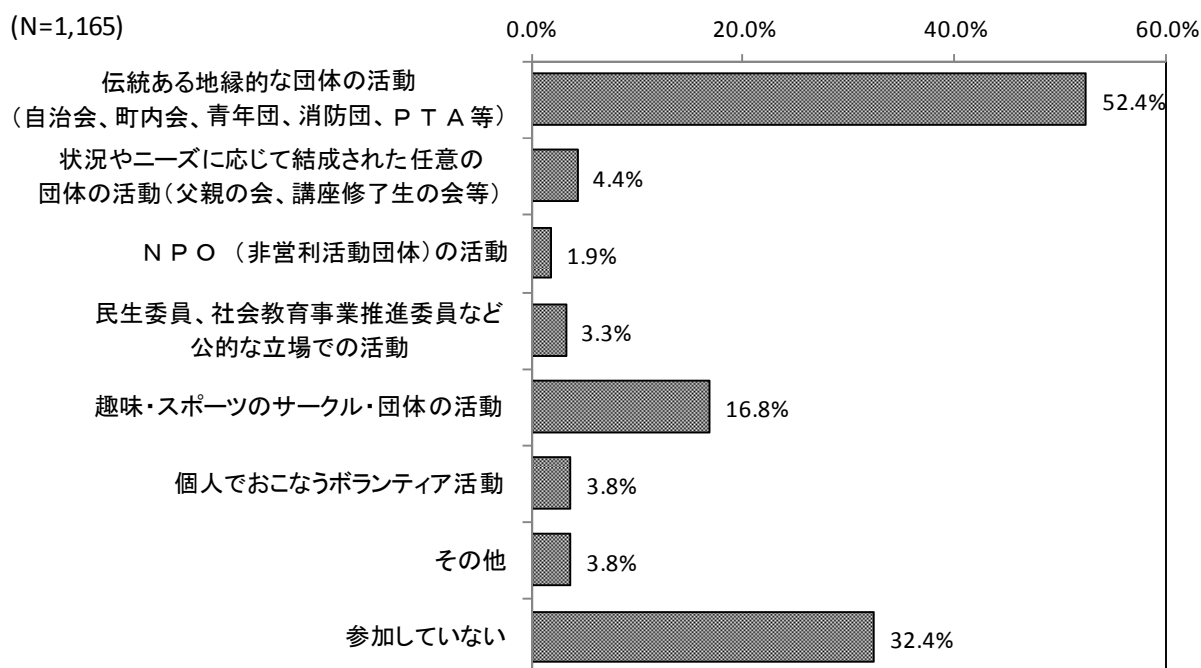
参加している地域活動について、「伝統ある地縁的な団体の活動」と回答した割合が52.4%と最も多く、「趣味・スポーツのサークル・団体の活動」（16.8%）となっている。一方、「参加していない」と回答した割合は32.4%で3割を超えている。

年齢別にみると、「参加していない」は20歳代で52.9%、30歳代で52.8%と多く、5割を超えている。

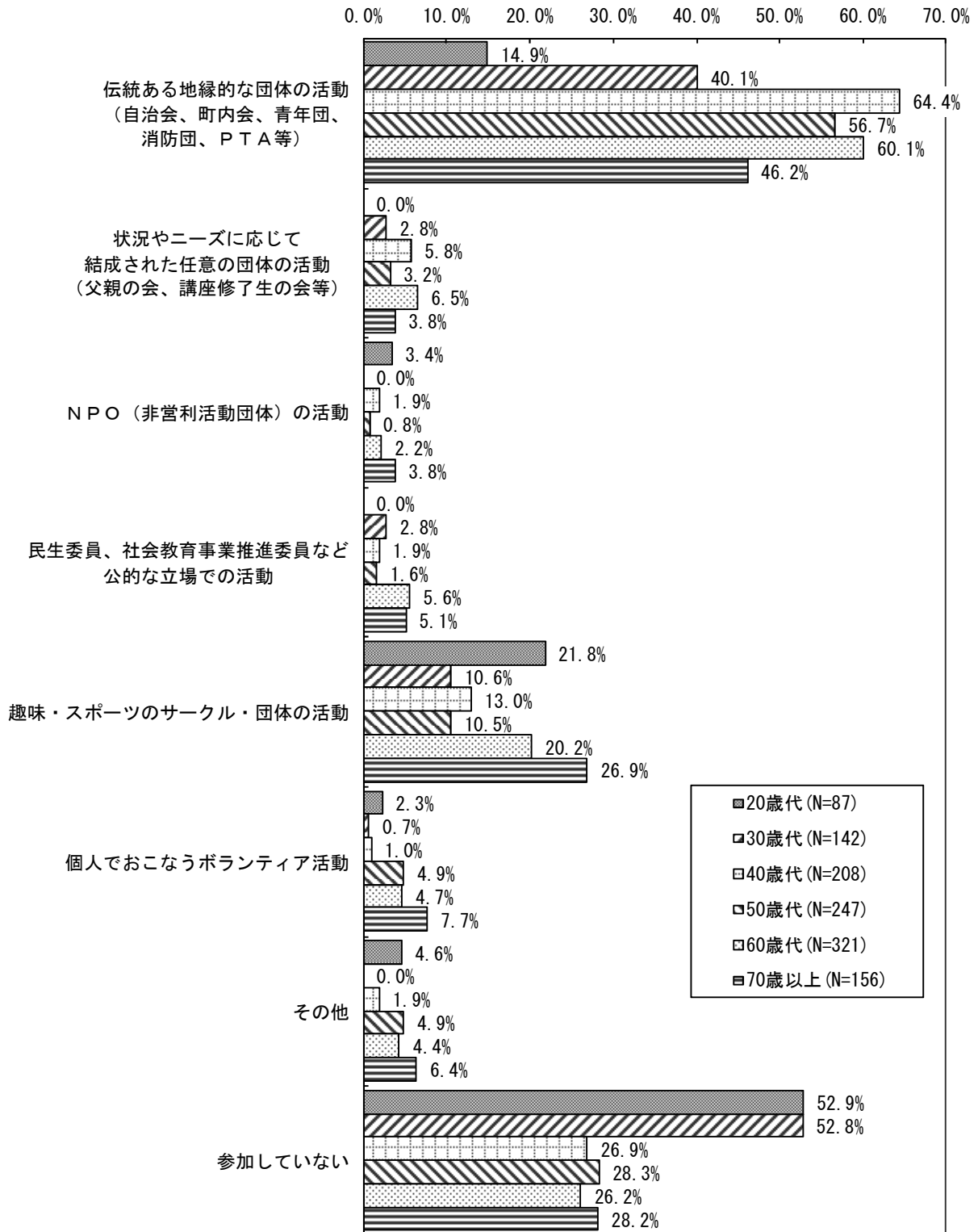
活動内容別にみると、「伝統ある地縁的な団体の活動」は40歳代から60歳代で多く、「趣味・スポーツのサークル・団体の活動」は20歳代で21.8%、60歳代で20.2%、70歳以上で26.9%であり、20歳代と60歳以上で多くなっている。

地域別にみると、「参加していない」は大津地域や甲賀地域で高い割合となっている。東近江地域や湖東地域、湖北地域、湖南地域では、「伝統ある地縁的な団体の活動」の割合が高く、5割を超えている。

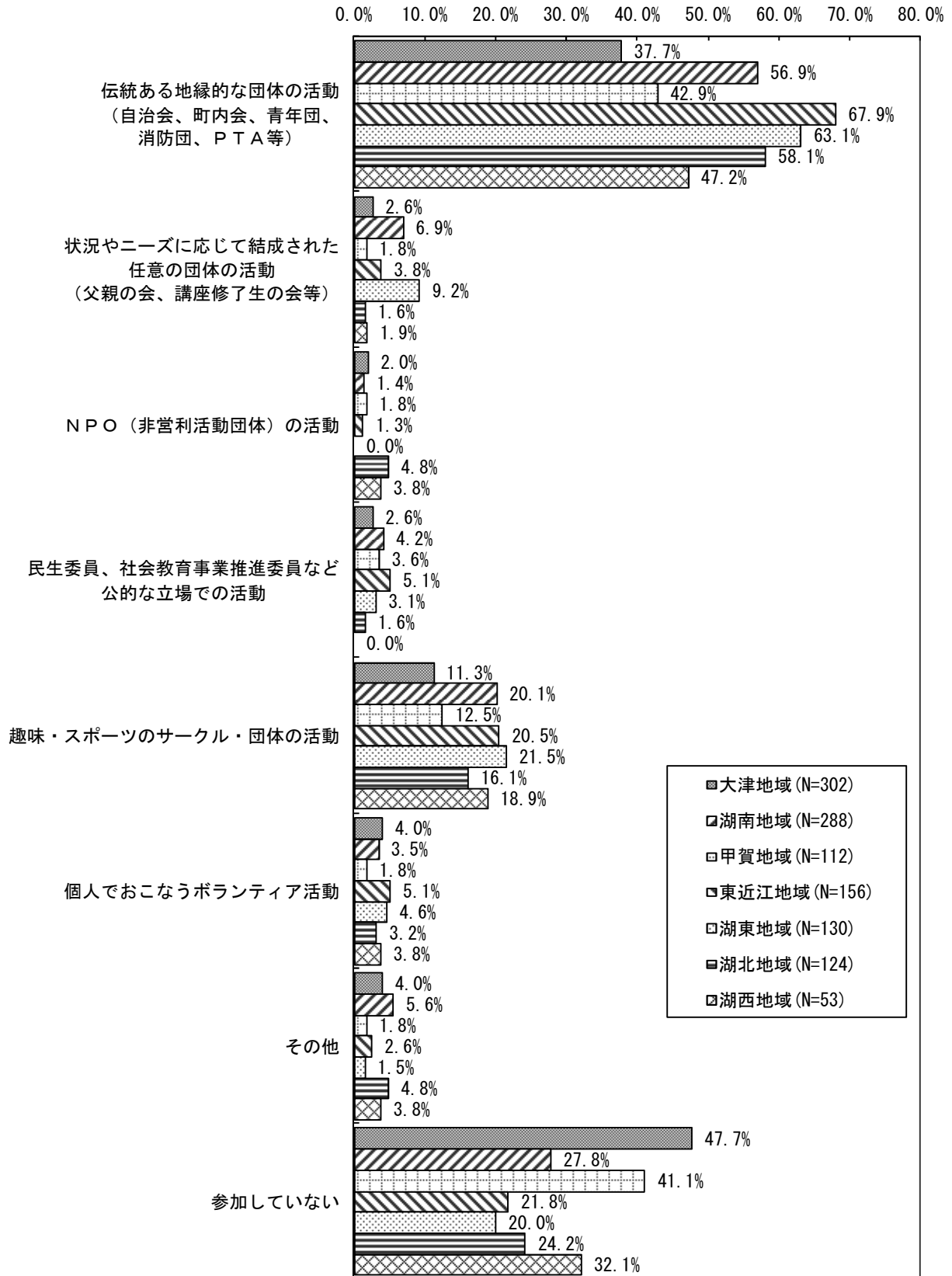
図表 参加している地域活動／男性



図表 参加している地域活動／男性・年齢別



図表 参加している地域活動／男性・地域別



(2) 地域活動に参加するきっかけ（男性）

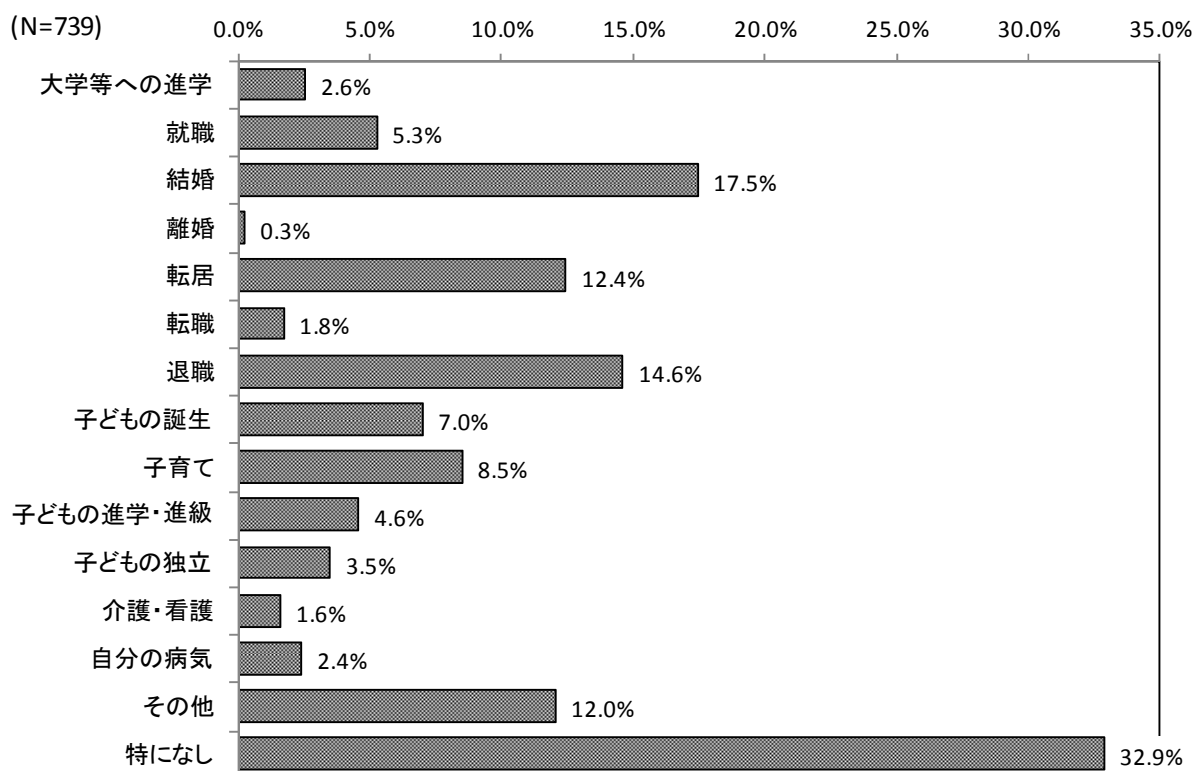
【男性票独自設問】

問36 問35で選択肢「1」～「7」のいずれか（地域活動に参加している）とお答えの方にお聞きします。

地域活動に参加するきっかけとして、特に影響を受けたライフイベント（人生の節目となるようなできごと）は、次のどれにあたりますか。（○は3つまで）

地域活動に参加するきっかけについて、特に影響を受けたライフイベント（人生の節目となるようなできごと）は、「結婚」17.5%、「退職」14.6%、「転居」12.4%などとなっている。また、「特になし」と回答した割合が32.9%となっている。

図表 地域活動に参加するきっかけ／男性



(3) 地域活動による自身への影響（男性）

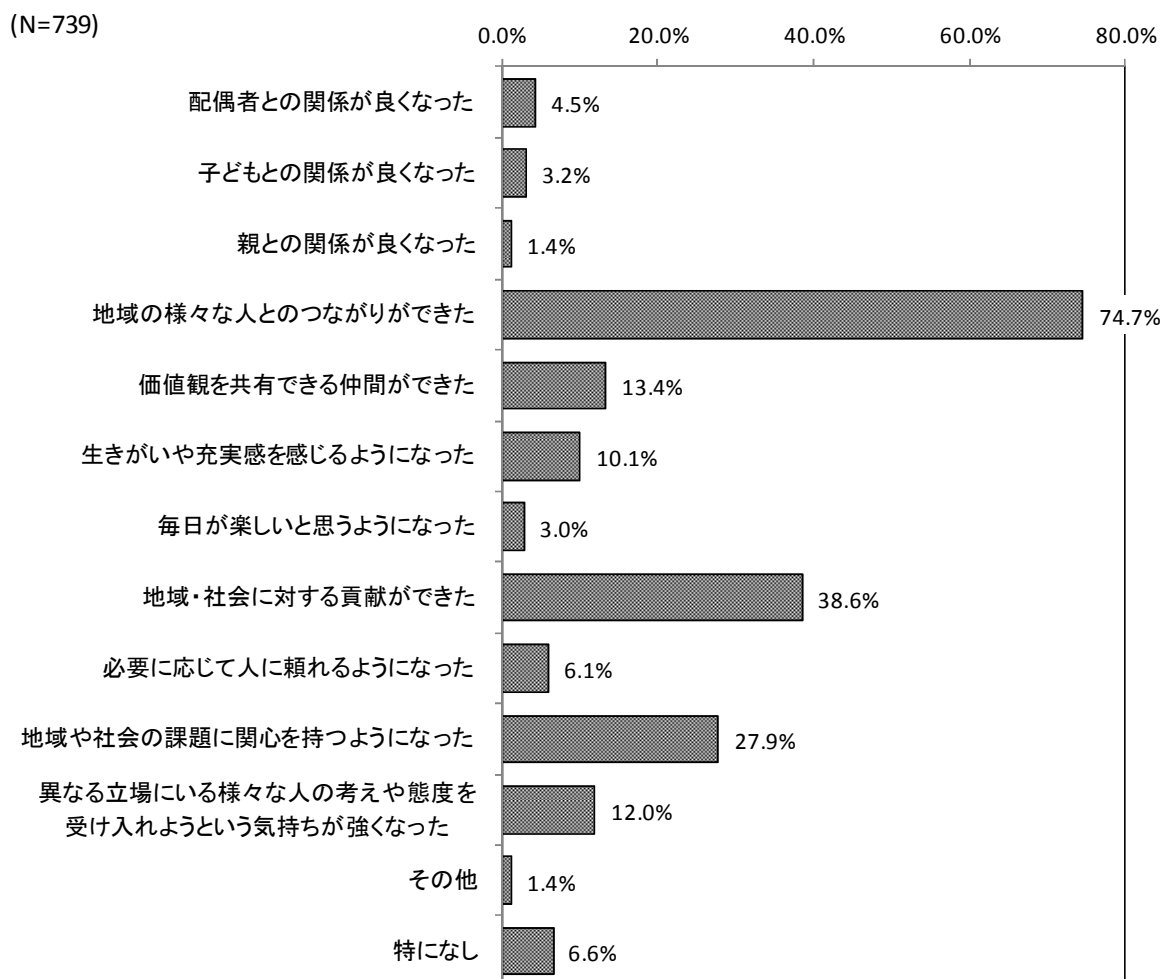
【男性票独自設問】

問37 問35で選択肢「1」～「7」のいずれか（地域活動に参加している）とお答えの方にお聞きします。

今までおこなってきた地域活動が、自分自身にもたらした変化・効果は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

地域活動への参加が自身にもたらした影響について、「地域の様々な人とのつながりができた」と回答した割合が74.7%と最も多くなっている。次いで、「地域・社会に対する貢献ができた」（38.6%）、「地域や社会の課題に関心を持つようになった」（27.9%）となっている。

図表 地域活動による自身へ影響／男性



(4) 地域活動に参加しない理由（男性）

【男性票独自設問】

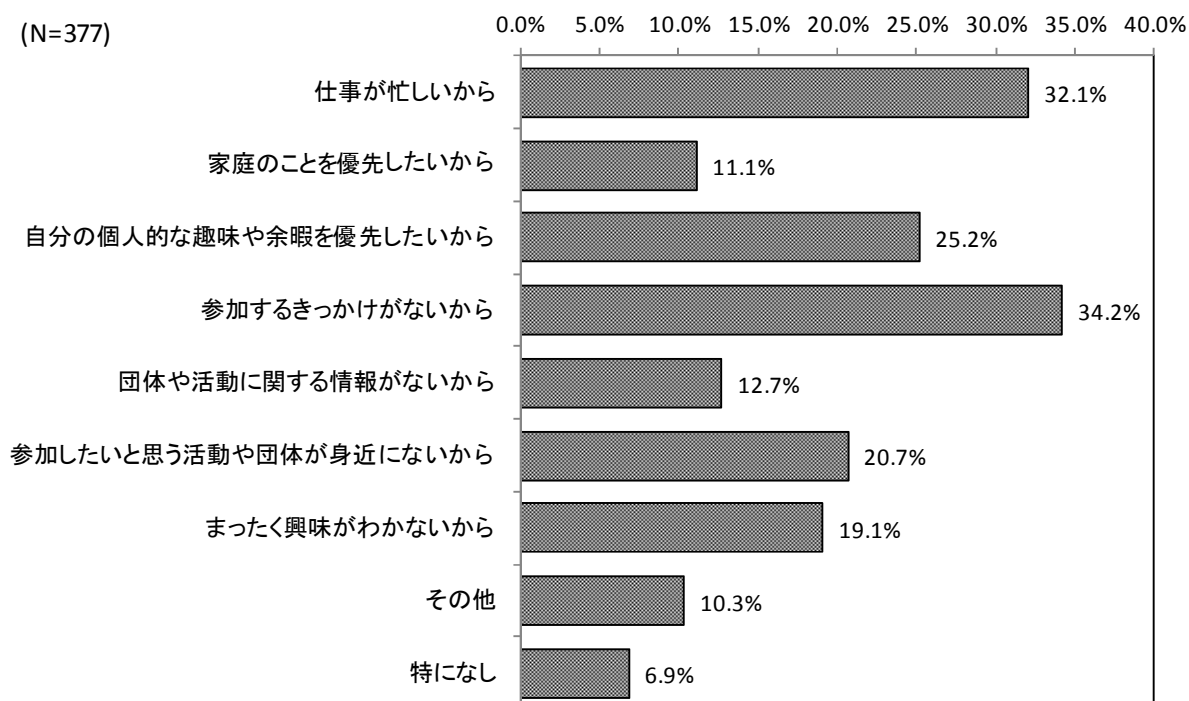
問38 問35で選択肢「8 参加していない」とお答えの方にお聞きします。

あなたが地域活動に参加しない理由は、次のどれにあたりますか。（〇は3つまで）

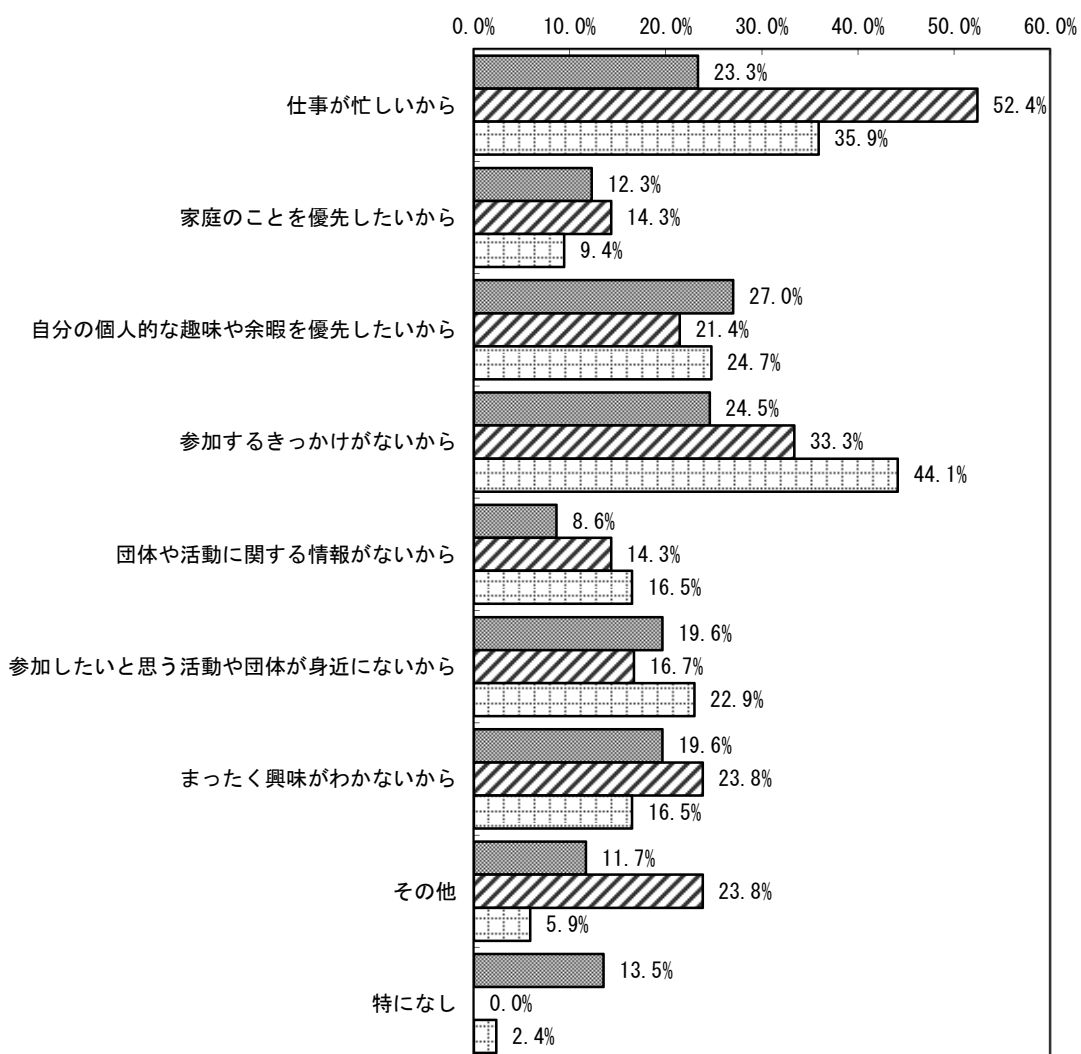
地域活動に参加していない理由について、「参加するきっかけがないから」と回答した割合が34.2%と最も多くなっている。次いで、「仕事が忙しいから」（32.1%）、「自分の個人的な趣味や余暇を優先したいから」（25.2%）となっている。

滋賀県の居住歴別でみると、「県外で生まれて、滋賀県へ転入した」人は、「参加するきっかけがないから」が44.1%で最も多くなっている。

図表 地域活動に参加しない理由／男性



図表 地域活動に参加しない理由／男性・滋賀県居住歴別



■生まれからずっと滋賀県に住んでいる (N=163)
 ▨滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した (N=42)
 □県外で生まれて、滋賀県へ転入した (N=170)

7 「不安や悩みごと」について

(1) 悩みや困りごとの有無

【男性票の設問】

問39 現在、あなたは悩みや困りごとがありますか。(○は1つだけ)

【女性票の設問】

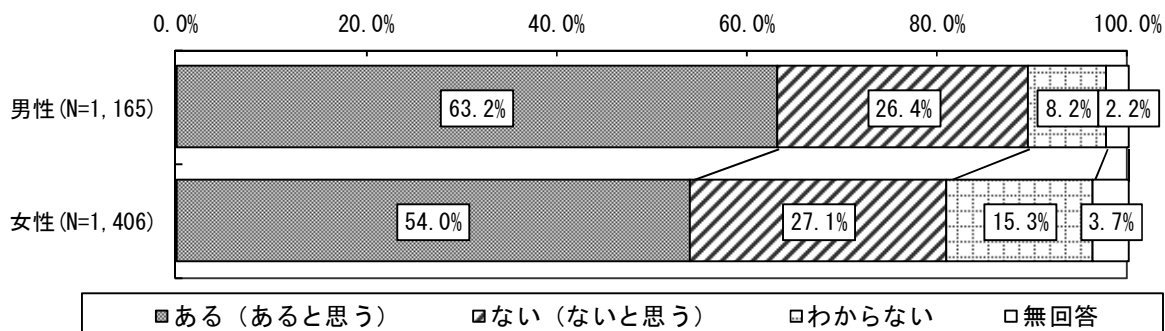
問22 現在、あなたの配偶者には悩みや困りごとがあると思いますか。(○は1つだけ)

※女性の回答は配偶者の悩みや困りごとの状況

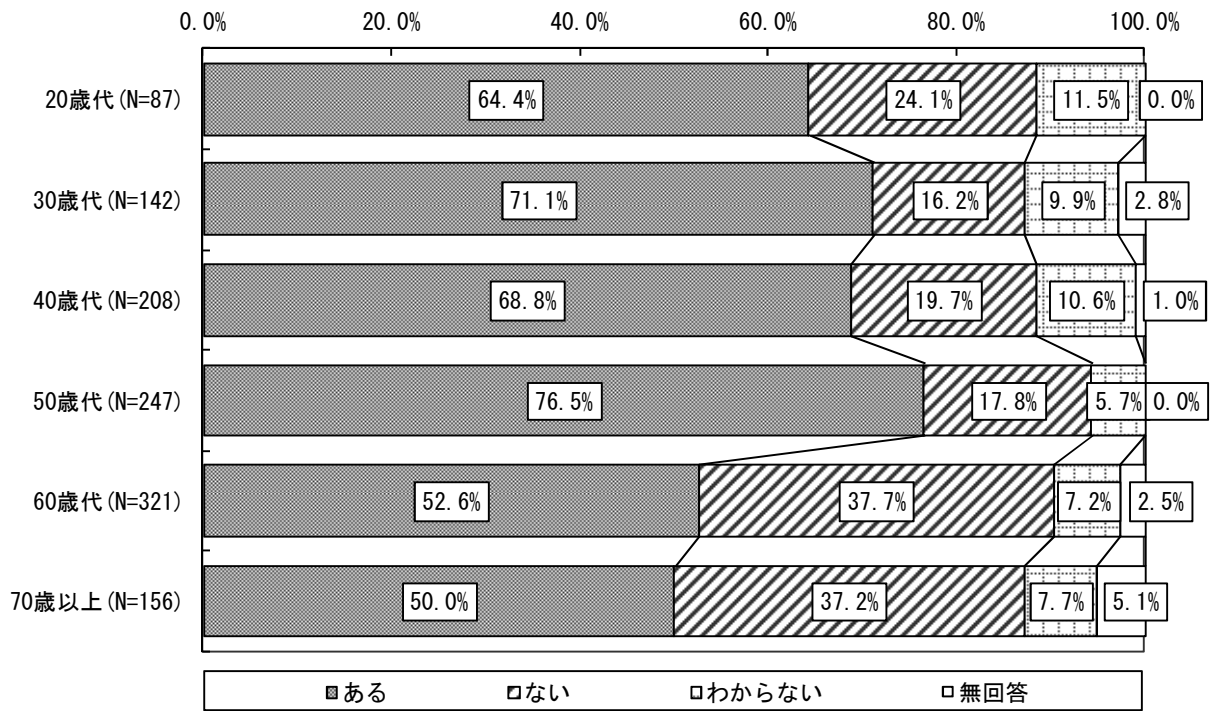
男性の現在の悩みや困りごとの有無について、男性が「ある」と回答した割合は63.2%、「ない」は26.4%となっている。年齢別にみると、「ある」と回答した割合はどの年代でも5割を超えており、50歳代の男性の76.5%が最も多くなっている。

女性からみた場合、配偶者(夫)の悩みや困りごとが「あると思う」と回答した割合は54.0%、「ないと思う」は27.1%となっている。女性の年齢別では、「あると思う」が最も多くなっているのは30歳代の67.8%となっている。

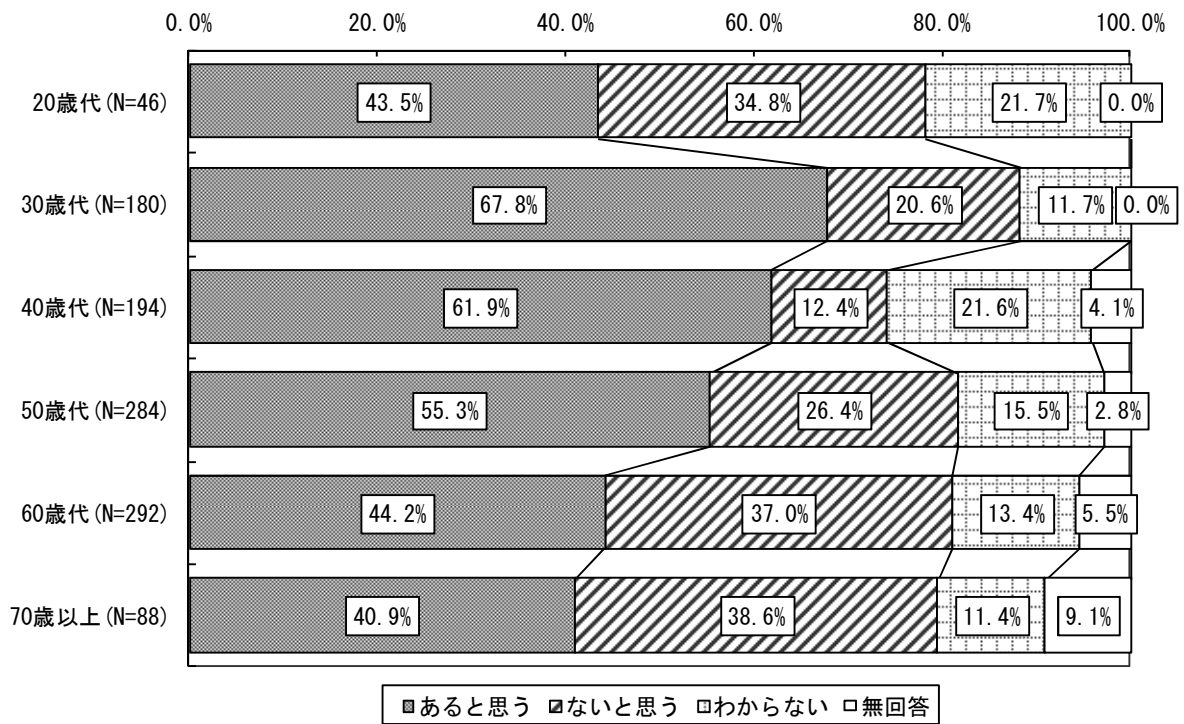
図表 悩みや困りごとの有無



図表 悩みや困りごとの有無／男性・年齢別



図表 配偶者（夫）の悩みや困りごとの有無／女性・年齢別



(2) 悩みや困りごとの内容

【男性票の設問】

問40 問39で選択肢「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

「①それはどのような悩みですか。」次のア～ソから、あてはまるものすべてを選択し○をしてください。また、その中で「②最も大きな悩みや困りごと」をア～ソから1つお選びください。

【女性票の設問】

問23 問22で選択肢「1 あると思う」とお答えの方にお聞きします。

「①それはどのような悩みですか。」次のア～ソから、あてはまるものすべてを選択し○をしてください。また、その中で「②最も大きな悩みや困りごと」をア～ソから1つお選びください。

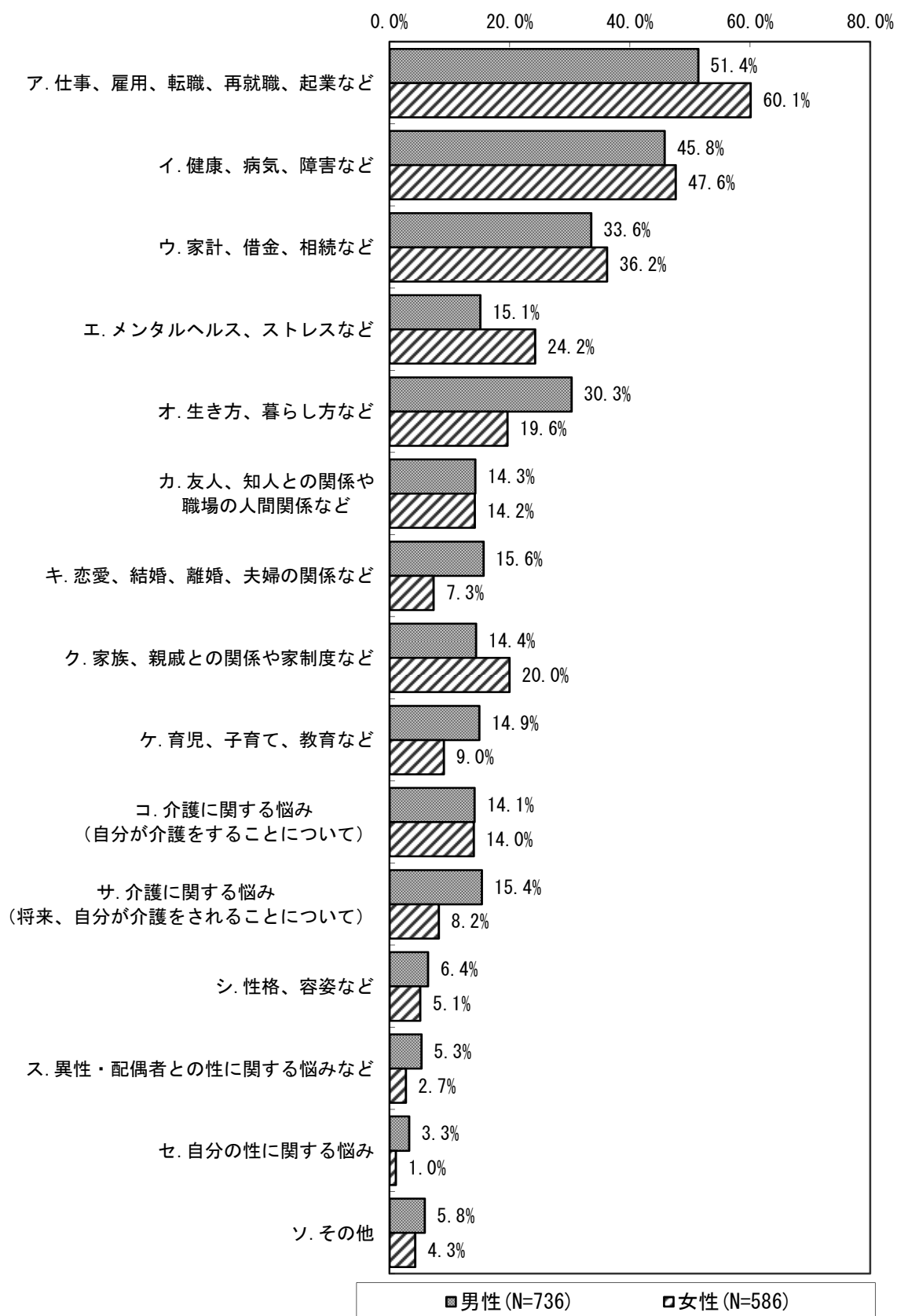
※女性の回答は配偶者の悩みや困りごとの状況

男性の悩みや困りごとの内容について、男性は、「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」と回答した割合が51.4%と最も多く、次いで、「健康、病気、障害など」(45.8%)、「家計、借金、相続など」(33.6%)となっている。

女性からみた場合、配偶者(夫)の悩みや困りごとの内容は、「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」と回答した割合が60.1%と最も多く、次いで、「健康、病気、障害など」(47.6%)、「家計、借金、相続など」(36.2%)となっている。

また、男性の悩みや困りごとの内容について、男女間で最も差がみられた項目は、「生き方、暮らし方など」(男性30.3%、女性19.6%)で、10.7ポイントの差があった。

図表 悩みや困りごとの内容



(3) 最も大きな悩みや困りごとの内容

問40 問39で選択肢「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

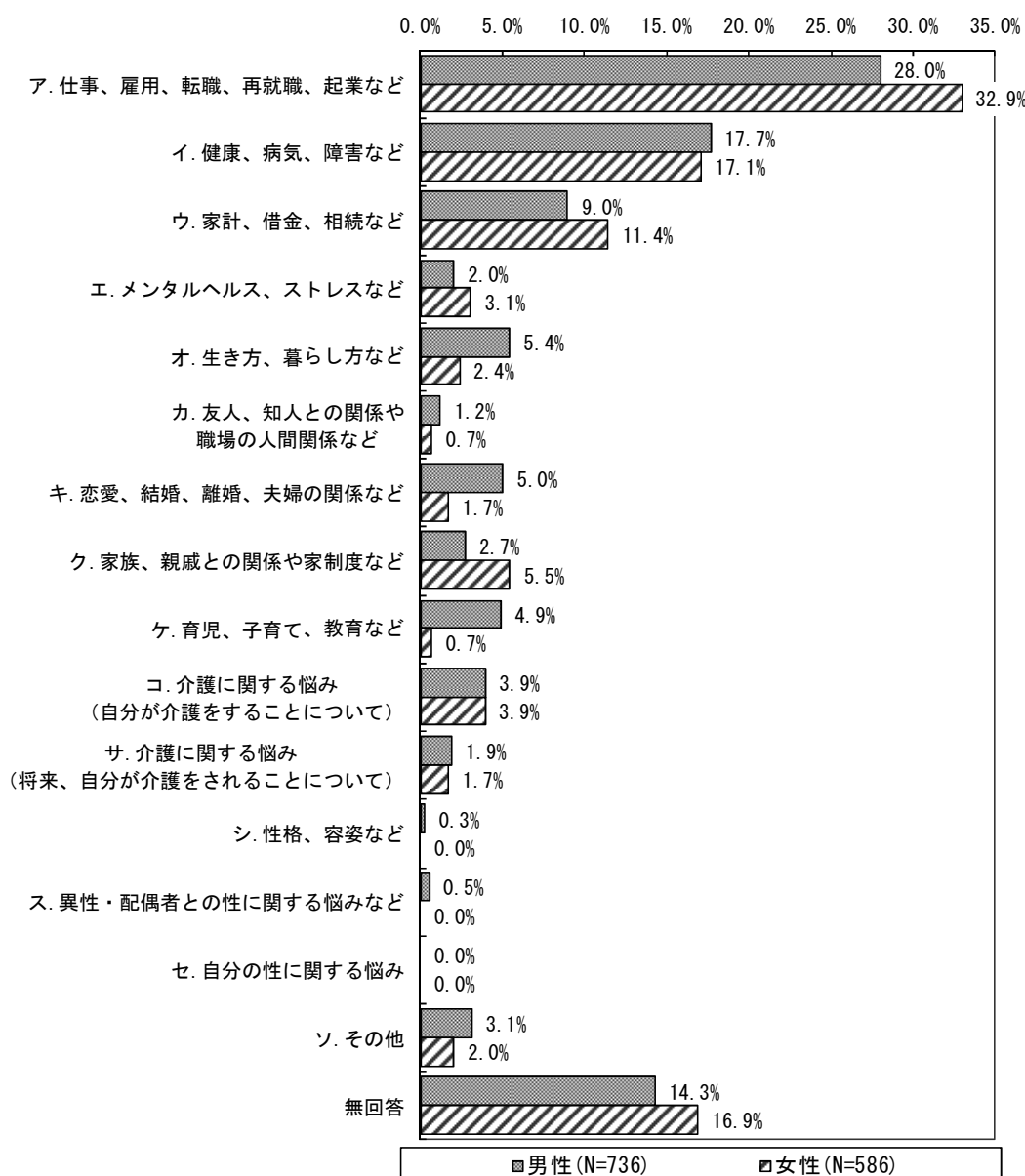
「①それはどのような悩みですか。」次のア～ソから、あてはまるものすべてを選択し○をしてください。また、その中で「②最も大きな悩みや困りごと」をア～ソから1つお選びください。

※女性の回答は配偶者の悩みや困りごとの状況

男性の悩みや困りごとの内容のうち、最も大きなものについて、男性は、「仕事、雇用、転職、再就、起業など」と回答した割合が28.0%と最も多くなっている。次いで、「健康、病気、障害など」(17.7%)、「家計、借金、相続など」(9.0%)となっている。

女性からみた場合、配偶者(夫)の悩みや困りごとのうち、最も大きなものは、「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」と回答した割合が32.9%と最も多く、次いで、「健康、病気、障害など」(17.1%)、「家計、借金、相続など」(11.4%)となっている。

図表 最も大きな男性の悩みや困りごとの内容



(4) 悩みや困りごとの相談相手（男性）

【男性票独自設問】

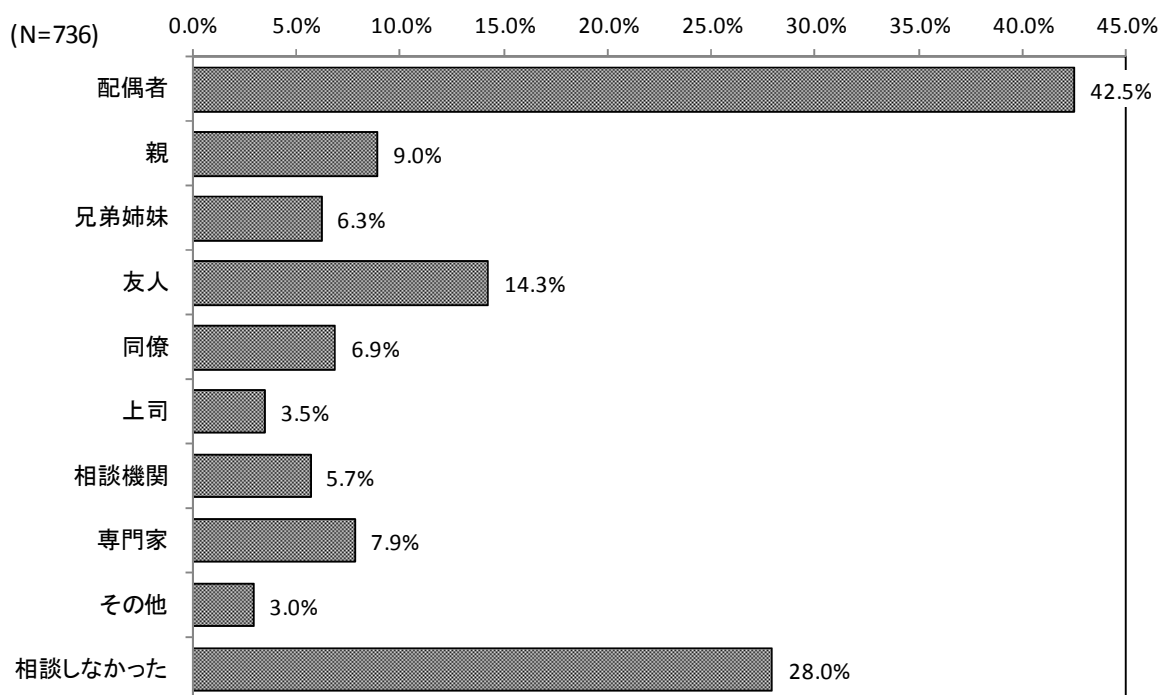
問4 1 問39で選択肢「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、悩みや困りごとについて、誰かに相談しましたか。次の中から、あてはまるものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

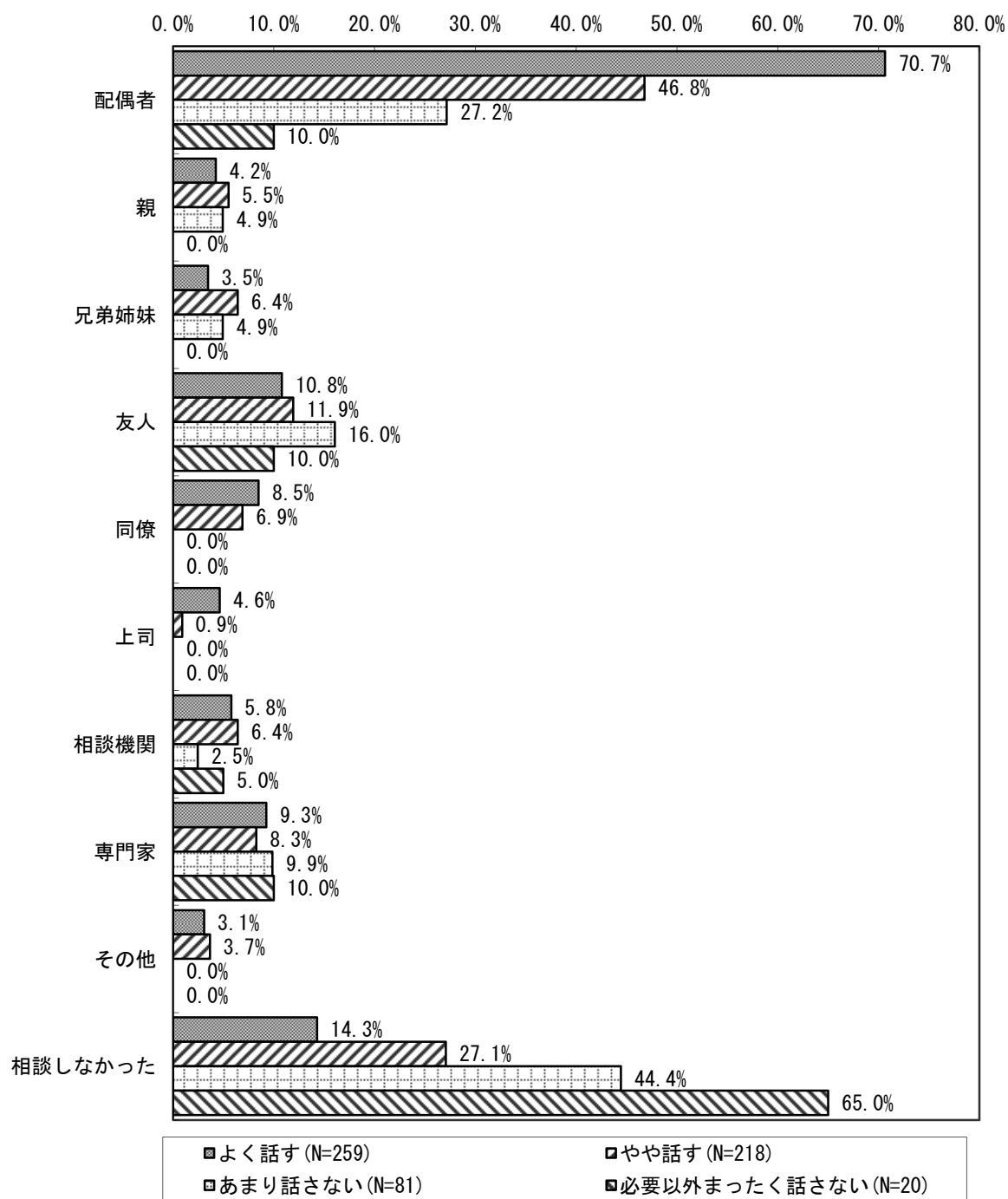
悩みや困りごとがある際に男性が相談する相手について、「配偶者」と回答した割合が42.5%と最も多く、次いで、「相談しなかった」(28.0%)、「友人」(14.3%)となっている。

配偶者（妻）との会話の状況別にみると、配偶者（妻）と「よく話す」と回答した場合は、相談相手を「配偶者」と回答した割合が70.7%と最も多く、「必要以外まったく話さない」と回答した場合は、「相談しなかった」が65.0%と最も多くなっている。

図表 悩みや困りごとの相談相手／男性



図表 男性問39「配偶者（妻）との会話の状況」×男性問41「悩みや困りごとの相談相手」



(5) 最近の自身の状況（男性）

【男性票独自設問】

問42 最近(この3か月くらいの間)のあなた自身の状況についてと、これまでのあなた自身の状況について、最も近いと思われる回答を選択して○をしてください。

最近(この3か月くらいの間)の自身の状況について、アからオの項目のうち、「よくあった」と「少しあった」と回答した割合の合計をみると、「ウ. 何もやる気がしないと感じたこと」が39.3%（「よくあった」7.3%、「少しあった」32.0%）と最も多くなっている。次いで、「仕事をやめたいと思ったこと」が35.0%（「よくあった」9.6%、「少しあった」25.4%）となっている。

年齢別にみると、「よくあった」と「少しあった」と回答した割合の合計は、「ア. 孤独だと感じたこと」については、30歳代で41.6%（「よくあった」12.0%、「少しあった」29.6%）、20歳代で40.2%（「よくあった」9.2%、「少しあった」31.0%）と、若い年齢層の方が高い割合になっている。

「イ. お酒を飲むまいと思っても飲んでしまうことや、飲まないと眠れなかったこと」については、50歳代が30.7%（「よくあった」11.3%、「少しあった」19.4%）と最も多く、次いで、60歳代が24.6%（「よくあった」4.7%、「少しあった」19.9%）、30歳代が22.5%（「よくあった」5.6%、「少しあった」16.9%）となっている。

「ウ. 何もやる気がしないと感じたこと」については、20歳代が59.8%（「よくあった」11.5%、「少しあった」48.3%）と最も多く、次いで、50歳代が50.2%（「よくあった」8.5%、「少しあった」41.7%）となっているが、「よくあった」と回答した割合は、30歳代が19.0%で最も多くなっている。

「エ. 死にたいと思ったこと」については、30歳代が14.8%（「よくあった」5.6%、「少しあった」9.2%）で最も多くなっている。

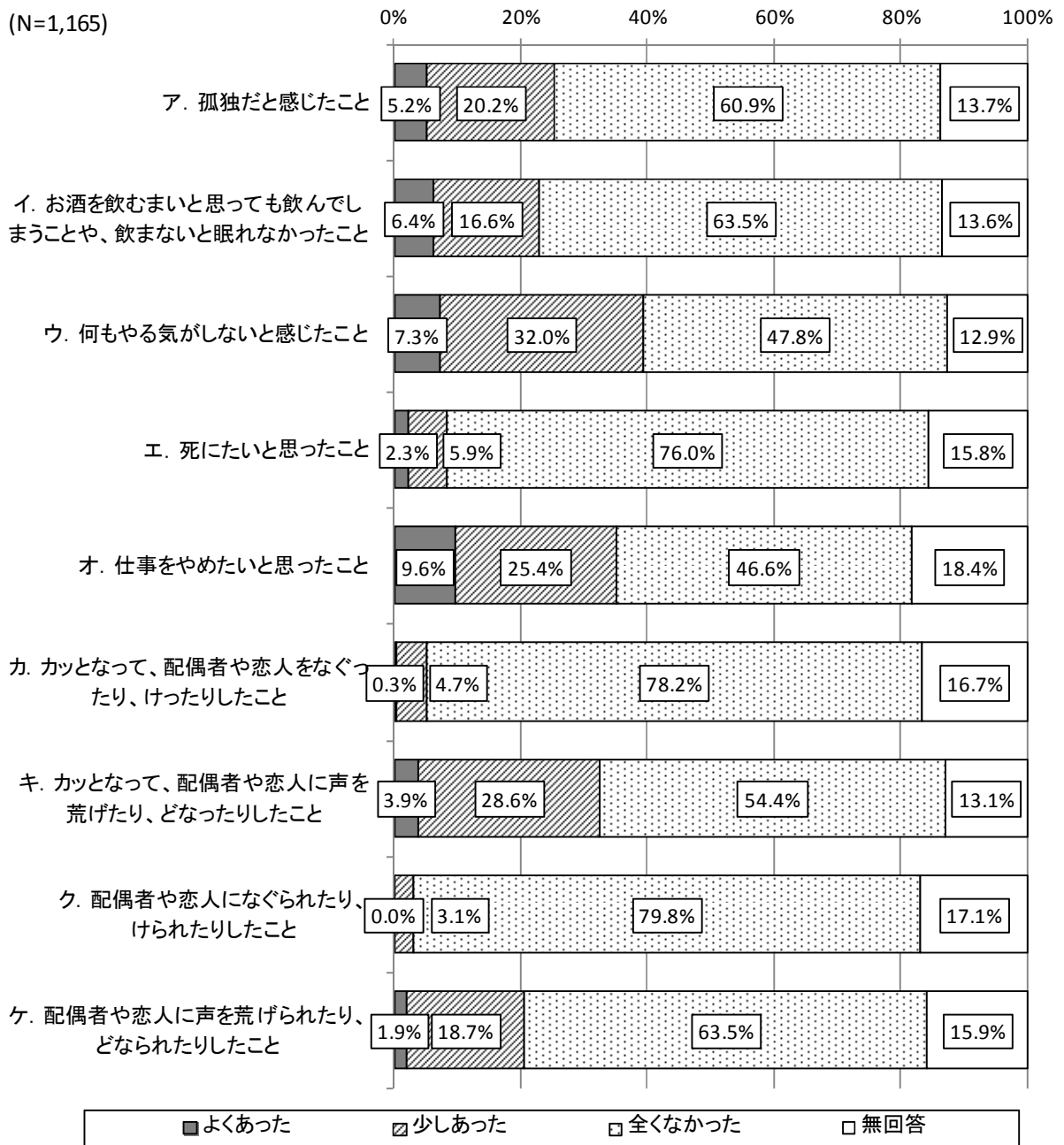
「オ. 仕事をやめたいと思ったこと」については、30歳代が50.0%（「よくあった」19.0%、「少しあった」31.0%）と最も多く、次いで、20歳代が44.8%（「よくあった」16.1%、「少しあった」28.7%）となっており、20歳代から50歳代では4割を超えている。

これまでの状況について、カからケの項目のうち、「よくあった」と「少しあった」と回答した割合の合計をみると、「カ. カッとなって、配偶者や恋人に声を荒げたり、どなったりしたこと」が32.5%（「よくあった」3.9%、「少しあった」28.6%）と最も多くなっている。また、「配偶者や恋人に声を荒げられたり、どなられたりしたこと」は、20.6%（「よくあった」1.9%、「少しあった」18.7%）となっている。

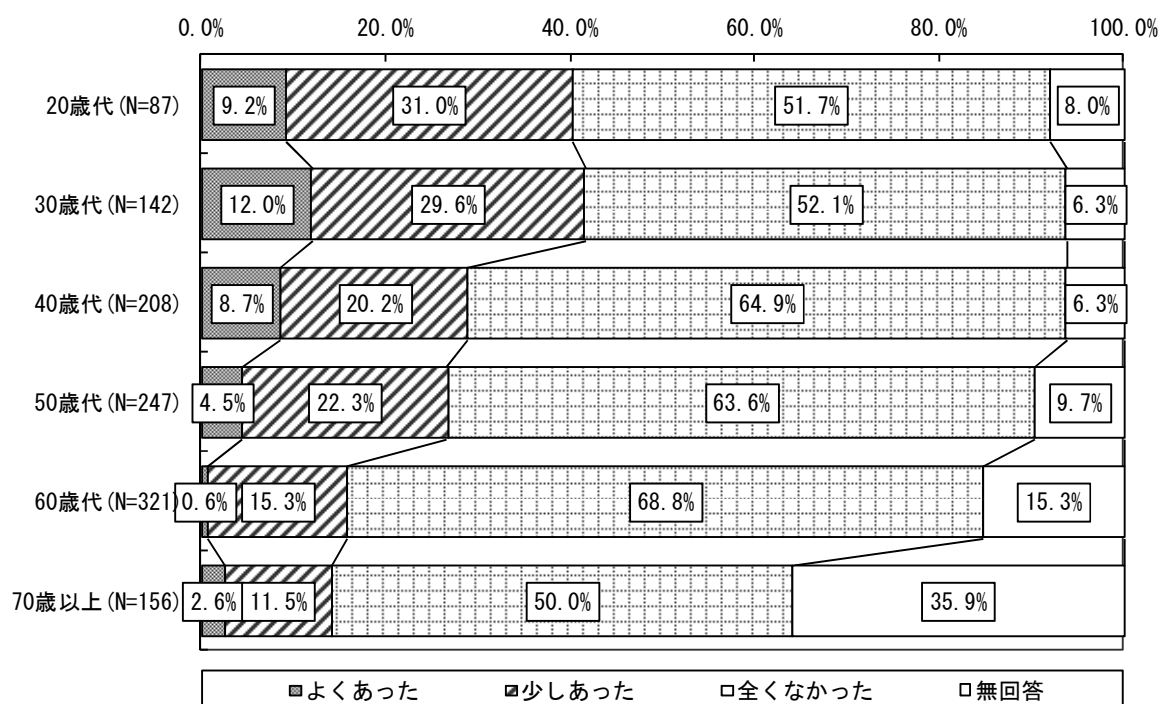
年齢別にみると、「カ. カッとなって、配偶者や恋人をなぐったり、けったりしたこと」については、「少しあった」と回答した割合は10%未満ではあるが、いずれの年齢層でも一定の割合でみられる。「キ. カッとなって、配偶者や恋人に声を荒げたり、どなったりしたこと」については、「よくあった」と「少しあった」と回答した割合の合計が、40歳代以上の年齢層では3割を超えている。「ク. 配偶者や恋人になぐられたり、けられたりしたこと」については、「少しあった」と回答した割合は5%未満ではあるが、年齢に関係なくみられる。「ケ. 配偶者や恋人に声を荒げられたり、どなられたりしたこと」については、「よくあった」と「少しあった」と回答した割合の合計が、40歳代で26.9%（「よくあった」2.9%、「少しあった」24.0%）と最も多くなっている。

図表 最近の自身の状況／男性

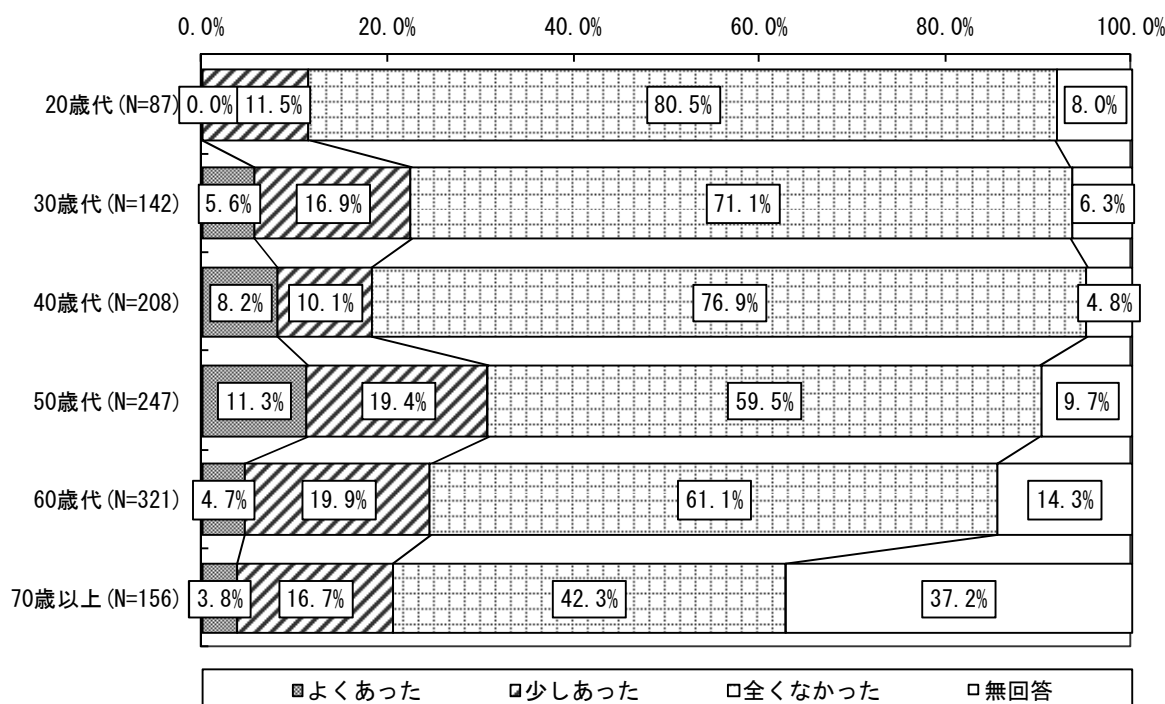
(N=1,165)



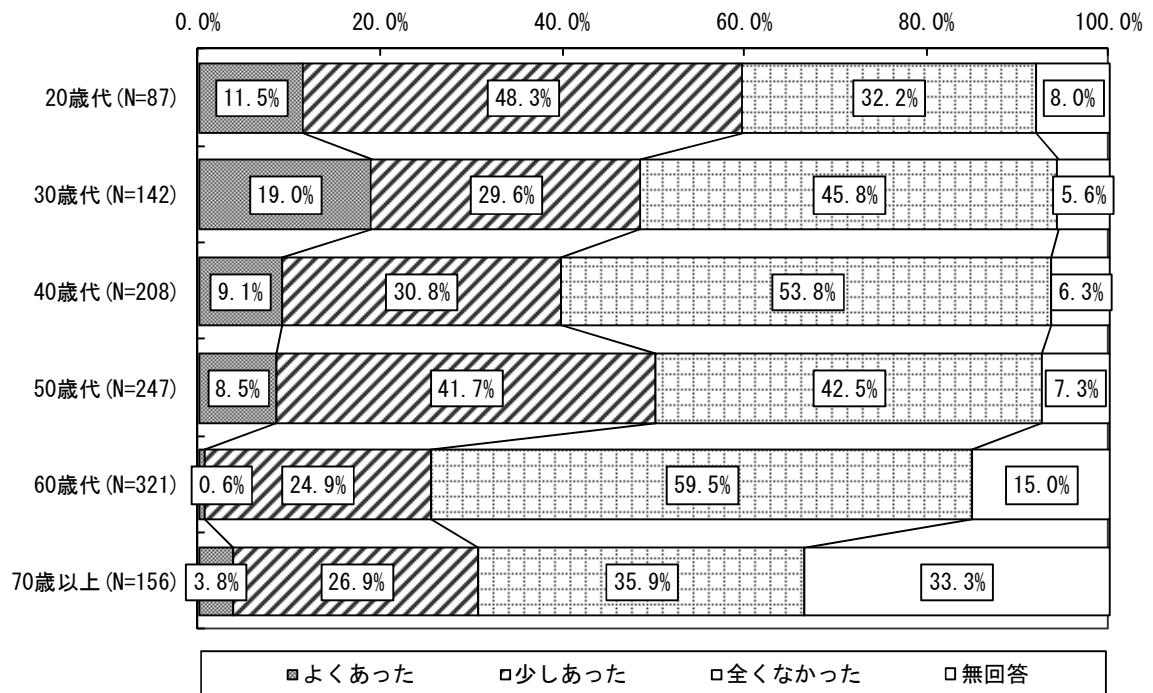
図表 最近の自身の状況
「ア. 孤独だと感じたこと」／男性・年齢別



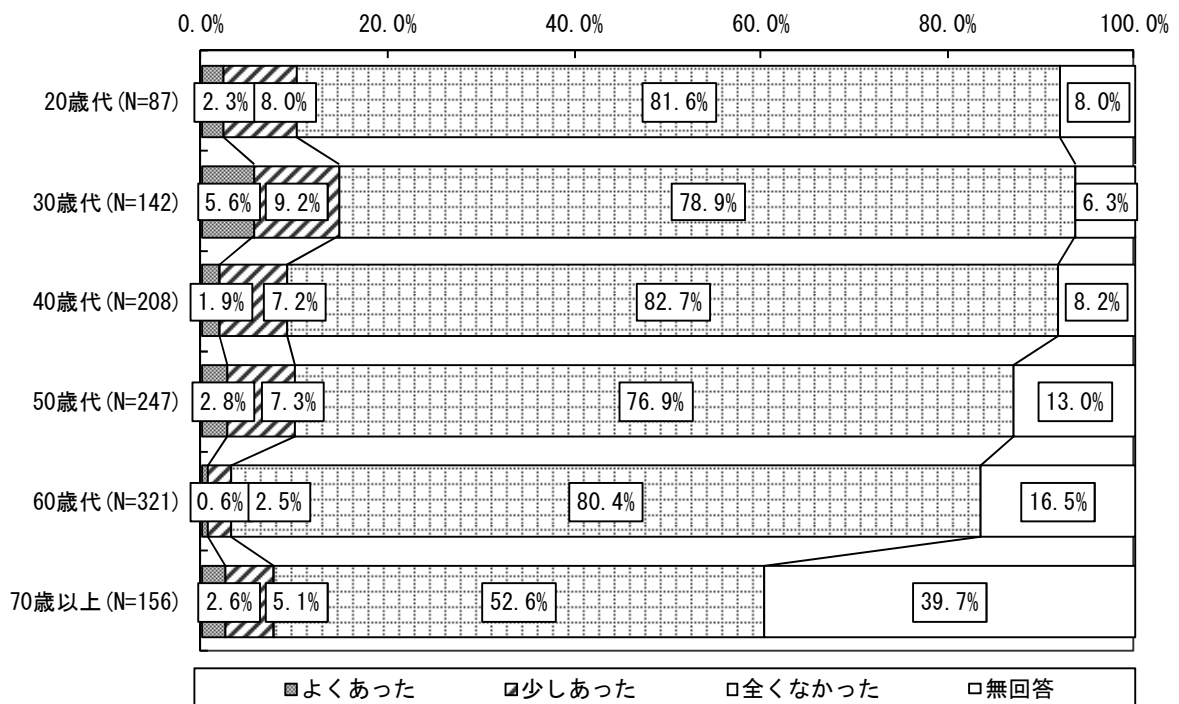
図表 最近の自身の状況
「イ. お酒を飲むまいと思っても飲んでしまうことや、飲まないと眠れなかったこと」／男性・年齢別



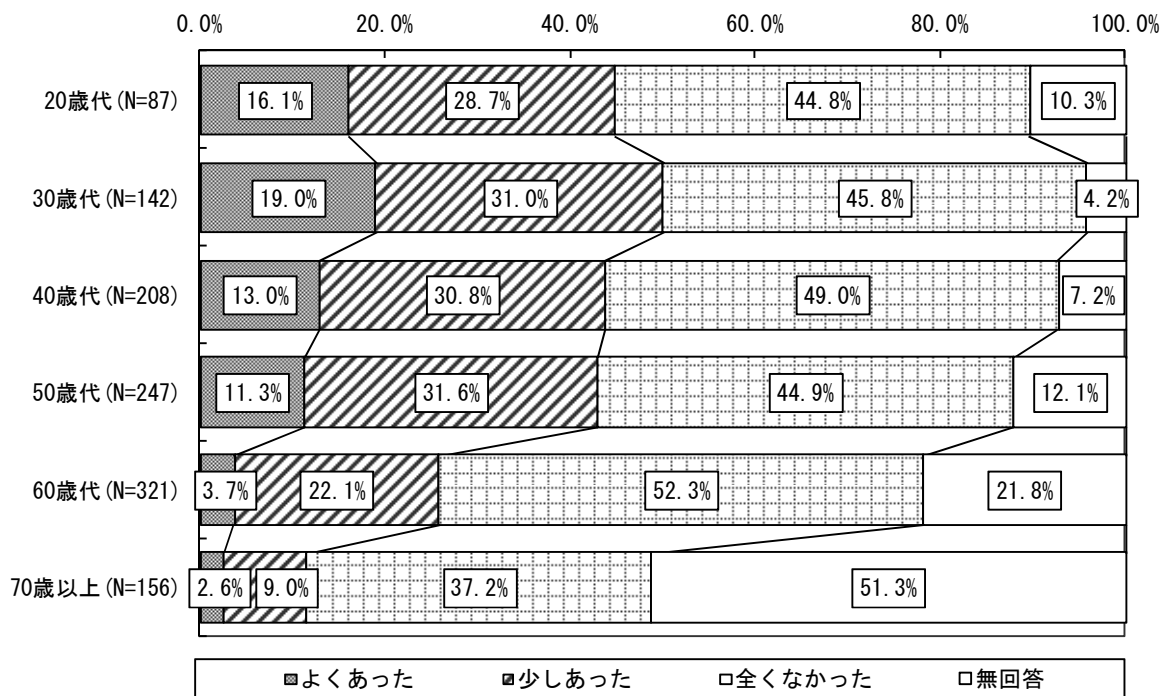
図表 最近の自身の状況
「ウ. 何もやる気がしないと感じたこと」／男性・年齢別



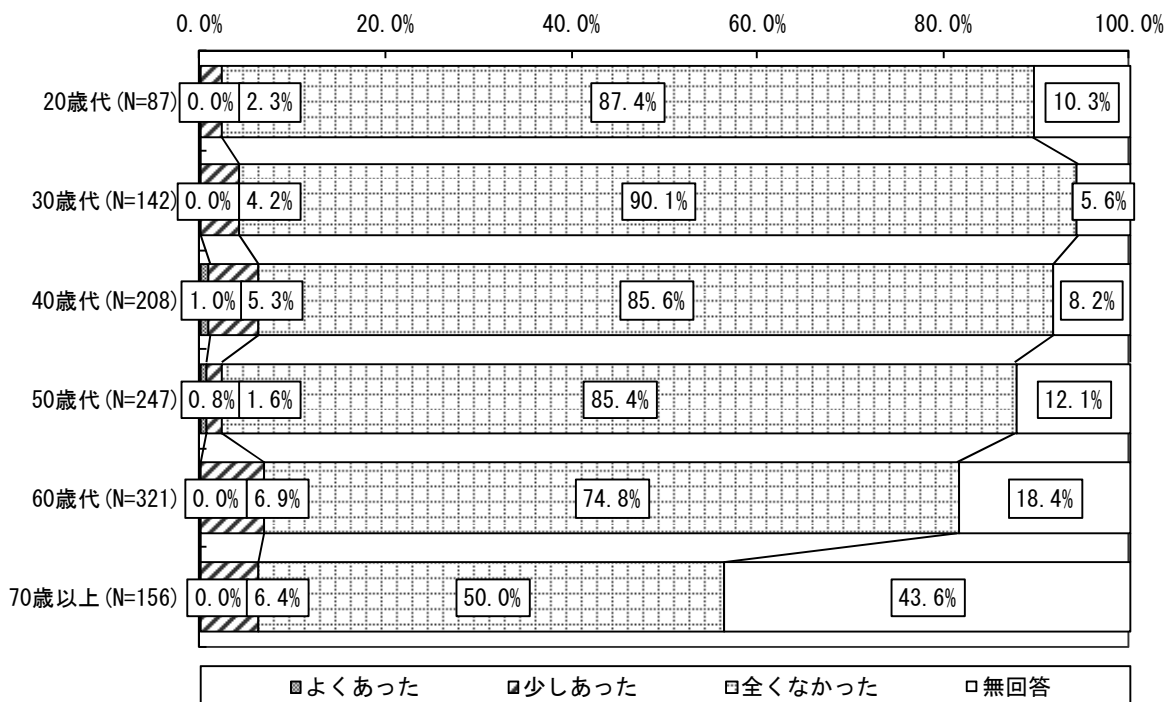
図表 最近の自身の状況
「エ. 死にたいと思ったこと」／男性・年齢別



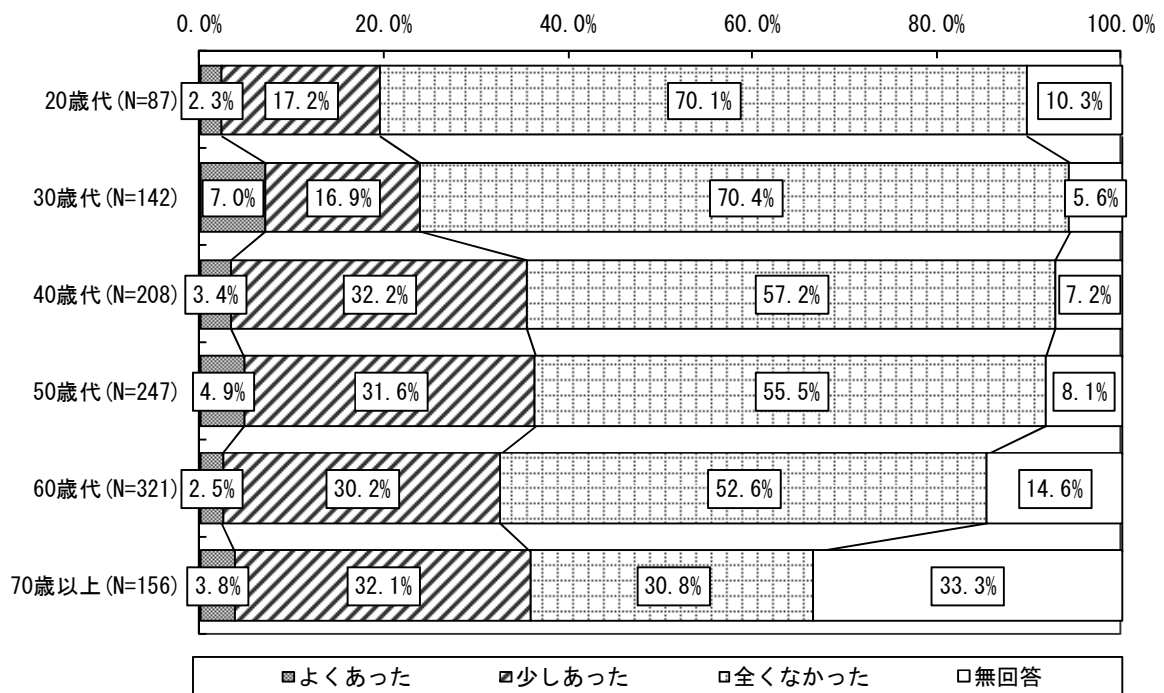
図表 最近の自身の状況
「オ. 仕事をやめたいと思ったこと」／男性・年齢別



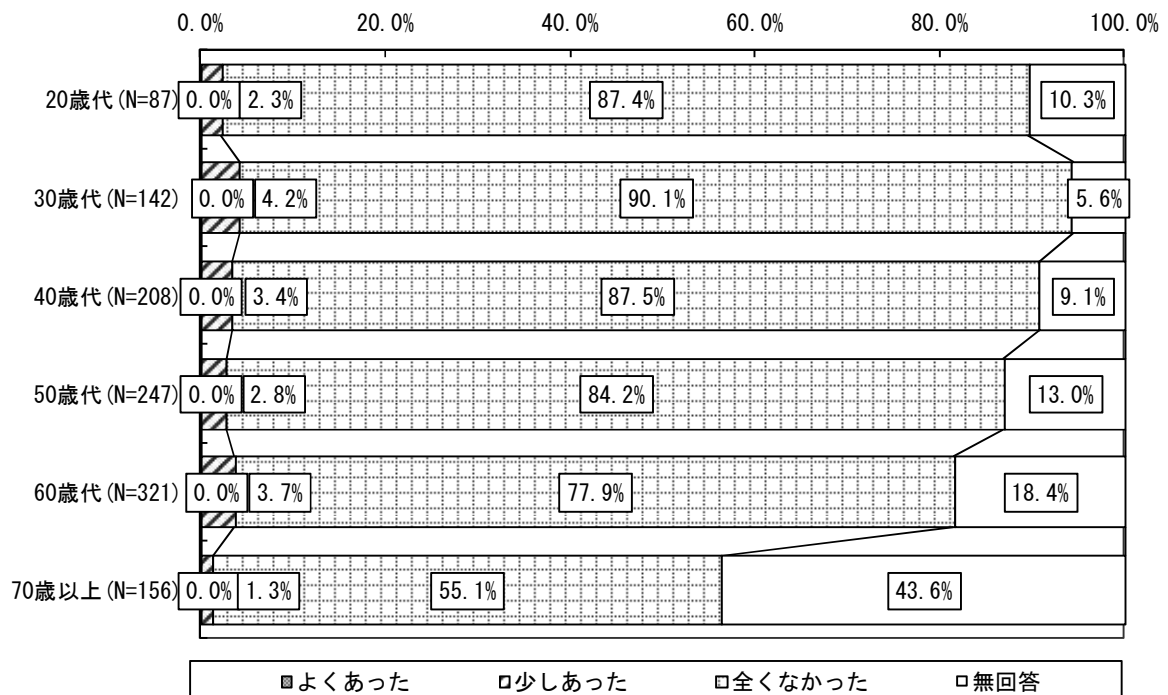
図表 最近の自身の状況
「カ. カッとなって、配偶者や恋人をなぐったり、けったりしたこと」／男性・年齢別



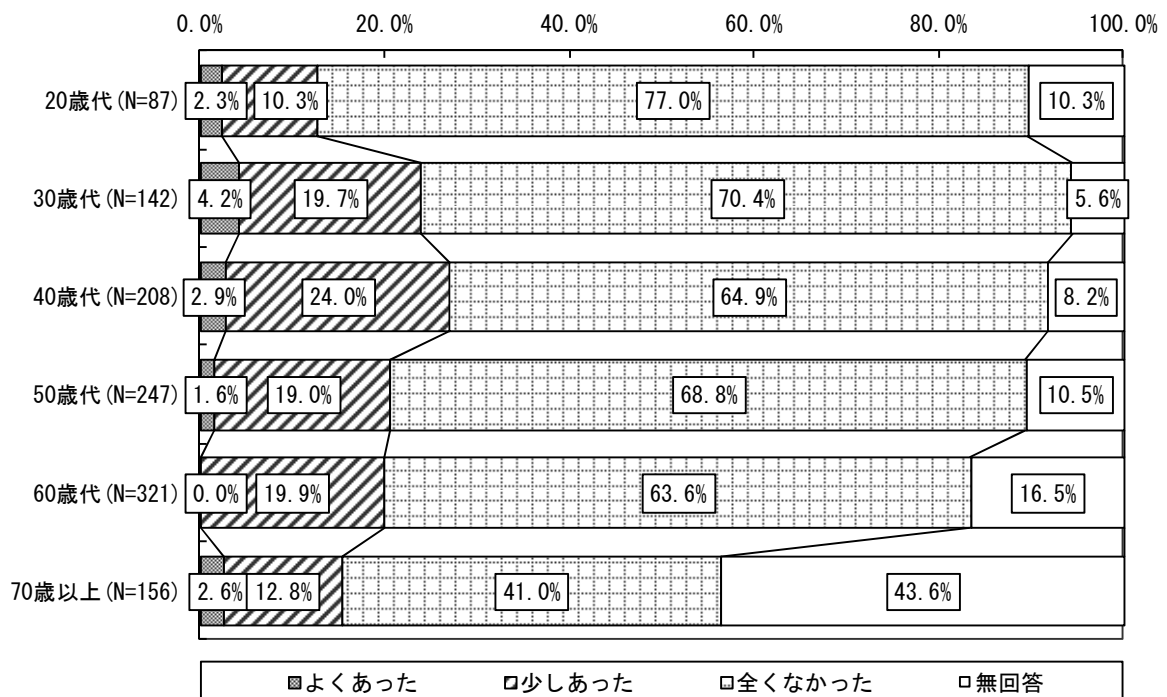
図表 最近の自身の状況
「キ. カッとなって、配偶者や恋人に声を荒げたり、どなったりしたこと」／男性・年齢別



図表 最近の自身の状況
「ク. 配偶者や恋人になぐられたり、けられたりしたこと」／男性・年齢別



図表 最近の自身の状況
「ケ. 配偶者や恋人に声を荒げられたり、どなられたりしたこと」／男性・年齢別



(6) 希望する相談方法や体制 (男性)

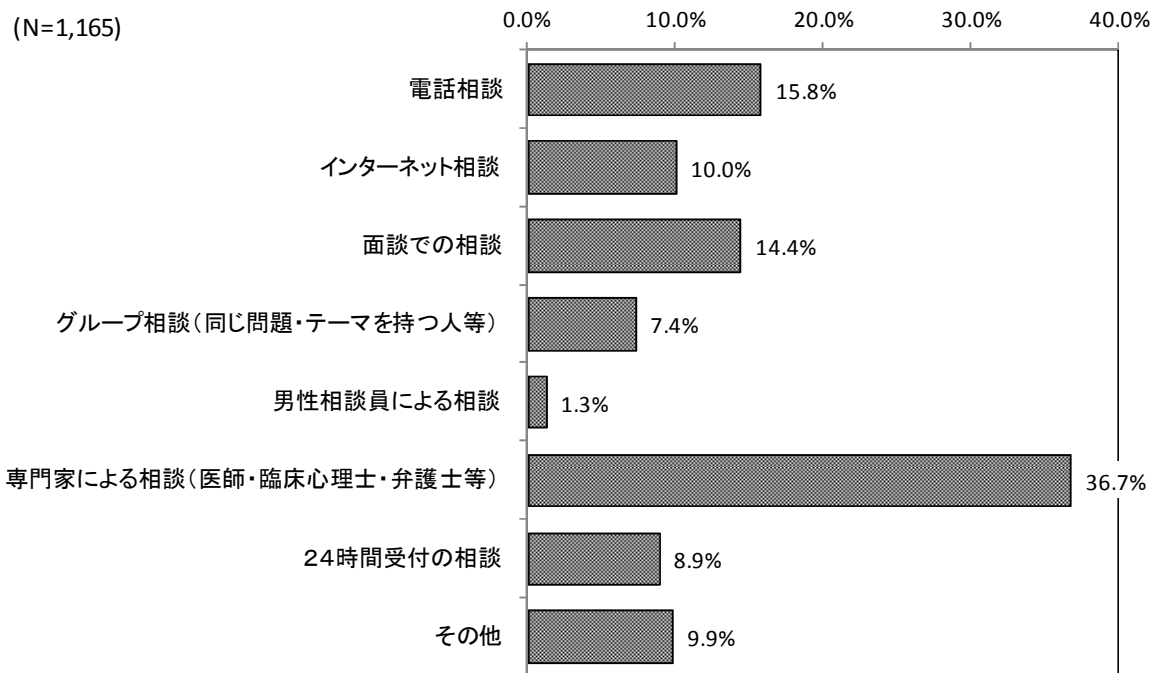
【男性票独自設問】

問43 あなたが、もし次のア～オのような悩みや困りごとがあつて誰かに相談する場合、どのような方法や体制があると相談しやすいと思いますか。1～8の相談方法等の中から、あてはまるものをすべて選択して○をしてください。

ア. 自身のメンタルヘルス、ストレスなどの相談

「専門家による相談」と回答した割合が36.7%と最も多く、次いで、「電話相談」(15.8%)、「面談での相談」(14.4%)となっている。

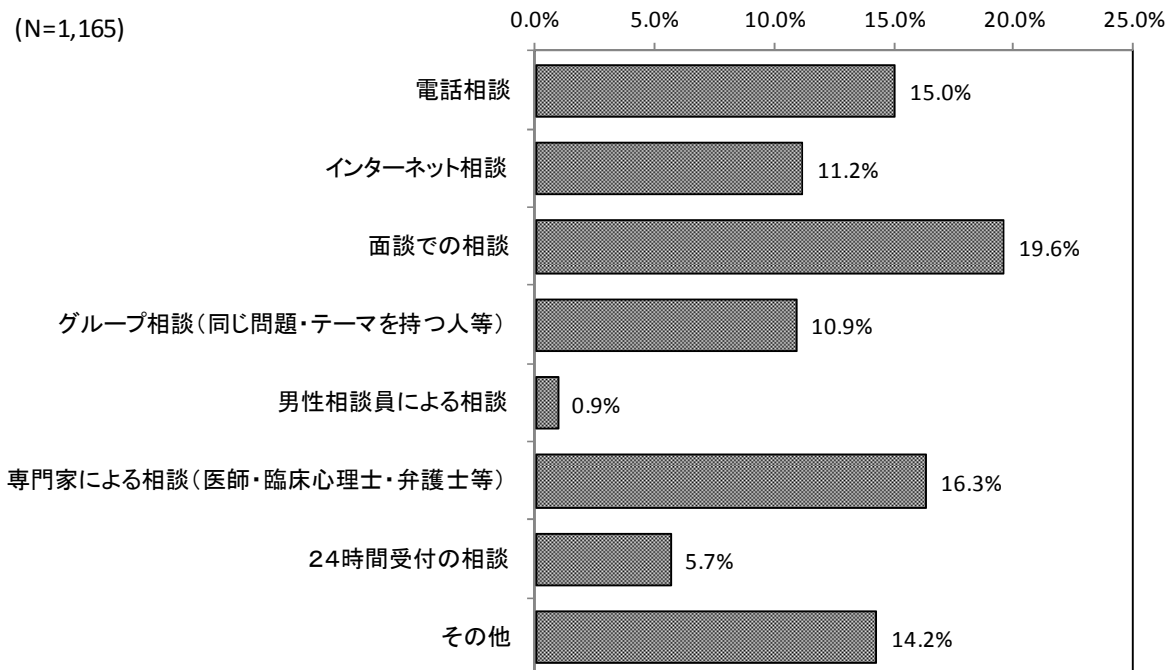
図表 希望する相談方法や体制／男性
「自身のメンタルヘルス、ストレスなどの相談」



イ. 生き方、暮らし方などの相談

「面談での相談」と回答した割合が 19.6%と最も多く、次いで「専門家による相談」(16.3%)、「電話相談」(15.0%)となっている。

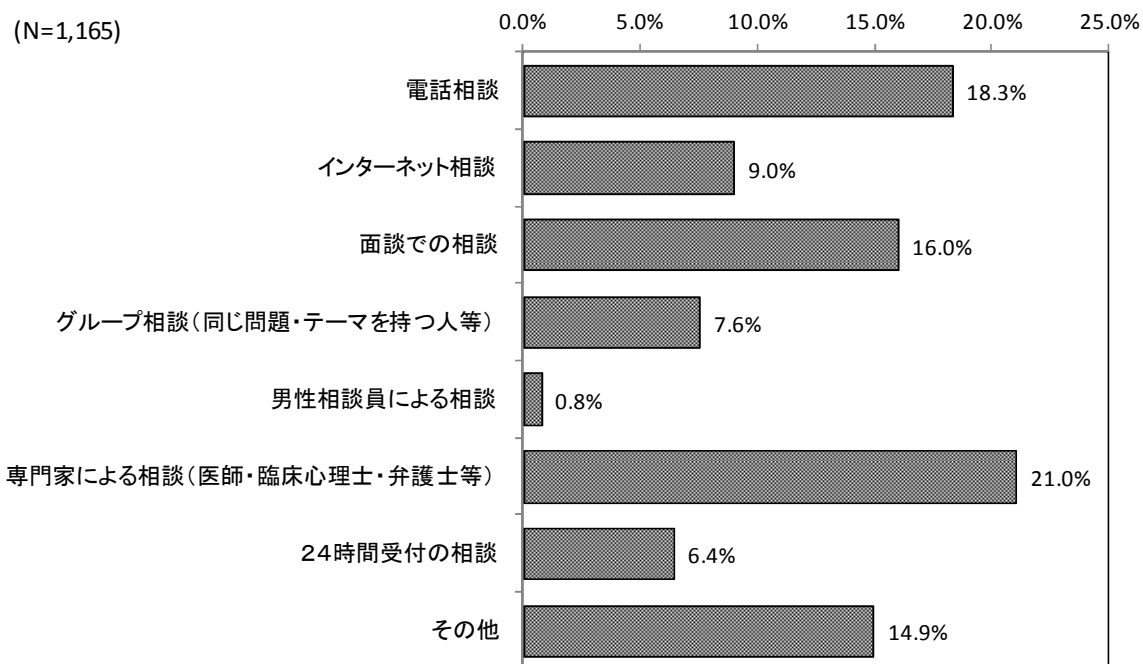
図表 希望する相談方法や体制／男性
「生き方、暮らし方などの相談」



ウ. 結婚や家族（夫婦を含む）などの身近な人との間に起きた問題についての相談

「専門家による相談」と回答した割合が 21.0%と最も多く、次いで、「電話相談」(18.3%)、「面談での相談」(16.0%)となっている。

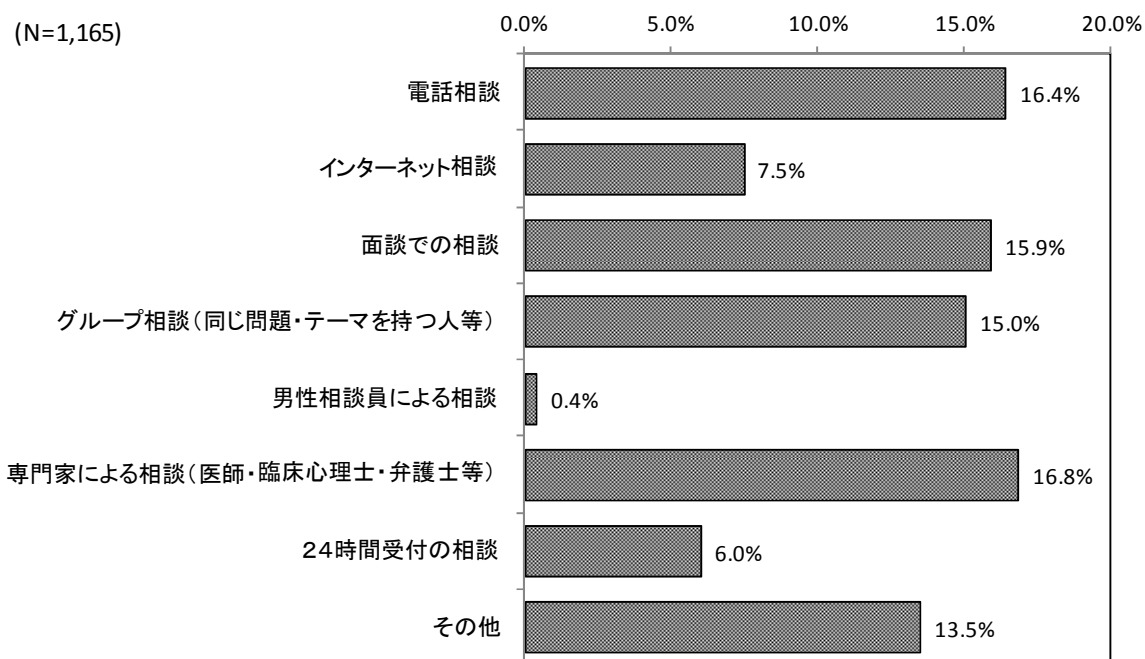
図表 希望する相談方法や体制／男性
「結婚や家族（夫婦を含む）などの身近な人との間に起きた問題についての相談」



エ. 育児、子どもの教育などの相談

「専門家による相談」と回答した割合が16.8%と最も多く、次いで、「電話相談」(16.4%)、「面談での相談」(15.9%)となっている。また、「グループ相談」と回答した割合が15.0%となっており、他の悩みや困りごとと比較して高いという特徴がみられる。

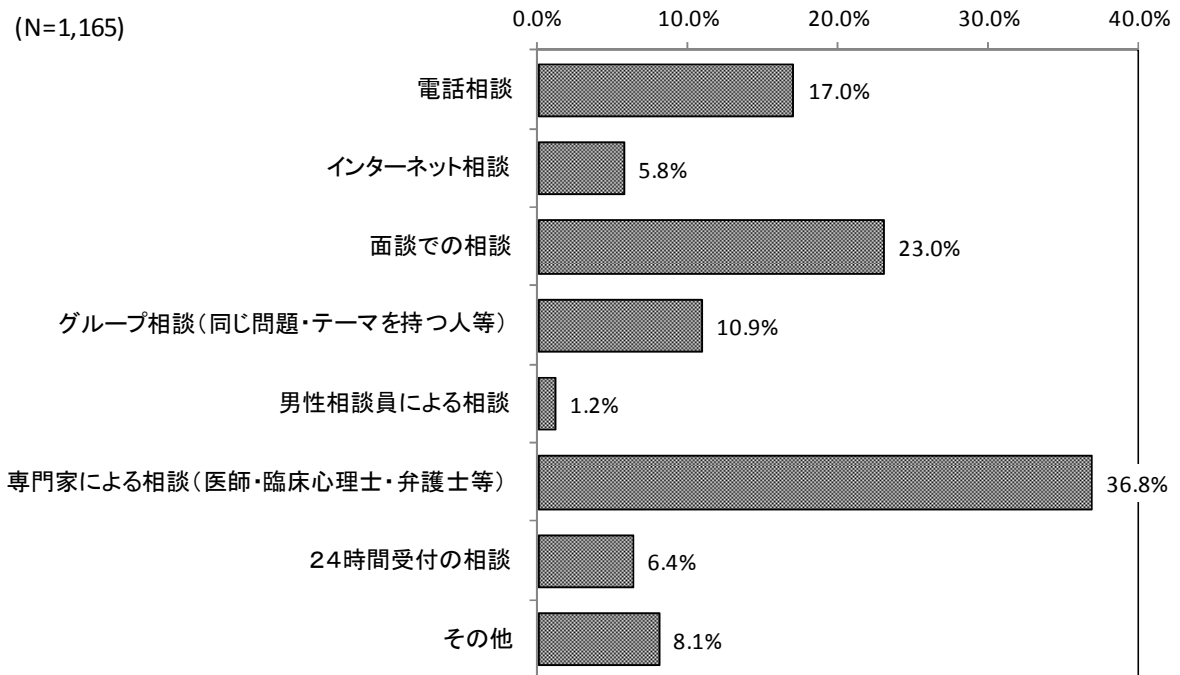
図表 希望する相談方法や体制／男性
「育児、子どもの教育などの相談」



オ. 介護の相談

「専門家による相談」と回答した割合が 36.8%と最も多く、次いで、「面談での相談」(23.0%)、「電話相談」(17.0%)となっている。

図表 希望する相談方法や体制／男性
「介護の相談」



8 「現在の考え方や感じ方」について

(1) 自身の考え方や感じ方

【男女共通設問：男性問44・女性問24】

次のそれぞれの文の内容について、あなたご自身の「現在の考え方や感じ方」として、最も近いと思われるものを選択して○をしてください。

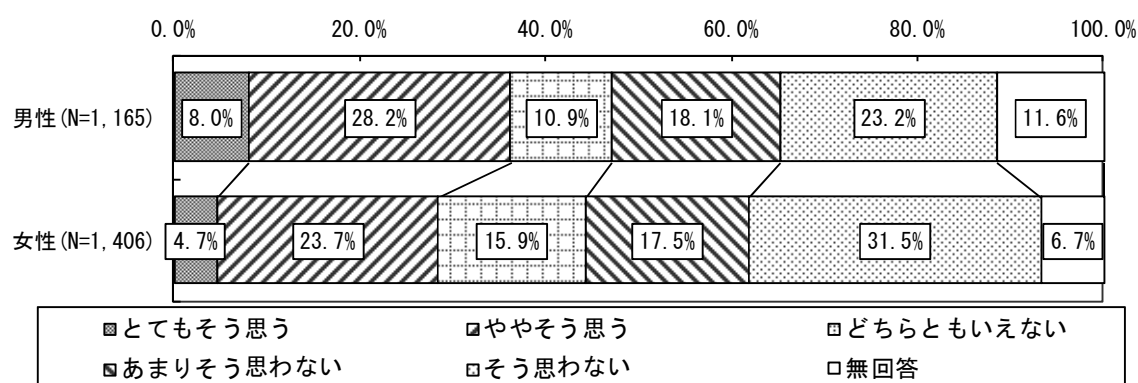
なお、お立場によって現在の状況に該当しない項目もありますが、その項目については、あなたがそのようなお立場になった場合を想定してご回答ください。それ以外の項目については、現在のあなたの考え方や感じ方についてご回答ください。

ア. 自分の子どもの成績や進路についての期待は、男子と女子では異なると思う

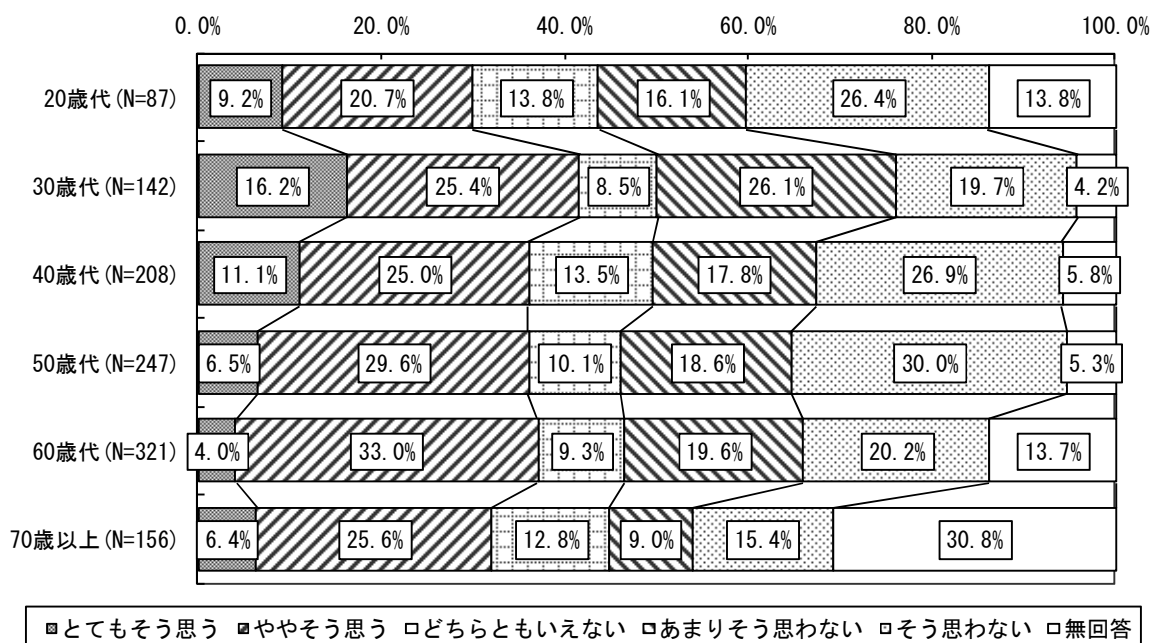
子どもの成績や進路についての期待は、男子と女子では異なるという考え方について、「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性36.2%（「とてもそう思う」8.0%、「ややそう思う」28.2%）、女性28.4%（「とてもそう思う」4.7%、「ややそう思う」23.7%）であり、男性の方が7.8ポイント多くなっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性41.3%（「あまりそう思わない」18.1%、「そう思わない」23.2%）、女性49.0%（「あまりそう思わない」17.5%、「そう思わない」31.5%）であり、女性の方が7.7ポイント多くなっている。

年齢別にみると、「そう思う」は、30歳代男性で41.6%（「とてもそう思う」16.2%、「ややそう思う」25.4%）、30歳代女性で35.6%（「とてもそう思う」8.8%、「ややそう思う」26.8%）となっており、男女ともに30歳代が最も多くなっている。30歳代より高い年齢層では、男性の方が女性よりも高い割合になっている。

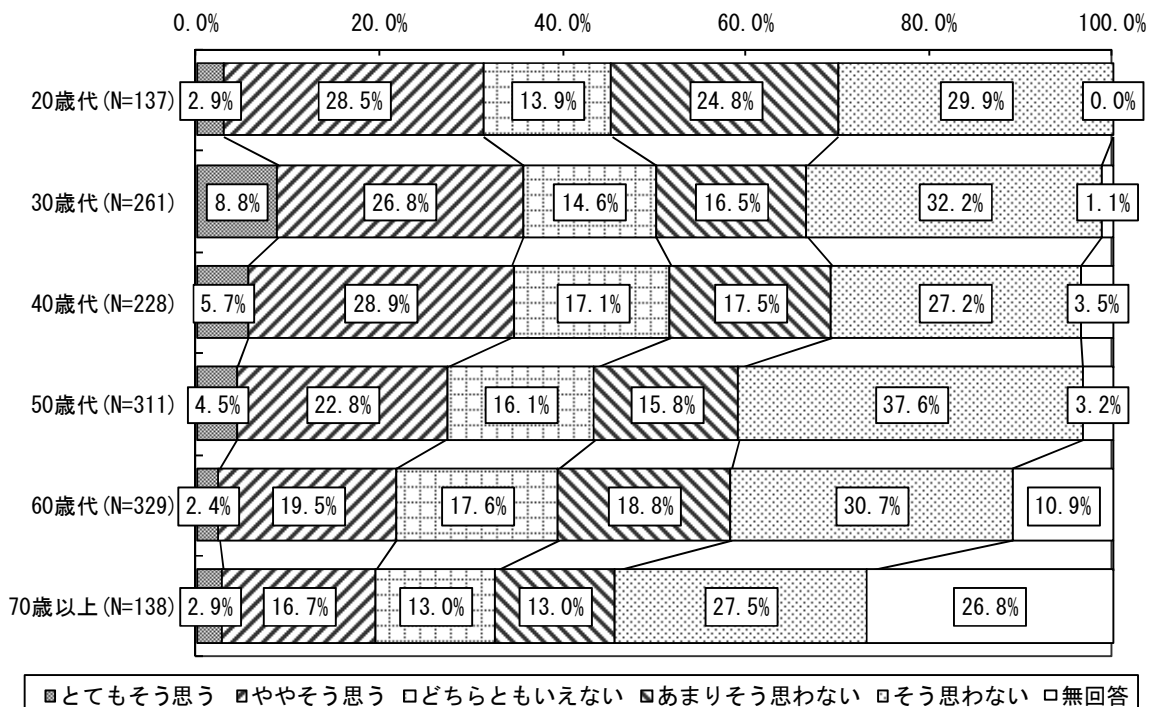
図表 自身の考え方や感じ方
「子どもの成績や進路についての期待は、男子と女子では異なる」



図表 自身の考え方や感じ方
「子どもの成績や進路についての期待は、男子と女子では異なる」／男性・年齢別



図表 自身の考え方や感じ方
「子どもの成績や進路についての期待は、男子と女子では異なる」／女性・年齢別



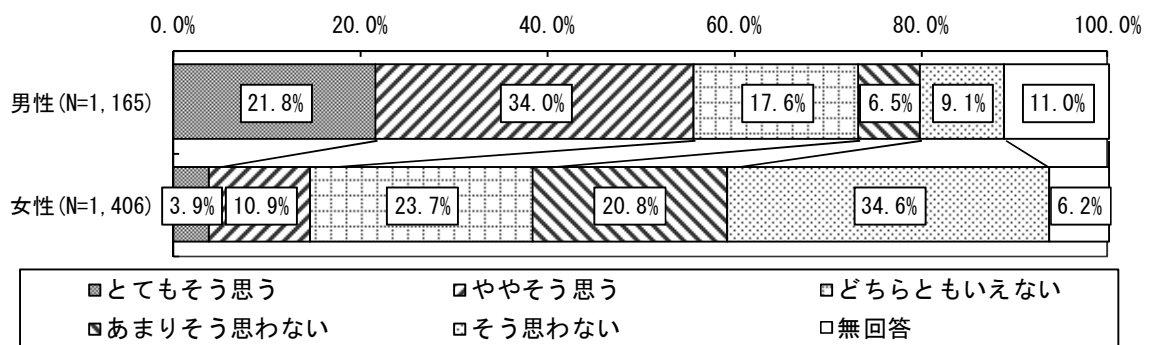
イ. デートの費用は、自分が多く払うのが当然だと思う（男性票）

イ. デートの費用は、相手が多く払うのが当然だと思う（女性票）

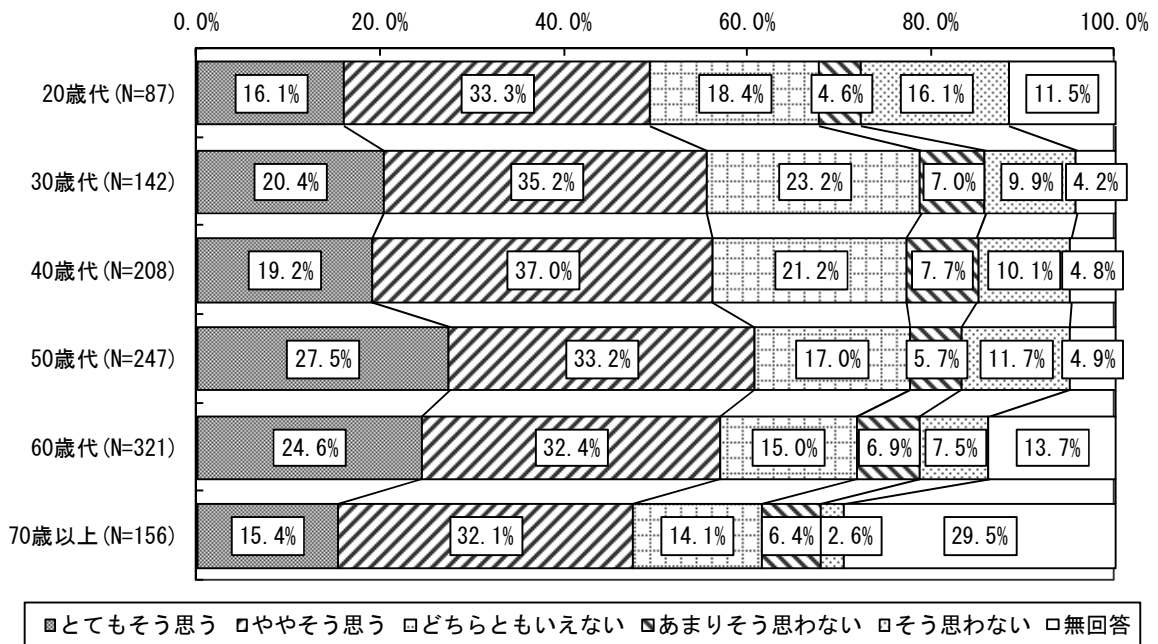
デートの費用は男性が多く払うのが当然だという考え方について、「そう思う」「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計は、男性 55.8%（「とてもそう思う」21.8%、「ややそう思う」34.0%）、女性 14.8%（「とてもそう思う」3.9%、「ややそう思う」10.9%）であり、男性の方が 41.0 ポイント多くなっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性 15.6%（「あまりそう思わない」6.5%、「そう思わない」9.1%）、女性 55.4%（「あまりそう思わない」20.8%、「そう思わない」34.6%）となっており、女性の方が 39.8 ポイント多くなっており、男女の差が大きい。

年齢別にみると、「そう思う」が最も高いのは 50 歳代男性の 60.7%（「とてもそう思う」27.5%、「ややそう思う」33.2%）であり、「そう思わない」が最も高いのは 20 歳代女性の 62.8%（「あまりそう思わない」16.1%、「そう思わない」46.7%）である。また、「とてもそう思う」「ややそう思う」という回答は、いずれの年齢層においても男性の方が女性よりも高くなっている。

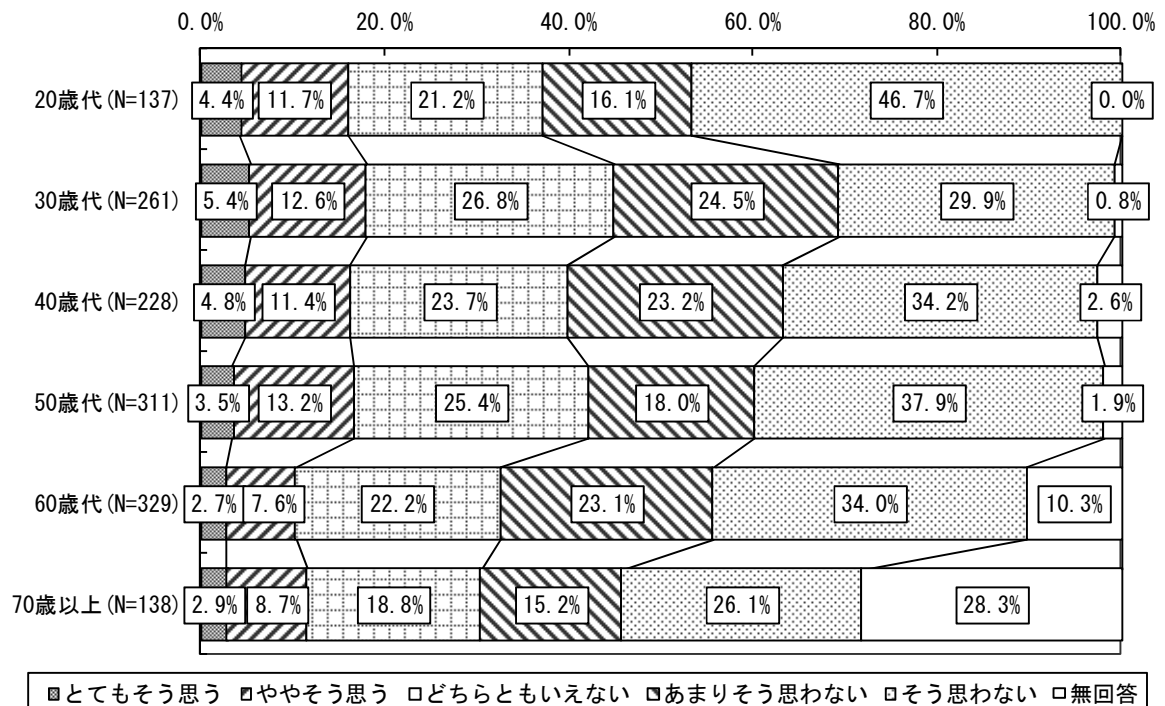
図表 自身の考え方や感じ方
「デートの費用は男性が多く払うのが当然だ」



図表 自身の考え方や感じ方
「デートの費用は男性が多く払うのが当然だ」／男性・年齢別



図表 自身の考え方や感じ方
「デートの費用は男性が多く払うのが当然だ」／女性・年齢別



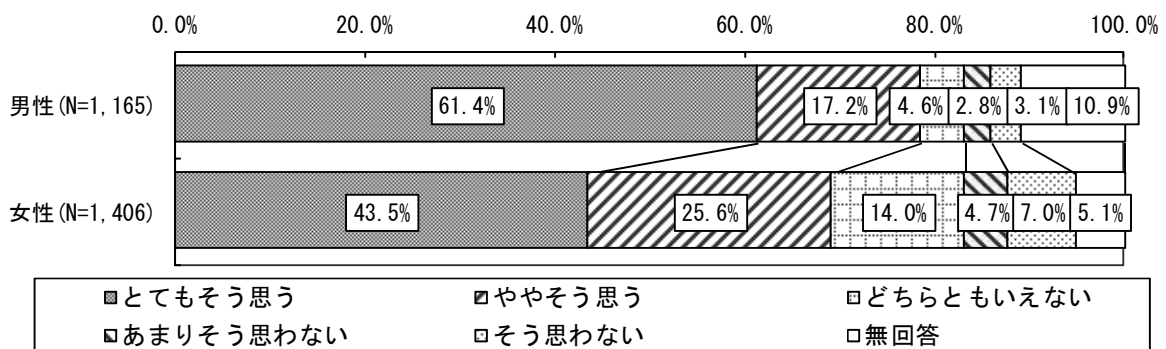
ウ. (結婚したら) 家族のために、仕事を継続しなければならないと思う (男性票)

ウ. (結婚したら) 配偶者は家族のために、仕事を継続しなければならないと思う (女性票)

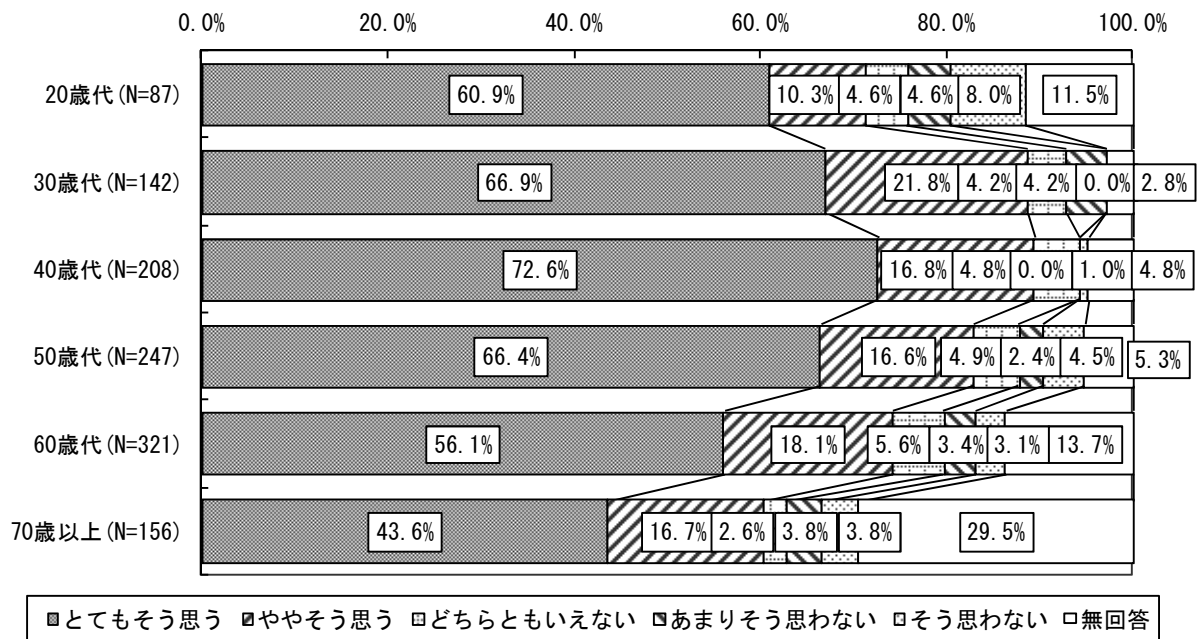
結婚後、男性は家族のために仕事を継続しなければならないという考え方について、「そう思う」(「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計)は、男性78.6%(「とてもそう思う」61.4%、「ややそう思う」17.2%)、女性69.1%(「とてもそう思う」43.5%、「ややそう思う」25.6%)であり、男性で約8割、女性で約7割を占めている。「とてもそう思う」だけでみると、男性61.4%、女性43.5%と、男性の方が17.9ポイント多くなっている。

年齢別にみると、「そう思う」は、20歳代から50歳代まではいずれの年齢層も高い割合で、60歳代、70歳代でやや少なくなっている。

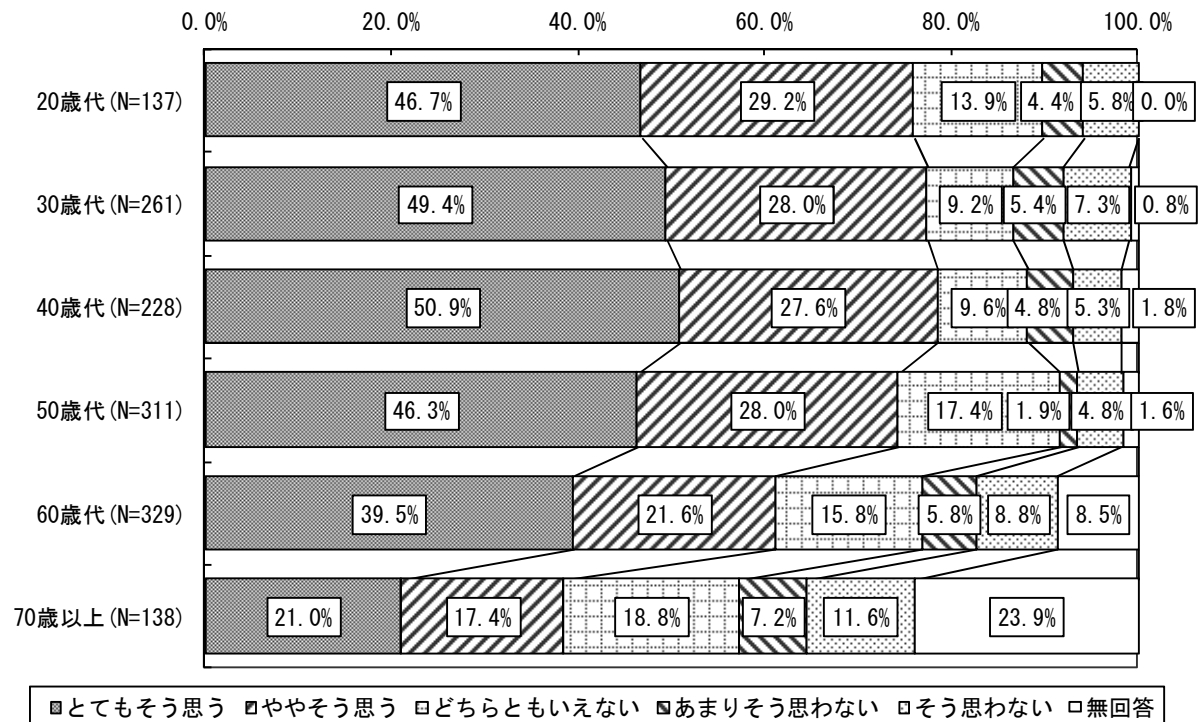
図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 男性は家族のために、仕事を継続しなければならない」



図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 男性は家族のために、仕事を継続しなければならない」 / 男性・年齢別



図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 男性は家族のために、仕事を継続しなければならない」 / 女性・年齢別



エ. (結婚したら) 配偶者にはできるだけ稼いでもらいたいと思う (男性票)

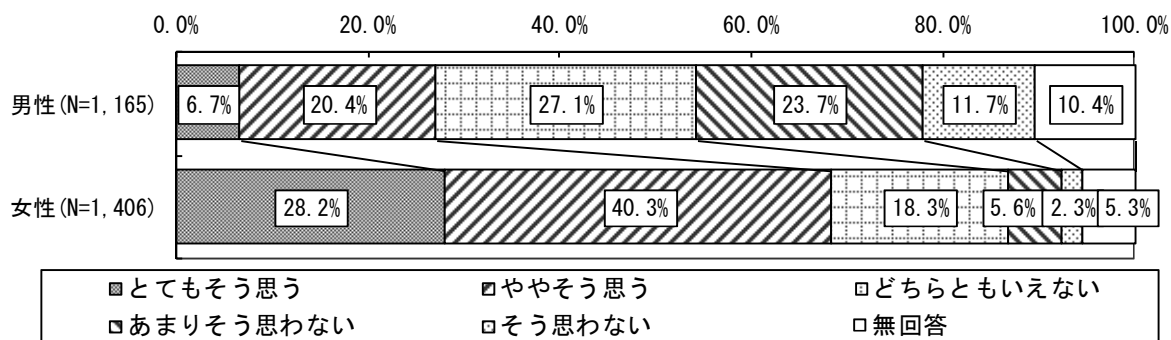
エ. (結婚したら) 自分もできるだけ稼ぎたいと思う (女性票)

結婚後、配偶者(妻)にはできるだけ稼いでもらいたいと思うかどうかについての男性の回答は、「そう思う」(「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計)が27.1%(「とてもそう思う」6.7%、「ややそう思う」20.4%)で、「そう思わない」(「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計)が35.4%(「あまりそう思わない」23.7%、「そう思わない」11.7%)であり、「そう思わない」の方が8.3ポイント多くなっている。

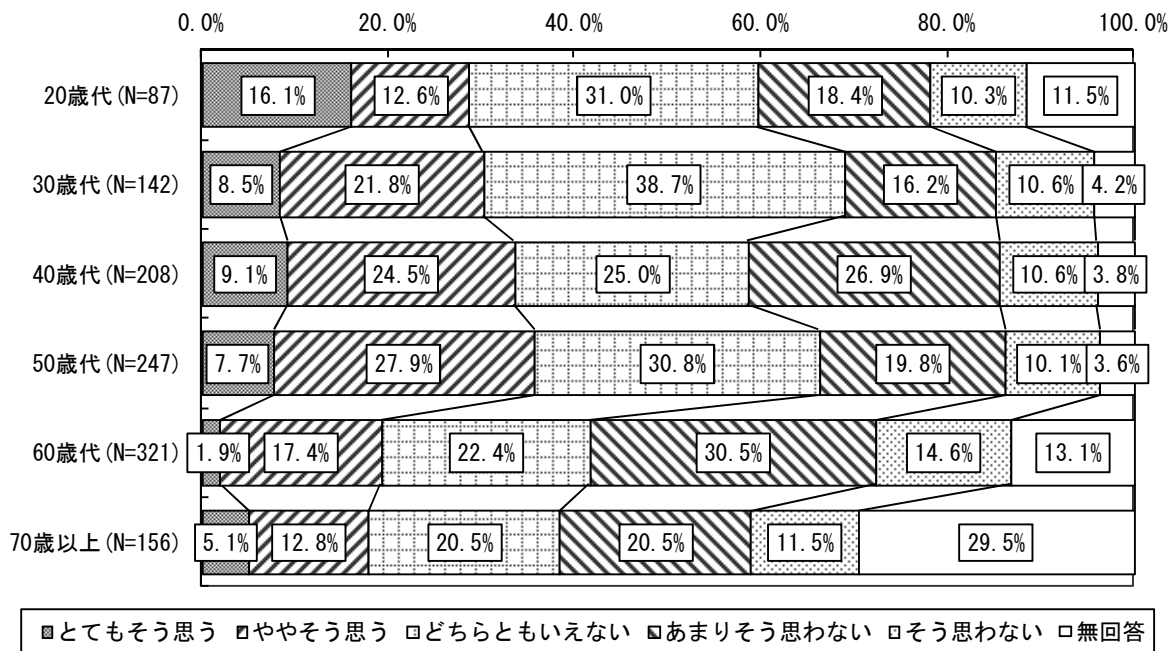
一方、結婚後、自分もできるだけ稼ぎたいと思うかどうかについての女性の回答は、「そう思う」が68.5%(「とてもそう思う」28.2%、「ややそう思う」40.3%)で、「そう思わない」が7.9%(「あまりそう思わない」5.6%、「そう思わない」2.3%)であり、「そう思う」の方が60.6ポイント多くなっており、結婚後に女性が収入を得ることに対する考え方について、男女の差が大きい。

年齢別にみると、男性では、20歳代男性は、配偶者(妻)にできるだけ稼いでもらいたいと思うかどうかについて、「とてもそう思う」が16.1%と、他の年齢層よりも多くなっている。女性では、20歳代から50歳代までは、結婚後、自分もできるだけ稼ぎたいと思うかどうかについて、「とてもそう思う」と回答した割合が3割を超えているが、60歳代、70歳代では少なくなっている。

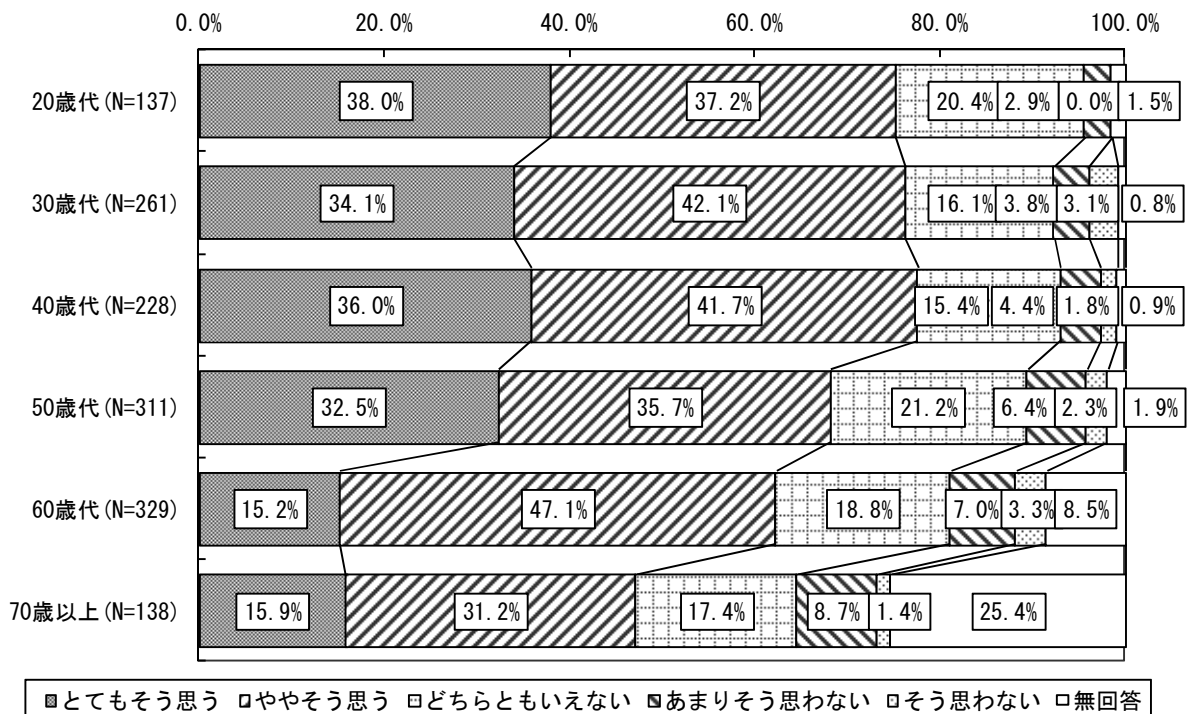
図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 配偶者(妻)にできるだけ稼いでもらいたい」/男性
「(結婚したら) 自分もできるだけ稼ぎたい」/女性



図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 配偶者(妻) にできるだけ稼いでもらいたい」／男性



図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 自分もできるだけ稼ぎたい」／女性



オ. (結婚したら) 配偶者には仕事よりも家庭を優先してほしいと思う (男性票)

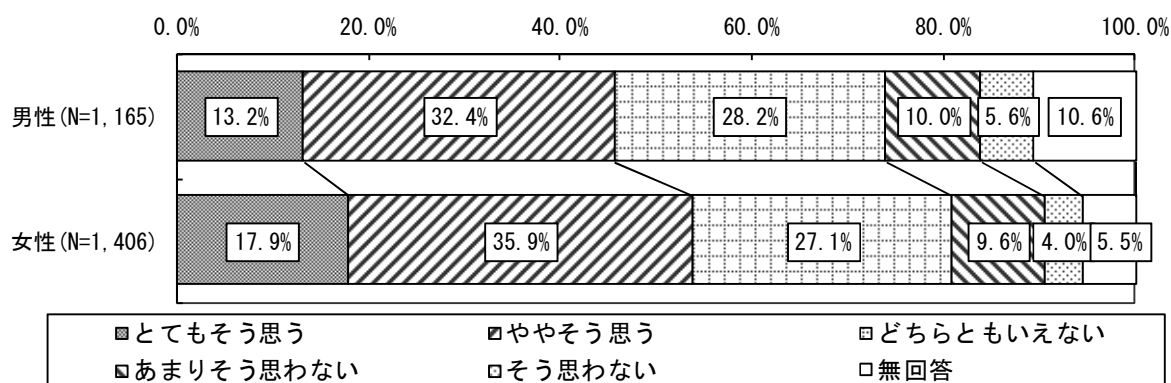
オ. (結婚したら) 自分は仕事よりも家庭を優先したいと思う (女性票)

結婚後、配偶者(妻)には仕事よりも家庭を優先してほしいと思うかどうかについての男性の回答は、「そう思う」(「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計)が45.6%(「とてもそう思う」13.2%、「ややそう思う」32.4%)で、「そう思わない」(「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計)が15.6%(「あまりそう思わない」10.0%、「そう思わない」5.6%)であり、「そう思う」の方が30.0ポイント多くなっている。

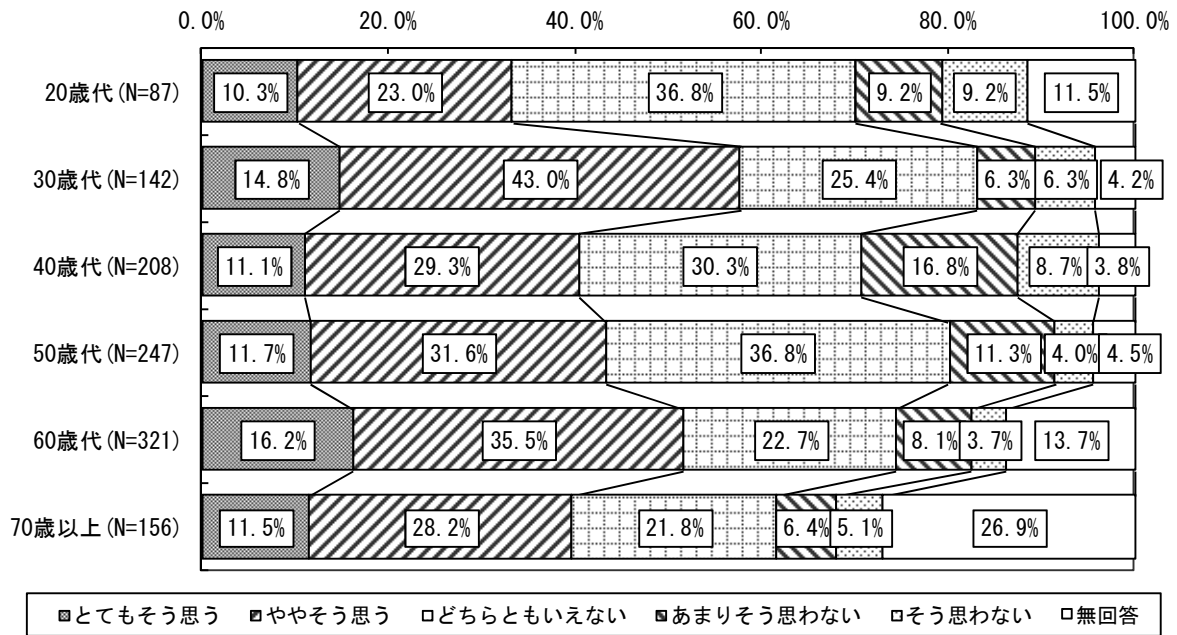
一方、結婚後、自分は仕事よりも家庭を優先したいと思うかどうかについての女性の回答は、「そう思う」が53.8%(「とてもそう思う」17.9%、「ややそう思う」35.9%)で、「そう思わない」が13.6%(「あまりそう思わない」9.6%、「そう思わない」4.0%)であり、「そう思う」の方が40.2ポイント多くなっている。

年齢別にみると、男女ともに、いずれの年齢層においても、「そう思う」の方が、「そう思わない」より多くなっている。また、女性では若い年齢層ほど「そう思う」が多く、20歳代が68.6%と最も高くなっているが、20歳代男性が33.3%と最も低くなっている。

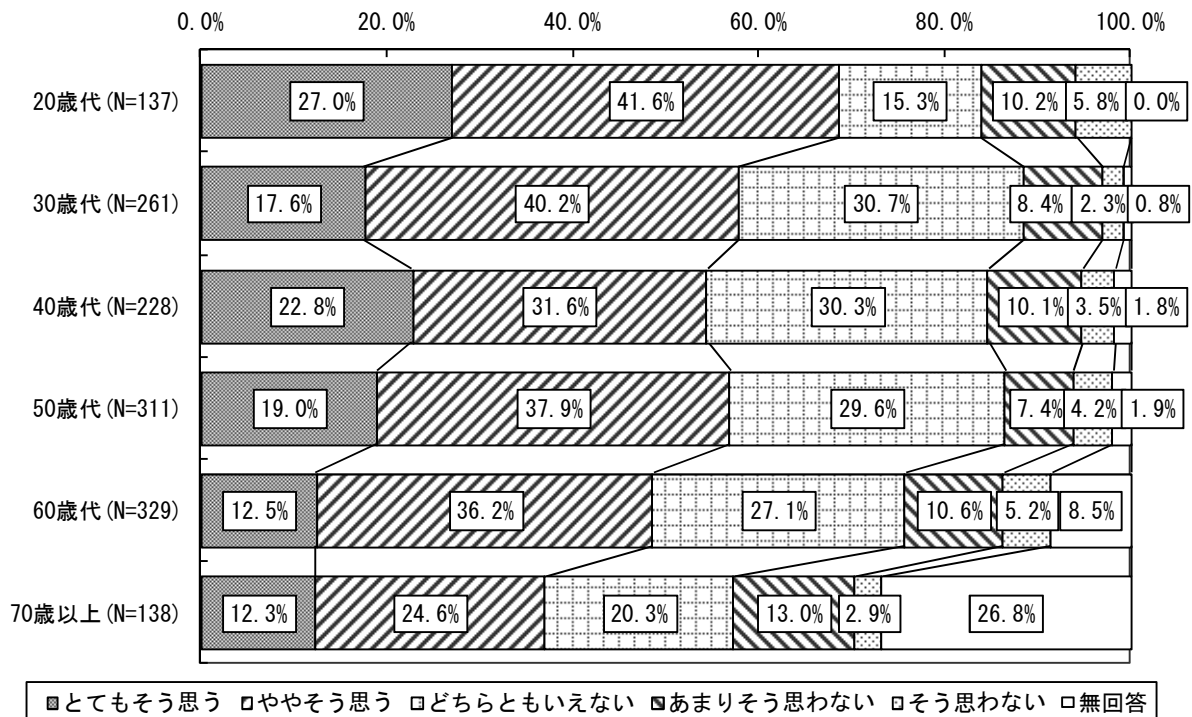
図表 自身の考え方や感じ方
 「(結婚したら) 配偶者(妻)には仕事よりも家庭を優先してほしい」/男性
 「(結婚したら) 自分は仕事よりも家庭を優先したい」/女性



図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 配偶者(妻)には仕事よりも家庭を優先してほしい」男性



図表 自身の考え方や感じ方
「(結婚したら) 自分は仕事よりも家庭を優先したい」女性



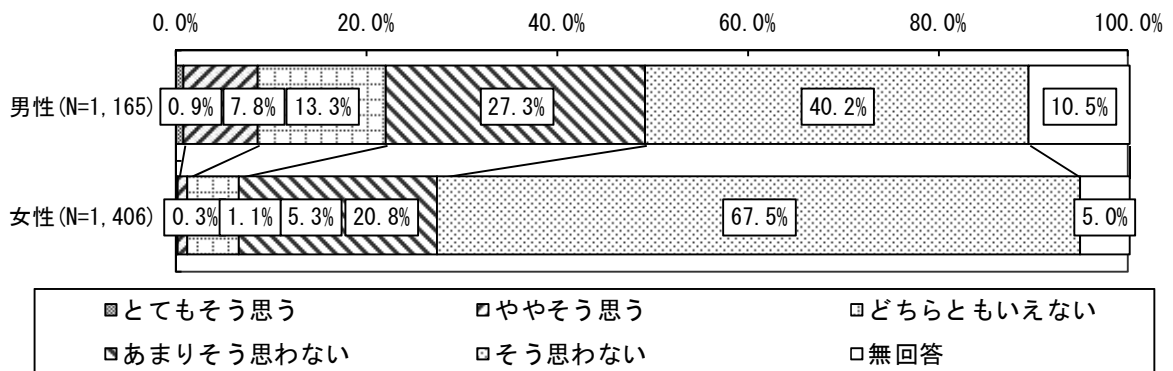
カ. 自分が家事や育児をすることは、格好悪いし恥ずかしいと思う（男性票）

カ. 配偶者が家事や育児をすることは、格好悪いし恥ずかしいと思う（女性票）

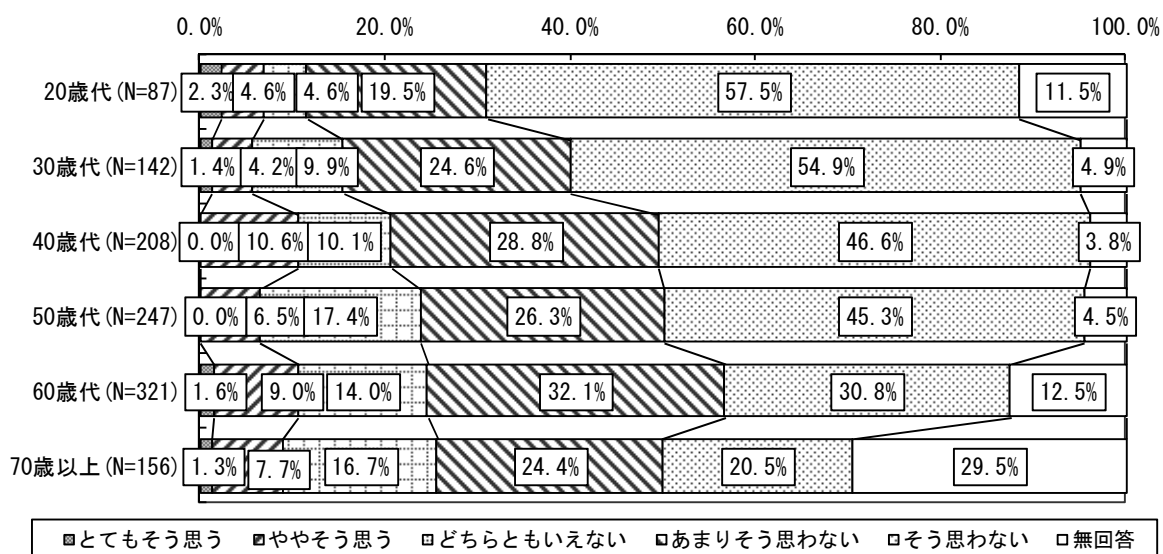
男性が家事や育児をすることは格好悪い、恥ずかしいと思うかどうかについて、「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性 8.7%（「とてもそう思う」0.9%、「ややそう思う」7.8%）、女性 1.4%（「とてもそう思う」0.3%、「ややそう思う」1.1%）であり、男女ともに1割に満たない。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性 67.5%（「あまりそう思わない」27.3%、「そう思わない」40.2%）、女性 88.3%（「あまりそう思わない」20.8%、「そう思わない」67.5%）であり、男女とも「そう思う」よりも「そう思わない」の方が多くなっている。特に、「そう思わない」だけで見ると、男性 40.2%、女性 67.5%と、女性の方が 27.3 ポイント多く、男女の差が大きい。

年齢別にみると、「そう思わない」は、いずれの年齢層においても男性よりも女性の方が多く、男性は若い年齢層ほど「そう思わない」の割合が多くなっている。

図表 自身の考え方や感じ方
「男性が家事や育児をすることは、格好悪いし恥ずかしい」

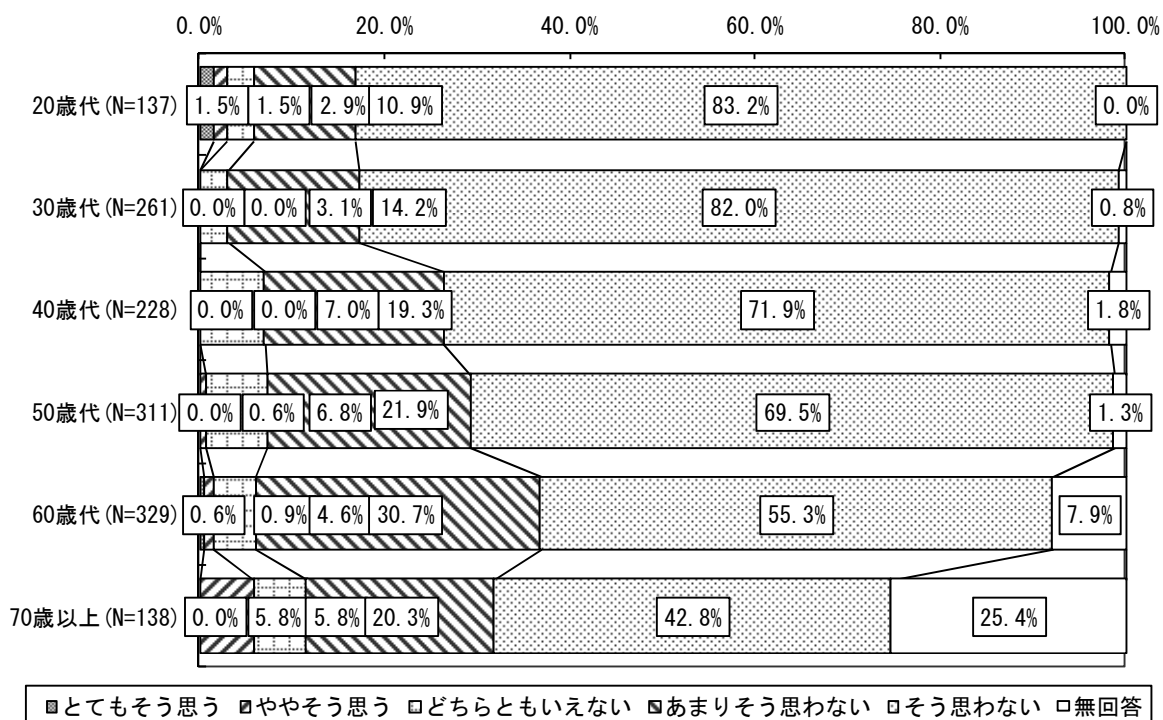


図表 自身の考え方や感じ方
「自分が家事や育児をすることは、格好悪いし恥ずかしい」／男性・年齢別



■とてもそう思う ■ややそう思う □どちらともいえない □あまりそう思わない □そう思わない □無回答

図表 自身の考え方や感じ方
「配偶者（夫）が家事や育児をすることは、格好悪いし恥ずかしい」／女性・年齢別



■とてもそう思う ■ややそう思う □どちらともいえない □あまりそう思わない □そう思わない □無回答

キ. 配偶者や恋人には、できれば自分の意見に従ってもらいたいと思う（男性票）

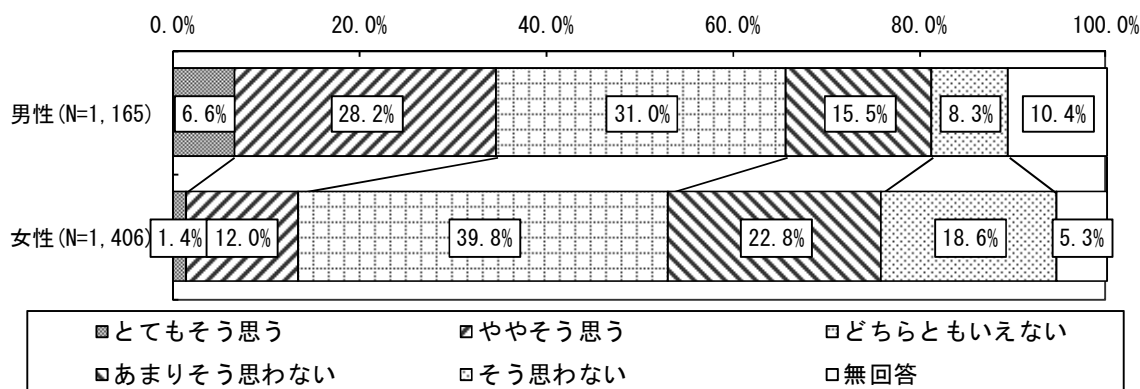
キ. 自分は配偶者や恋人の意見に従うほうがよいと思う（女性票）

配偶者（妻）には、できれば自分の意見に従ってもらいたいと思うかどうかについての男性の回答は、「どちらともいえない」（31.0%）が最も高い割合になっている。また、「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）が34.8%（「とてもそう思う」6.6%、「ややそう思う」28.2%）で、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）が23.8%（「あまりそう思わない」15.5%、「そう思わない」8.3%）であり、「そう思う」の方が11.0ポイント多くなっている。

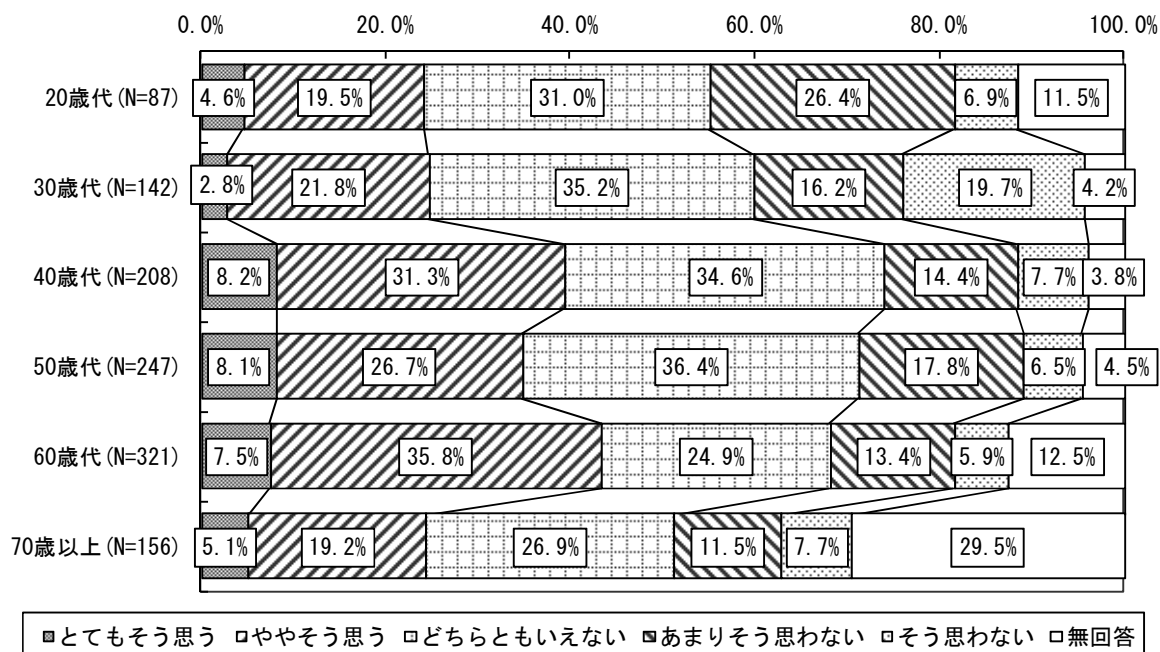
一方、自分は配偶者（夫）や恋人の意見に従うほうがよいと思うかどうかについての女性の回答は、「どちらともいえない」（39.8%）が最も多くなっている。また、「そう思う」が13.4%（「とてもそう思う」1.4%、「ややそう思う」12.0%）で、「そう思わない」が41.4%（「あまりそう思わない」22.8%、「そう思わない」18.6%）であり、「そう思わない」の方が28.0ポイント多くなっており、男女の差が大きい。

年齢別にみると、「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、いずれの年齢層においても男性の方が女性よりも多くなっている。

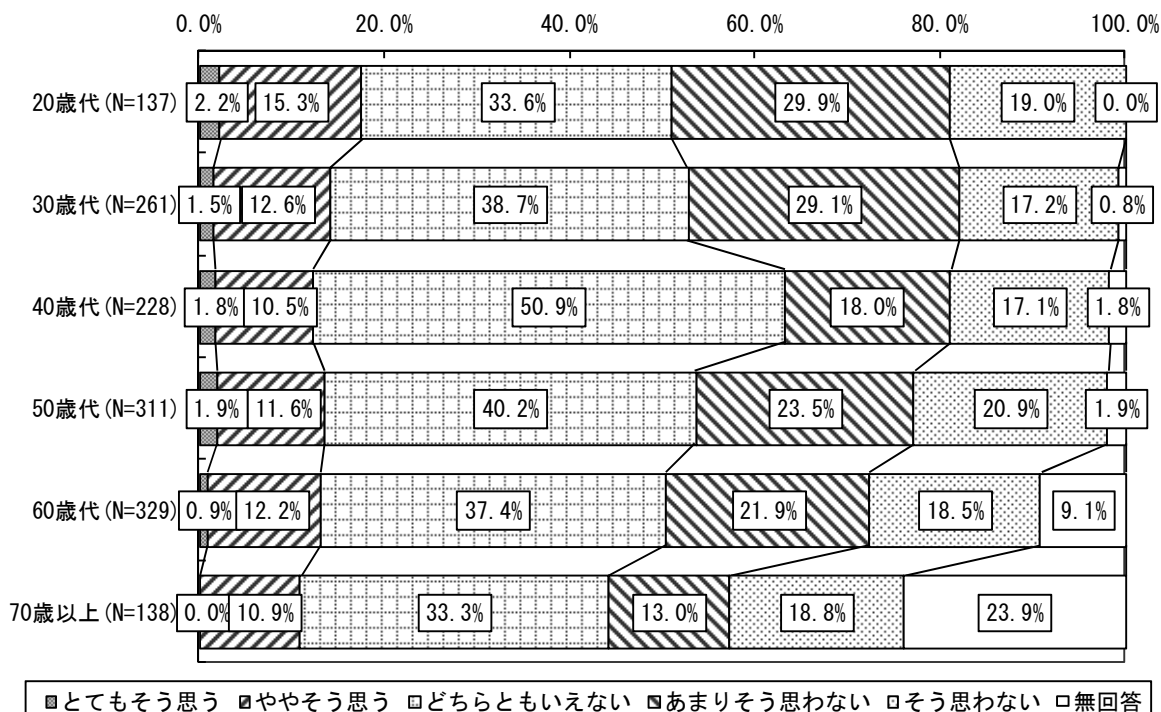
図表 自身の考え方や感じ方
「配偶者（妻）や恋人には、できれば自分の意見に従ってもらいたいと思う」／男性
「自分は配偶者（夫）や恋人の意見に従うほうがよいと思う」／女性



図表 自身の考え方や感じ方
「配偶者（妻）や恋人には、できれば自分の意見に従ってもらいたいと思う」／男性



図表 自身の考え方や感じ方
「自分は配偶者（夫）や恋人の意見に従うほうがよいと思う」／女性



ク. 仕事で業績を評価されたいと思う（男性票）

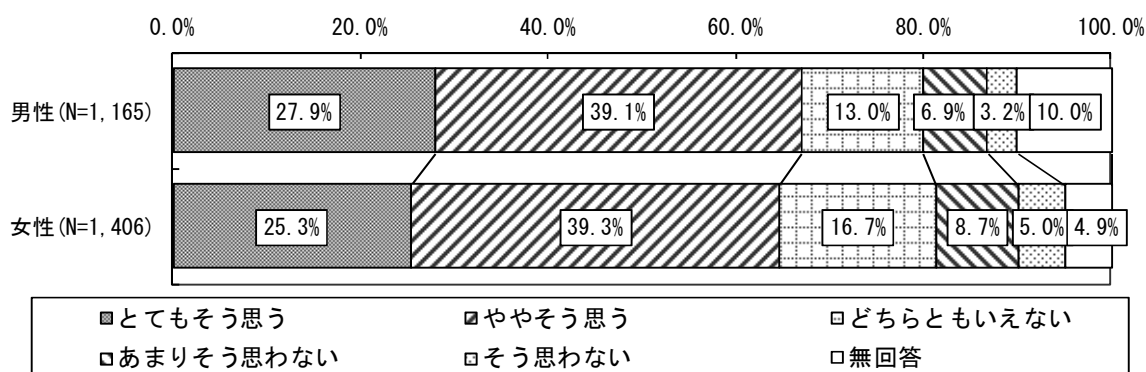
ク. 配偶者には、仕事で業績を評価されてほしいと思う（女性票）

仕事で業績を評価されたいと思うかどうかについての男性の回答は、「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）が67.0%（「とてもそう思う」27.9%、「ややそう思う」39.1%）で、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）が10.1%（「あまりそう思わない」6.9%、「そう思わない」3.2%）であり、「そう思う」の方が56.9ポイント多くなっている。

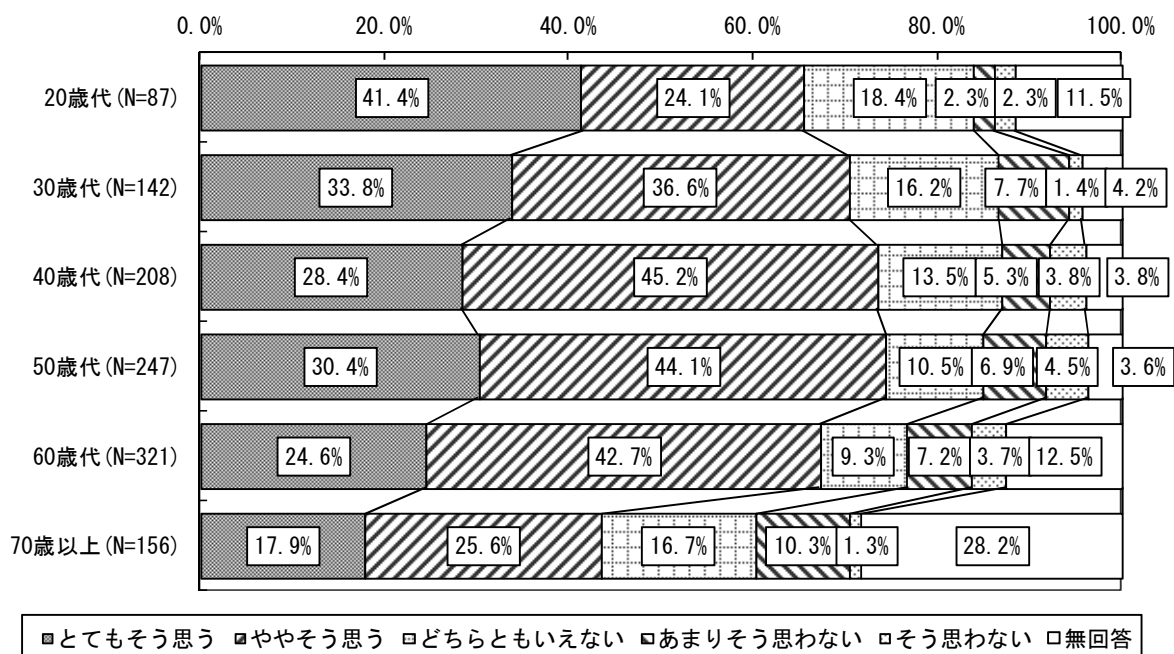
一方、配偶者（夫）には、仕事で業績を評価されてほしいと思うかどうかについての女性の回答は、「そう思う」が64.6%（「とてもそう思う」25.3%、「ややそう思う」39.3%）で、「そう思わない」が13.7%（「あまりそう思わない」8.7%、「そう思わない」5.0%）であり、「そう思う」の方が50.9ポイント多くなっており、男女の差があまりみられない。

年齢別にみると、男性は、20歳代から60歳代までは「そう思う」が6割を超えているが、70歳代では5割を下回る。また、年齢層が上がるにしたがって「とてもそう思う」と回答した割合が少なくなっている。女性は、「とてもそう思う」と回答した割合が20歳代から40歳代で多く、50歳代より上の年齢層ではやや少なくなっている。

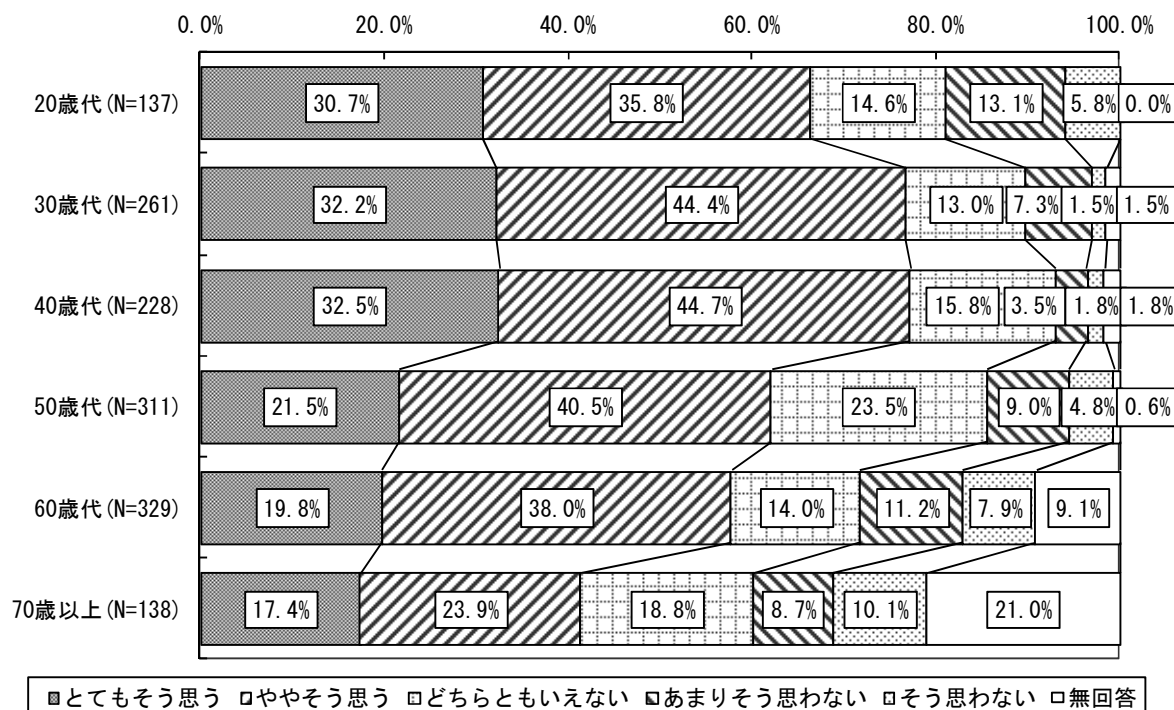
図表 自身の考え方や感じ方
「仕事で業績を評価されたい」／男性
「配偶者（夫）には、仕事で業績を評価されてほしい」／女性



図表 自身の考え方や感じ方
「仕事で業績を評価されたい」／男性・年齢別



図表 自身の考え方や感じ方
「配偶者（夫）には、仕事で業績を評価されてほしい」／女性・年齢別



(2) 男女に関する考え方

【男女共通設問：男性問45-1・女性問25-1】

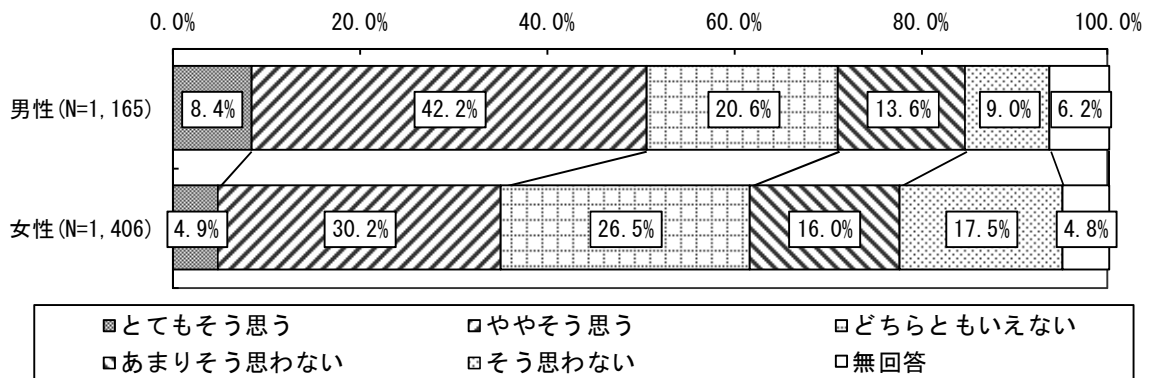
あなたは、次のア～コのような考え方をどう思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択して○をしてください。

ア. 家事や子どもの世話は、女性がするほうがよい

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が50.6%（「とてもそう思う」8.4%、「ややそう思う」42.2%）、女性が35.1%（「とてもそう思う」4.9%、「ややそう思う」30.2%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が22.6%（「あまりそう思わない」13.6%、「そう思わない」9.0%）、女性が33.5%（「あまりそう思わない」16.0%、「そう思わない」17.5%）となっている。

「そう思う」は、男女ともに「そう思わない」よりも多くなっている。

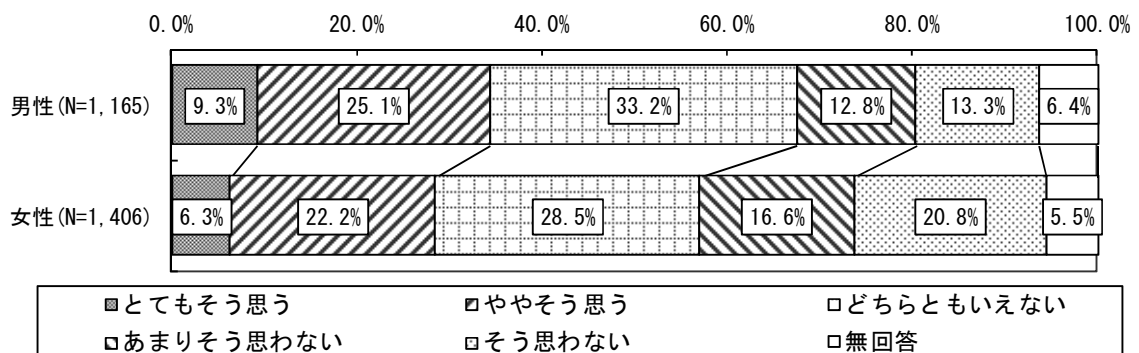
図表 男女に関する考え方「家事や子どもの世話は、女性がするほうがよい」



イ. 責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が34.4%（「とてもそう思う」9.3%、「ややそう思う」25.1%）、女性が28.5%（「とてもそう思う」6.3%、「ややそう思う」22.2%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が26.1%（「あまりそう思わない」12.8%、「そう思わない」13.3%）、女性が37.4%（「あまりそう思わない」16.6%、「そう思わない」20.8%）となっている。

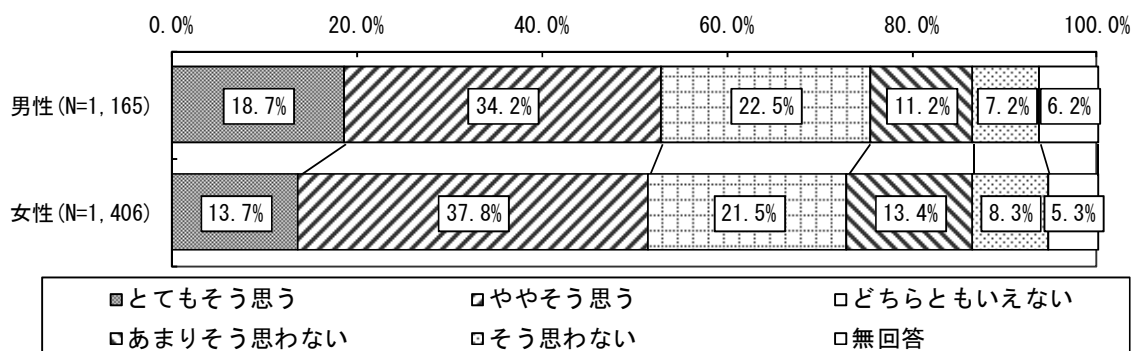
図表 男女に関する考え方「責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい」



ウ. 男性は仕事における成功が重要である

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が52.9%（「とてもそう思う」18.7%、「ややそう思う」34.2%）、女性が51.5%（「とてもそう思う」13.7%、「ややそう思う」37.8%）となっており、男女ともに5割を超えている。

図表 男女に関する考え方「男性は仕事における成功が重要である」

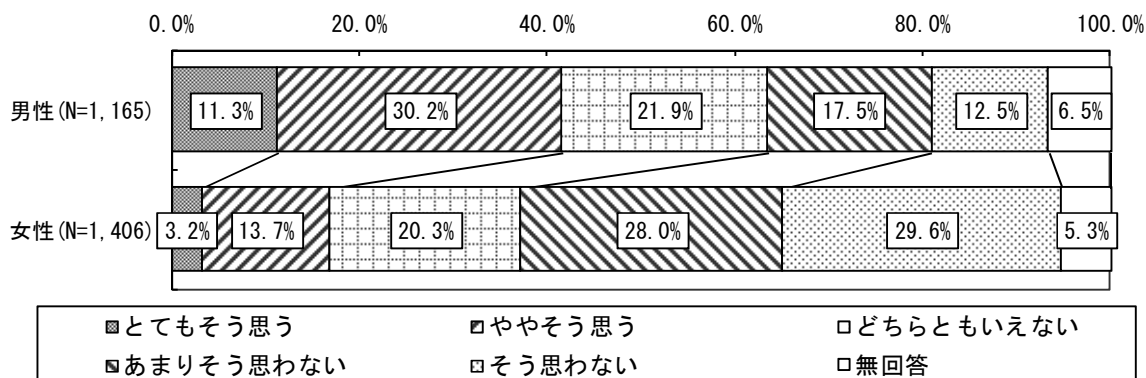


エ. 男性は弱音を吐くべきではない

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が41.5%（「とてもそう思う」11.3%、「ややそう思う」30.2%）、女性が16.9%（「とてもそう思う」3.2%、「ややそう思う」13.7%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が30.0%（「あまりそう思わない」17.5%、「そう思わない」12.5%）、女性が57.6%（「あまりそう思わない」28.0%、「そう思わない」29.6%）となっている。

「そう思う」は、男性の方が女性よりも2倍以上多くなっている。また、「そう思わない」は、女性の方が男性より27.6ポイント多くなっており、男女の差が大きい。

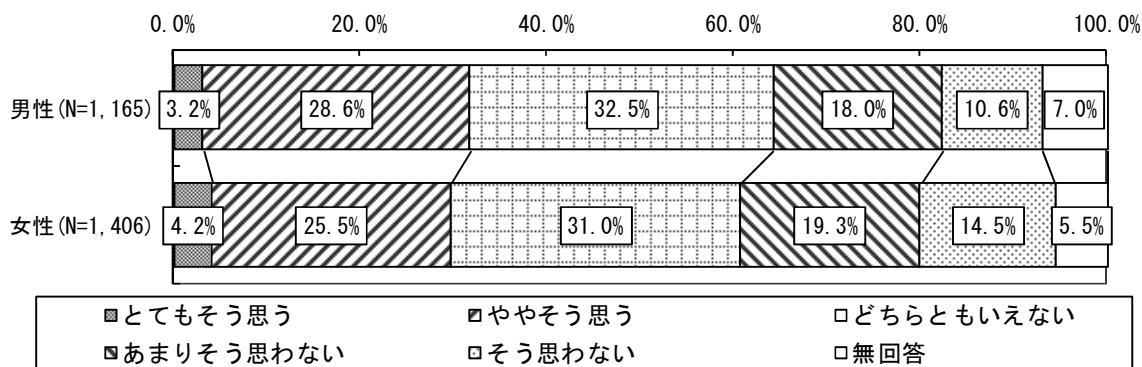
図表 男女に関する考え方「男性は弱音を吐くべきではない」



オ. 女性は責任のある役割を引き受けたがらない

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が31.8%（「とてもそう思う」3.2%、「ややそう思う」28.6%）、女性が29.7%（「とてもそう思う」4.2%、「ややそう思う」25.5%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が28.6%（「あまりそう思わない」18.0%、「そう思わない」10.6%）、女性が33.8%（「あまりそう思わない」19.3%、「そう思わない」14.5%）となっている。

図表 男女に関する考え方「女性は責任のある仕事を引き受けたがらない」

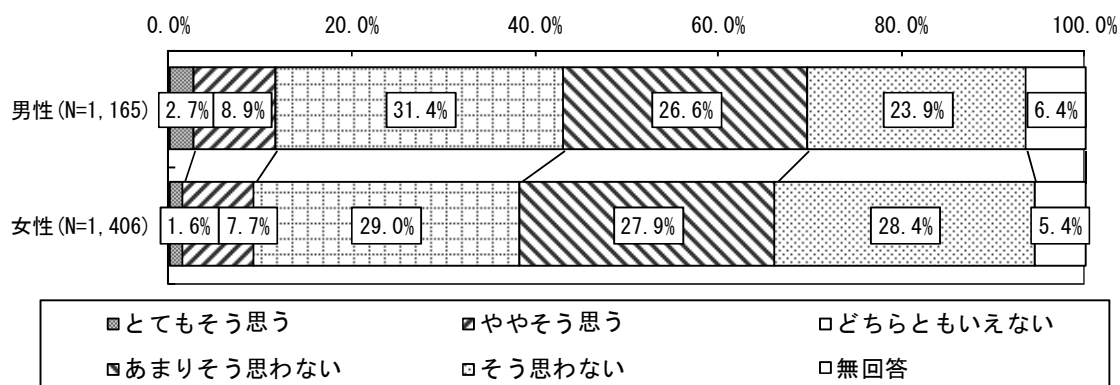


カ. 昔からの地域の慣習やしきたりを変える必要はない

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が11.6%（「とてもそう思う」2.7%、「ややそう思う」8.9%）、女性が9.3%（「とてもそう思う」1.6%、「ややそう思う」7.7%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が50.5%（「あまりそう思わない」26.6%、「そう思わない」23.9%）、女性が56.3%（「あまりそう思わない」27.9%、「そう思わない」28.4%）となっている。

「そう思わない」は、「そう思う」と比較して、男性で4倍、女性で6倍以上多くなっている。

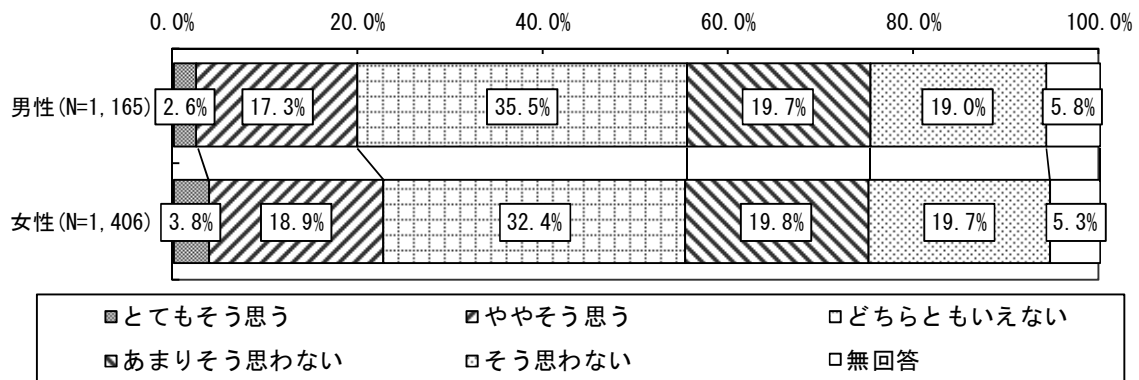
図表 男女に関する考え方「昔からの地域の慣習やしきたりを変える必要はない」



キ. 地域の集まりで、男性が会のまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けなどをする事になっているのは、特におかしいことではない

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が19.9%（「とてもそう思う」2.6%、「ややそう思う」17.3%）、女性が22.7%（「とてもそう思う」3.8%、「ややそう思う」18.9%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が38.7%（「あまりそう思わない」19.7%、「そう思わない」19.0%）、女性が39.5%（「あまりそう思わない」19.8%、「そう思わない」19.7%）となっている。

図表 男女に関する考え方
「地域の集まりで、男性が会のまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けなどをする事になっているのは、特におかしいことではない」

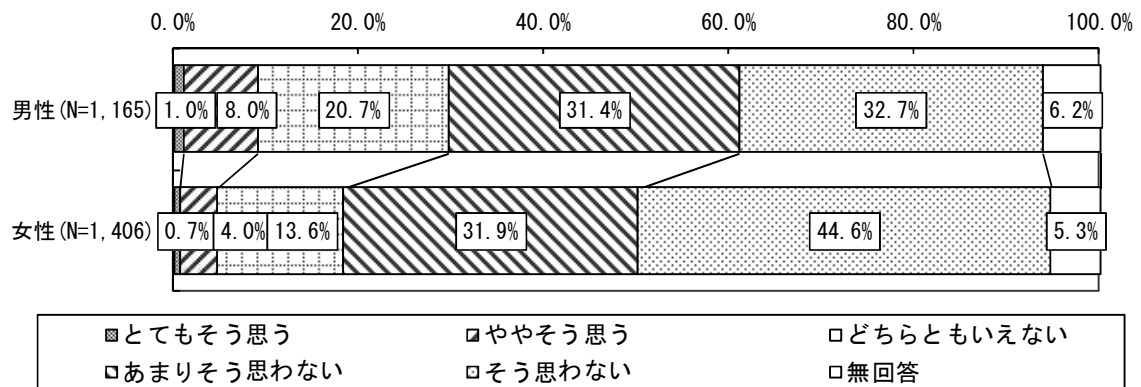


ク. 女性が管理職になることに抵抗がある

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が9.0%（「とてもそう思う」1.0%、「ややそう思う」8.0%）、女性が4.7%（「とてもそう思う」0.7%、「ややそう思う」4.0%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が64.1%（「あまりそう思わない」31.4%、「そう思わない」32.7%）、女性が76.5%（「あまりそう思わない」31.9%、「そう思わない」44.6%）となっている。

男女ともに、「そう思わない」は6割を超えている。

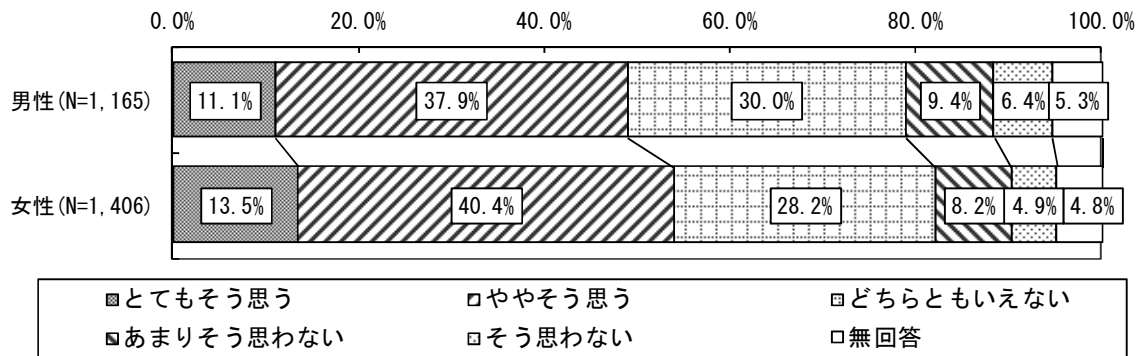
図表 男女に関する考え方「女性が管理職になることに抵抗がある」



ケ. 男性より女性のほうが強くなっていると思う

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が49.0%（「とてもそう思う」11.1%、「ややそう思う」37.9%）、女性が53.9%（「とてもそう思う」13.5%、「ややそう思う」40.4%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が15.8%（「あまりそう思わない」9.4%、「そう思わない」6.4%）、女性が13.1%（「あまりそう思わない」8.2%、「そう思わない」4.9%）となっている。

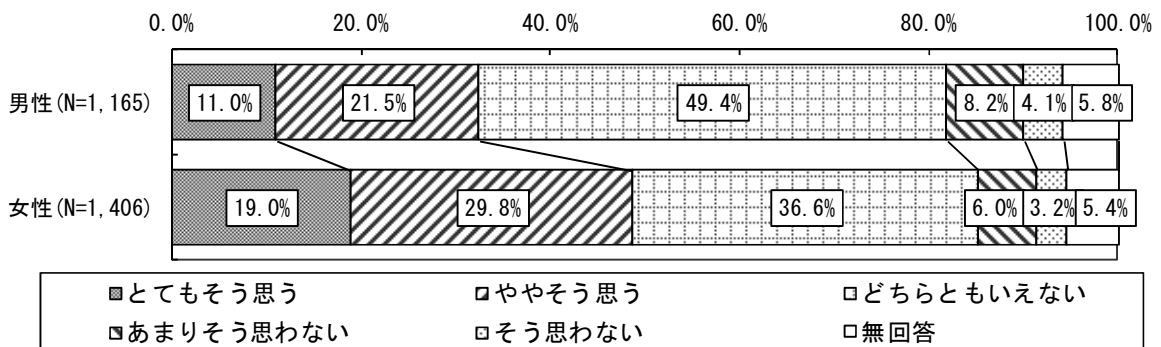
図表 男女に関する考え方「男性より女性のほうが強くなっていると思う」



コ. 女性の社長や政治家がもっと増えたほうがよい

「そう思う」（「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計）は、男性が32.5%（「とてもそう思う」11.0%、「ややそう思う」21.5%）、女性が48.8%（「とてもそう思う」19.0%、「ややそう思う」29.8%）となっている。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合の合計）は、男性が12.3%（「あまりそう思わない」8.2%、「そう思わない」4.1%）、女性が9.2%（「あまりそう思わない」6.0%、「そう思わない」3.2%）となっている。

図表 男女に関する考え方「女性の社長や政治家がもっと増えたほうがよい」

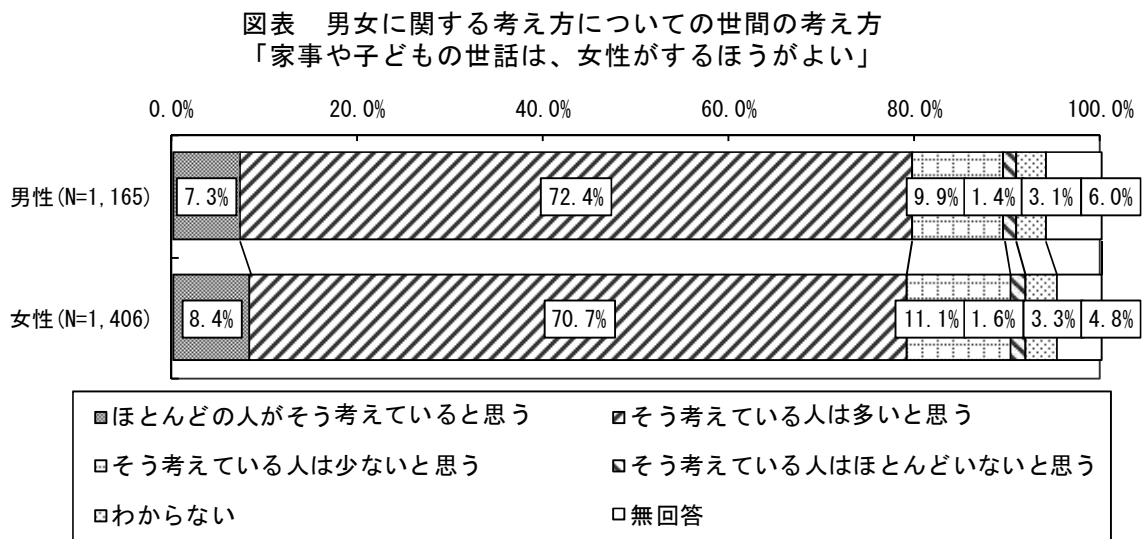


(3) 男女に関する考え方についての世間の考え方

【男女共通設問：男性問45-2・女性問25-2】
 あなたは、ア～エのような考え方について、世間の多くの人の考えだと思えますか。それぞれについて、あてはまるものを選択して○をしてください。

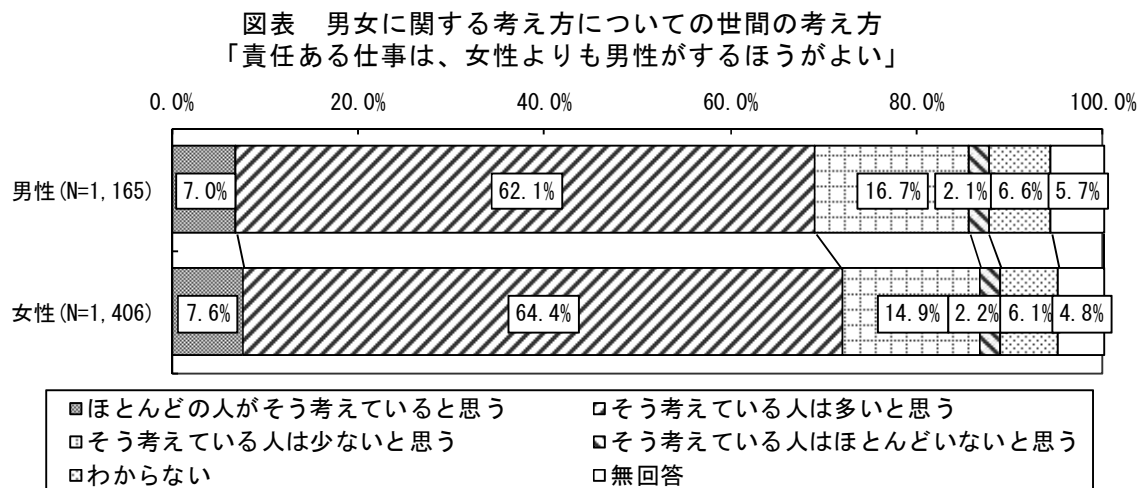
ア. 家事や子どもの世話は、女性がするほうがよい

「ほとんどの人がそう考えていると思う」と回答した割合は、男性7.3%、女性8.4%、「そう考えている人は多いと思う」は男性72.4%、女性70.7%となっており、これらを合わせると、男女ともに約8割を占めている。



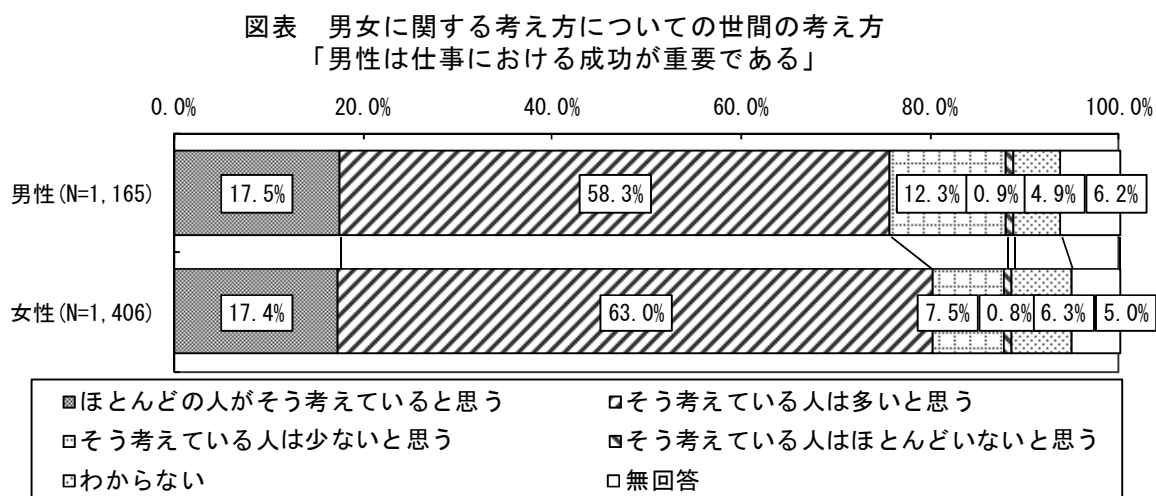
イ. 責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい

「ほとんどの人がそう考えていると思う」と回答した割合は、男性7.0%、女性7.6%、「そう考えている人は多いと思う」は男性62.1%、女性64.4%となっており、これらを合わせると、男女ともに約7割を占めている。



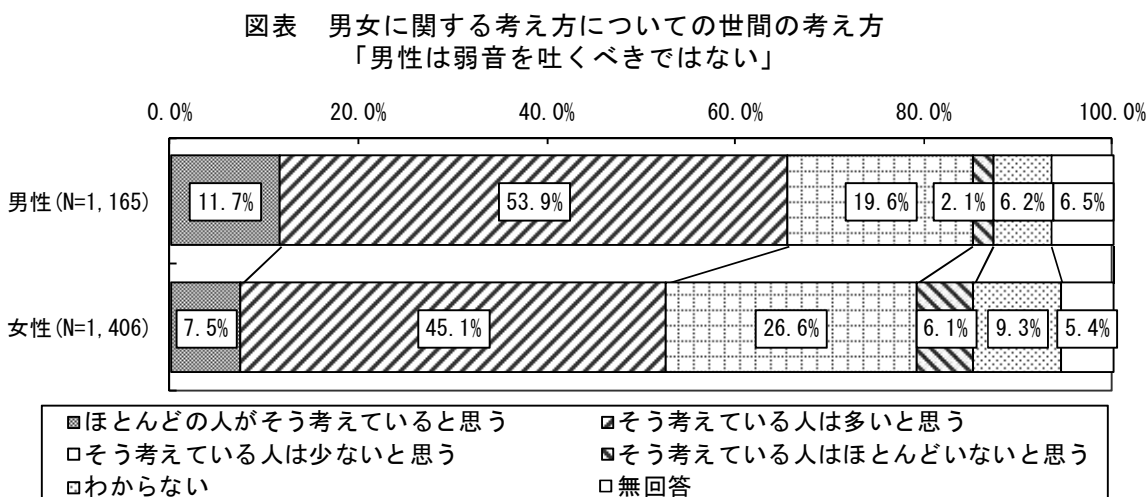
ウ. 男性は仕事における成功が重要である

「ほとんどの人がそう考えていると思う」と回答した割合は、男性 17.5%、女性 17.4%、「そう考えている人は多いと思う」は男性 58.3%、女性 63.0%となっており、これらを合わせると、男女ともに7割を超えている。



エ. 男性は弱音を吐くべきではない

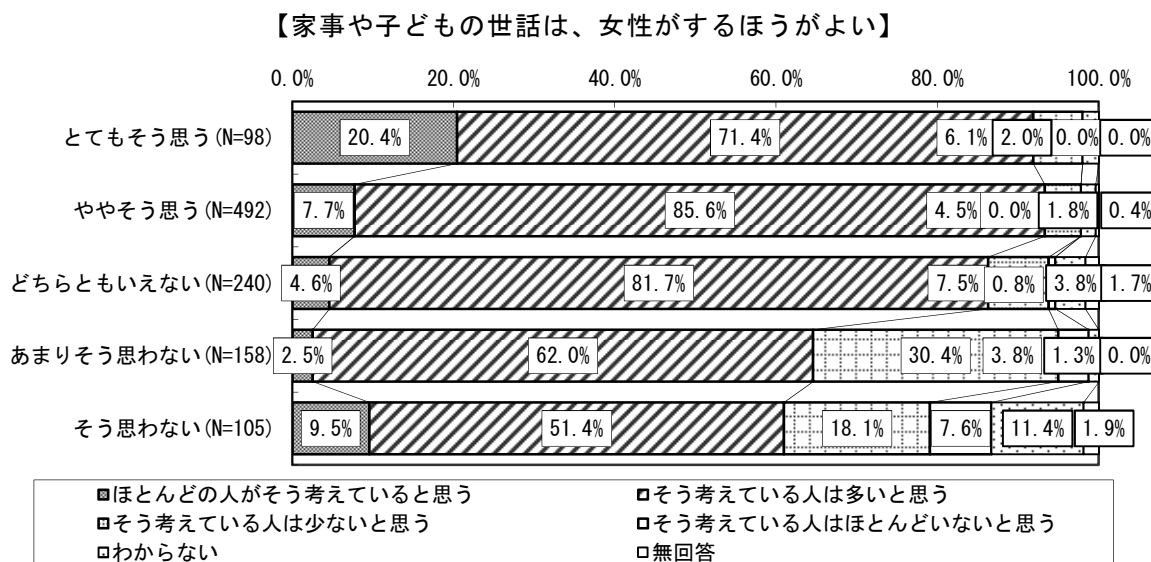
「ほとんどの人がそう考えていると思う」と回答した割合は、男性 11.7%、女性 7.5%、「そう考えている人は多いと思う」は男性 53.9%、女性 45.1%となっており、これらを合わせると、男性で6割、女性で5割を超えている。



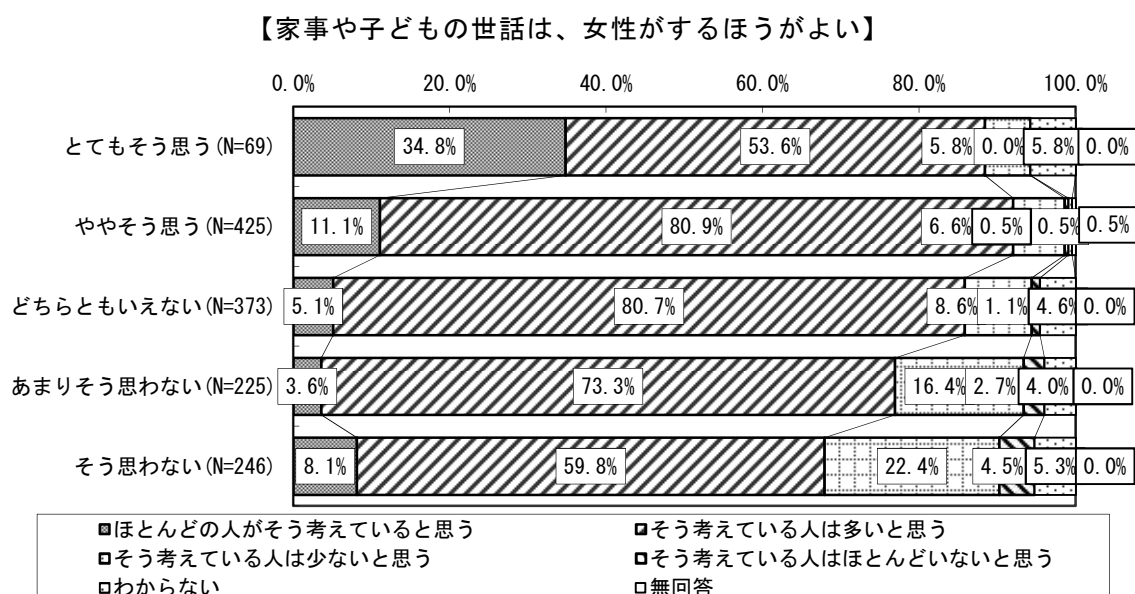
男性票	問45-1 男女に関する考え方	問45-2 男女に関する考え方についての世間の考え方
女性票	問25-1 男女に関する考え方	問25-2 男女に関する考え方についての世間の考え方

問45-1「男女に関する考え方」の回答別にみると、自身は「とてもそう思う」と回答した場合、世間の考え方について「ほとんどの人がそう考えていると思う」と回答した割合が、いずれの項目においても最も多くなっている。一方、自身は「そう思わない」と回答した場合において、世間の考え方について「ほとんどの人がそう考えていると思う」「そう考えている人は多いと思う」を合わせた割合は、多くの項目で約5割を占めている。

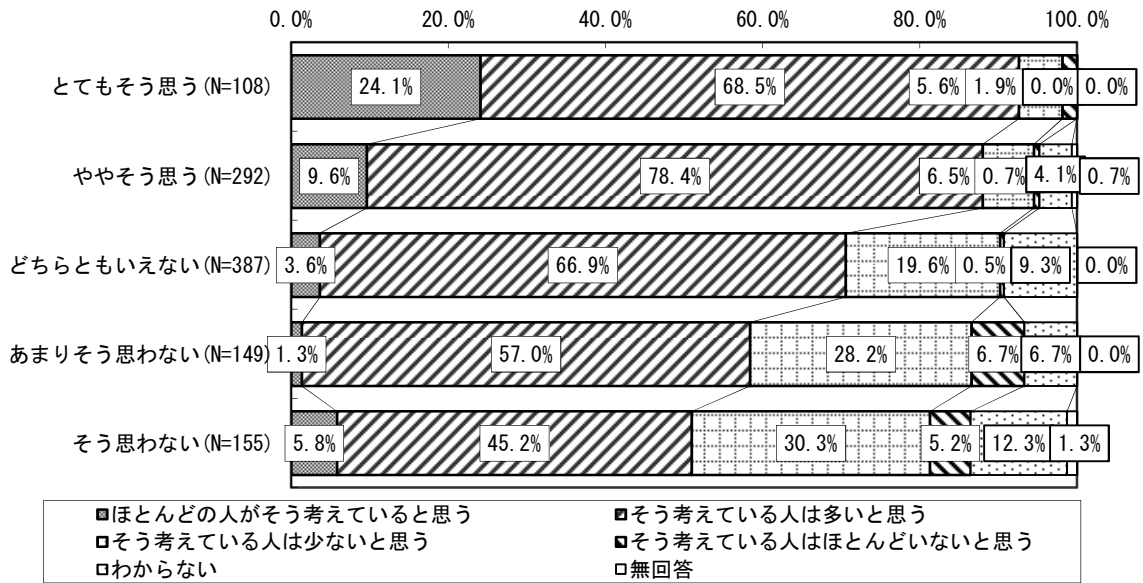
図表 男性問45-1「男女に関する考え方」
× 男性問45-2「男女に関する考え方についての世間の考え方」



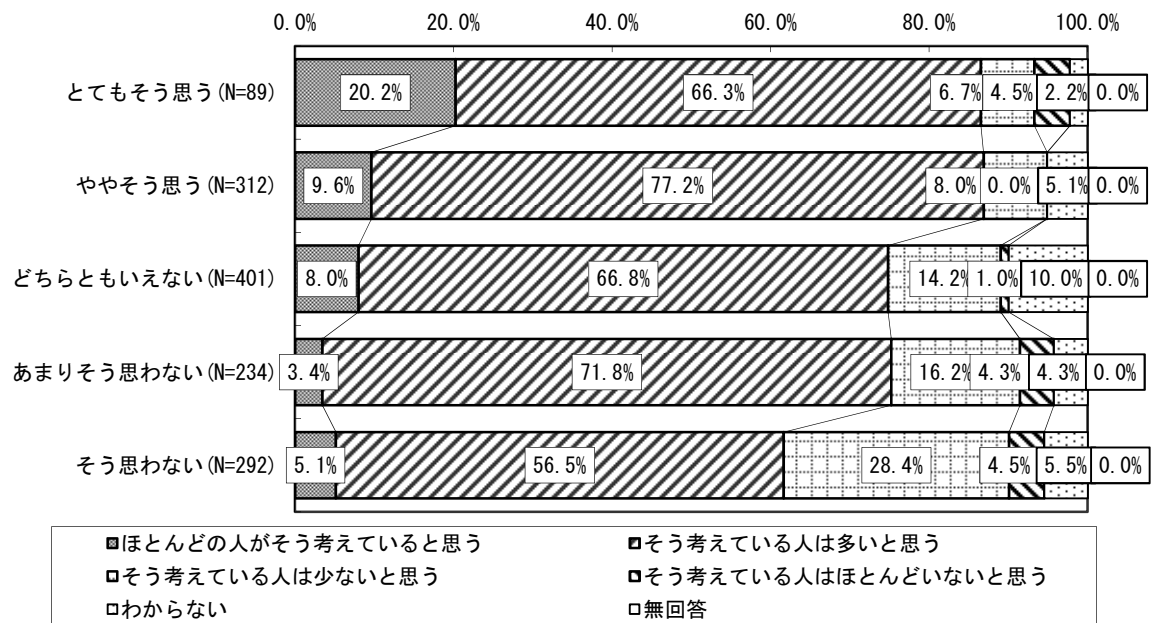
図表 女性問25-1「男女に関する考え方」
× 女性問25-2「男女に関する考え方についての世間の考え方」



図表 男性問 4 5 - 1 「男女に関する考え方」
 × 男性問 4 5 - 2 「男女に関する考え方についての世間の考え方」
 【責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい】

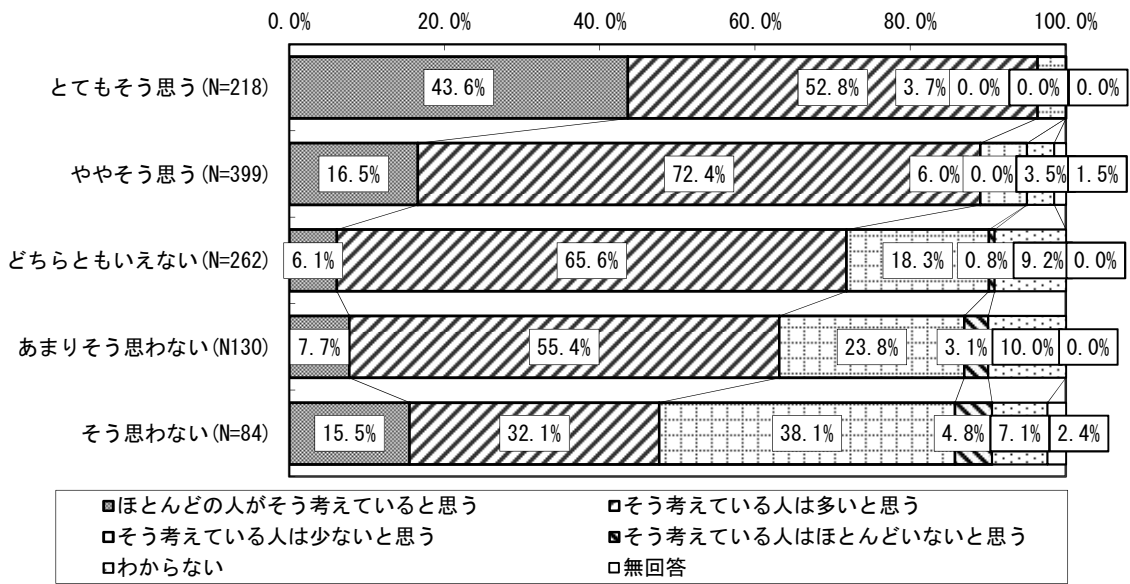


図表 女性問 2 5 - 1 「男女に関する考え方」
 × 女性問 2 5 - 2 「男女に関する考え方についての世間の考え方」
 【責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい】



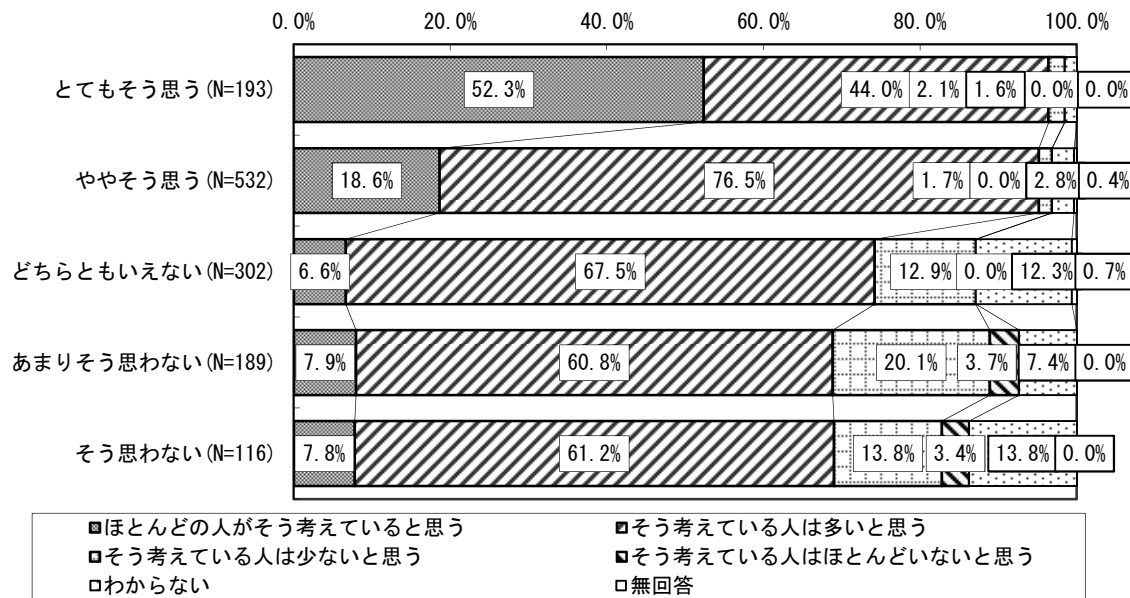
図表 男性問 4 5 - 1 「男女に関する考え方」
 × 男性問 4 5 - 2 「男女に関する考え方についての世間の考え方」

【男性は仕事における成功が重要である】

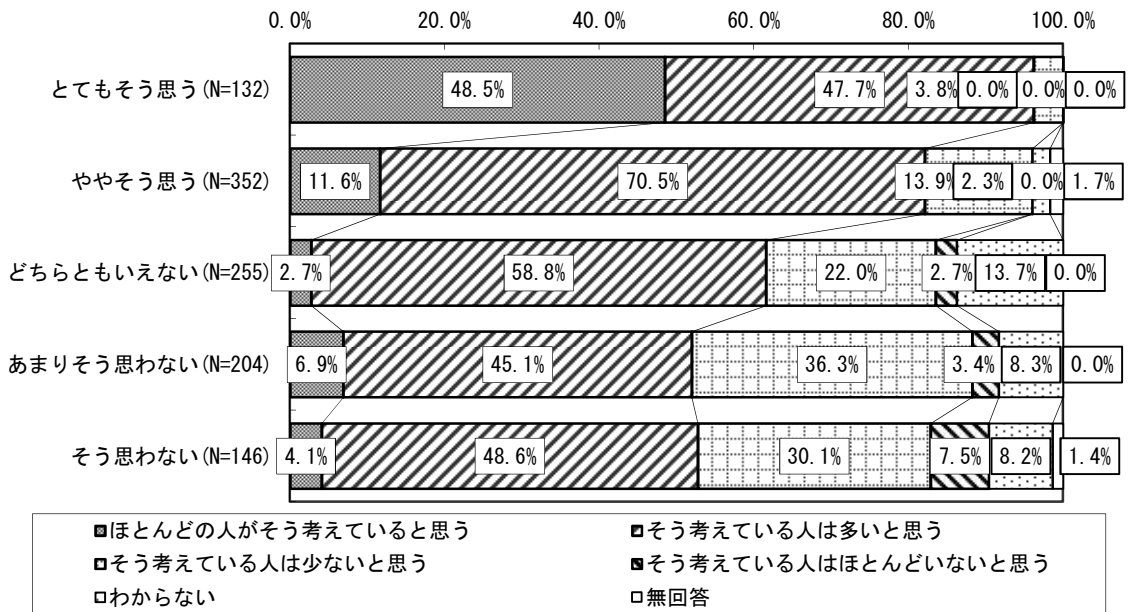


図表 女性問 2 5 - 1 「男女に関する考え方」
 × 女性問 2 5 - 2 「男女に関する考え方についての世間の考え方」

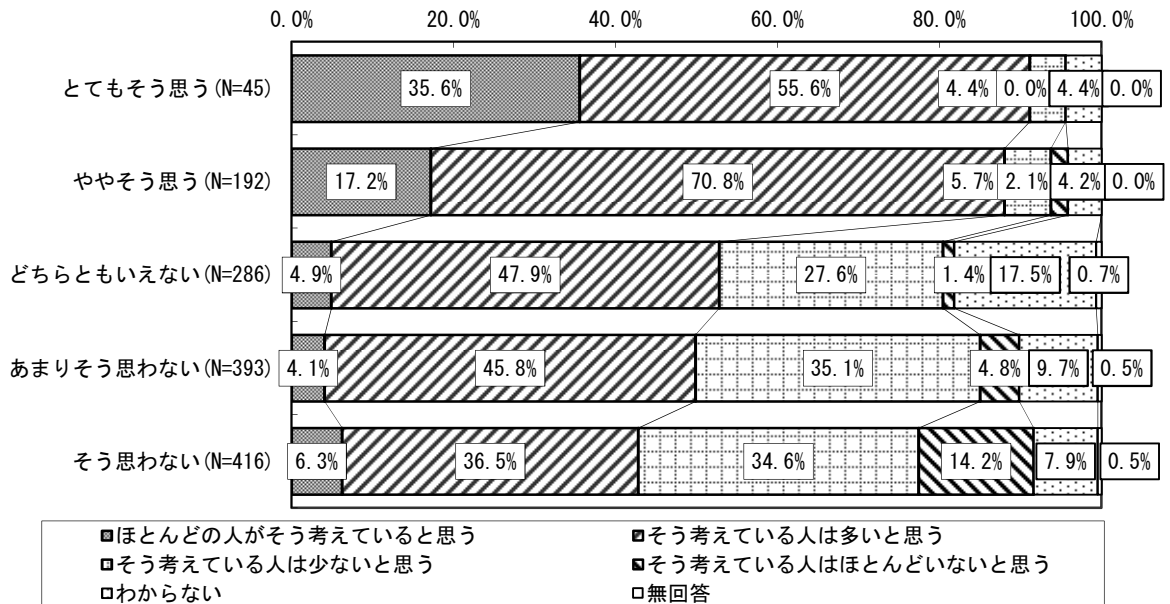
【男性は仕事における成功が重要である】



図表 男性問 45-1 「男女に関する考え方」
 × 男性問 45-2 「男女に関する考え方についての世間の考え方」
 【男性は弱音を吐くべきではない】



図表 女性問 25-1 「男女に関する考え方」
 × 女性問 25-2 「男女に関する考え方についての世間の考え方」
 【男性は弱音を吐くべきではない】



(4) 子どもの生き方に対する期待

【男女共通設問：男性問46・女性問26】

あなたは、自分の子どもには将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。
子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。(〇は3つまで)

女の子の場合は、男女ともに「家族や周りの人たちと円満に暮らす」(男性57.1%、女性59.7%)と回答した割合が最も多く、次いで、「人間性豊かな生活をする」(男性48.2%、女性44.8%)となっている。

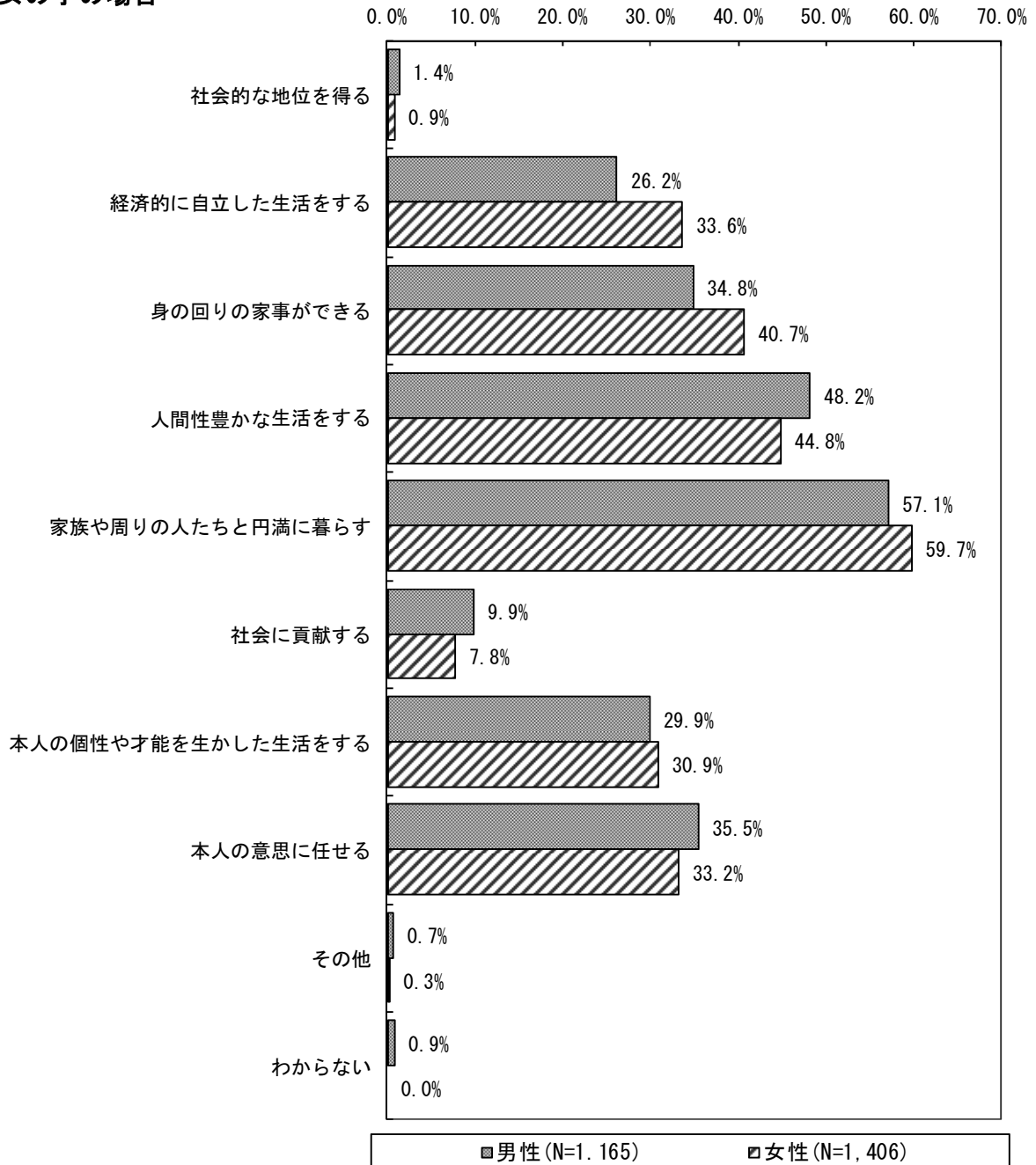
男の子の場合は、男女ともに「経済的に自立した生活をする」(男性64.2%、女性66.4%)と回答した割合が最も多く、次いで、「家族や周りの人たちと円満に暮らす」(男性44.3%、女性48.7%)となっている。

女の子の場合と男の子の場合の差が大きい項目をみると、「経済的に自立した生活をする」、「社会的な地位を得る」については、男女ともに男の子の場合の方が女の子の場合よりも多くなっており、「身の回りの家事ができる」については、女の子の場合の方が男の子の場合よりも多くなっている。

「本人の個性や才能を生かした生活をする」や「本人の意思に任せる」は、男女ともに男の子の場合も女の子の場合も同じような割合となっている。

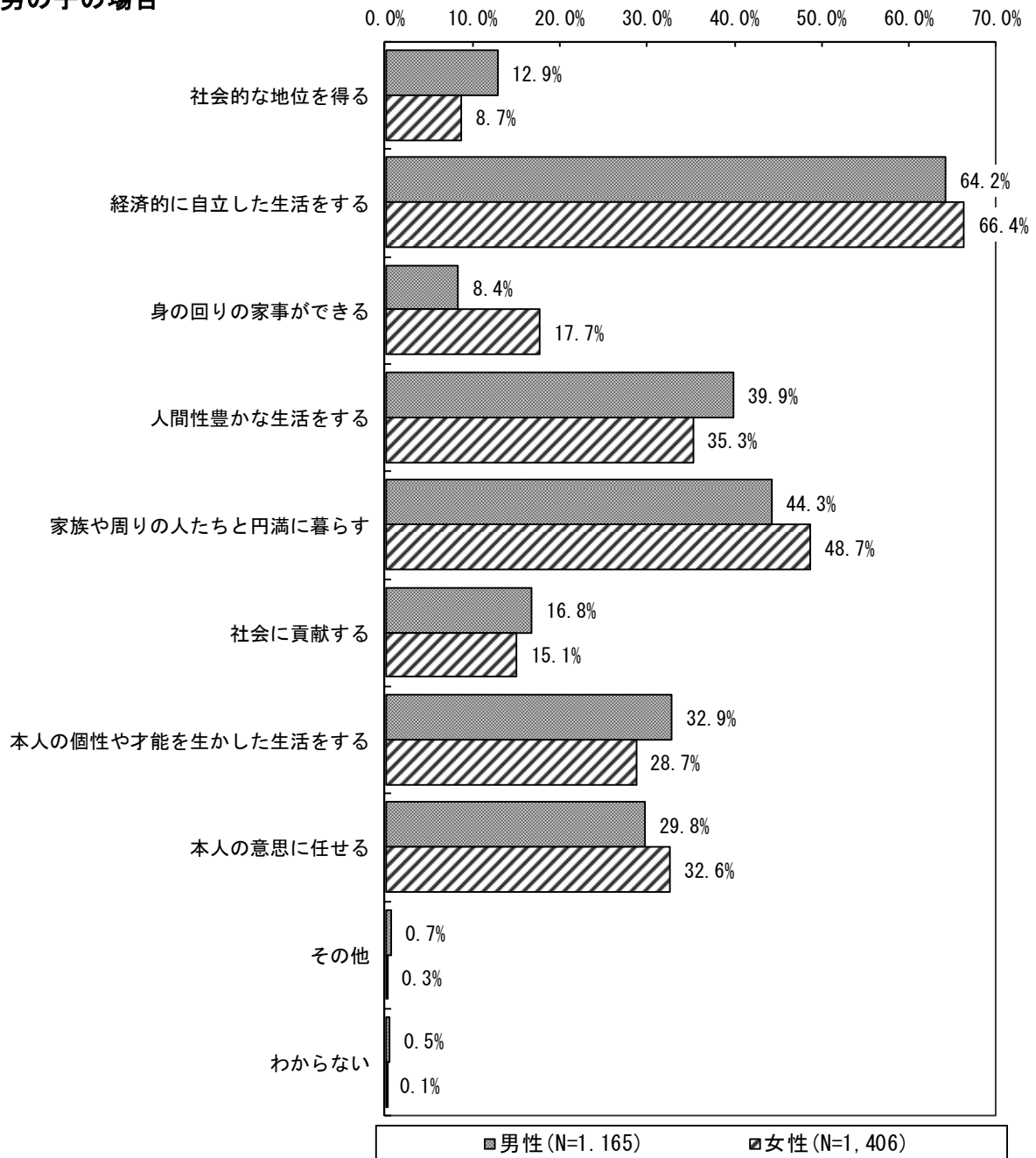
図表 子どもの生き方に対する期待

女の子の場合



図表 子どもの生き方に対する期待

男の子の場合



(5) 現在の生き方や生活についての満足度

【男女共通設問：男性問47・女性問27】

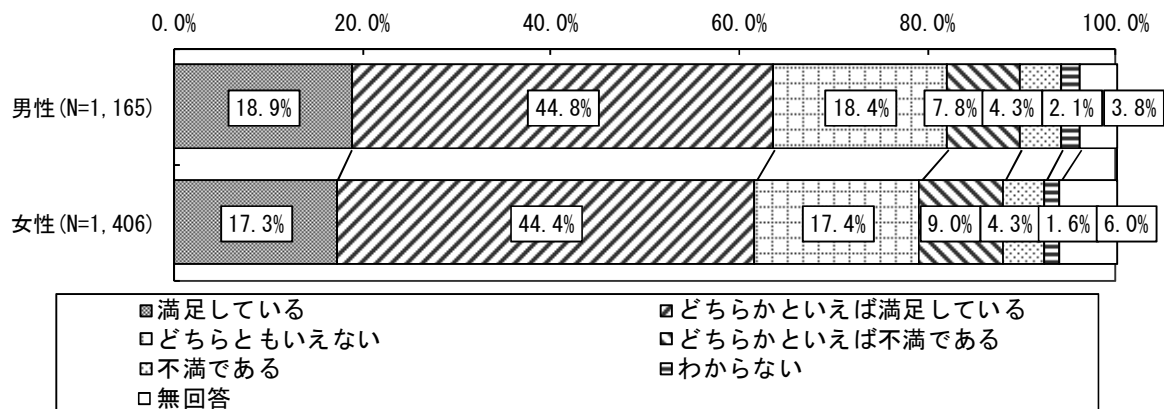
あなたは、現在のご自身の生き方や生活に満足していますか。(○は1つだけ)

「どちらかといえば満足している」(男性44.8%、女性44.4%)と回答した割合が男女ともに最も多くなっている。

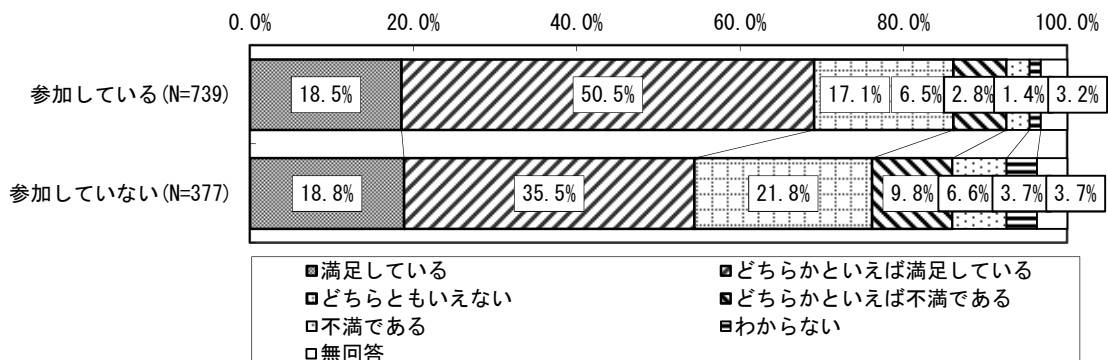
「満足している」と「どちらかといえば満足している」と回答した割合を合わせると、男性63.7%（「満足している」18.9%）、「どちらかといえば満足している」44.8%）、女性61.7%（「満足している」17.3%）、「どちらかといえば満足している」44.4%）と約6割を占めている。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計について、子育ての状況別にみると、子育てを「している(していた)」「ある程度している(していた)」と回答した人の方が、「あまりしていない(していなかった)」「全くしない(しなかった)」と回答した人よりも多くなっている。また、地域活動への参加の状況別にみた場合も、「参加している」と回答した人の方が、「参加していない」と回答した人よりも多くなっている。

図表 現在の生き方や生活についての満足度



図表 男性問35「地域活動への参加の状況」(参加している=1~7と回答、参加していない=8と回答)
× 男性問47「現在の生き方や生活についての満足度」



(6) 「男もつらい」と感じるか (男性)

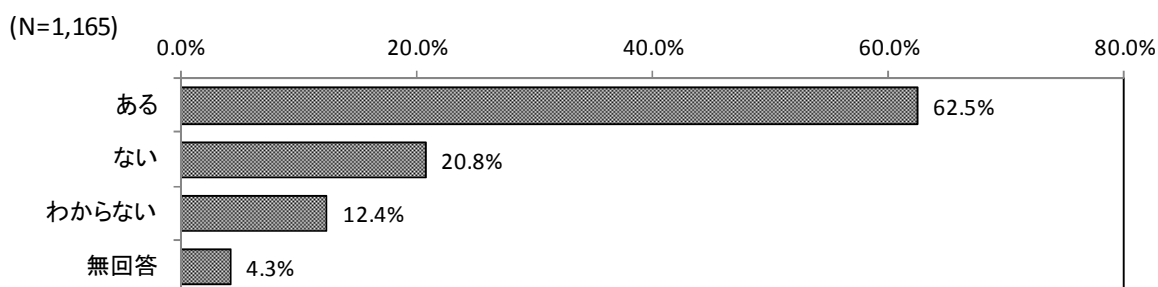
【男性票独自設問】

問48 あなたは、「男もつらい」と感じることはありますか。(○は1つだけ)

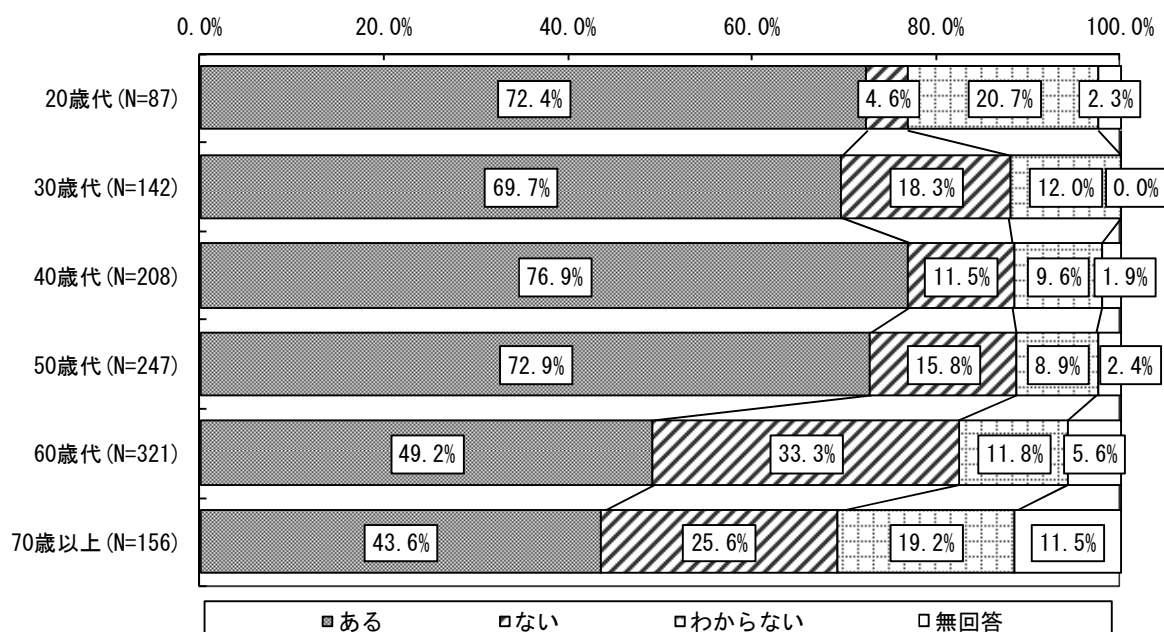
男性が「男もつらい」と感じることについて、「ある」と回答した割合は62.5%、「ない」と回答した割合は20.8%となっている。

年齢別にみると、「ある」は20歳代から50歳代でいずれも7割前後と多くなっている。60歳代や70歳以上では「ある」はそれぞれ49.2%、43.6%と大幅に少なくなっている。

図表 「男もつらい」と感じるか／男性



図表 「男もつらい」と感じるか／男性・年齢別



(7) 「男もつらい」と感じる内容（男性）

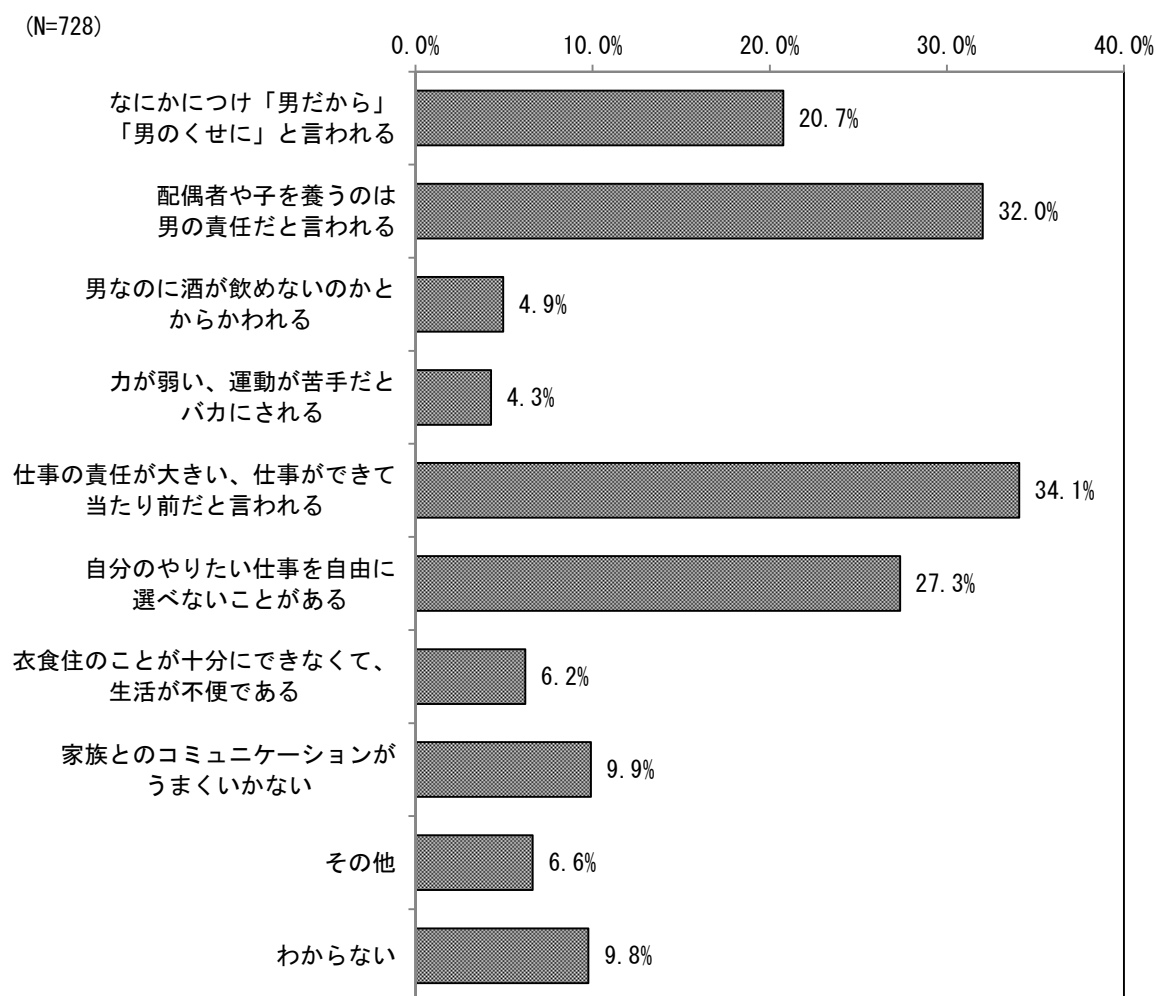
【男性票独自設問】

問49 問48で選択肢「1 ある」とお答えの方にお聞きします。
それはどんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

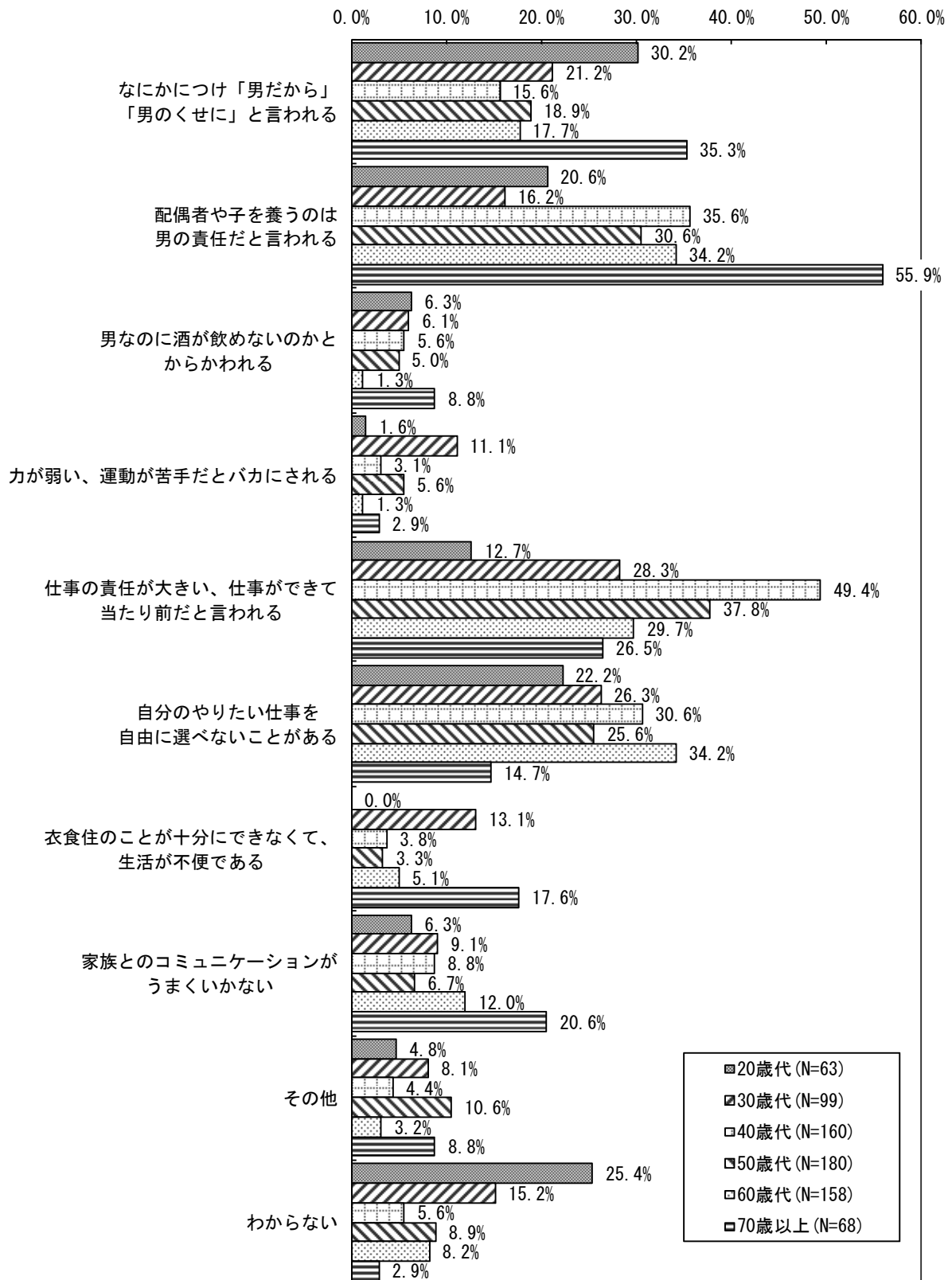
男性が「男もつらい」と感じる内容は、「仕事の責任が大きい、仕事ができても当たり前だと言われる」と回答した割合が34.1%と最も多く、次いで、「配偶者や子を養うのは男の責任だと言われる」(32.0%)、「自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある」(27.3%)となっている。

年齢別にみると、20歳代では「なにかにつけ『男だから』『男のくせに』と言われる」、30歳代から50歳代では「仕事の責任が大きい、仕事ができても当たり前だと言われる」、60歳代では「配偶者や子を養うのは男の責任だと言われる」「自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある」、70歳代以上では「配偶者や子を養うのは男の責任だと言われる」がそれぞれ最も多くなっている。また、「仕事の責任が大きい、仕事ができても当たり前だと言われる」は40歳代の49.4%が最も多くなっている。

図表 「男もつらい」と感じる内容



図表 「男もつらい」と感じる内容／男性・年齢別



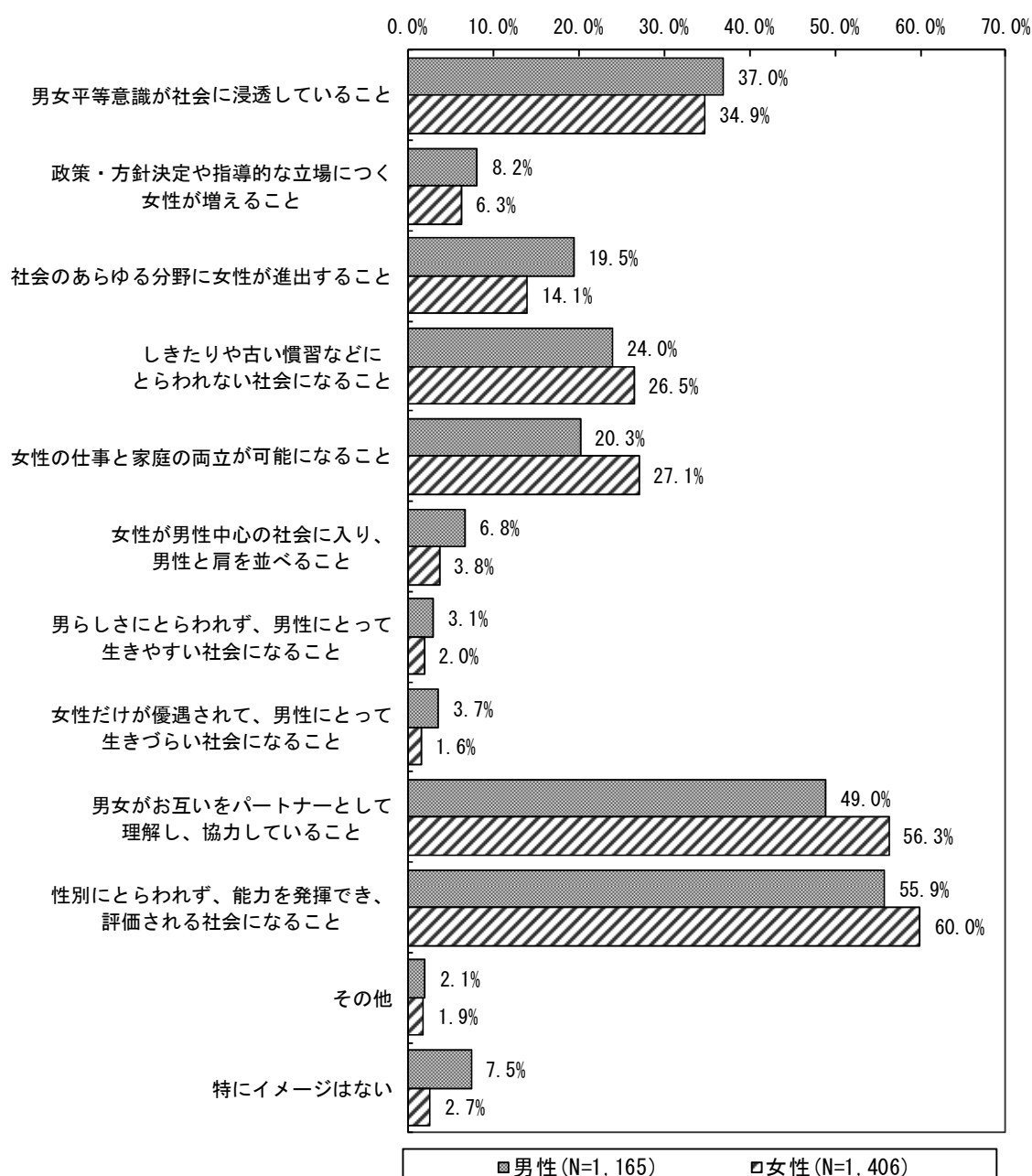
(8) 「男女共同参画社会」のイメージ

【男女共通設問：男性問 50・女性問 28】

あなたは、「男女共同参画社会」について、どのようなイメージをお持ちですか。
(〇は3つまで)

「男女共同参画社会」のイメージについて、「性別にとらわれず、能力を發揮でき、評価される社会になること」(男性 55.9%、女性 60.0%)と回答した割合が男女ともに最も多くなっている。次いで、男女ともに「男女共同参画がお互いをパートナーとして理解し、協力していること」(男性 49.0%、女性 56.3%)、「男女平等意識が社会に浸透していること」(男性 37.0%、女性 34.9%)となっている。

図表 「男女共同参画社会」のイメージ



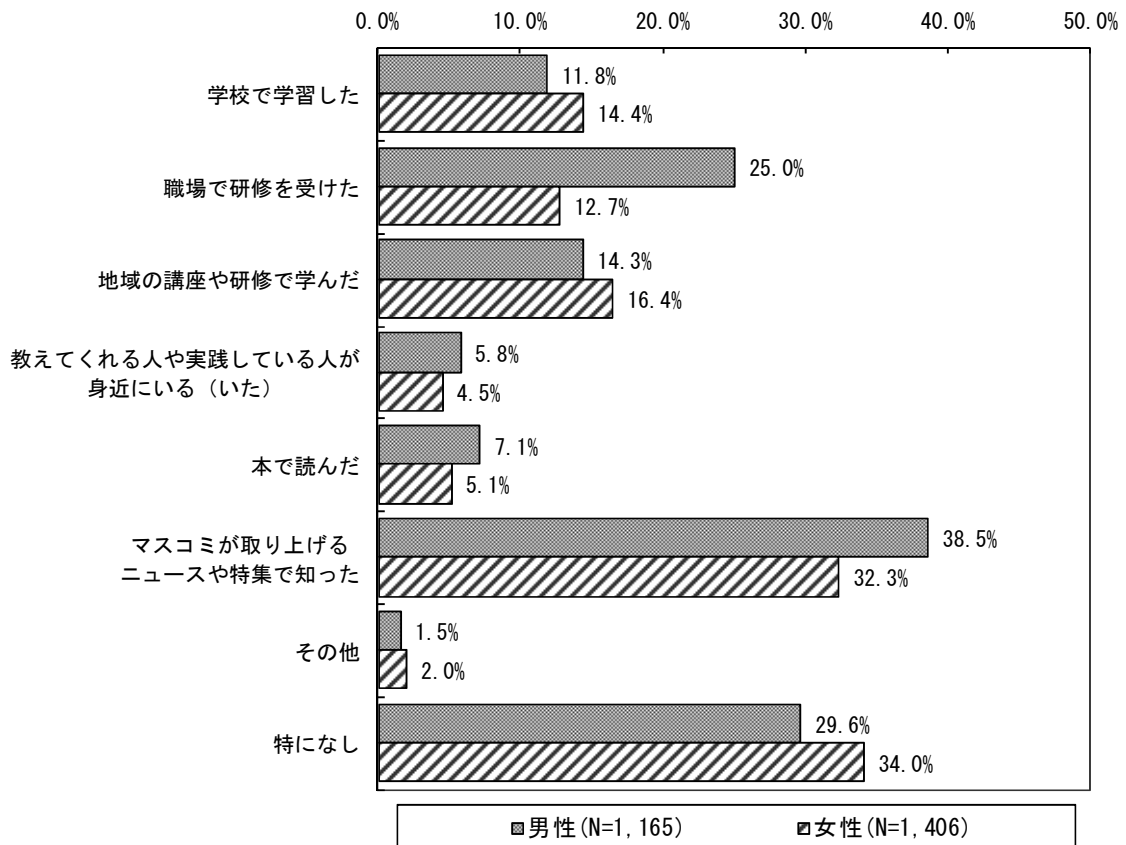
(9) 男女共同参画に関する学習経験

【男女共通設問：男性問 51・女性問 29】

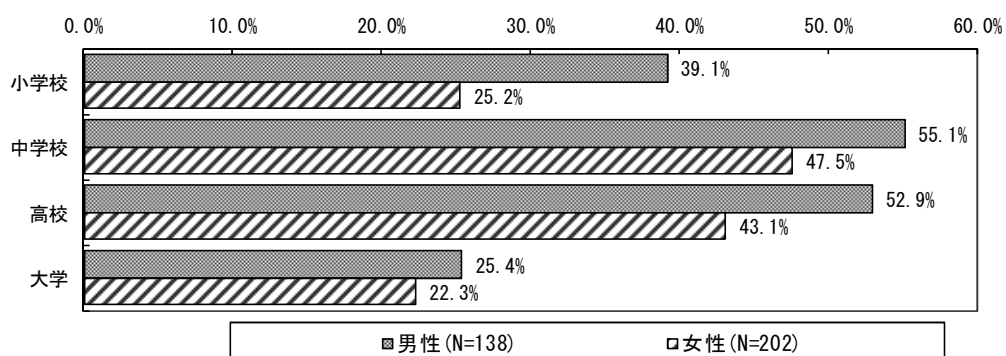
あなたは、男女共同参画に関して、以下のような経験がありますか。(〇はいくつでも)

男女共同参画に関する学習経験について、男性は「マスコミが取り上げるニュースや特集で知った」と回答した割合が 38.5%と最も多くなっており、次いで、「特になし」(29.6%)、「職場で研修を受けた」(25.0%)となっている。女性は「特になし」が 34.0%で最も多く、次いで、「マスコミが取り上げるニュースや特集で知った」(32.3%)、「地域の講座や研修で学んだ」(16.4%)となっている。また、「学校で学習した」と回答した割合は、男性 11.8%、女性 14.4%であり、校種では「中学校」(男性 55.1%、女性 47.5%)と回答した割合が最も多くなっている。年齢別にみると、20 歳代では「学校で学習した」が男性 55.2%、女性 54.0%で、他の年齢層よりも多くなっている。

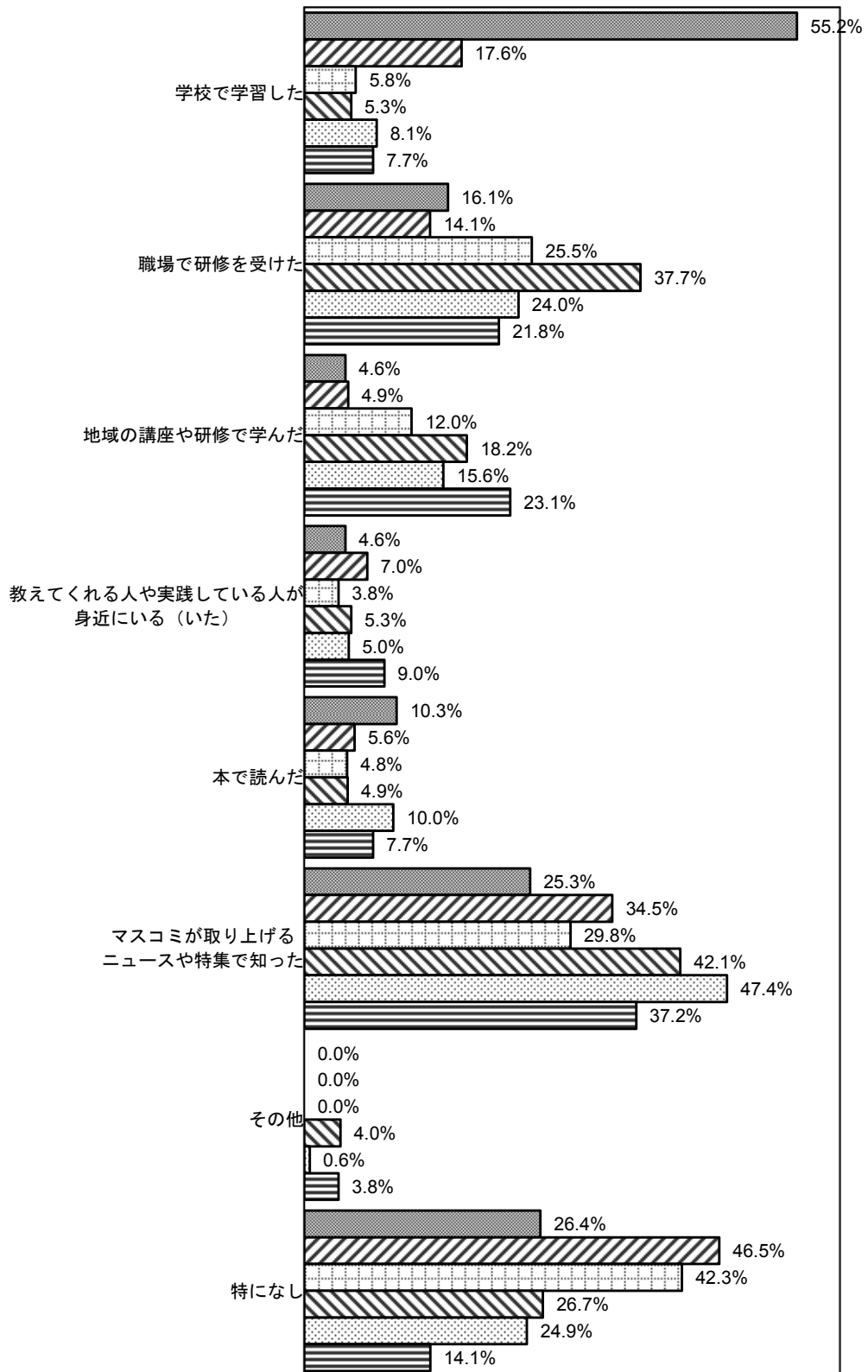
図表 男女共同参画に関する学習経験



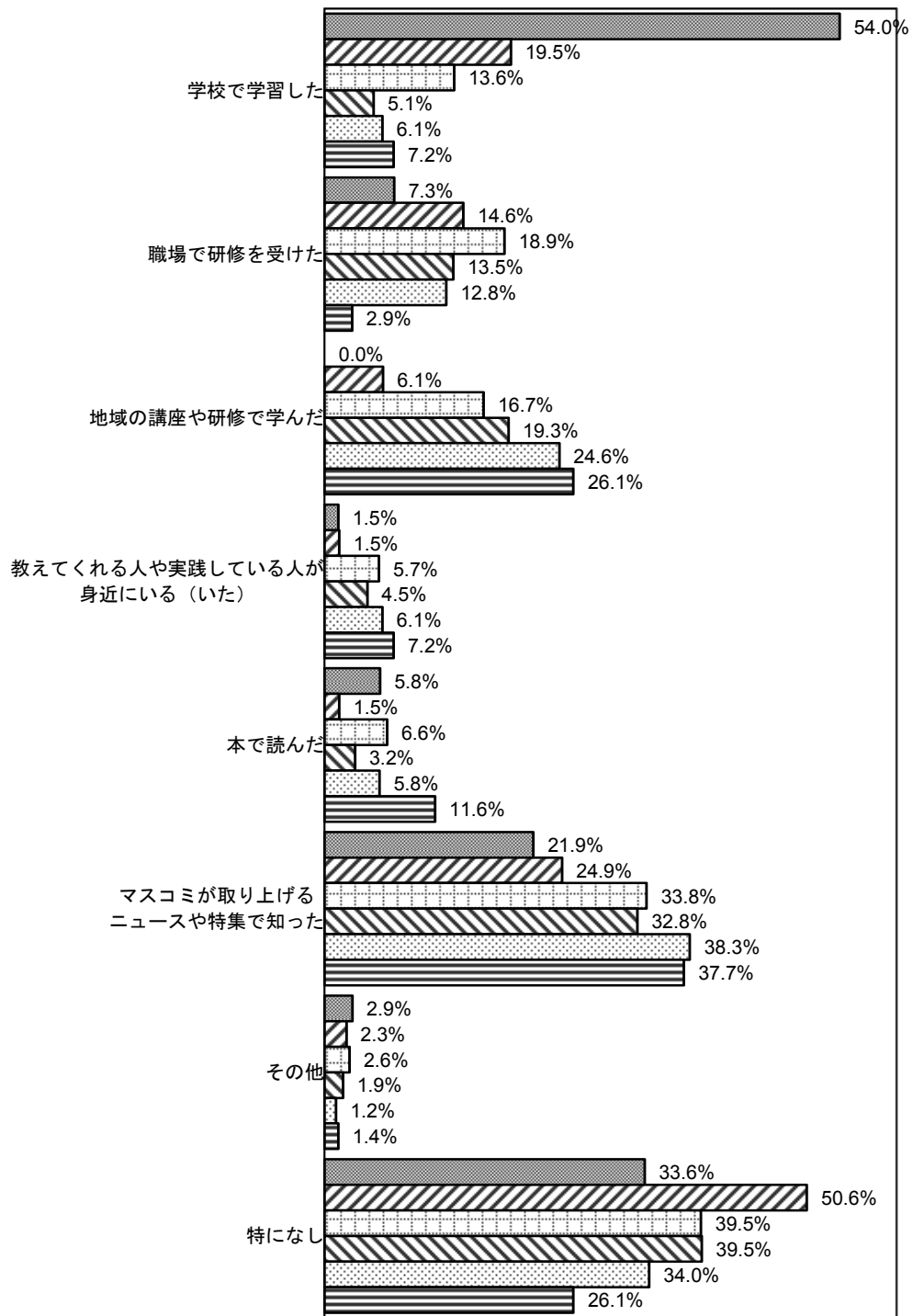
男性問 51 付問・女性問 29 付問 男女共同参画について学習した学校



図表 男女共同参画に関する学習経験／男性・年齢別



図表 男女共同参画に関する学習経験／女性・年齢別



IV 調查票



平成25年度男女共同参画に関する意識調査 ～ご協力のお願～

皆様には、日頃から県政発展のため、何かとご協力いただきありがとうございます。

滋賀県では、2001年に「滋賀県男女共同参画推進条例」を制定し、「滋賀県男女共同参画計画」に基づき、県民や事業者の皆様とともに取組を進めているところであり、このたび、男女共同参画に関するアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、男女共同参画についての取組の成果や実態を把握し、今後の施策検討の参考とさせていただきますため、県内にお住まいの20歳以上の男女3,000人を無作為に選ばせていただき、皆様のご意見をお聞きするものです。

調査の趣旨をご理解いただき、お忙しいところ誠に恐縮ですがご協力をお願いいたします。

平成25年(2013年)10月

滋賀県総合政策部男女共同参画課

ご回答にあたってのお願い

- * この調査は個人を対象にしていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方ご自身がご記入ください。(本人による記入が困難な場合は、ご家族などがご本人から聞き取って代筆をお願いします。)
- * この調査は無記名でお願いします。また、この調査票に記入された内容は統計的に処理しますので、内容が外部にもれたり、ご迷惑をおかけしたりすることは決してございません。どうぞありのままをお答えください。
- * 特にことわり書きが無い限り、全ての質問にお答えください。
- * 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○をつけてお答えください。質問によって1つだけ選んでいただく場合と、複数選んでいただく場合がありますので、各質問に従ってお答えください。
- * 項目で「その他()」を選んでいただいた場合は、()にその内容を記入してください。
- * 誤った番号に○をつけた場合は、はっきりと×により消して、改めて正しい番号に○をつけてください。
- * ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、10月28日(月)までに投函してくださいますようお願いいたします。(封筒にお名前を書いていただく必要はありません)
- * この調査についてのお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡をお願いします。

滋賀県総合政策部男女共同参画課

電話(直通) 077-528-3070

FAX 077-528-4807

※この調査票は、男性にお答えいただく内容です。

※この調査における「結婚」、「配偶者」は、事実婚の場合を含みます。

男性票

I あなたご自身のことについておうかがいします。(全9問)

問1 あなたの年齢は、平成25年10月1日時点でおいくつですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 |
| 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 |
| 11. 70歳以上 | |

問2 あなたのお住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 大津地域 (大津市) |
| 2. 湖南地域 (草津市、守山市、栗東市、野洲市) |
| 3. 甲賀地域 (湖南市、甲賀市) |
| 4. 東近江地域 (近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町) |
| 5. 湖東地域 (彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町) |
| 6. 湖北地域 (長浜市、米原市) |
| 7. 湖西地域 (高島市) |

問3 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 勤め人 (正規社員・職員) |
| 2. 勤め人 (臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員) |
| 3. 農林漁業 |
| 4. 自由業・自営業・家業 (農林漁業を除く) |
| 5. その他の有職 |
| 6. 家事専業 |
| 7. 学生 (大学院生、研究生等を含む) |
| 8. 無職 |

問4 問3で選択肢「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかとお答えの方にお聞きします。
あなたの現在の仕事の内容は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 専門知識をいかした仕事 (教員、医師、看護師、弁護士、建築士、システムエンジニアなど) |
| 2. 管理的な仕事 (企業・官公庁・団体の役員・課長以上の管理職、経営者など) |
| 3. 事務的な仕事 (一般事務、経理事務、企画事務、営業事務、上記1・2にあてはまらない方) |
| 4. 営業・販売の仕事 (商店主、商店員、セールス員、外交員など) |
| 5. サービスの仕事 (飲食店主、飲食店員、料理人、理美容師、保育士、ホームヘルパーなど) |
| 6. 保安の仕事 (自衛官、警察官、消防士、入国管理官、警備員など) |
| 7. 運輸・通信の仕事 (運転手、郵便会社職員など) |
| 8. 製造・技能・労務の仕事 (職人、工場労働者、修理工、建設・土木作業員、清掃員など) |
| 9. その他 () |

問5 あなたは現在、結婚されていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 結婚している | 2. 以前結婚していたが、離別した |
| 3. 以前結婚していたが、死別した | 4. 結婚したことがない(未婚) |

問6 あなたにはお子さま(別居している子どもも含む)はいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 | 6. 子どもはいない |

問7 問6で選択肢「1」～「5」のいずれか(子どもがいる)とお答えの方にお聞きします。
あなたのお子さま(別居している子どもも含む)について、あてはまる年齢・学齢をすべて
選択してください。(年齢は平成25年10月1日時点)

- | |
|----------------------------|
| 1. 0～2歳 |
| 2. 未就学児(3歳～6歳) |
| 3. 小学生(1～3年生) |
| 4. 小学生(4～6年生) |
| 5. 中学生 |
| 6. 高校生 |
| 7. 大学生・大学院生(高専、短大、専門学校を含む) |
| 8. 学校を卒業した未婚の子ども |
| 9. 結婚した子ども |

問8 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども |
| 3. 自分の父親 | 4. 自分の母親 |
| 5. 自分の祖父母 | 6. 配偶者の父親 |
| 7. 配偶者の母親 | 8. 配偶者の祖父母 |
| 9. 自分の兄弟姉妹 | 10. 配偶者の兄弟姉妹 |
| 11. 孫 | 12. 子どもの配偶者 |
| 13. その他親族() | 14. 交際相手 |
| 15. 一人暮らし | 16. 単身赴任 |
| 17. その他() | |

問9 あなたは滋賀県に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 生まれてからずっと滋賀県に住んでいる |
| 2. 滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した(転入後 _____ 年) |
| 3. 県外で生まれて、滋賀県へ転入した(転入後 _____ 年) |

Ⅱ 配偶者のことについて、おうかがいします。(全3問)

問10～12は、問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお聞きします。

問10 あなたの配偶者の年齢は、平成25年10月1日時点で何歳ですか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 |
| 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 |
| 11. 70歳以上 | |

問11 あなたの配偶者の現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 勤め人(正規社員・職員) |
| 2. 勤め人(臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員) |
| 3. 農林漁業 |
| 4. 自由業・自営業・家業(農林漁業を除く) |
| 5. その他の有職 |
| 6. 家事専業 |
| 7. 学生(大学院生、研究生等を含む) |
| 8. 無職 |

問12 **問11で選択肢「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかとお答えの方にお聞きします。**

あなたの配偶者の現在の仕事の内容は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 専門知識をいかした仕事(教員、医師、看護師、弁護士、建築士、システムエンジニアなど) |
| 2. 管理的な仕事(企業・官公庁・団体の役員・課長以上の管理職、経営者など) |
| 3. 事務的な仕事(一般事務、経理事務、企画事務、営業事務、上記1・2にあてはまらない方) |
| 4. 営業・販売の仕事(商店主、商店員、セールス員、外交員など) |
| 5. サービスの仕事(飲食店主、飲食店員、料理人、理美容師、保育士、ホームヘルパーなど) |
| 6. 保安の仕事(自衛官、警察官、消防士、入国管理官、警備員など) |
| 7. 運輸・通信の仕事(運転手、郵便会社職員など) |
| 8. 製造・技能・労務の仕事(職人、工場労働者、修理工、建設・土木作業員、清掃員など) |
| 9. その他() |

Ⅲ あなたの生活時間について、おうかがいします。(全7問)

問13 あなたのふだん(平日と休日)の生活時間についてうかがいます。以下の活動について、1日に費やす時間はどのくらいですか。(それぞれについて該当する数字に○を1つ)

	上段 (平日)	1. 該当しない	2. 全くない	3. 30分未満	4. 30分～1時間未満	5. 1時間～2時間未満	6. 2時間～4時間未満	7. 4時間～6時間未満	8. 6時間～8時間未満	9. 8時間以上
	下段 (休日)									
(回答例)	平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア. 家事	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9
イ. 育児・子育て	平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ. 介護	平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
エ. 収入を得る仕事	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9
オ. 地域活動	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9
カ. 余暇や娯楽・趣味	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9

問14 問13で回答された生活時間について、理想の時間より短いと思うのは次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------|-------------|
| 1. 家事 | 2. 育児・子育て |
| 3. 介護 | 4. 収入を得る仕事 |
| 5. 地域活動 | 6. 余暇や娯楽・趣味 |
| 7. 特になし | |

問15 問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお伺いします。
配偶者とは、よく話をしますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. よく話す | 2. やや話す |
| 3. あまり話さない | 4. 必要以外まったく話さない |

問16 問15で選択肢「1」～「3」のいずれか（配偶者と話をする）とお答えの方にお伺いします。 配偶者との会話は、どちらから話しかけますか。（○は1つだけ）

1. 主に自分から 2. 主に配偶者から 3. どちらも同じくらい 4. わからない

問17 問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお伺いします。
家計の管理は誰がしていますか。（○は1つだけ）

1. 自分 2. 配偶者 3. 自分と配偶者の両方
4. その他（ ） 5. わからない

問18 問13「ア. 家事」に費やす時間について、選択肢「3」～「9」のいずれか（家事を行う）とお答えの方にお聞きします。

あなたが家事をする理由は、次のどれにあたりますか。（○は3つまで）

1. 家事が好きだから
2. 自分の父親が家事をしている（いた）から
3. 身近な男性（同僚や同級生など）が家事をしている（いた）から
4. 協力し合って家事をするのが当然だから
5. 配偶者の負担を減らしたいから
6. 自分が家事をすることで家族が喜ぶと思っているから
7. 家庭円満のために仕方ないと思っているから
8. 子どもの頃の経験があるから（家事を手伝うようしつけられてきたなど）
9. 自分しかする人がいないから
10. 話し合いで分担を決めているから
11. その他（ ）
12. 特になし

問19 問13「ア. 家事」に費やす時間について、選択肢「2 全くない」とお答えの方にお聞きします。

あなたが家事をしていない理由は、次のどれにあたりますか。（○は3つまで）

1. 仕事が忙しいから
2. 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にしたいから
3. 家事が面倒だから
4. 家事に関する知識や経験が足りないから
5. 自分の父親が家事をしていなかったから
6. 男性が家事をするものではないと思うから
7. 男性が家事をすることに対して周りの人に抵抗感があるから
8. 家族が家事をするから
9. 自分が家事をして、配偶者に文句を言われる（言われた）から
10. その他（ ）
11. 特になし

IV 「子育て」について、おうかがいします。(全6問)

問20 問6で選択肢「1」～「5」のいずれか(子どもがいる)とお答えの方にお聞きします。
あなたは、子育てをしていますか(していましたか)。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. している(していた) | 2. ある程度している(していた) |
| 3. あまりしていない(していなかった) | 4. 全くしない(しなかった) |

問21 問20で選択肢「1」または「2」とお答えの方にお聞きします。
あなたが子育てをする理由やきっかけは、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 子どもが好きだから |
| 2. 自分の父親が子育てにかかわっている(いた)から |
| 3. 身近な男性(同僚や同級生など)が子育てにかかわっている(いた)から |
| 4. 親として子育てをするのが当然だから |
| 5. 配偶者の負担を減らしたいから |
| 6. 自分が子育てをすることで家族が喜ぶと思っているから |
| 7. 家庭円満のために仕方ないと思っているから |
| 8. 自分しかする人がいないから |
| 9. 話し合っ分担任を決めているから |
| 10. その他() |
| 11. 特になし |

問22 問20で選択肢「3」または「4」とお答えの方にお聞きします。
あなたが、子育てをしていない(しなかった)理由は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 仕事が忙しいから |
| 2. 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にしたいから |
| 3. 子育てに関する知識や経験が足りないから |
| 4. 自分の父親が子育てにかかわっていなかったから |
| 5. 男性が子育てにかかわるものではないと思うから |
| 6. 男性が子育てをすることに対して周りの人に抵抗感があるから |
| 7. 男性が子育てをすることに対して職場の理解がないから |
| 8. 配偶者や配偶者以外の家族が子育てをするから |
| 9. 自分が子どもの世話をして、配偶者に文句を言われる(言われた)から |
| 10. その他() |
| 11. 特になし |

V 「介護」について、おうかがいします。(全6問)

問26 あなたは、自分の家族の中に介護を必要とする人がいる場合、または、もし家族が介護を必要とする状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つだけ)

1. 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で介護したい (している)
2. ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら、主に自宅で介護したい (している)
3. 特別養護老人ホーム等の施設を利用したい (利用している)
4. その他 ()
5. わからない

問27 問26で選択肢「1」または「2」とお答えの方にお聞きします。
自宅で介護をする場合、主に誰が介護することになるとおもいますか。(○は1つだけ)

1. 主に、自分が介護する (している)
2. 主に、自分の配偶者が介護する (している)
3. 主に、その他の家族 (女性) が介護する (している) (具体的に)
4. 主に、その他の家族 (男性) が介護する (している) (具体的に)
5. 家族以外の方がする (している)
6. その他 ()
7. わからない

問28 あなたは、介護を必要とする家族(同居していない場合も含む)がいますか(いましたか)。(○は1つだけ)

1. いる (いた)
2. いない

問29 問28で選択肢「1 いる (いた)」とお答えの方にお聞きします。
あなたは、介護を必要とする家族のために、介護休業を取得しましたか。(○は1つだけ)

1. 取得した
2. 取得しなかった
3. その他 ()

問30 問29で選択肢「2 取得しなかった」とお答えの方にお聞きします。

あなたが介護休業を取得しなかった理由は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1. 介護休業を取得するという発想がなかったから
2. 介護休業の制度がなかったから
3. 介護休業の制度についてよく知らなかったから
4. 昇任や評価等に影響すると思ったから
5. 職場の理解が得られない雰囲気だったから
6. 経済的に苦しくなると思ったから
7. 自分以外に介護に専念する人がいたから
8. 配偶者が介護をするのが当然だから
9. 配偶者の方が介護に適していると思ったから
10. 家族に反対されたから
11. その他 ()
12. 特になし

問31 あなたが介護されるときは、主に誰に介護されたいですか。(○は1つだけ)

1. 配偶者
2. 息子
3. 娘
4. 息子の配偶者
5. 娘の配偶者
6. その他の家族(女性)(具体的に)
7. その他の家族(男性)(具体的に)
8. ホームヘルパーや訪問看護師等
9. 施設や病院等の職員・看護師等
10. その他 ()
11. わからない

VI 「仕事」について、おうかがいします。(全3問)

問32 問3で選択肢「1」～「5」のいずれか(現在の仕事が、勤め人、農林漁業、自由業・自営業・家業、その他の有職)とお答えの方にお聞きします。

あなたは、現在の仕事や働き方に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満である | 4. 不満である |
| 5. どちらでもない | |

問33 問32で選択肢「1 満足している」または「2 やや満足している」とお答えの方にお聞きします。

満足している理由は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 仕事の内容・やりがい | 2. 収入・賃金 |
| 3. 労働時間・休日等の条件 | 4. 職場の雰囲気 |
| 5. 通勤時間が短い | 6. 家庭との両立がしやすい |
| 7. 人事評価・処遇のあり方 | 8. 教育訓練・能力開発のあり方 |
| 9. その他 () | |

問34 問32で選択肢「3 やや不満である」または「4 不満である」とお答えの方にお聞きします。

不満がある理由は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 仕事の内容・やりがい | 2. 収入・賃金 |
| 3. 労働時間・休日等の条件 | 4. 職場の雰囲気 |
| 5. 通勤時間が長い | 6. 家庭との両立が難しい |
| 7. 人事評価・処遇のあり方 | 8. 教育訓練・能力開発のあり方 |
| 9. その他 () | |

VII 「地域活動」について、おうかがいします。(全4問)

問35 あなたは、どんな地域活動に参加されていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 伝統ある地縁的な団体の活動(自治会、町内会、青年団、消防団、PTA等)
2. 状況やニーズに応じて結成された任意の団体の活動(父親の会、講座修了生の会等)
3. NPO(非営利活動団体)の活動
4. 民生委員、社会教育事業推進委員など公的な立場での活動
5. 趣味・スポーツのサークル・団体の活動
6. 個人でおこなうボランティア活動
7. その他()
8. 参加していない

問36 問35で選択肢「1」～「7」のいずれか(地域活動に参加している)とお答えの方にお聞きします。

地域活動に参加するきっかけとして、特に影響を受けたライフイベント(人生の節目となるようなできごと)は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 大学等への進学 | 2. 就職 |
| 3. 結婚 | 4. 離婚 |
| 5. 転居 | 6. 転職 |
| 7. 退職 | 8. 子どもの誕生 |
| 9. 子育て | 10. 子どもの進学・進級 |
| 11. 子どもの独立 | 12. 介護・看護 |
| 13. 自分の病気 | 14. その他() |
| 15. 特になし | |

VIII あなたの不安や悩みごとについて、おうかがいします。(全5問)

問39 現在、あなたは悩みや困りごとがありますか。(○は1つだけ)

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

問40 問39で選択肢「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

①それはどのような悩みですか。」次のア～ソから、あてはまるものすべてを選択し○をしてください。また、その中で「②最も大きな悩みや困りごと」をア～ソから1つお選びください。

	①悩んでいること	②最も悩んでいること
ア. 仕事、雇用、転職、再就職、起業など	1	1
イ. 健康、病気、障害など	2	2
ウ. 家計、借金、相続など	3	3
エ. メンタルヘルス、ストレスなど	4	4
オ. 生き方、暮らし方など	5	5
カ. 友人、知人との関係や職場の人間関係など	6	6
キ. 恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など	7	7
ク. 家族、親戚との関係や家制度など	8	8
ケ. 育児、子育て、教育など	9	9
コ. 介護に関する悩み（自分が介護をすることについて）	10	10
サ. 介護に関する悩み（将来、自分が介護をされることについて）	11	11
シ. 性格、容姿など	12	12
ス. 異性・配偶者との性に関する悩みなど	13	13
セ. 自分の性に関する悩み	14	14
ソ. その他	15	15

問4 1 問3 9で選択肢「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、悩みや困りごとについて、誰かに相談しましたか。次の中から、あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 親
3. 兄弟姉妹	4. 友人
5. 同僚	6. 上司
7. 相談機関	8. 専門家
9. その他 ()	10. 相談しなかった

問4 2 最近(この3か月くらいの間)のあなた自身の状況についてと、これまでのあなた自身の状況について、最も近いと思われる回答を選択して○をしてください。

	1. よくあった	2. 少しあった	3. 全くなかった
〈この3ヶ月くらいの間の状況〉			
ア. 孤独だと感じたこと	1	2	3
イ. お酒を飲むまいと思っても飲んでしまうことや、飲まないと思えなかったこと	1	2	3
ウ. 何もやる気がしないと感じたこと	1	2	3
エ. 死にたいと思ったこと	1	2	3
オ. 仕事をやめたいと思ったこと	1	2	3
〈これまでの状況〉			
カ. カッとなって、配偶者や恋人をなぐったり、けったりしたこと	1	2	3
キ. カッとなって、配偶者や恋人に声を荒げたり、どなったりしたこと	1	2	3
ク. 配偶者や恋人になぐられたり、けられたりしたこと	1	2	3
ケ. 配偶者や恋人に声を荒げられたり、どなられたりしたこと	1	2	3

問43 あなたが、もし次のア～オのような悩みや困りごとがあつて誰かに相談する場合、どのような方法や体制があると相談しやすいと思いますか。1～8の相談方法等の中から、あてはまるものをすべて選択して○をしてください。

<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">相談方法等</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">→</div> <div style="text-align: left; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">悩みや困りごと</div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">↓</div>	1. 電話相談	2. インターネット相談	3. 面談での相談	4. グループ相談 (同じ問題・テーマを持つ人等)	5. 男性相談員による相談	6. 専門家による相談 (医師・臨床心理士・弁護士等)	7. 24時間受付の相談	8. その他
ア. 自身のメンタルヘルス、ストレスなどの相談	1	2	3	4	5	6	7	8
イ. 生き方、暮らし方などの相談	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ. 結婚や家族(夫婦を含む)などの身近な人との間に起きた問題についての相談	1	2	3	4	5	6	7	8
エ. 育児、子どもの教育などの相談	1	2	3	4	5	6	7	8
オ. 介護の相談	1	2	3	4	5	6	7	8

Ⅸ あなたご自身の「現在の考え方や感じ方」について、おうかがいします。(全9問)

問44 次のそれぞれの文の内容について、あなたご自身の「現在の考え方や感じ方」として、最も近いと思われるものを選択して○をしてください。

なお、お立場によっては現在のご状況に該当しない項目もありますが、その項目については、あなたがそのようなお立場になった場合を想定してご回答ください。それ以外の項目については、現在のあなたの考え方や感じ方についてご回答ください。

	1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない
(回答例)	1	2	3	4	5
ア. 自分の子どもの成績や進路についての期待は、男子と女子では異なると思う	1	2	3	4	5
イ. デートの費用は、自分が多く払うのが当然だと思う	1	2	3	4	5
ウ. (結婚したら)家族のために、仕事を継続しなければならないと思う	1	2	3	4	5
エ. (結婚したら)配偶者にはできるだけ稼いでもらいたいと思う	1	2	3	4	5
オ. (結婚したら)配偶者には仕事よりも家庭を優先してほしいと思う	1	2	3	4	5
カ. 自分が家事や育児をすることは、格好悪いし恥ずかしいと思う	1	2	3	4	5
キ. 配偶者や恋人には、できれば自分の意見に従ってもらいたいと思う	1	2	3	4	5
ク. 仕事で業績を評価されたいと思う	1	2	3	4	5

問45-1 あなたは、次のア～コのような考え方をどう思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択して○をしてください。

	1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない
ア. 家事や子どもの世話は、女性がするほうがよい	1	2	3	4	5
イ. 責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい	1	2	3	4	5
ウ. 男性は仕事における成功が重要である	1	2	3	4	5
エ. 男性は弱音を吐くべきではない	1	2	3	4	5
オ. 女性は責任のある役割を引き受けたがらない	1	2	3	4	5
カ. 昔からの地域の慣習やしきたりを変える必要はない	1	2	3	4	5
キ. 地域の集まりで、男性が会のまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けなどをするようになってるのは、特におかしいことではない	1	2	3	4	5
ク. 女性が管理職になることに抵抗がある	1	2	3	4	5
ケ. 男性より女性のほうが強くなっていると思う	1	2	3	4	5
コ. 女性の社長や政治家がもっと増えたほうがよい	1	2	3	4	5

問45-2 あなたは、ア～エのような考え方について、世間の多くの人の考えだと思えますか。それぞれについて、あてはまるものを選択して○をしてください。

	1. ほとんどの人がそう考えていると思う	2. 多いと思う	3. そう考えている人は少ないと思う	4. そう考えている人はほとんどいないと思う	5. わからない
ア. 家事や子どもの世話は、女性がするほうがよい	1	2	3	4	5
イ. 責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい	1	2	3	4	5
ウ. 男性は仕事における成功が重要である	1	2	3	4	5
エ. 男性は弱音を吐くべきではない	1	2	3	4	5

問46 あなたは、自分の子どもには将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。
子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。(○は3つまで)

① 女の子の場合について

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 社会的な地位を得る | 2. 経済的に自立した生活をする |
| 3. 身の回りの家事ができる | 4. 人間性豊かな生活をする |
| 5. 家族や周りの人たちと円満に暮らす | 6. 社会に貢献する |
| 7. 本人の個性や才能を生かした生活をする | 8. 本人の意思に任せる |
| 9. その他 () | |
| 10. わからない | |

② 男の子の場合について

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 社会的な地位を得る | 2. 経済的に自立した生活をする |
| 3. 身の回りの家事ができる | 4. 人間性豊かな生活をする |
| 5. 家族や周りの人たちと円満に暮らす | 6. 社会に貢献する |
| 7. 本人の個性や才能を生かした生活をする | 8. 本人の意思に任せる |
| 9. その他 () | |
| 10. わからない | |

問47 あなたは、現在のご自身の生き方や生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. わからない |

問48 あなたは、「男もつらい」と感じることはありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問49 問48で選択肢「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

それはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. なにかにつけ「男だから」「男のくせに」と言われる |
| 2. 配偶者や子を養うのは男の責任だと言われる |
| 3. 男なのに酒が飲めないのかとからかわれる |
| 4. 力が弱い、運動が苦手だとバカにされる |
| 5. 仕事の責任が大きい、仕事できて当たり前と言われる |
| 6. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある |
| 7. 衣食住のことが十分にできなくて、生活が不便である |
| 8. 家族とのコミュニケーションがうまくいかない |
| 9. その他 () |
| 10. わからない |

問50 あなたは、「男女共同参画社会」について、どのようなイメージをお持ちですか。

(○は3つまで)

1. 男女平等意識が社会に浸透していること
2. 政策・方針決定や指導的な立場につく女性が増えること
3. 社会のあらゆる分野に女性が進出すること
4. しきたりや古い慣習などにとられない社会になること
5. 女性の仕事と家庭の両立が可能になること
6. 女性が男性中心の社会に入り、男性と肩を並べること
7. 男らしさにとられず、男性にとって生きやすい社会になること
8. 女性だけが優遇されて、男性にとって生きづらい社会になること
9. 男女がお互いをパートナーとして理解し、協力していること
10. 性別にとられず、能力を発揮でき、評価される社会になること
11. その他 ()
12. 特にイメージはない

問51 あなたは、男女共同参画に関して、以下のような経験がありますか。(○はいくつでも)

1. 学校で学習した (□小学校、□中学校、□高校、□大学) ※該当する□にチェック
2. 職場で研修を受けた
3. 地域の講座や研修で学んだ
4. 教えてくれる人や実践している人が身近にいる (いた)
5. 本で読んだ
6. マスコミが取り上げるニュースや特集で知った (テレビ、雑誌、インターネット等)
7. その他 ()
8. 特になし

問52 男性の生活や考え方、男女共同参画などについて、どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入ください。

以上で質問は終わりです。お忙しいところ、長時間にわたりアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、10月28日(月)までに投函してください。よろしくお願いいたします。

※この調査票は、女性にお答えいただく内容です。

※この調査における「結婚」、「配偶者」は、事実婚の場合を含みます。

女性票

I あなたご自身のことについておうかがいします。(全9問)

問1 あなたの年齢は、平成25年10月1日時点でおいくつですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 |
| 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 |
| 11. 70歳以上 | |

問2 あなたのお住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 8. 大津地域 (大津市) |
| 9. 湖南地域 (草津市、守山市、栗東市、野洲市) |
| 10. 甲賀地域 (湖南市、甲賀市) |
| 11. 東近江地域 (近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町) |
| 12. 湖東地域 (彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町) |
| 13. 湖北地域 (長浜市、米原市) |
| 14. 湖西地域 (高島市) |

問3 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 勤め人 (正規社員・職員) |
| 2. 勤め人 (臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員) |
| 3. 農林漁業 |
| 4. 自由業・自営業・家業 (農林漁業を除く) |
| 5. その他の有職 |
| 6. 家事専業 |
| 7. 学生 (大学院生、研究生等を含む) |
| 8. 無職 |

問4 問3で選択肢「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかとお答えの方にお聞きします。
あなたの現在の仕事の内容は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 専門知識をいかした仕事 (教員、医師、看護師、弁護士、建築士、システムエンジニアなど) |
| 2. 管理的な仕事 (企業・官公庁・団体の役員・課長以上の管理職、経営者など) |
| 3. 事務的な仕事 (一般事務、経理事務、企画事務、営業事務、上記1・2にあてはまらない方) |
| 4. 営業・販売の仕事 (商店主、商店員、セールス員、外交員など) |
| 5. サービスの仕事 (飲食店主、飲食店員、料理人、理美容師、保育士、ホームヘルパーなど) |
| 6. 保安の仕事 (自衛官、警察官、消防士、入国管理官、警備員など) |
| 7. 運輸・通信の仕事 (運転手、郵便会社職員など) |
| 8. 製造・技能・労務の仕事 (職人、工場労働者、修理工、建設・土木作業員、清掃員など) |
| 9. その他 () |

問5 あなたは現在、結婚されていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 結婚している | 2. 以前結婚していたが、離別した |
| 3. 以前結婚していたが、死別した | 4. 結婚したことがない(未婚) |

問6 あなたにはお子さま(別居している子どもも含む)はいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 | 6. 子どもはいない |

問7 問6で選択肢「1」～「5」のいずれか(子どもがいる)とお答えの方にお聞きします。
あなたのお子さま(別居している子どもも含む)について、あてはまる年齢・学齢をすべて
選択してください。(年齢は平成25年10月1日時点)

- | |
|----------------------------|
| 1. 0～2歳 |
| 2. 未就学児(3歳～6歳) |
| 3. 小学生(1～3年生) |
| 4. 小学生(4～6年生) |
| 5. 中学生 |
| 6. 高校生 |
| 7. 大学生・大学院生(高専、短大、専門学校を含む) |
| 8. 学校を卒業した未婚の子ども |
| 9. 結婚した子ども |

問8 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども |
| 3. 自分の父親 | 4. 自分の母親 |
| 5. 自分の祖父母 | 6. 配偶者の父親 |
| 7. 配偶者の母親 | 8. 配偶者の祖父母 |
| 9. 自分の兄弟姉妹 | 10. 配偶者の兄弟姉妹 |
| 11. 孫 | 12. 子どもの配偶者 |
| 13. その他親族() | 14. 交際相手 |
| 15. 一人暮らし | 16. 単身赴任 |
| 17. その他() | |

問9 あなたは滋賀県に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 生まれてからずっと滋賀県に住んでいる |
| 2. 滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した(転入後 _____ 年) |
| 3. 県外で生まれて、滋賀県へ転入した(転入後 _____ 年) |

Ⅱ 配偶者のことについて、おうかがいします。(全3問)

問10～12は、問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお聞きします。

問10 あなたの配偶者の年齢は、平成25年10月1日時点で何歳ですか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 |
| 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 |
| 11. 70歳以上 | |

問11 あなたの配偶者の現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 勤め人（正規社員・職員） |
| 2. 勤め人（臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員） |
| 3. 農林漁業 |
| 4. 自由業・自営業・家業（農林漁業を除く） |
| 5. その他の有職 |
| 6. 家事専業 |
| 7. 学生（大学院生、研究生等を含む） |
| 8. 無職 |

問12 問11で選択肢「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかとお答えの方にお聞きします。

あなたの現在の仕事の内容は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 専門知識をいかした仕事（教員、医師、看護師、弁護士、建築士、システムエンジニアなど） |
| 2. 管理的な仕事（企業・官公庁・団体の役員・課長以上の管理職、経営者など） |
| 3. 事務的な仕事（一般事務、経理事務、企画事務、営業事務、上記1・2にあてはまらない方） |
| 4. 営業・販売の仕事（商店主、商店員、セールス員、外交員など） |
| 5. サービスの仕事（飲食店主、飲食店員、料理人、理美容師、保育士、ホームヘルパーなど） |
| 6. 保安の仕事（自衛官、警察官、消防士、入国管理官、警備員など） |
| 7. 運輸・通信の仕事（運転手、郵便会社職員など） |
| 8. 製造・技能・労務の仕事（職人、工場労働者、修理工、建設・土木作業員、清掃員など） |
| 9. その他（ <input type="text"/> ） |

Ⅲ 配偶者の生活時間について、おうかがいします。(全6問)

問13～18は、問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお聞きします。

問13 あなたの配偶者のふだん（平日と休日）の生活時間についてうかがいます。以下の活動について、1日に費やす時間はどのくらいですか。（それぞれについて該当する数字に○を1つ）

	上段 (平日)	1. 該当しない	2. 全くない	3. 30分未満	4. 30分～1時間未満	5. 1時間～2時間未満	6. 2時間～4時間未満	7. 4時間～6時間未満	8. 6時間～8時間未満	9. 8時間以上
	下段 (休日)									
(回答例)	平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア. 家事	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9
イ. 育児・子育て	平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ. 介護	平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
エ. 収入を得る仕事	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9
オ. 地域活動	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9
カ. 余暇や娯楽・趣味	平日		2	3	4	5	6	7	8	9
	休日		2	3	4	5	6	7	8	9

問14 問13で回答されたあなたの配偶者の生活時間について、理想の時間より短いと思うのは次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---------|-------------|---------|------------|
| 1. 家事 | 2. 育児・子育て | 3. 介護 | 4. 収入を得る仕事 |
| 5. 地域活動 | 6. 余暇や娯楽・趣味 | 7. 特になし | |

問15 問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお聞きします。
配偶者とは、よく話をしますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---------|---------|------------|-----------------|
| 1. よく話す | 2. やや話す | 3. あまり話さない | 4. 必要以外まったく話さない |
|---------|---------|------------|-----------------|

問16 問15で選択肢「1」～「3」のいずれかとお答えの方にお伺いします。
配偶者との会話は、どちらから話しかけますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|------------|--------------|----------|
| 1. 主に自分から | 2. 主に配偶者から | 3. どちらも同じくらい | 4. わからない |
|-----------|------------|--------------|----------|

問17 問5で選択肢「1 結婚している」とお答えの方にお伺いします。
家計の管理は誰がしていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------|--------------|
| 1. 自分 | 2. 配偶者 | 3. 自分と配偶者の両方 |
| 4. その他 () | | 5. わからない |

問18 配偶者が積極的に家事をするために、あなたが最も気をつけていることは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 配偶者とよく話し合う |
| 2. 配偶者に感謝の気持ちを伝える |
| 3. 配偶者をほめる |
| 4. 配偶者の失敗を責めない |
| 5. 配偶者だけに負担がかたよらないようにする |
| 6. その他 () |
| 7. 特になし |

IV 「子育て」や「介護」について、おうかがいします。(全3問)

問19・問20は、問6で選択肢「1」～「5」のいずれか(子どもがいる)とお答えの方にお聞きします。

問19 あなたの配偶者は、子育てをしていますか(していましたか)。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. している(していた) | 2. ある程度している(していた) |
| 3. あまりしていない(しなかった) | 4. 全くしない(しなかった) |

問20 配偶者が積極的に子育てをするために、あなたが最も気をつけていることは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 配偶者とよく話し合う |
| 2. 配偶者に感謝の気持ちを伝える |
| 3. 配偶者をほめる |
| 4. 配偶者の失敗を責めない |
| 5. 配偶者だけに負担がかたよらないようにする |
| 6. その他 () |
| 7. 特になし |

問21 あなたが介護されるときは、主に誰に介護されたいですか。(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------|
| 7. 配偶者 |
| 8. 息子 |
| 9. 娘 |
| 10. 息子の配偶者 |
| 11. 娘の配偶者 |
| 12. その他の家族(女性)(具体的に) |
| 7. その他の家族(男性)(具体的に) |
| 8. ホームヘルパーや訪問看護師等 |
| 9. 施設や病院等の職員・看護師等 |
| 10. その他 () |
| 11. わからない |

VI あなたご自身の「現在の考え方や感じ方」について、おうかがいします。(全7問)

問24 次のそれぞれの文の内容について、あなたご自身の「現在の考え方や感じ方」として、最も近いと思われる回答を選択して○をしてください。

なお、お立場によっては現在のご状況に該当しない項目もありますが、その項目については、あなたがそのようなお立場になった場合を想定してご回答ください。それ以外の項目については、現在のあなたの考え方や感じ方についてご回答ください。

	1. とても そう思う	2. やや そう思う	3. どちら とも いえ ない	4. あまり そう 思わ ない	5. そう 思わ ない
(回答例)	1	2	3	4	5
ア. 自分の子どもの成績や進路についての期待は、男子と女子では異なると思う	1	2	3	4	5
イ. デートの費用は、相手が多く払うのが当然だと思う	1	2	3	4	5
ウ. (結婚したら) 配偶者は家族のために、仕事を継続しなければならないと思う	1	2	3	4	5
エ. (結婚したら) 自分もできるだけ稼ぎたいと思う	1	2	3	4	5
オ. (結婚したら) 自分は仕事よりも家庭を優先したいと思う	1	2	3	4	5
カ. 配偶者が家事や育児をすることは、格好悪いし恥ずかしいと思う	1	2	3	4	5
キ. 自分は配偶者や恋人の意見に従うほうがよいと思う	1	2	3	4	5
ク. 配偶者には、仕事で業績を評価されてほしいと思う	1	2	3	4	5

問25-1 あなたは、次のア～コのような考え方をどう思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択して○をしてください。

	1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない
ア. 家事や子どもの世話は、女性がするほうがよい	1	2	3	4	5
イ. 責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい	1	2	3	4	5
ウ. 男性は仕事における成功が重要である	1	2	3	4	5
エ. 男性は弱音を吐くべきではない	1	2	3	4	5
オ. 女性は責任のある役割を引き受けたがらない	1	2	3	4	5
カ. 昔からの地域の慣習やしきたりを変える必要はない	1	2	3	4	5
キ. 地域の集まりで、男性が会のまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けなどをする事になっているのは、特におかしいことではない	1	2	3	4	5
ク. 女性が管理職になることに抵抗がある	1	2	3	4	5
ケ. 男性より女性のほうが強くなっていると思う	1	2	3	4	5
コ. 女性の社長や政治家がもっと増えたほうがよい	1	2	3	4	5

問25-2 あなたは、ア～エのような考え方について、世間の多くの人の考えだと思えますか。それぞれについて、あてはまるものを選択して○をしてください。

	1. ほとんどの人がそう考えていると思う	2. 多いと思う	3. そう考えている人は少ないと思う	4. そう考えている人はほとんどいないと思う	5. わからない
ア. 家事や子どもの世話は、女性がするほうがよい	1	2	3	4	5
イ. 責任ある仕事は、女性よりも男性がするほうがよい	1	2	3	4	5
ウ. 男性は仕事における成功が重要である	1	2	3	4	5
エ. 男性は弱音を吐くべきではない	1	2	3	4	5

問26 あなたは、自分の子どもには将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。
子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。(○は3つまで)

【1】女の子の場合について

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 2. 社会的な地位を得る | 2. 経済的に自立した生活をする |
| 3. 身の回りの家事ができる | 4. 人間性豊かな生活をする |
| 5. 家族や周りの人たちと円満に暮らす | 6. 社会に貢献する |
| 7. 本人の個性や才能を生かした生活をする | 8. 本人の意思に任せる |
| 9. その他 () | |
| 10. わからない | |

【2】男の子の場合について

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 2. 社会的な地位を得る | 2. 経済的に自立した生活をする |
| 3. 身の回りの家事ができる | 4. 人間性豊かな生活をする |
| 5. 家族や周りの人たちと円満に暮らす | 6. 社会に貢献する |
| 7. 本人の個性や才能を生かした生活をする | 8. 本人の意思に任せる |
| 9. その他 () | |
| 10. わからない | |

問27 あなたは、現在のご自身の生き方や生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. わからない |

問28 あなたは、「男女共同参画社会」について、どのようなイメージをお持ちですか。
(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 男女平等意識が社会に浸透していること | |
| 2. 政策・方針決定や指導的な立場につく女性が増えること | |
| 3. 社会のあらゆる分野に女性が進出すること | |
| 4. しきたりや古い慣習などにとらわれない社会になること | |
| 5. 女性の仕事と家庭の両立が可能になること | |
| 6. 女性が男性中心の社会に入り、男性と肩を並べること | |
| 7. 男らしさにとらわれず、男性にとって生きやすい社会になること | |
| 8. 女性だけが優遇されて、男性にとって生きづらい社会になること | |
| 9. 男女がお互いをパートナーとして理解し、協力していること | |
| 10. 性別にとらわれず、能力を発揮でき、評価される社会になること | |
| 11. その他 () | |
| 12. 特にイメージはない | |

問29 あなたは、男女共同参画に関して、以下のような経験がありますか。(〇はいくつでも)

1. 学校で学習した (□小学校、□中学校、□高校、□大学) ※該当する□にチェック
2. 職場で研修を受けた
3. 地域の講座や研修で学んだ
4. 教えてくれる人や実践している人が身近にいる (いた)
5. 本で読んだ
6. マスコミが取り上げるニュースや特集で知った (テレビ、雑誌、インターネット等)
7. その他 ()
8. 特になし

問30 男女共同参画について、どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入ください。

以上で質問は終わりです。お忙しいところ、長時間にわたりアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、10月28日(月)までに投函してください。 よろしくお願ひします。